

令和7年度

# 定時総会

令和7年6月20日（金）

オーバード・ホール 中ホール



「看護の日」キャラクター  
富山県かんごちゃん



公益社団法人 富山県看護協会

# 目 次

看護職の倫理綱領	3
富山県看護協会の基本理念	4
令和7年度定時総会開催にあたって	5
令和7年度定時総会プログラム	6

## 議決事項

第1号議案 令和7年度富山県看護協会改選役員の選任	9
第2号議案 令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	10
第3号議案 令和7年度選挙管理委員及び推薦委員候補者の承認	11
第4号議案 令和6年度収支決算報告及び監査報告	12
第5号議案 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正	33

## 報告事項

報告事項1 令和6年度事業報告	37
報告事項2 令和7年度重点事業及び事業計画	47
報告事項3 令和7年度収支予算	54

## 各種報告

1 令和6年度理事会報告	67
2 令和6年度職能委員会報告	72
3 令和6年度委員会報告	77
4 令和6年度支部報告	84

# 資 料

令和7年度	優良看護職員表彰者名簿	93
<b>[報告事項1 令和6年度事業報告資料]</b>		
令和6年度	研修会等実施状況報告	94
令和6年度	認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	106
令和6年度	富山県ナースセンター事業報告	107
令和6年度	富山県訪問看護総合支援センター事業報告	122
令和6年度	訪問看護ステーションひよどり事業報告	131
令和6年度	訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	134
令和6年度	ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	139
令和6年度	神明・五福地域包括支援センター事業報告	141
令和6年度	高齢者保健事業推進基盤整備事業報告(県委託事業)	144
令和6年度	富山県行政への要望事項	145
令和6年度	行政機関および関連団体等の委員等就任状況	148
令和6年度	他団体等への推薦	150
令和6年度	後援等の報告	151
<b>[各種報告2 令和6年度職能委員会報告資料]</b>		
産前・産後のこころに寄り添う 研修報告	保健師職能委員会	153
統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果報告	保健師職能委員会	155
統括保健師の育成と今後の方策研修報告	保健師職能委員会	159
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	160
保健師・助産師交流会報告	助産師職能委員会	161
外来における在宅療養支援能力向上のための取り組み 報告	看護師職能Ⅰ委員会	163
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	165
<b>[各種報告3 令和6年度委員会報告資料]</b>		
看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査結果	社会経済福祉委員会	167
<b>[各種報告4 令和6年度支部報告資料]</b>		
令和6年度	支部(5事業)報告	支部 170
令和6年度	支部長会報告	支部 180
<b>[各種名簿等]</b>		
令和6年度	富山県看護協会施設別・職種別会員数	181
令和6年度	受章(彰)者名簿	183
令和6年度	富山県看護協会役員及び委員名簿	184
令和6年度	富山県看護協会支部役員名簿	187
令和7年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	188
<b>[参考資料]</b>		
会員数と入会率		190
都道府県看護協会一覧表		192
都道府県ナースセンター一覧表		193
公益社団法人富山県看護協会定款		194
公益社団法人富山県看護協会組織図		206
公益社団法人富山県看護協会職員名簿		207

---

---

# 看護職の倫理綱領

---

---

2021年 日本看護協会

## 前文

人々は、人間としての尊厳を保持し、健康で幸福であることを願っている。看護は、このような人間の普遍的なニーズに応え、人々の生涯にわたり健康な生活の実現に貢献することを使命としている。

看護は、あらゆる年代の個人、家族、集団、地域社会を対象としている。さらに、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛の緩和を行い、生涯を通して最期まで、その人らしく人生を全うできるようその人のもつ力に働きかけながら支援することを目的としている。

看護職は、免許によって看護を実践する権限を与えられた者である。看護の実践にあたっては、人々の生きる権利、尊厳を保持される権利、敬意のこもった看護を受ける権利、平等な看護を受ける権利などの人権を尊重することが求められる。同時に、専門職としての誇りと自覚をもって看護を実践する。

日本看護協会の『看護職の倫理綱領』は、あらゆる場で実践を行う看護職を対象とした行動指針であり、自己の実践を振り返る際の基盤を提供するものである。また、看護の実践について専門職として引き受ける責任の範囲を、社会に対して明示するものである。

## 本文（抜粋）

1. 看護職は、人間の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重する。
2. 看護職は、対象となる人々に平等に看護を提供する。
3. 看護職は、対象となる人々との間に信頼関係を築き、その信頼関係に基づいて看護を提供する。
4. 看護職は、人々の権利を尊重し、人々が自らの意向や価値観にそった選択ができるよう支援する。
5. 看護職は、対象となる人々の秘密を保持し、取得した個人情報とは適正に取り扱う。
6. 看護職は、対象となる人々に不利益や危害が生じているときは、人々を保護し安全を確保する。
7. 看護職は、自己の責任と能力を的確に把握し、実施した看護について個人としての責任をもつ。
8. 看護職は、常に、個人の責任として継続学習による能力の開発・維持・向上に努める。
9. 看護職は、多職種で協働し、よりよい保健・医療・福祉を実現する。
10. 看護職は、より質の高い看護を行うために、自らの職務に関する行動基準を設定し、それに基づき行動する。
11. 看護職は、研究や実践を通して、専門的知識・技術の創造と開発に努め、看護学の発展に寄与する。
12. 看護職は、より質の高い看護を行うため、看護職自身のウェルビーイングの向上に努める。
13. 看護職は、常に品位を保持し、看護職に対する社会の人々の信頼を高めるよう努める。
14. 看護職は、人々の生命と健康をまもるため、さまざまな問題について、社会正義の考え方をもって社会と責任を共有する。
15. 看護職は、専門職組織に所属し、看護の質を高めるための活動に参画し、よりよい社会づくりに貢献する。
16. 看護職は、様々な災害支援の担い手と協働し、災害によって影響を受けたすべての人々の生命、健康、生活をまもることに最善を尽くす。

---

---

# 富山県看護協会の基本理念

---

---

## I 使命

人々の人間としての尊厳を維持し、健康で幸福でありたいという普遍的なニーズに応え、人々の健康な生活の実現に貢献する。

そのため、

- 一 教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図る
- 一 看護職が生涯を通して安心して働き続けられる環境づくりを推進する
- 一 人々のニーズに応える看護領域の開発・展開を図る

## II 活動理念

- 一 看護職の力を変革に向けて結集する
- 一 自律的に行動し協働する
- 一 専門性を探求し新たな価値を創造する

## III 基本戦略

看護の質の向上、看護職が働き続けられる環境づくり、看護領域の開発・展開の三つの使命に基づく事業領域において、政策形成、自主規制、支援事業、開発・経営、広報、社会貢献の六つの実現手法を用いて、人々の健康で豊かな生活の実現を図るものである。

(平成22年3月富山県看護協会3月通常総会にて決定)

# 令和7年度 定時総会開催にあたって

公益社団法人富山県看護協会  
会 長 岡本 里美

会員の皆様には、日頃より看護協会の事業運営に、ご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

今年は、少子・超高齢・多死社会における保健・医療・福祉の再構築に向けて、一つの目途とされてきた2025年となりました。日本看護協会は10年前に「看護の将来ビジョン～いのち・暮らし・尊厳をまもり支える看護～」を表明し、活動の方向性を明確にしました。看護職は、人々の地域での療養生活を支える最も身近な存在として、その役割を発揮しています。そして、次なる照準となる2040年に向けて、これまでのビジョンをベースとした新たな方向性が提示されています。

看護職が専門職として人々の期待に応え役割を発揮するためには、それぞれの看護職が変化する社会状況やニーズに合わせて新たな知識や技術などの継続的な学習に主体的に取り組み、その能力の開発・維持・向上を図り続けるための「生涯学習」が必要不可欠です。富山県看護協会では、看護職の生涯学習を支援するために行政機関や教育機関、実践現場と連携し、研修を体系化することにより、看護職が生涯を通じて学ぶことができる環境づくりを進めていきたいと考えております。

また、昨年発生しました令和6年能登半島地震におきまして、被災された方々にお見舞いを申し上げますとともに、支援活動に尽力されました看護職の皆さまに心から敬意を表します。これまでも看護職は、大規模自然災害の発生時や新興感染症の蔓延時に看護支援活動に力を発揮してきました。その功績から、2024年には災害支援ナースが災害・感染症医療業務従事者として国（厚生労働省）に登録され、都道府県の要請により、国から被災地へ派遣される仕組みとなりました。それに伴う災害支援ナースの派遣調整は、国から日本看護協会へ委託されました。富山県看護協会は、本年2月に日本看護協会と、4月に富山県と協定を締結しましたので、富山県と協定締結している医療機関等と連携して派遣調整を行うこととなりました。新たな災害支援ナース養成研修は2023年から実施し、県内では昨年度までに127名が修了されており、今後も災害支援ナースの育成を継続していきます。加えて、当協会における業務継続計画（BCP）を策定しましたので、今年度はその検証を行います。

そして、「県民の健康で豊かな生活の実現に寄与する」ため、本会の使命である「看護の質の向上」「働き続けられる環境づくり」「看護領域の開発・展開」を前提とし、定款第5条の6事業に基づいて今年度の活動を行います。

令和7年度の重点事業の柱は、以下の4点です。

- 1 全世代の健康を支える看護提供体制の推進
- 2 看護職のキャリア継続支援
- 3 専門職の人材育成と役割拡大
- 4 感染症拡大及び災害発生時看護支援活動の推進

なお、重点事業の内容や事業計画につきましては、定時総会要綱をご覧ください。

本日の総会におきましては、令和7年度富山県看護協会役員を選任、令和8年度日本看護協会代議員等の選出、令和7年度の当協会選挙管理委員及び推薦委員候補者の承認、令和6年度収支決算報告及び監査報告、定款の一部改正を議案として提出しておりますので、審議をお願いいたします。

会員の皆様から忌憚のないご意見をいただき、実り多き総会になることを期待しております。どうぞよろしくをお願いいたします。

# 令和7年度 定時総会プログラム

日 時 令和7年6月20日(金) 13:30~16:00  
場 所 オーバード・ホール 中ホール

---

- 13:00 開場
- 13:25 オリエンテーション
- 13:30 開会  
物故会員への黙とう  
会長あいさつ  
来賓祝辞・来賓紹介  
表彰 富山県部門功労表彰(看護職員)  
富山県看護協会会長表彰
- 14:00 休憩
- 14:10 議長団の選出及び議事録署名人の選任
- 14:15 **【議決事項】**  
第1号議案 令和7年度富山県看護協会改選役員の選任  
第2号議案 令和8年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任  
第3号議案 令和7年度選挙管理委員及び推薦委員の承認  
第4号議案 令和6年度収支決算報告及び監査報告  
第5号議案 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正
- 【報告事項】**  
報告事項1 令和6年度事業報告  
報告事項2 令和7年度重点事業及び事業計画  
報告事項3 令和7年度収支予算
- 【各種報告】**  
1 令和6年度理事会報告  
2 令和6年度職能委員会報告  
3 令和6年度委員会報告  
4 令和6年度支部報告
- 15:45 議長団解任
- 15:50 看護職の体験談表彰
- 15:55 新任役員紹介  
退任役員紹介・代表あいさつ  
副会長あいさつ
- 16:00 閉会

## 議 決 事 項

---

第 1 号議案	令和 7 年度富山県看護協会改選役員の選任	9
第 2 号議案	令和 8 年度日本看護協会代議員及び予備代議員の選任	10
第 3 号議案	令和 7 年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	11
第 4 号議案	令和 6 年度収支決算報告及び監査報告	12
第 5 号議案	公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正	33



## 令和 7 年度富山県看護協会改選役員の選任（案）

## 令和 7 年度改選役員候補者

（五十音順）

理事（改選11名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
秋山 朝子	厚生連高岡病院	看護師	新
稲垣 伸寿	医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院	准看護師	新
稲見 年美	高岡市民病院	看護師	再
沖山 正子	かみいち総合病院	看護師	新
高長 雅美	富山県立中央病院	看護師	再
春木 加奈	富山市北保健福祉センター	保健師	新
向 千春	金沢医科大学氷見市民病院	看護師	再
村井 純子	富山市立富山市民病院	看護師	新
森 太貴子	富山赤十字病院	助産師	新
山崎 美保	あさひ総合病院	看護師	新
吉田 智子	公益社団法人富山県看護協会	保健師	再

監事（改選1名）

氏 名	所 属	職 種	備 考
吉岡 智子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	看護師	新

令和8年度 日本看護協会  
代議員及び予備代議員の選任（案）

代議員及び予備代議員候補者

（五十音順）

役職等	氏名	所属	職種
代議員候補者	稲垣伸寿	医療法人社団弘仁会魚津緑ヶ丘病院	准看護師
	小倉里美	市立砺波総合病院	看護師
	小原留美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護ステーション	看護師
	渋谷美保子	富山県済生会高岡病院	看護師
	藤井淳子	公益社団法人富山県看護協会	助産師
	松井由香	上市町役場	保健師
	水落治江	富山市立富山まちなか病院	看護師
	森太貴子	富山赤十字病院	助産師
	若杉央	富山県高岡厚生センター	保健師
予備代議員候補者	猪谷亜希子	医療法人社団三医会となみ三輪病院	看護師
	加藤歩実	医療法人社団東方会おおやま病院	准看護師
	酒井昌子	射水市こども福祉課	保健師
	笹倉博恵	富山県済生会富山病院	看護師
	中島真由美	学校法人富山国際学園富山短期大学	保健師
	中山詠美	公立学校共済組合北陸中央病院	看護師
	土師里美	国立大学法人富山大学附属病院	助産師
	藤田由紀江	黒部市民病院	看護師
	吉田智子	公益社団法人富山県看護協会	保健師

## 令和7年度選挙管理委員及び推薦委員候補者の承認（案）

## 選挙管理委員及び推薦委員候補者

（五十音順）

委員名	氏名	職種	所属
選挙管理委員 候補者	飛世照枝	看護師	富山県立中央病院
	濱谷京子	助産師	国立大学法人富山大学附属病院
	遊道啓子	保健師	富山市八尾保健福祉センター
推薦委員 候補者	荒瀬孝志	看護師	富山市立富山市民病院
	石黒幸子	助産師	富山県立中央病院
	浦井由巳	保健師	南砺市健康課
	久和恵子	看護師	富山労災病院
	橘美里	保健師	高岡市健康増進課
	中橋香織	保健師	富山県高岡厚生センター
	長谷川弥生	看護師	独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
	畠山和美	看護師	南砺市民病院
	山崎いずみ	看護師	独立行政法人国立病院機構富山病院
	綿知子	助産師	高岡市民病院

## 令和6年度 収支決算報告（案）及び監査報告

## 貸借対照表

令和7年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
1. 流動資産			
現金預金	47,865,900	53,647,749	△ 5,781,849
未収金	35,205,227	40,852,528	△ 5,647,301
流動資産合計	83,071,127	94,500,277	△ 11,429,150
2. 固定資産			
(1) 特定資産			
役員退職慰労引当資産	910,000	1,190,000	△ 280,000
退職給付引当資産	25,957,336	29,910,092	△ 3,952,756
減価償却引当資産	173,211,738	182,097,944	△ 8,886,206
会館建設引当資産	346,351,050	339,355,050	6,996,000
建築物	302,388,776	313,067,800	△ 10,679,024
構築物	4,096,972	5,528,595	△ 1,431,623
什器備品	1	1	0
土地	74,574,139	74,574,139	0
特定資産合計	927,490,012	945,723,621	△ 18,233,609
(2) その他固定資産			
構築物	9,143,934	10,626,734	△ 1,482,800
什器備品	14,746,321	6,777,197	7,969,124
ソフトウェア	2,258,005	4,466,871	△ 2,208,866
電話加入権	91,575	91,575	0
敷金	1,500,000	1,500,000	0
その他固定資産合計	27,739,835	23,462,377	4,277,458
固定資産合計	955,229,847	969,185,998	△ 13,956,151
資産合計	1,038,300,974	1,063,686,275	△ 25,385,301
<b>II 負債の部</b>			
1. 流動負債			
未払金	12,582,106	19,950,129	△ 7,368,023
前受会費	38,737,000	37,783,000	954,000
預り金	562,444	2,815,925	△ 2,253,481
役員賞与引当金	1,232,000	1,232,000	0
賞与引当金	7,360,724	7,536,320	△ 175,596
未払消費税	2,024,500	2,046,700	△ 22,200
流動負債合計	62,498,774	71,364,074	△ 8,865,300
2. 固定負債			
役員退職慰労引当金	910,000	1,190,000	△ 280,000
退職給付引当金	25,957,336	29,910,092	△ 3,952,756
固定負債合計	26,867,336	31,100,092	△ 4,232,756
負債合計	89,366,110	102,464,166	△ 13,098,056

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>Ⅲ 正味財産の部</b>			
1. 指定正味財産			
地方公共団体補助金	216,605,264	222,941,976	△ 6,336,712
指定正味財産合計	216,605,264	222,941,976	△ 6,336,712
(うち特定資産への充当額)	(216,605,264)	(222,941,976)	(△6,336,712)
2. 一般正味財産	732,329,600	738,280,133	△ 5,950,533
(うち特定資産への充当額)	(684,017,412)	(691,681,553)	(△7,664,141)
正味財産合計	948,934,864	961,222,109	△ 12,287,245
負債及び正味財産合計	1,038,300,974	1,063,686,275	△ 25,385,301

# 正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	53,502,000	53,766,000	△ 264,000
受 取 会 費	53,502,000	53,766,000	△ 264,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,740,000	16,800,000	△ 60,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,740,000	16,800,000	△ 60,000
事 業 収 益	114,488,381	113,069,021	1,419,360
受 講 料 収 益	23,987,636	26,755,933	△ 2,768,297
学 会 事 業 収 益	1,743,000	1,908,000	△ 165,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	51,413,233	49,951,949	1,461,284
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	8,573,401	6,518,428	2,054,973
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,402,280	19,453,460	△ 51,180
介 護 予 防 支 援 費 収 益	8,140,282	7,231,731	908,551
認 定 調 査 収 益	320,100	316,800	3,300
そ の 他 の 事 業 収 益	908,449	932,720	△ 24,271
受 取 補 助 金 等	72,590,802	73,299,941	△ 709,139
受 取 県 補 助 金 等	60,105,646	61,377,481	△ 1,271,835
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035,000	2,035,000	0
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	26,241,000	22,924,000	3,317,000
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	1,610,000	0
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	17,100,000	21,300,000	△ 4,200,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 専 門 職 に よ る 保 健 指 導 等 支 援 事 業	0	318,058	△ 318,058
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託	917,000	917,000	0
受 取 医 療 の ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託	642,646	713,423	△ 70,777
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,885,156	11,422,460	462,696
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,064,930	2,067,660	△ 2,730
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,227,270	8,228,740	△ 1,470
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	692,956	726,060	△ 33,104
受 取 日 看 協 受 託 収 益	900,000	400,000	500,000
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	600,000	500,000	100,000
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	600,000	500,000	100,000
受 取 負 担 金	235,818	0	235,818
受 取 負 担 金	235,818	0	235,818
受 取 助 成 金	529,207	1,788,000	△ 1,258,793
受 取 寄 付 金	1,620,000	800,000	820,000
受 取 寄 付 金	1,620,000	800,000	820,000

科 目		当年度	前年度	増 減
受 取 補 助 金 振 替 額		6,336,712	6,336,712	0
雜 収 益		3,737,284	3,449,303	287,981
受 取 利 息		461	460	1
受 取 利 息 益		461	460	1
雜 収 益 計		3,736,823	3,448,843	287,980
經 常 収 益 計		269,780,204	269,308,977	471,227
(2) 經常費用				
事 業 費		247,385,933	258,997,734	△ 11,611,801
役 員 報 酬		7,816,983	7,832,880	△ 15,897
給 料 手 当		85,172,833	90,475,818	△ 5,302,985
臨 時 雇 賃 金		24,135,428	23,911,340	224,088
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額		504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額		2,982,658	5,392,546	△ 2,409,888
福 利 厚 生 費		21,547,570	21,593,030	△ 45,460
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額		1,108,800	1,108,800	0
賞 与 引 当 金 繰 入 額		7,078,174	7,265,427	△ 187,253
旅 費 交 通 費		3,592,547	3,614,428	△ 21,881
通 信 運 搬 費		6,521,348	6,250,245	271,103
減 価 償 却 費		14,902,864	15,843,203	△ 940,339
建 物 減 価 償 却 費		8,543,219	8,543,219	0
構 築 物 減 価 償 却 費		2,628,100	2,628,098	2
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費		1,522,679	2,463,020	△ 940,341
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費		2,208,866	2,208,866	0
消 耗 什 器 備 品 費		359,700	579,260	△ 219,560
消 耗 品 費		3,662,899	2,870,531	792,368
修 繕 費		587,775	806,881	△ 219,106
印 刷 製 本 費		5,436,609	6,487,633	△ 1,051,024
新 聞 図 書 費		739,549	768,025	△ 28,476
燃 料 費		774,311	748,583	25,728
光 熱 水 料 費		5,354,895	5,345,921	8,974
賃 借 料 費		11,307,669	12,081,701	△ 774,032
保 險 料 費		1,233,698	1,599,947	△ 366,249
諸 謝 金 費		12,555,321	12,890,841	△ 335,520
廣 告 報 費		4,399,817	4,153,457	246,360
租 税 公 課		8,122,726	8,535,500	△ 412,774
支 払 負 担 金		2,714,622	2,341,734	372,888
支 払 助 成 金		3,202,385	7,393,028	△ 4,190,643
支 払 寄 託 金		0	150,000	△ 150,000
委 託 費		10,008,941	7,186,659	2,822,282
雜 費		1,561,811	1,266,316	295,495
管 理 費		25,234,804	25,784,799	△ 549,995
役 員 報 酬		5,691,322	5,701,920	△ 10,598
給 料 手 当		4,482,781	4,761,885	△ 279,104
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額		336,000	336,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額		56,086	176,570	△ 120,484
福 利 厚 生 費		14,050	57,010	△ 42,960
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額		123,200	123,200	0
賞 与 引 当 金 繰 入 額		282,550	270,893	11,657
旅 費 交 通 費		400,735	425,020	△ 24,285

科 目	当年度	前年度	増 減
会 議 費	175,400	212,220	△ 36,820
通 信 運 搬 費	148,304	174,405	△ 26,101
減 価 償 却 費	2,799,415	3,037,885	△ 238,470
建 物 減 価 償 却 費	2,135,805	2,135,805	0
構 築 物 減 価 償 却 費	286,323	286,325	△ 2
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	377,287	615,755	△ 238,468
消 耗 品 費	101,538	126,171	△ 24,633
修 繕 費	146,944	234,720	△ 87,776
印 刷 製 本 費	1,872,872	1,898,059	△ 25,187
新 聞 図 書 費	97,220	108,120	△ 10,900
燃 料 費	24,458	27,227	△ 2,769
光 熱 水 料 費	1,338,724	1,336,480	2,244
賃 借 料 費	3,310,562	3,495,460	△ 184,898
保 險 料 費	35,880	60,540	△ 24,660
諸 謝 金	120,500	74,000	46,500
租 税 公 課	2,037,224	1,623,300	413,924
支 払 負 担 金	339,081	349,222	△ 10,141
支 払 寄 付 金	5,000	8,000	△ 3,000
委 託 費	502,150	472,720	29,430
雜 費	792,808	693,772	99,036
經常費用計	272,620,737	284,782,533	△ 12,161,796
評価損益等調整前当期經常増減額	△ 2,840,533	△ 15,473,556	12,633,023
評価損益等計	0	0	0
当期經常増減額	△ 2,840,533	△ 15,473,556	12,633,023
2. 經常外増減の部			
(1) 經常外収益			
固 定 資 産 売 却 益	300,000	0	300,000
土 地 売 却 益	300,000	0	300,000
經常外収益計	300,000	0	300,000
(2) 經常外費用			
雜 損 失	3,410,000	0	3,410,000
經常外費用計	3,410,000	0	3,410,000
当期經常外増減額	△ 3,110,000	0	△ 3,110,000
当期一般正味財産増減額	△ 5,950,533	△ 15,473,556	9,523,023
一般正味財産期首残高	738,280,133	753,753,689	△ 15,473,556
一般正味財産期末残高	732,329,600	738,280,133	△ 5,950,533
II 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
地 方 公 共 団 体 補 助 金	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
当期指定正味財産増減額	△ 6,336,712	△ 6,336,712	0
指定正味財産期首残高	222,941,976	229,278,688	△ 6,336,712
指定正味財産期末残高	216,605,264	222,941,976	△ 6,336,712
III 正味財産期末残高	948,934,864	961,222,109	△ 12,287,245

# 予算対比正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	決算額	差 異
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受 取 会 費	54,000,000	53,502,000	498,000
受 取 会 費	54,000,000	53,502,000	498,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,600,000	16,740,000	△ 140,000
受 取 会 館 運 営 基 金	16,600,000	16,740,000	△ 140,000
事 業 収 益	130,152,000	114,488,381	15,663,619
受 講 料 収 益	25,601,000	23,987,636	1,613,364
学 会 事 業 収 益	1,790,000	1,743,000	47,000
訪 問 看 護 事 業 収 益	62,248,000	51,413,233	10,834,767
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	13,054,000	8,573,401	4,480,599
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	19,375,000	19,402,280	△ 27,280
介 護 予 防 支 援 費 収 益	6,708,000	8,140,282	△ 1,432,282
認 定 調 査 収 益	249,000	320,100	△ 71,100
そ の 他 の 事 業 収 益	1,127,000	908,449	218,551
受 取 補 助 金 等	79,244,000	72,590,802	6,653,198
受 取 県 補 助 金 等	61,663,000	60,105,646	1,557,354
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268,000	2,268,000	0
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420,000	420,000	0
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	2,035,000	2,035,000	0
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会	2,050,000	2,050,000	0
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820,000	820,000	0
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	26,241,000	26,241,000	0
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510,000	510,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	0	1,610,000	△ 1,610,000
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	3,207,000	3,207,000	0
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	17,100,000	17,100,000	0
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	1,610,000	0	1,610,000
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	785,000	785,000	0
受 取 看 護 職 員 就 労 環 境 改 善 事 業 受 託 収 益	1,200,000	1,200,000	0
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300,000	300,000	0
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 受 託	917,000	917,000	0
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業 受 託	2,200,000	642,646	1,557,354
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,004,000	11,885,156	△ 881,156
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,076,000	2,064,930	11,070
受 取 法 人 会 員 助 成 金	8,228,000	8,227,270	730
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 収 益	0	692,956	△ 692,956
受 取 日 看 協 受 託 収 益	700,000	900,000	△ 200,000
受 取 地 方 公 共 団 体 補 助 金	6,577,000	0	6,577,000
受 取 後 期 高 齢 者 医 療 広 域 連 合 受 託 収 益	0	600,000	△ 600,000
受 取 高 齢 者 保 健 事 業 推 進 基 盤 整 備 事 業	0	600,000	△ 600,000
受 取 負 担 金	0	235,818	△ 235,818
受 取 負 担 金	0	235,818	△ 235,818
受 取 助 成 金	0	529,207	△ 529,207

科 目	予算額	決算額	差 異
受 取 寄 付 金	0	1,620,000	△ 1,620,000
受 取 寄 付 金	0	1,620,000	△ 1,620,000
受 取 補 助 金 振 替	0	6,336,712	△ 6,336,712
雜 収	2,900,000	3,737,284	△ 837,284
受 取 利 息	0	461	△ 461
受 取 利 息	0	461	△ 461
雜 収	2,900,000	3,736,823	△ 836,823
經常収益計	282,896,000	269,780,204	13,115,796
(2) 經常費用			
事 業 費	250,655,000	247,385,933	3,269,067
役 員 報 酬	7,920,000	7,816,983	103,017
給 料 手 当	86,423,000	85,172,833	1,250,167
臨 時 雇 賃 金	23,197,000	24,135,428	△ 938,428
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504,000	504,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	3,313,000	2,982,658	330,342
福 利 厚 生 費	15,767,000	21,547,570	△ 5,780,570
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739,000	1,108,800	△ 369,800
賞 与 引 当 金 繰 入 額	6,934,000	7,078,174	△ 144,174
旅 費 交 通 費	4,440,000	3,592,547	847,453
通 信 運 搬 費	7,846,000	6,521,348	1,324,652
減 価 償 却 費	15,406,000	14,902,864	503,136
建 物 減 価 償 却 費	8,539,000	8,543,219	△ 4,219
構 築 物 減 価 償 却 費	2,332,000	2,628,100	△ 296,100
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	2,327,000	1,522,679	804,321
ソ フ ト ウ ェ ア 減 価 償 却 費	2,208,000	2,208,866	△ 866
消 耗 什 器 備 品 費	0	359,700	△ 359,700
消 耗 品 費	4,545,000	3,662,899	882,101
修 繕 費	1,078,000	587,775	490,225
印 刷 製 本 費	5,454,000	5,436,609	17,391
新 聞 図 書 費	753,000	739,549	13,451
燃 料 費	810,000	774,311	35,689
光 熱 水 料 費	3,989,000	5,354,895	△ 1,365,895
賃 借 料	11,760,000	11,307,669	452,331
保 險 料	1,963,000	1,233,698	729,302
諸 謝 金	12,946,000	12,555,321	390,679
廣 告 報 費	5,164,000	4,399,817	764,183
租 税 公 課	9,025,000	8,122,726	902,274
支 払 負 担 金	885,000	2,714,622	△ 1,829,622
支 払 助 成 金	5,882,000	3,202,385	2,679,615
委 託 費	11,454,000	10,008,941	1,445,059
雜 費	2,458,000	1,561,811	896,189
管 理 費	30,413,000	25,234,804	5,178,196
役 員 報 酬	5,280,000	5,691,322	△ 411,322
給 料 手 当	4,548,000	4,482,781	65,219
臨 時 雇 賃 金	200,000	0	200,000
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336,000	336,000	0
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	79,000	56,086	22,914
福 利 厚 生 費	1,330,000	14,050	1,315,950
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	493,000	123,200	369,800

科 目	予算額	決算額	差 異
賞 与 引 当 金 繰 入 額	405,000	282,550	122,450
旅 費 交 通 費	876,000	400,735	475,265
会 議 費	154,000	175,400	△ 21,400
通 信 運 搬 費	204,000	148,304	55,696
減 価 償 却 費	3,852,000	2,799,415	1,052,585
建 物 減 価 償 却 費	2,688,000	2,135,805	552,195
構 築 物 減 価 償 却 費	583,000	286,323	296,677
工 具 器 具 備 品 減 価 償 却 費	581,000	377,287	203,713
消 耗 品 費	246,000	101,538	144,462
修 繕 費	125,000	146,944	△ 21,944
印 刷 製 本 費	1,981,000	1,872,872	108,128
新 聞 図 書 費	81,000	97,220	△ 16,220
燃 料 費	362,000	24,458	337,542
光 熱 水 料 費	1,466,000	1,338,724	127,276
賃 借 料 費	3,414,000	3,310,562	103,438
保 険 料	54,000	35,880	18,120
諸 謝 金	72,000	120,500	△ 48,500
租 税 公 課	2,500,000	2,037,224	462,776
支 払 負 担 金	329,000	339,081	△ 10,081
支 払 寄 付 金	8,000	5,000	3,000
委 託 費	1,275,000	502,150	772,850
雑 費	743,000	792,808	△ 49,808
経常費用計	281,068,000	272,620,737	8,447,263
評価損益等調整前当期経常増減額	1,828,000	△ 2,840,533	4,668,533
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	1,828,000	△ 2,840,533	4,668,533
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固 定 資 産 売 却 益	0	300,000	△ 300,000
土 地 売 却 益	0	300,000	△ 300,000
経常外収益計	0	300,000	△ 300,000
(2) 経常外費用			
雑 損 失	0	3,410,000	△ 3,410,000
経常外費用計	0	3,410,000	△ 3,410,000
当期経常外増減額	0	△ 3,110,000	3,110,000
当期一般正味財産増減額	1,828,000	△ 5,950,533	7,778,533
一般正味財産期首残高	741,231,000	738,280,133	2,950,867
一般正味財産期末残高	743,059,000	732,329,600	10,729,400
II 指定正味財産増減の部			
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
地 方 公 共 団 体 補 助 金	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
当期指定正味財産増減額	△ 6,627,000	△ 6,336,712	△ 290,288
指定正味財産期首残高	227,827,000	222,941,976	4,885,024
指定正味財産期末残高	221,200,000	216,605,264	4,594,736
III 正味財産期末残高	964,259,000	948,934,864	15,324,136

# 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を 目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受取会費	26,751,000	26,751,000		53,502,000
受取会費	26,751,000	26,751,000		53,502,000
受取会館運営基金	8,370,000	8,370,000		16,740,000
受取会館運営基金	8,370,000	8,370,000		16,740,000
事業収益	114,488,381			114,488,381
受講料収益	23,987,636			23,987,636
学会事業収益	1,743,000			1,743,000
訪問看護事業収益	51,413,233			51,413,233
居宅介護支援費収益	8,573,401			8,573,401
地域包括支援センター受託収益	19,402,280			19,402,280
介護予防支援費収益	8,140,282			8,140,282
認定調査収益	320,100			320,100
その他の事業収益	908,449			908,449
受取補助金等	71,558,337	1,032,465		72,590,802
受取県補助金等	60,105,646			60,105,646
受取日看協受託収益	10,852,691	1,032,465		11,885,156
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	600,000			600,000
受取負担金	235,818			235,818
受取負担金	235,818			235,818
受取助成金	529,207			529,207
受取寄付金	1,620,000			1,620,000
受取寄付金	1,620,000			1,620,000
受取補助金振替	6,336,712			6,336,712
雑収益	2,553,896	1,183,388		3,737,284
受取利息	0	461		461
雑収益	2,553,896	1,182,927		3,736,823
経常収益計	232,443,351	37,336,853		269,780,204
(2) 経常費用				
事業費	247,385,933			247,385,933
役員報酬	7,816,983			7,816,983
給料	85,172,833			85,172,833
臨時雇賃金	24,135,428			24,135,428
役員退職慰労引当金繰入額	504,000			504,000
退職給付引当金繰入額	2,982,658			2,982,658
福利厚生費	21,547,570			21,547,570
役員賞与引当金繰入額	1,108,800			1,108,800
賞与引当金繰入額	7,078,174			7,078,174
旅費	3,592,547			3,592,547
通運費	6,521,348			6,521,348
減価償却費	14,902,864			14,902,864
消耗什器備品費	359,700			359,700
消耗什器備品費	3,662,899			3,662,899
修繕費	587,775			587,775
印刷製本費	5,436,609			5,436,609
新聞図書費	739,549			739,549
燃料費	774,311			774,311
光熱水料費	5,354,895			5,354,895
賃借料	11,307,669			11,307,669
保険料	1,233,698			1,233,698

科 目		公衆衛生の向上を 目的とする事業会計	法人会計	内部取引等 消去	合計
諸	謝	金	12,555,321	0	12,555,321
広	報	費	4,399,817	0	4,399,817
租	税	課	8,122,726	0	8,122,726
支	公	金	2,714,622	0	2,714,622
支	担	金	3,202,385	0	3,202,385
委	負	費	10,008,941	0	10,008,941
雑	助	費	1,561,811	0	1,561,811
管	託	費	0	25,234,804	25,234,804
役	理	費	0	5,691,322	5,691,322
給	員	報	0	4,482,781	4,482,781
役	料	手	0	336,000	336,000
退	職	引	0	56,086	56,086
福	給	当	0	14,050	14,050
役	利	金	0	123,200	123,200
賞	厚	繰	0	282,550	282,550
賞	与	入	0	400,735	400,735
旅	引	額	0	175,400	175,400
会	費	費	0	148,304	148,304
通	交	費	0	2,799,415	2,799,415
減	議	費	0	101,538	101,538
消	運	費	0	146,944	146,944
修	賃	費	0	1,872,872	1,872,872
印	価	費	0	97,220	97,220
新	耗	費	0	24,458	24,458
燃	刷	費	0	1,338,724	1,338,724
光	製	費	0	3,310,562	3,310,562
賃	本	料	0	35,880	35,880
保	書	料	0	120,500	120,500
諸	料	金	0	2,037,224	2,037,224
租	水	課	0	339,081	339,081
支	借	金	0	5,000	5,000
支	險	費	0	502,150	502,150
委	謝	費	0	792,808	792,808
雑	公	費	0	247,385,933	247,385,933
管	担	費	0	25,234,804	25,234,804
常	付	費	0	272,620,737	272,620,737
費	託	費	0	14,942,582	14,942,582
用	託	費	0	12,102,049	12,102,049
計	公	費	0	0	0
評	担	費	0	14,942,582	14,942,582
価	付	費	0	12,102,049	12,102,049
損	託	費	0	272,620,737	272,620,737
益	託	費	0	14,942,582	14,942,582
等	公	費	0	12,102,049	12,102,049
調	担	費	0	272,620,737	272,620,737
整	付	費	0	14,942,582	14,942,582
前	託	費	0	12,102,049	12,102,049
当	公	費	0	272,620,737	272,620,737
期	担	費	0	14,942,582	14,942,582
経	付	費	0	12,102,049	12,102,049
常	託	費	0	272,620,737	272,620,737
増	託	費	0	14,942,582	14,942,582
減	公	費	0	12,102,049	12,102,049
額	担	費	0	272,620,737	272,620,737
2. 経常外増減の部	付	費	0	14,942,582	14,942,582
(1) 経常外収益	託	費	0	12,102,049	12,102,049
固 定 資 産 売 却	公	費	0	272,620,737	272,620,737
土 地 売 却	担	費	0	14,942,582	14,942,582
益	付	費	0	12,102,049	12,102,049
益	託	費	0	272,620,737	272,620,737
300,000	公	費	0	14,942,582	14,942,582
300,000	担	費	0	12,102,049	12,102,049
300,000	付	費	0	272,620,737	272,620,737
300,000	託	費	0	14,942,582	14,942,582
(2) 経常外費用	公	費	0	12,102,049	12,102,049
雑	担	費	0	272,620,737	272,620,737
損	付	費	0	14,942,582	14,942,582
失	託	費	0	12,102,049	12,102,049
3,410,000	公	費	0	272,620,737	272,620,737
3,410,000	担	費	0	14,942,582	14,942,582
△ 3,110,000	付	費	0	12,102,049	12,102,049
△ 3,110,000	託	費	0	272,620,737	272,620,737
△ 18,052,582	公	費	0	14,942,582	14,942,582
409,382,990	担	費	0	12,102,049	12,102,049
328,897,143	付	費	0	272,620,737	272,620,737
738,280,133	託	費	0	14,942,582	14,942,582
391,330,408	公	費	0	12,102,049	12,102,049
340,999,192	担	費	0	272,620,737	272,620,737
732,329,600	付	費	0	14,942,582	14,942,582
II 指定正味財産増減の部	託	費	0	12,102,049	12,102,049
一 般 正 味 財 産 へ の 振 替 額	公	費	0	272,620,737	272,620,737
△ 6,336,712	担	費	0	14,942,582	14,942,582
△ 6,336,712	付	費	0	12,102,049	12,102,049
△ 6,336,712	託	費	0	272,620,737	272,620,737
△ 6,336,712	公	費	0	14,942,582	14,942,582
222,941,976	担	費	0	12,102,049	12,102,049
0	付	費	0	272,620,737	272,620,737
216,605,264	託	費	0	14,942,582	14,942,582
0	公	費	0	12,102,049	12,102,049
607,935,672	担	費	0	272,620,737	272,620,737
340,999,192	付	費	0	14,942,582	14,942,582
948,934,864	託	費	0	12,102,049	12,102,049
III 正味財産期末残高	公	費	0	272,620,737	272,620,737

# 正味財産増減計算書内訳表

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位：円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計						公益目的共 通事業	合計
	教育等看護 の質の向上 に関する事 業	看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関す る事業	看護業務の 開発、看護 制度の改善 等に関する 事業	看護職の労 働環境等の 改善及び福 祉の向上に 関する事業	訪問看護の 実施等地域 の保険医療 福祉に関す る事業	その他本会 の目的を達 成するために 必要な事 業		
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
受取会費	0	0	0	0	0	0	26,751,000	26,751,000
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	26,751,000	26,751,000
受取会館運営基金	0	0	0	0	0	0	8,370,000	8,370,000
事業収益	22,797,636	1,743,000	1,217,300	638,000	88,092,445	0	8,370,000	8,370,000
受講料収益	22,797,636	0	1,190,000	0	0	0	0	0
学会事業収益	0	1,743,000	0	0	0	0	0	0
訪問看護事業収益	0	0	0	0	51,413,233	0	0	0
居宅介護支援費収益	0	0	0	0	8,573,401	0	0	0
地域包括支援センター受託収益	0	0	0	0	19,402,280	0	0	0
介護予防支援費収益	0	0	0	0	8,140,282	0	0	0
認定調査収益	0	0	0	0	320,100	0	0	0
その他の事業収益	0	0	27,300	638,000	243,149	0	0	0
受取補助金等	3,162,956	0	0	33,678,000	18,252,646	1,385,000	15,079,735	71,558,337
受取県補助金等	2,470,000	0	0	32,678,000	18,252,646	785,000	5,920,000	60,105,646
受取日看協受託収益	692,956	0	0	1,000,000	0	0	9,159,735	10,852,691
受取後高齢者医療広域連合受託収益	0	0	0	0	0	600,000	0	600,000
受取負担金	0	0	0	0	235,818	0	0	235,818
受取負担金	0	0	0	0	235,818	0	0	235,818
受取助成金	0	0	0	0	529,207	0	0	529,207
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	1,620,000	1,620,000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	1,620,000	1,620,000
受取補助金振替	0	0	0	0	0	0	6,336,712	6,336,712
雑収益	297,000	0	0	0	756,724	0	1,500,172	2,553,896
雑収益	297,000	0	0	0	756,724	0	1,500,172	2,553,896
経常収益計	26,257,592	1,743,000	1,217,300	34,316,000	107,866,840	1,385,000	59,657,619	232,443,351
(2) 経常費用								
事業費	29,409,301	1,777,329	396,433	27,634,370	110,502,061	7,324,674	70,341,765	247,385,933
役員報酬	0	0	0	0	0	0	7,816,983	7,816,983
給料手当	0	0	0	7,867,435	58,719,668	0	18,585,730	85,172,833
臨時雇賃金	0	0	0	6,602,534	12,169,872	0	5,363,022	24,135,428
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	504,000	504,000
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	2,477,884	0	504,774	2,982,658
福利厚生費	0	0	0	2,267,175	12,222,120	0	7,058,275	21,547,570
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	1,108,800	1,108,800
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	4,535,227	0	2,542,947	7,078,174
旅費交通費	1,820,125	128,720	52,625	62,253	104,349	1,363,470	61,005	3,592,547
通信搬送費	991,980	38,998	0	687,645	3,277,101	1,125,711	399,913	6,521,348
減価償却費	0	0	0	0	0	0	14,902,864	14,902,864
消耗什器備品費	0	0	0	0	169,400	0	190,300	359,700
消耗什器備品費	1,286,949	100,330	5,450	454,514	879,074	746,570	190,012	3,662,899
修繕費	449,915	0	0	13,610	162,732	2,805	△ 41,287	587,775
印刷製本費	1,731,338	961,510	0	861,835	829,790	633,005	419,131	5,436,609
新聞図書費	493,341	0	33,000	134,190	79,018	0	0	739,549
燃料費	0	0	0	0	774,311	0	0	774,311
光熱水料費	3,220,439	0	0	201,531	459,017	22,300	1,451,608	5,354,895
賃借料	6,611,076	309,740	0	1,014,726	5,535,894	17,862	△ 2,181,629	11,307,669
保険料	0	0	0	0	950,928	0	282,770	1,233,698
諸謝金	8,179,031	80,000	217,000	261,250	1,479,300	1,678,740	660,000	12,555,321
広報費	0	0	0	2,840,336	91,781	1,467,700	0	4,399,817
租税公課	600	0	0	20,400	21,000	0	8,080,726	8,122,726
支払負担金	526,993	0	58,938	540,500	1,400,010	0	188,181	2,714,622
支払助成金	0	0	0	0	3,202,385	0	0	3,202,385
委託費	3,263,760	55,000	0	3,766,224	750,824	0	2,173,133	10,008,941
雑費	833,754	103,031	29,420	38,212	210,376	266,511	80,507	1,561,811
経常費用計	29,409,301	1,777,329	396,433	27,634,370	110,502,061	7,324,674	70,341,765	247,385,933
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 3,151,709	△ 34,329	820,867	6,681,630	△ 2,635,221	△ 5,939,674	△ 10,684,146	△ 14,942,582
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 3,151,709	△ 34,329	820,867	6,681,630	△ 2,635,221	△ 5,939,674	△ 10,684,146	△ 14,942,582

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業会計							合計
	教育等看護の質の向上に関する事業	看護研究会の開催等学術研究の振興に関する事業	看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業	訪問看護の実施等地域の保険医療福祉に関する事業	その他本会の目的を達成するために必要な事業	公益目的共通事業	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000
土地売却益	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	300,000	300,000
(2) 経常外費用								
雑損	0	0	0	0	0	0	3,410,000	3,410,000
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	3,410,000	3,410,000
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	△ 3,110,000	△ 3,110,000
当期一般正味財産増減額	△ 3,151,709	△ 34,329	820,867	6,681,630	△ 2,635,221	△ 5,939,674	△ 13,794,146	△ 18,052,582
一般正味財産期首残高	61,727,425	7,080,431	7,214,206	147,161,565	174,542,485	△ 52,038,681	63,695,559	409,382,990
一般正味財産期末残高	58,575,716	7,046,102	8,035,073	153,843,195	171,907,264	△ 57,978,355	49,901,413	391,330,408
II 指定正味財産増減の部								
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	△ 6,336,712	△ 6,336,712
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	129,215	0	222,812,761	222,941,976
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	129,215	0	216,476,049	216,605,264
III 正味財産期末残高	58,575,716	7,046,102	8,035,073	153,843,195	172,036,479	△ 57,978,355	266,377,462	607,935,672

## 財務諸表に対する注記

### 1 重要な会計方針

「公益法人会計基準」（平成20年4月11日 平成21年10月16日改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 重要な会計方針の変更について

変更なし。

(2) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当なし。

(3) 固定資産の減価償却の方法

①建物……………定額法によっている。

②構築物・什器備品……………定額法によっている。

(4) 引当金の計上基準

①賞与引当金……………職員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

②役員賞与引当金……………役員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する額を計上している。

③退職給付引当金……………職員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務に基づき、当年度末において発生していると認められる額を計上している。

④役員退職慰労引当金……………役員退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上している。

(5) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2 基本財産、特定資産及びその残高

基本財産、特定資産及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	1,190,000	840,000	1,120,000	910,000
退職給付引当資産	29,910,092	3,038,744	6,991,500	25,957,336
減価償却引当資産	182,097,944	982,884	9,869,090	173,211,738
会館建設引当資産	339,355,050	23,240,000	16,244,000	346,351,050
建 物	313,067,800	0	10,679,024	302,388,776
構 築 物	5,528,595	0	1,431,623	4,096,972
什 器 備 品	1	0	0	1
土 地	74,574,139	0	0	74,574,139
小 計	945,723,621	28,101,628	46,335,237	927,490,012
合 計	945,723,621	28,101,628	46,335,237	927,490,012

### 3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	0	0	0	0
小 計	0	0	0	0
特定資産				
役員退職慰労引当資産	910,000			910,000
退職給付引当資産	25,957,336			25,957,336
減価償却引当資産	173,211,738		173,211,738	
会館建設引当資産	346,351,050		346,351,050	
建築物	302,388,776	142,031,124	160,357,652	
構築物	4,096,972		4,096,972	
什器備品	1	1		
土地	74,574,139	74,574,139		
小 計	927,490,012	216,605,264	684,017,412	26,867,336
合 計	927,490,012	216,605,264	684,017,412	26,867,336

### 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価格	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建築物	563,685,911	261,297,135	302,388,776
構築物	47,073,459	42,976,487	4,096,972
什器備品	209,160	209,159	1
その他固定資産			
構築物	14,828,000	5,684,066	9,143,934
什器備品	26,021,975	11,275,654	14,746,321
ソフトウェア	14,495,755	12,237,750	2,258,005
電話加入権	91,575	0	91,575
合 計	666,405,835	333,680,251	332,725,584

### 5 保証債務等の偶発債務

該当事項なし。

### 6 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当事項なし。

7 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
地方公共団体補助金	富山県他	222,941,976	0	6,336,712	216,605,264	指定正味財産
看護職員研修補助金	富山県	0	2,268,000	2,268,000	0	
看護職員定着支援事業補助金	富山県	0	420,000	420,000	0	
助成金						
教育事業（研修）助成金	日本看護協会	0	8,127,270	8,127,270	0	
看護の普及啓発事業助成金	日本看護協会	0	100,000	100,000	0	
合 計		222,941,976	10,915,270	17,251,982	216,605,264	

8 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
減価償却費計上による振替額	6,336,712

9 関連当事者との取引内容

該当事項なし。

10 重要な後発事象

該当事項なし。

## 附属明細書

### 1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記「2. 基本財産、特定資産の増減額及びその残高」に記載

### 2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
役員退職慰労引当金	1,190,000	840,000	1,120,000	0	910,000
退職給付引当金	29,910,092	3,038,744	6,991,500	0	25,957,336
役員賞与引当金	1,232,000	1,232,000	1,232,000	0	1,232,000
賞与引当金	7,536,320	7,360,724	7,536,320	0	7,360,724

# 財産目録

令和7年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額			
<b>(流動資産)</b>							
現金 預金	手元保管 普通預金 北陸五福会費収入 北陸五福支払 北陸五福受講料収入 北陸五福補助金収入 北陸五福ひよどり 北陸五福ひよどり富山 北陸五福包括センター		運転資金として	322,821			
			運転資金として	47,543,079			
				46,917,760			
				269,562			
				66,000			
				153			
				85,009			
				169,684			
				34,911			
	未収金		県委託費、訪問看護収入、居宅収入、包括支援センター収入他	35,205,227			
<b>流動資産合計</b>				<b>83,071,127</b>			
<b>(固定資産)</b>							
<b>特定資産</b>							
役員退職慰労引当資産 北陸五福普通 退職給付引当資産 北陸五福普通 減価償却引当資産 北陸五福普通 北陸五福定期 会館建設引当資産 北陸五福普通 建物 建物 構築物 構築物 什器備品 什器備品 土地 土地	役員退職慰労引当預金 退職給与引当預金 減価償却引当預金 会館建設引当預金 富山市鶴島字川原1907-1 融雪設備、キュービクル等 附属設備一式 富山市鶴島字川原1907-1	役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの 資産取得資金であり、建物及び附属設備等の更新に備えたもの 資産取得資金であり、建物の建替えに備えたもの 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的事業及び管理運営事業の用に供している。	910,000 (910,000)				
			25,957,336 (25,957,336)				
			173,211,738 (150,189,710) (23,022,028)				
			346,351,050 (346,351,050)				
			302,388,776				
			4,096,972				
			1				
			74,574,139				
			<b>その他固定資産</b>				
			構築物 什器備品等 ソフトウェア 電話加入権 敷金	有料駐車場ゲート等 附属設備一式	公益目的事業及び管理運営の用に供している。 公益目的事業及び管理運営の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。 公益目的財産であり、公益目的事業の用に供している。	9,143,934 14,746,321 2,258,005 91,575 1,500,000	
<b>固定資産合計</b>				<b>955,229,847</b>			
<b>資産合計</b>				<b>1,038,300,974</b>			
<b>(流動負債)</b>							
未払金 前受会費 預り金 役員賞与引当金 賞与引当金 未払消費税	令和7年度協会会費 令和7年3月源泉所得税他 令和6年度消費税	令和7年3月分社会保険料、令和6年度HTC事業ST向け助成金等 公益目的事業及び管理費運営の支出に供する会費の前受け 令和7年3月健康保険料他 役員に対する賞与の支払いに備えたもの 職員に対する賞与の支払いに備えたもの 令和6年度に支払う消費税	12,582,106				
			38,737,000				
			562,444				
			1,232,000				
			7,360,724				
			2,024,500				
<b>流動負債合計</b>				<b>62,498,774</b>			
<b>(固定負債)</b>							
役員退職慰労引当金 退職給付引当金		役員に対する退職慰労金の支払いに備えたもの 職員に対する退職金の支払いに備えたもの	910,000 25,957,336				
<b>固定負債合計</b>				<b>26,867,336</b>			
<b>負債合計</b>				<b>89,366,110</b>			
<b>正味財産</b>				<b>948,934,864</b>			

## 令和6年度収支決算（案）の概要

①正味財産増減計算書（対前年比）			
科 目	当年度	前年度	差 異
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	269,780,204	269,308,977	471,227
(2) 経常費用	272,620,737	284,782,533	△12,161,796
(3) 当期経常増減額	△2,840,533	△15,473,556	12,633,023
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	300,000	0	300,000
(2) 経常外費用	3,410,000	0	3,410,000
(3) 当期経常外増減額	△3,110,000	0	△3,110,000
当期一般正味財産増減額	△5,950,533	△15,473,556	9,523,023
<p>令和6年度の経常収益総額は、前年度の269百万円に対し47万円余りの微増、経常費用総額は、272百万円と前年度の284百万円を12百万円余りの減となった。当期の経常増減額は2.8百万円余りの減となった。</p> <p>一方、経常外収益は土地売却益で0.3百万円、経常外費用は職員退職等に伴う雑損失で3.4百万円、併せて当期の経常外増減額は3.1百万円の減となった。</p> <p>この結果、当期の一般正味財産増減額は、5.9百万円の減に至った。</p>			

②正味財産増減計算書（対前年比経常収益分析）			
科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	269,780,204	269,308,977	471,227
受取会費	53,502,000	53,766,000	△264,000
受取会館運営基金	16,740,000	16,800,000	△60,000
事業収益	114,488,381	113,069,021	1,419,360
受講料収益	23,987,636	26,755,933	△2,768,297
学会事業収益	1,743,000	1,908,000	△165,000
訪問看護事業収益	51,413,233	49,951,949	1,461,284
居宅介護支援費収益	8,573,401	6,518,428	2,054,973
地域包括支援センター（介護予防・認定調査含む）受託収益	27,862,662	27,001,991	860,671
受取補助金等	72,590,802	73,299,941	△709,139
受取県補助金等	60,105,646	61,377,481	△1,271,835
受取日本看護協会受託収益	11,885,156	11,422,460	462,696
受取後期高齢者医療広域連合受託収益	600,000	500,000	100,000
<p>経常収益は、対前年比で47万円余りの微増となった。</p> <p>内訳では、事業収益において受講料収益のうち新人看護職員研修を対面からオンデマンド配信としたこと等により2,768千円減、学会は参加者数の減少により165千円減となった。</p> <p>訪問看護は、射水のひよどりが訪問回数増に伴い2,682千円増、ひよどり富山が常勤換算数の減により訪問回数が減り1,221千円減で合計1,461千円増、居宅介護は要介護等の給付管理件数が増えたことで2,054千円増、地域包括は860千円の増となった。</p> <p>受取県補助金は、県補助金で看護師等就労促進事業でデジタル化が増えたこと等で3百万円増、訪問看護総合支援センター受託がトライアル雇用事業の終了による4百万円減などで1,271千円の減、日本看護協会受託収益は、看護補助者事業600千円、地域に必要な看護職確保事業300千円などで462千円の増となった。</p>			

### ③正味財産増減計算書（対前年比経常経費分析）

科 目	当年度	前年度	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常費用	272,620,737	284,782,533	△12,161,796
事業費	247,385,933	258,997,734	△11,611,801
給料手当	85,172,833	90,475,818	△5,302,985
臨時雇賃金	24,135,428	23,911,340	224,088
消耗品費	3,662,899	2,870,531	792,368
賃借料	11,307,669	12,081,701	△774,032
広報費	4,399,817	4,153,457	246,360
支払助成金	3,202,385	7,393,028	△4,190,643
委託費	10,008,941	7,186,659	2,822,282
管理費	25,234,804	25,784,799	△549,995

経常費用は、対前年比12百万円減となった。

給料手当は常勤職員の異動等により前年比5,302千円の減、一方非常勤の増に伴い臨時雇賃金については前年比224千円の微増となった。物価高騰等で消耗品の価格も上昇し、前年比792千円の増、賃借料は、公用車のリース満了に伴い台数を見直したこともあり774千円の減となった。広報費は、紙代等の物価高騰があり246千円の増、支払助成金は、訪問看護総合支援センターのトライアル雇用事業分が終了したことに伴い4百万円余りの減となった。委託費は看護師等就労促進事業のデジタル化でホームページの更新等で2百万円余りの増となった。

管理費は常勤職員の異動等により前年比より給料手当が微減となったこと等により549千円の減となった。

### ④公益事業会計と法人会計

科 目	公益目的事業会計	法人会計	合計
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益	232,443,351	37,336,853	269,780,204
(2) 経常費用	247,385,933	25,234,804	272,620,737
(構成割合)	90.7%	9.3%	100%

本会の会計区分は、公益目的事業会計と法人会計とで構成し、区分経理している。

公益目的事業会計とは、公衆衛生の向上を目的とした定款に定める6事業の実施に係る会計であり、法人会計とは、その他法人の管理運営に係る会計である。

経常費用の総額は272百万円となり、内訳は次のとおりであった。

1. 公益目的事業会計 247百万円（90.7%）
2. 法人会計 25百万円（9.3%）

### ⑤貸借対照表

科 目	当年度	前年度	増 減
<b>I 資産の部計</b>	1,038,300,974	1,063,686,275	△25,385,301
1. 流動資産（現金預金、未収金等）	83,071,127	94,500,277	△11,429,150
2. 固定資産（退職給付引当資産、会館建設引当資産、土地、建物等）	955,229,847	969,185,998	△13,956,151
<b>II 負債の部計</b>	89,366,110	102,464,166	△13,098,056
1. 流動負債（未払金、前受会費、賞与引当金、未払消費税等）	62,498,774	71,364,074	△8,865,300
2. 固定負債（役員退職慰労引当金、退職給付引当金）	26,867,336	31,100,092	△4,232,756
<b>III 正味財産の部計</b>	948,934,864	961,222,109	△12,287,245
1. 指定正味財産（地方公共団体補助金）	216,605,264	222,941,976	△6,336,712
2. 一般正味財産	732,329,600	738,280,133	△5,950,533
<b>(参考) 流動比率（流動資産／流動負債×100）</b>	133%	132%	—

#### 貸借対照表のポイント

資産は、流動資産、固定資産合せて1,038百万円

負債は、流動負債、固定負債合せて89百万円

差引正味財産は948百万円

流動資産を流動負債で割った「流動比率」は133%と、良好な水準（※130～150で良好とされ、それ以上で優良）

### 令和6年度決算（案）と財務3基準

#### 【公益認定3基準】

- |             |  |
|-------------|--|
| 1. 収支相償     | 公益目的事業に係る収入が、その実施に要する費用を超えないこと                   |
| 2. 公益目的事業比率 | 公益目的事業に係る費用の割合が、収益事業、法人の管理費用を加えた事業費全体の50%以上であること |
| 3. 遊休財産額    | 用途の定まらない蓄積した財産の額が公益目的事業に係る費用の1年分を超えないこと          |

#### 1. 収支相償【適合】

公益目的に係る収入（232,443千円）は、公益目的事業の実施に要する費用（247,385千円）を超えていない。

#### 2. 公益目的事業比率【適合】

公益目的事業の実施に要する費用（247,385千円）は、費用の総額（272,620千円）の90.7%で50%を超えている。

#### 3. 遊休財産額【適合】

総資産1,038,300,974円から、負債89,366,110円（流動+固定）と控除対象財産407,299,723円と資産取得資金（173,211,738円+346,351,050円）を除いた残額である遊休財産額22,072,353円は、公益目的事業の実施に要する費用（247,792千円）を超えていない。

# 監査報告書

令和7年5月12日

公益社団法人富山県看護協会

会長 岡本里美 殿

監事 秋山 朝子 

監事 丸池 小百合 

監事 河村 拓栄 

公益社団法人富山県看護協会定款第29条に基づき、令和6年度（令和6年4月1日～令和7年3月31日）公益社団法人富山県看護協会収支決算書について、財産の管理状況と業務執行状況の監査を令和7年5月12日に行った結果、財産管理並びに業務の執行については、正確且つ適正に処理されていることを認める。

## 公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正（案）

### 1 提案理由

公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「公益認定法」という。）の改正により、理事会や監事とその機能を発揮する上で、法人外部からの視点を取り入れることが重要であることから、公益認定基準として、

- ①「外部理事」「外部監事」各々1名以上の設置
- ②理事と監事との特別利害関係の排除

が要件とされた。

### 2 富山県看護協会の外部役員等に係る規定

#### ① 外部役員

現在、定款及び諸規程において、理事に就任できる者を正会員に限る旨の規定はないが、現理事は、全員、正会員から選任されており、会員外からの選任についての規定は設けられていない。

また、監事については、「監事のうち1名を会員外とする。」と既に規定されており、監事3名のうち外部役員1名を選任している。

#### ② 理事と監事との特別利害関係の排除

現在、定款において、役員構成として役員等の親族等割合の制限の規定はあるが、これとは別に、各理事の監事との特別利害関係を制限する新たな規定が必要となる。

### 3 改正内容

「公益社団法人富山県看護協会定款の一部改正（案）新旧対照表」

旧 (略)	新 (略)	備考
<p>(役員の設置)</p> <p>第22条 本会に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 20名以上25名以内</p> <p>(2) 監事 2名以上3名以内</p> <p>2 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。</p> <p>3 監事のうち1名を会員外とする。</p> <p>4 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。</p>	<p>(役員の設置)</p> <p>第22条 本会に、次の役員を置く。</p> <p>(1) 理事 20名以上25名以内</p> <p>(2) 監事 2名以上3名以内</p> <p>2 役員構成は次のとおりとする。</p> <p><u>(1) 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師、<u>会員外</u>（以下「外部理事」という。）から各1名以上を含むものとする。</u></p> <p><u>(2) 監事のうち1名以上を会員外（以下「外部監事」という。）とする。</u></p> <p>3 <u>前項第1号の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。</u></p> <p>4 <u>各理事について、各監事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第5条第12号に規定する特別利害関係を有しないものとする。</u></p> <p>5 <u>外部理事は次の全てを満たすものとする。</u></p> <p><u>(1) 本会の業務執行理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の業務執行理事又は使用人であったことがない者</u></p> <p><u>(2) 本会の正会員ではない者</u></p>	<p>・「外部理事・外部監事」各々1名以上の設置</p> <p>・理事と監事との特別利害関係の排除</p> <p>・外部理事・外部監事の要件</p>

旧	新	備考
<p>(略)</p> <p>(役員欠格事由) 第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。</p> <p>(1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者</p> <p>(2) 法人法第65条1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者</p> <p>(3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律(以下「認定法」という。)第6条に該当する者</p> <p>(4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者</p> <p>(略)</p>	<p>6 外部監事は次の全てを満たすものとする。</p> <p>(1) <u>本会の理事又は使用人ではなく、かつ、その就任前10年間に本会の理事又は使用人であったことがない者</u></p> <p>(2) <u>本会の正会員ではない者</u></p> <p>(略)</p> <p>(役員欠格事由) 第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。</p> <p>(1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者</p> <p>(2) 法人法第65条1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者</p> <p>(3) <u>認定法第6条に該当する者</u></p> <p>(4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者</p> <p>(略)</p> <p><u>附 則</u> この定款は、令和7年6月20日から施行し、<u>第22条第2項第1号の外部理事については、令和8年度改選役員</u>の選任に係る事項についてから適用する。</p>	<p>・用語の定義</p>

#### 4 施行期日

令和7年6月20日(総会で承認を受けた日)

#### 5 今後の予定

公益認定法の施行は令和7年4月1日だが、外部理事の設置については、猶予期間が設けられており、現任の理事、監事全員の改選が完了(令和8年6月通常総会)するまでに外部理事を設置すればよいことから、令和7年6月通常総会で定款について外部理事の設置等の所要の改正を行ったうえで、令和8年通常総会で外部理事を選任することとなる。

# 報 告 事 項

---

報告事項 1	令和 6 年度事業報告 .....	37
報告事項 2	令和 7 年度重点事業及び事業計画 .....	47
報告事項 3	令和 7 年度収支予算 .....	54





項目	実施状況	実績
2 認定看護管理者の育成	(5) 看護職員認知症対応力向上研修会(3日間) (6) 摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修 (1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 111時間	修了者 64名 参加者 39名 修了者 51名
3 実習指導者育成	(2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 (1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 (一般) 180時間 (2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会 (特定分野) 39時間	修了者 31名 修了者 39名 修了者 4名
4 看護師基礎教育4年制化を考える取り組み	(1) 臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育	参加者 39名
5 看護職の生涯学習支援	(1) 生涯学習支援をする機関として研修計画における理念、目的、目標の見直し (2) 「看護管理者が求める生涯学習支援のための研修」についてアンケートを実施 アンケート結果を活用し2025年度研修計画を作成	
6 特定行為研修制度の推進	(3) 看護師のまなびサポートブックの周知・配布 (1) 指定研修機関連絡会の開催 (富山県医務課主催) 令和7年1月30日(木)	出席者 20名
7 統括保健師の統括マネジメント力強化に関する取り組み	3-3に記載	

## 2 学術研究の振興に関する事業(公益目的事業)

項目	実施状況	実績
2-1 富山県看護研究学会	1 第34回富山県看護研究学会 令和6年12月21日(土) オーバード・ホール中ホール	学会委員会 参加者総数 574名
2-2 図書室運営に関する事業	1 図書室機能の充実 (1) 看護専門図書・雑誌・資料等の購入	新刊図書購入、定期購読図書製本 (新刊書籍61冊、年間購読雑誌 20冊、蔵書数6,299冊) 利用者数(延べ) 160名

## 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業(公益目的事業)

項目	実施状況	実績
3-1 医療安全に関する事業		
1 医療安全対策研修等	(1) 医療安全対策研修 楽しく学ぼうKYT・チームSTEPPS 令和6年7月12日(金)、10月11日(金) (2) 医療安全管理者・推進者のためのセーフティ マネジメント 令和6年11月11日(月) (3) 医療事故調査制度に関すること ア 医療事故調査制度支援団体の登録及び専門家の推薦 イ 県内における専門家の派遣	医療安全委員会 修了者 91名 修了者 25名 日本看護協会へ推薦 1名 派遣要請なし
3-2 准看護師から看護師への支援事業	(1) 准看護師の進学支援(養成所2年課程(通信制)の情報提供) 准看護師キャリア研修 令和6年9月7日(土)	参加者 8名
3-3 看護業務及び制度に関する政策提言		
1 職能委員会活動	(1) 日本看護協会職能委員会との連携 ア 日本看護協会通常総会/全国職能別交流集会 通常総会 令和6年6月6日(木) 東京都 東京国際フォーラム 職能別交流集会 同 6月7日(金) 同上	

項目	実施状況	実績
(2) 保健師職能委員会	イ 全国職能委員長会議への出席 令和6年8月2日(金) 東京都 TKP新橋カンファレンスセンター 令和7年3月7日(金) 東京都 TKP新橋カンファレンスセンター	出席者 高野あずさ (保) 炭田恵 (助) 小倉里美 (看Ⅰ) 小原留美 (看Ⅱ) 出席者 若杉央 (保) 炭田恵 (助) 小倉里美 (看Ⅰ) 小原留美 (看Ⅱ)
	ウ 東海北陸地区職能委員長会議への出席 令和6年10月8日(火) 岐阜県 都ホテル岐阜長良川	出席者 若杉央 (保) 炭田恵 (助) 小倉里美 (看Ⅰ) 小原留美 (看Ⅱ)
	(2) 保健師職能委員会 (開催回数7回 (研修会2回含まず))	
	ア 保健師・助産師交流会 令和6年8月26日(月) テーマ「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」の役割と看護職の活動	参加者 21名
	イ 統括保健師の育成と今後の方策 (再掲) 令和6年10月15日(火) シンポジウム「統括保健師育成の現状と今後の方策を考える」	参加者 32名
	ウ 統括保健師に関する調査	統括保健師 20名、市町村保健師 411名
	エ 日本看護協会保健師職能委員会への出席 (別記)	2回
	(3) 助産師職能委員会 (開催回数8回 (研修会2回含まず))	
	ア 研修会の開催 (ア) 産前産後のこころに寄り添う 令和6年11月26日(火) (イ) 分娩施設における災害対策研修 (再掲) 令和6年9月7日(土)	参加者 51名 参加者 30名
	イ 保健師・助産師交流会 (再掲) テーマ「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」の役割と看護職の活動	参加者 21名
ウ 出前講座「いのちの教室」フロー図作成		
エ 「いのちの教室」への出講	11回 (10校)	
オ 日本看護協会助産師職能委員会への出席 (別記)	2回	
(4) 看護師職能委員会Ⅰ (開催回数8回 (研修会・交流会は含まず))		
ア 外来における在宅療養支援能力向上のための研修 令和6年12月20日(金)	参加者 47名	
イ 准看護師キャリア研修 令和6年9月7日(土) テーマ 准看護師の資質の向上とキャリア支援	参加者 8名	
ウ 看護職員資質向上実務研修の企画・運営	2回 84名	
エ 日本看護協会看護師職能委員会への出席 (別記)	2回	
(5) 看護師職能委員会Ⅱ (開催回数8回 (開催回数8回 (研修会2回含まず))		
ア 研修会・交流会開催 看護職員資質向上実務研修の企画・運営	1回 参加者 31名	
イ 看護師職能Ⅱ (介護・福祉・在宅領域) の研修 令和6年11月13日(水) 介護・福祉・在宅領域における特定行為研修の実践を学ぶ 第二弾	参加者 24名	
ウ 在宅ケア事例検討会	4地区6か所	
エ 各職種の情報連携強化のための共通患者情報用紙試案の作成 入院から施設・在宅における患者情報共有シートを作成		
オ 日本看護協会看護師職能委員長会への出席 (別記)	2回	
2 行政・関係団体等からの委員委嘱	各委員への就任	資料参照

4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上に関する事業（公益目的事業）

項目	実施内容	実績
<p>4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業 富山県ナースセンター事業 1 看護師等就労促進事業</p>	<p>(1) 就労相談事業 ア 無料職業紹介所の運営 イ eナースセンターの登録・管理  ウ 就業相談  エ 移動就業相談 介護職場の就職説明会（5/22、9/25、11/27、2/26） オ 病院等訪問 カ 就職ガイダンス 県内病院就職ガイダンス 令和6年12月24日（火） オーバード・ホール 中ホール  (2) 看護職員就業支援事業 ア ハローワーク（7ヶ所）への就業支援専門員の派遣（各月1回） イ ナースセンターサテライト（新川）の運営（月1回） ウ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携  エ 会議等 （ア） 連絡調整会議 令和6年12月3日（火）  （イ） 医療機関へのあっせん強化（就職ガイダンス） オ 広報 就業相談ちらし作成と配布 (3) 看護師等免許保持者届出事業 ア 届出情報の登録・管理 イ 求職登録の促進 ウ 情報提供、周知活動 (4) 潜在看護職員把握調査 登録看護職員就業希望条件等の調査 令和6年8月19日（月） (5) 看護職員再就業支援研修 ア 定期研修（4回 6/4、7/2、8/6、9/3） イ 病院実習 ウ 技術チェック研修 エ eラーニングを活用した復職支援研修 (6) 看護職員・看護大学生Uターン促進事業 富山の看護職員募集案内冊子の作成、 ホームページ掲載 (7) 看護師等養成機関共同PR事業 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、 配布、ホームページ掲載</p>	<p>求人登録数 5,614人 求職登録数 2,087人 有効求人倍率 2.7倍 就職者数 213人 相談件数（看護職） 6,264件 相談件数（看護職以外） 9件  相談件数 8件 訪問先 5施設  参加者 125名 参加施設 44施設  相談件数 131件 相談件数 3件 新規登録 求人数 620人 新規登録 事業所数 212事業所 新規登録 求職者数 222人 連携事業対象 求人数 680人（31人） 連携事業対象 求職者数 67人（31人） 連携事業対象 就職者数 34人（9人） （ ）はナースセンター実績  年1回、参加者15名 就業支援専門員・就職アドバイザー、 労働局・ハローワーク担当者等含む 連携先 わかものハローワーク 発行枚数 1,500枚  届出人数 253人 うち、eナースセンター登録希望人数 75人 うち、eナースセンター登録人数 28人  対象：eナースセンター登録者 182名  受講者（延人数）52名 受講者 0名 受講者 13名 受講者 26名  掲載施設 51施設  掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,200部</p>

項目	実施内容	実績
2 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業	(8) 看護学生就労啓発事業 看護師等学校・養成所で出向講義	富山福祉短期大学 (10/2) 79人 富山県立大学 (12/23) 93人 富山市医師会看護専門学校 (2/19) 31人 富山市立看護専門学校 (2/27) 35人
	(9) 広報活動	
	ア TOYAMAナースセンターニュース(看護とやま) 発行	年4回(4月、7月、10月、1月)
	イ 新聞・タブロイド情報紙広告	年5回(7/5、7/8、8/11、11/20、12/10)
	(10) ナースセンター事業運営委員会	
	ア ナースセンター事業運営委員会 令和7年2月7日(金)	年1回、委員15名
	イ 事業実績報告の作成・配布	発行部数 250部
	(11) ナースセンターデジタル化事業	ホームページの制作 (令和7年4月公開)
	(1) 個別病院支援	1年目:野村病院 2年目:富山県済生会富山病院 栗山病院 3年目:黒部市民病院
	(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和6年12月11日(水)	参加者 42名 共催 社会経済福祉委員会
	(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 令和6年5月31日(金)	年1回、委員10名
3 看護職員定着支援事業	(1) 看護職員等からの体験談 募集・表彰 募集期間 令和5年12月12日～令和6年1月26日 表彰式 令和6年5月11日(土)	応募数 89編 表彰 最優秀賞1名、優秀賞2名、特別賞4名
(2) 看護職員定着支援事業研修会 令和6年8月9日(金)	参加者 37名 共催 社会経済福祉委員会	
4 看護補助者の確保・定着推進事業	(1) 看護補助者「お仕事説明会&体験会」開催 (2) 「ナースセンターによる看護補助者の就業に向けた研修」実施	実施6施設 参加者18名 受講者14名
5 地域に必要な看護職確保事業	(1) サンフォルテ フェスティバル 令和6年6月22日～7月20日 「看護職の紹介」展示・HP紹介 (2) 「とやまおしごと図鑑」への掲載(看護師のお仕事紹介)	協力病院 富山市立富山市民病院 配布先 県内すべての小学5年生

## 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業(公益目的事業)

項目	実施状況	実績
5-1 訪問看護支援事業 富山県訪問看護訪問看護相談支援センター事業	(1) 訪問看護相談窓口(コールセンター) (2) 訪問看護の普及啓発等(県内6公的病院ほか)	相談数 延575件 啓発(8回・参加者28人)、 イベント(1回)、出前講座(2回)
1 訪問看護支援強化事業	(3) 訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣 令和6年10月31日(木) オンライン指導、訪問看護総合支援センターによる中間面談 フォローアップ(3か月後)指導 イ 小児医療対応力向上技術研修会 (講義・演習・実習・同行訪問 計3日間) 令和6年10月3日、17日、22日 又は23日、10月24～11月13日のうち半日 (会場:富山県立中央病院、訪問看護ステーションまますた) ウ 専門性の高い看護師による地域支援 エ 事業報告会 令和7年3月15日(土)	参加施設 4施設  参加者 延39名 (1日目12名、2日目13名、 3日目7名、4日目7名) 会議6回 参加者 延31名 参加者 76名

項目	実施状況	実績
2 訪問看護師人材確保事業	オ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会の支援 総会、役員会（8回）、研修会（2回）等 カ ホームヘルパー研修会への講師派遣 (1) 新卒訪問看護師の育成	事務局 5名派遣（5会場）受講者延58人 富山県済生会高岡病院、済生会高岡 訪問看護ステーション（新卒2名）
	ア 富山県新卒訪問看護師育成試行事業 イ 富山県新卒訪問看護師育成検討会の開催（2回）	委員11名 令和6年5月29日(水)、 令和7年2月18日(火)
	ウ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの作成・周知 エ 新卒・新任訪問看護師就業調査及び事業所訪問 (2) 訪問看護インターンシップ 令和6年8月20日(火)～令和6年8月27日(火) 訪問看護ステーション5ヶ所で実施 (学生1人あたり1日)	令和6年6月完成 4事業所訪問 参加者 看護学生12名 (看護学校5校から参加)
3 訪問看護師人材育成事業	(3) 訪問看護キャリア支援セミナー 令和6年7月30日(火)、令和6年11月12日(火)	2回 受講者 第1回9名 第2回12名
	(1) 「訪問看護eラーニング」を活用した 訪問看護師養成講習会 令和6年6月28日(金)～12月6日(金)	受講者 15名(修了者13名)
	(2) 訪問看護従事者等研修会 令和6年11月1日(金)	受講者 16名
4 訪問看護災害時等支援 体制推進事業	(3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会 令和6年7月6日(土)	受講者 35名
	(1) 災害時等の相互支援体制の構築・見直し ア 医療圏ごとの応援体制の構築と調査 イ 富山県内訪問看護ステーションにおける災 害時等の連絡体制の作成	
	5 訪問看護ステーション サポート事業	(1) 医療圏毎に5ステーションを指定し、研修 会や相談等に対応 朝日町、光風会、済生会富山、砺波市、 厚生連高岡 (2) 連絡会議（2回開催） 令和6年6月25日(火)、令和7年2月25日(火)
6 訪問看護・医療機関 相互研修事業	(1) 病院看護師出向研修事業 ア 出向元（富山県立中央病院） 出向先（訪問看護ステーションひよどり富山） 出向期間（令和7年1月1日～3月31日：3カ月間）	1名
	(2) 病院看護師の研修受入事業 ア 派遣元（富山大学附属病院） 研修先（富山赤十字訪問看護ステーション） 研修期間 (令和6年10月7日～10月18日、11月11日～11月22日：19日間)	1名
	(3) 訪問看護師スキルアップ研修事業 5病院で実施（あさひ総合病院、富山大学附属病院、 かみいち総合病院、高岡市民病院、北陸病院）	受講者 延35名
7 訪問看護推進事業	(1) 在宅ケアアドバイザー派遣事業(在宅ケア事例検討会) 各圏域に分かれて6回開催 (2) 医療機関看護師の訪問看護ステーション研修	参加者 延228名、アドバイザー 12名 受入れステーション5か所、参加者 10名
8 医療的ケア児等訪問 看護体制整備事業	(1) 2か所の訪問看護ステーションによる訪問 看護の実施 (2) 訪問看護事業所、医療機関、市町村等からの相談対応	参加事業所：4事業所、対象児：2名、 22回（1回30分）実施 相談件数 22件
	5-2 富山県看護協会訪問 看護ステーションの 活動の推進	1 訪問看護ステーションひよどりの活動 (1) 実動日数 (2) 訪問延回数 (3) 職員体制

項目	実施状況	実績
5-3 地域包括ケアシステム における活動の推進	(4) 訪問看護実習及び研修受け入れ ア 学生指導 イ 看護師・ケアマネジャー研修	2校 4名 5名
	2 訪問看護ステーションひよどり富山の活動	
	(1) 実動日数	243日/年 月平均20.3日
	(2) 訪問延回数	2,242回/年 月平均187.0回
	(3) 職員体制	常勤換算3.6人
	(4) 訪問看護実習及び研修受け入れ ア 学生指導 イ 看護師・ケアマネジャー研修	4校 19名 13名
	1 ひよどり富山居宅介護支援事業所の活動	
	(1) ケアマネジメント	677件/年
	(2) 認定調査	44件/年
	(3) 満足度調査	対象人数40名 回答者数30名
	2 神明・五福地域包括支援センターの活動	
	(1) 一般介護予防事業 ア 実態把握 イ 介護予防地域説明会など ウ ふれあいサークル、住民主体型サービス活動支援など	226件 31回 40回
	(2) 介護予防・生活支援サービス事業 ア 介護予防教室	13回
	(3) 包括的支援事業 ア 総合相談 イ 地域ケア会議など関係機関との連携	3,983件 31回
	(4) 認知症高齢者見守り支援事業 ア 認知症地域説明会など	15回
(5) 指定介護予防支援事業 ア 介護予防ケアマネジメント	1,697件	

## 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

項目	実施状況	実績
6-1 新興感染症及び災害発生時看護支援活動の推進		
1 新興感染症まん延に備えた体制整備	(1) 医療措置協定の継続 (2) 衛生物品等保管倉庫の修繕 (3) I H E A T要員の募集（県事業への協力）	
2 災害支援ナースに関する事業	(1) 災害支援ナース養成研修・登録 [災害] 令和6年10月30日(水) [感染] 令和6年11月14日(木) (2) 日本看護協会との災害支援ナースの派遣に関する協定締結 (3) 災害支援ナースの派遣調整実務に関する県との協議	修了者・登録者 78名 令和7年2月1日付け
3 分娩施設における災害対策	(1) 分娩施設における災害対策研修（再掲） 令和6年9月7日(土)	助産師職能委員会 参加者 30名
4 防災訓練等	(1) 県が行う各訓練へ参加 ア 富山県総合防災訓練 朝日町立さみさと小学校 令和6年9月29日(日) イ 原子力災害訓練 氷見運動公園 令和6年11月24日(日)	災害委員 2名 災害委員 2名
5 事業継続計画(BCP)の策定	(1) 富山県看護協会事業継続計画(BCP)及び災害対策マニュアルの策定	

項目	実施状況	実績
<b>6-2県民の健康の増進・啓発に関する事業</b> 1 看護の心普及啓発事業 ※看護の日 5月12日	(1) 看護の日記念事業 ア 第34回「看護の日」看護フェスティバル 令和6年5月11日(土) 富山県高岡看護専門学校 イ ふれあい看護体験 (2) 高校生の一日看護見学 令和6年7月1日(月)～7月12日(金) (3) 看護普及推進事業(看護体験学習)	参加者 小中高生 41名 保護者 27名 参加者 約2,200人 協力病院 28病院 参加者 40校 632名 協力病院 23病院 参加者 573人 実施看護師等学校・養成所 5校
<b>6-3支部活動の推進</b>	(1) 各支部における活動 ア 地域のニーズに応じた看護活動 イ 支部研修会 ウ 「まちの保健室」事業 エ 「看護の日」及び看護週間における事業 オ フレイル予防に関すること (2) 支部長会	健康維持増進、介護予防の啓発、小規模介護施設への支援・指導等 参加者約360人 13会場 参加者約1,340人 小学校・中学校・高等学校等での出前講座 受講者約740人 YouTube動画配信・出前講座・フレイルチェック等 参加者約1,400人・動画視聴者600人以上 2回(9月9日、12月9日)
<b>6-4地域における看護職のネットワーク強化事業</b>	1 看護政策のための組織強化事業(総務委員会) (1) <u>看護専門学校訪問</u>	看護専門学校訪問 5校 (うち高等学校 1校)
<b>6-5広報活動</b> 1 看護職及び県民等への広報	(1) 機関誌「看護とやま」の発行・配布 年4回発行(4月、7月、10月、1月 第151号～154号) (2) ホームページの内容充実、最新情報の掲載 (3) 第34回看護の日「看護フェスティバル」(再掲) 令和6年5月11日(土) 富山県高岡看護専門学校 (4) 県医師会報、自治体広報等での情報提供 (5) マスコミ(新聞等)を通じた広報活動 5月12日「看護の日」「看護週間」の広報ほか	37,200部発行/年 参加者 小中高生 41人 保護者 27人
<b>6-6法人管理に関する事業</b> 1 組織の運営に関する事業	公益社団法人としての円滑な組織運営 (1) 定時総会 1回 令和6年6月15日(土) 富山県民共生センターサンフォルテ (2) 理事会 8回 4月、5月、6月、8月、10月、12月、1月、3月 (3) 職能集会 1回(定時総会同日) 保健師職能集会 助産師職能集会 看護師職能集会 (4) 職能委員会:保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ (5) 委員会:総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦委員会 (6) 合同委員会 令和6年6月19日(水) (7) 合同支部役員会 同上 (8) 会員支援の充実 ア 表彰 イ 各受賞候補者の推薦	総会参加者 237名 委任数 7,093名 参加者 33名 参加者 18名 参加者 106名 委員会回数 計29回 委員会回数 計77回 富山県看護協会会長表彰 10名 叙勲 富山県部門功勞表彰 日本看護協会会長表彰 他

項目	実施状況	実績										
2 組織の管理及び強化 拡大に向けた活動	ウ 公益社団法人日本看護協会名誉会員の推薦	令和6年度日本看護協会通常総会において承認 1名(三谷順子さん)										
	エ 会員への福利厚生(優待など)	スポーツ観戦の優待など										
	オ 慶弔											
	(ア) 慶事	叙勲者への祝電(春 1名、秋 2名)										
	(イ) 各種見舞(災害等)の支給	災害見舞金 6名										
	(ウ) 弔慰	物故会員への弔慰 2名										
	(9) 職員の人事管理・労務管理の充実											
	(1) 会員募集及び入会の促進(看護専門学校への広報活動等)											
	(2) 会員登録											
	ア 新規・継続会員の受付と日本看護協会会員管理システム(ナースシップシステム)の運用・管理	<table border="1"> <tr> <td colspan="2">総数 8,916名(R7.3月末)</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">内 訳</td> <td>保健師</td> <td>505名</td> </tr> <tr> <td>助産師</td> <td>402名</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>7,932名</td> </tr> <tr> <td>准看護師</td> <td>77名</td> </tr> </table>	総数 8,916名(R7.3月末)		内 訳	保健師	505名	助産師	402名	看護師	7,932名	准看護師
総数 8,916名(R7.3月末)												
内 訳	保健師	505名										
	助産師	402名										
	看護師	7,932名										
	准看護師	77名										
イ 会員証の送付 令和6年度末会員数 8,885名(令和7年3月末)												
ウ 会員情報管理												
エ キャリナースの活用												
6-7 渉外活動												
1 富山県・関係団体・審議会等への委員派遣	(1) 構成団体の一員としての活動・提言 (2) 関係機関・団体の会議への参画・情報交換 (3) 後援・推薦等依頼への協力	資料参照 資料参照										
2 自治体への要望提出	(1) 富山県への要望書提出(令和7年度事業要望)	令和6年8月29日(木)										
3 関係団体との連携	(1) 医師会、歯科医師会、薬剤師会等 (2) 県訪問看護ステーション連絡協議会、看護師養成機関、大学等 (3) コメディカル・介護保険関係団体等											
6-8 日本看護協会との連携												
1 組織運営への協力	(1) 日本看護協会理事会・法人会員会への出席 ア 理事会 年6回 イ 法人会員会 年4回、 ウ 地区別法人会員会(岐阜県 都ホテル岐阜長良川) 令和6年10月7日(月)~8日(火)	出席者 岡本里美(会長) 出席者 岡本里美(会長) 出席者 岡本里美(会長)、 吉田智子(専務理事)										
	(2) 日本看護協会通常総会代議員出席 令和6年6月6日(木) 東京都 東京国際フォーラム	9名										
	(3) 日本看護協会代議員等の選出と代議員活動の支援 ア 県看護協会定時総会での日本看護協会代議員等の選出 イ 日本看護協会代議員研修 令和6年5月20日(月)											
	(4) 全国職能別交流集会 令和6年6月7日(金) 東京都 東京国際フォーラム											
	(5) 日本看護協会全国職能委員長会2回、 地区別職能委員長会1回	全国: 令和6年8月2日(金)、 令和7年3月7日(金) 地区別(岐阜県): 令和6年10月8日(火) 出席者 若杉央(保) 炭田恵(助) 小倉里美(看I) 小原留美(看II)										
	(6) その他の会議等 ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議 令和6年7月18日(木) 日本看護協会 イ ナースセンター事業担当者会議 令和6年5月21日(火) Web会議 ウ 都道府県看護協会会員情報管理情報交換会 令和6年7月4日(木) エ 都道府県看護協会教育担当者会議 令和6年8月8日(木) 日本看護協会	出席者 境 信子(ナースセンター長) 出席者 境 信子(ナースセンター長) 出席者 田村楨哉(職員) 出席者 藤井淳子(常任理事)										

項目	実施状況	実績
<p>6-9 看護研修センターの 管理・運営</p>	オ 都道府県看護協会政策責任者会議 令和6年9月19日(木) 日本看護協会	出席者 岡本里美(会長) 吉田智子(専務理事)
	カ 公益法人に関する勉強会 令和6年9月27日(金) 日本看護協会	出席者 大川昌宏(事務局長)
	キ 都道府県看護協会広報担当役員会議 令和6年11月7日(木) Web会議	出席者 吉田智子(専務理事) 境 信子(ナースセンター長)
	ク 訪問看護サミット 令和6年11月30日(土)	出席者 岡本里美(会長)、中嶋育美(HTC長) 廣田恭子(ひよどり富山管理者)
	ケ 都道府県看護協会都道府県訪問看護連絡協議会合同会議 令和6年11月14日(木) Web会議	出席者 岡本里美(会長)、吉田智子(専務理事) 中嶋育美(HTC長) 他
	コ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議 令和6年12月19日(木) Web会議	出席者 岡本里美(会長)、吉田智子(専務理事) 藤井淳子(常任理事)
	サ 全国看護基礎教育担当役員会議 令和7年2月4日(火) Web会議	出席者 大川昌宏(事務局長) 他担当職員 岡本里美(会長)、吉田智子(専務理事) 藤井淳子(常任理事)
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 建物設備・駐車場管理、警備、清掃、防災</li> <li>2 保守修繕</li> <li>3 地域活動(町内会等への協力、連携) 子ども110番の家等</li> </ol>		

## 令和7年度 重点事業・事業計画

国においては、人口・疾病構造を見据えた社会保障制度改革や医療制度改革が進められている。また、次なる感染症の危機、震災や気候変動による気象災害等に万全を期すため、健康危機管理体制の強化をはじめ、即応可能な体制整備が急がれている。

今後も続く超高齢社会にあっては、医療の機能分化と連携の推進、医療・介護人材の確保・育成、デジタル技術に対応した改革等を進める必要があり、看護にもより一層の柔軟な変革・対応が求められる。また、今後は、治療や療養の場が地域へシフトすることが加速し、訪問看護におけるICTの活用や特定行為研修修了者等の活躍推進、看護小規模多機能型居宅介護（看多機）の機能強化・普及促進など、地域においても看護がその専門性を発揮していく必要性が示唆されている。

看護職は、平時はもちろん、感染症蔓延時や大規模災害発生時等の最前線でその対応にあたることに変わりなく、看護職の安全と安心を守り、適切な労働環境の恒常的な確保をさらに推進する必要がある。

本会では、これらの任務・使命を果たすため、日本看護協会と連携し、本会の3つの使命「看護の質の向上」、「看護職が安心して働き続けられる環境づくりの推進」、「人々のニーズに応える看護領域の開発・展開」に則り、時時刻刻のニーズに即応した事業を展開していく。

現下の課題として、看護職が活躍する各領域における看護機能の強化と看護職員の確保、また、看護職のライフステージ等に対応した多様で柔軟な働き方の推進、さらに、看護職としてのキャリア継続を支援する環境の整備、そして、能登半島地震等を教訓とした災害への対応など、課題は多岐にわたる。

このため令和7年度は、次の4つの施策を柱とした16の重点事業に取り組む。

### 【重点事業】

- 1 全世代の健康を支える看護提供体制の推進
  - (1) 地域における看護職の連携強化
  - (2) 訪問看護・看多機の提供体制強化
  - (3) 母子のための地域包括ケア推進
  - (4) 保健師・助産師・看護師の活躍推進
- 2 看護職のキャリア継続支援
  - (1) 多様で柔軟な働き方の推進
  - (2) 夜勤交代制勤務における負担軽減
  - (3) 看護の専門性に資するタスクシフト・シェアの推進
  - (4) ハラスメント対応の強化
- 3 専門職の人材育成と役割拡大
  - (1) 看護職の生涯学習支援体制の構築
  - (2) 統括保健師の育成・活躍推進
  - (3) 特定行為研修修了者の活動推進
  - (4) 訪問看護・介護領域で活躍できる看護職の人材育成
- 4 感染症拡大及び災害発生時看護支援活動の推進
  - (1) 災害支援ナース（災害・新興感染症対応）の養成・フォローアップ
  - (2) 新興感染症拡大及び災害発生時の派遣調整に備えた体制整備
  - (3) 平時における災害等発生時の看護支援活動に向けての準備
  - (4) 本会BCP（業務継続計画）の検証

## 令和7年度 事業計画

本会は、公衆衛生の向上を目的とした公益目的事業並びに、その公益目的事業の推進に資するための収益事業を日本看護協会と連携し、次のとおり行う。

○事業計画は、定款第5条の6事業に沿って掲載

- 1 教育等看護の質の向上に関する事業
- 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- 5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- 6 その他本会の目的を達成するために必要な事業

### 1 教育等看護の質の向上に関する事業（公益目的事業）

・ 下線は新規事業

実 施 内 容	
<p>1-1 生涯学習支援に関する事業</p> <p>1 <u>富山県看護協会「生涯学習支援に係る各施設の研修実施状況の調査・分析」</u></p> <p>2 研修計画の企画・実施・評価</p> <p>(1) 令和7年度研修計画の広報・実施・評価</p> <p>ア 77研修（うち6研修は令和6年度調査結果より要望が多かったテーマから新規に企画）</p> <p>イ 研修実施の評価を研修後アンケートにて実施</p> <p>ウ 広報：「研修計画冊子」、「看護とやま」、「ホームページ」等</p> <p>(2) 研修分類</p> <p>ア 新人研修</p> <p>イ 専門性を深める研修</p> <p>ウ 教育・研究</p> <p>エ 看護管理</p> <p>オ 在宅・地域医療を推進する研修</p> <p>カ 看護職定着・再就業支援に関する研修</p> <p>キ 職能別キャリア研修</p> <p>ク 日本看護協会主催または診療報酬に関する研修</p> <p>ケ 支部研修</p> <p>3 認定看護管理者の育成</p> <p>(1) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル 108時間 定員50人</p> <p>(2) 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 180時間 定員25人</p> <p>4 実習指導者育成</p> <p>(1) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（一般） 180時間 定員40人</p> <p>(2) 保健師助産師看護師等実習指導者講習会（特定分野） 39時間 定員8人</p> <p>1-2 看護師基礎教育4年制化を考える取り組み</p>	<p>・ <u>教育委員会との協働</u></p> <p>・ 令和7年度研修計画に掲載</p> <p>・ 認定看護管理者教育課程教育運営委員会（年4回開催）</p>

## 2 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
2-1 富山県看護研究学会の開催	・令和7年12月20日(土) オーバードホール中ホール
2-2 図書室運営に関する事業	

## 3 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
<p>3-1 医療・安全に関する事業</p> <p>1 医療安全対策研修</p> <p>2 医療事故調査等制度に関すること</p> <p>(1) 支援団体として登録</p> <p>(2) 院内事故調査に関わる専門家の推薦及び派遣</p> <p>3-2 専門・認定看護師、特定行為研修修了者の活用を推進するための取り組み</p> <p>ア 特定行為研修修了者の活動推進</p> <p>イ 専門性の高い看護師等による地域支援の強化</p> <p>3-3 准看護師から看護師への支援事業</p> <p>1 准看護師の進学支援研修（准看護師の生涯学習支援）</p> <p>2 准看護学生への進学支援</p> <p>3-4 看護業務及び制度に関する政策提言</p> <p>1 職能委員会活動（保健師、助産師、看護師Ⅰ、看護師Ⅱ）</p> <p>2 委員会活動（総務、教育、広報、社会経済福祉、看護倫理、医療安全、災害看護、学会、選挙管理、推薦）</p> <p>3 行政・関係団体等からの委員委嘱</p> <p>3-5 母子のための地域包括ケア推進</p>	<p>・指定研修機関連絡会（県医務課）等</p> <p>・令和7年9月11日(木)</p> <p>・准看護学生への講義</p>

## 4 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業（公益目的事業）

実施内容	
<p>4-1 働きやすい労働環境づくり支援事業</p> <p>1 看護師等就労促進事業</p> <p>(1) 就労相談事業</p> <p>ア 無料職業紹介所の運営</p> <p>イ eナースセンターの登録と管理</p> <p>ウ 就業相談（対面・電話・オンライン）</p> <p>エ 移動就業相談（介護職場の就職説明会）</p> <p>オ 病院等訪問</p> <p>(2) 看護職員就業支援事業</p> <p>ア ハローワークへの就業支援専門員の派遣</p> <p>イ ハローワークとの連携（富山・高岡・魚津）</p> <p>ウ 会議等</p> <p>エ 広報</p> <p>(3) 看護師等免許保持者届出事業</p> <p>ア 届出情報の登録・管理</p> <p>イ 求職登録の促進</p> <p>ウ 情報提供・周知活動</p> <p>(4) 潜在看護職員把握調査</p> <p>(5) 看護職員再就業支援研修</p> <p>ア 定期研修</p>	<p>・年4回</p> <p>・令和7年8月</p> <p>・令和7年6月3日、7月1日、8月5日、9月2日</p>

実 施 内 容	
イ 病院実習 ウ 技術チェック研修 エ eラーニングを活用した復職支援研修 (6) 看護師等養成機関共同PR事業 (7) 看護学生就労啓発事業 (8) 広報活動 ア TOYAMAナースセンターニュース (看護とやま) 発行 イ 新聞(タブロイド紙) 広告 ウ ホームページ運用 (9) ナースセンター事業運営委員会 ア ナースセンター事業運営委員会 イ 事業実績報告 作成・配布 (10) デジタル改革関連法による「看護職の人材活用システム」の周知 2 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業 (1) 個別病院支援 (2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 (3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会 3 看護職員定着支援事業 (1) 看護職の体験談 表彰 (2) 看護職員定着支援事業シンポジウム 4 看護補助者確保・定着推進事業 (タスクシフト・シェアの推進) 4-2 ハラスメント対策 1 利用者家族からのハラスメント対策研修(看護師職能Ⅱ) 2 職場におけるハラスメント対策研修	・随時 ・随時 ・随時 ・ガイドブックの作成 ・年4回発行(4月、7月、10月、1月) ・年3回 ・令和8年2月 ・NCCSと看護職キャリアデータベースとの情報連携に関する周知 ・令和7年12月10日(水) ・ <u>看護職の勤務環境改善(多様で柔軟な働き方の導入促進、夜勤交代制勤務における負担軽減)</u> ・令和7年6月20日(金) ・令和7年8月6日(水) ・無料職業紹介実施に向けた準備、周知など ・看護補助者の業務説明会、施設見学会、体験会開催 ・令和7年7月26日(土) ・令和7年8月22日(金)

5 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業(公益目的事業)

実 施 内 容	
5-1 訪問看護支援事業(富山県訪問看護総合支援センター事業) 1 訪問看護支援強化事業 (1) 訪問看護相談窓口 (2) 訪問看護の普及啓発 (3) 訪問看護の機能強化 ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣 イ 小児医療対応力向上技術研修会 ウ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会等との連携・支援 2 訪問看護師人材確保事業 (1) 訪問看護インターンシップ (2) 訪問看護キャリア支援セミナー (3) 新卒訪問看護師の育成 ア 富山県新卒訪問看護師育成検討会 イ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの周知・活用推進 3 訪問看護師人材育成事業 (1) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 (2) 訪問看護従事者等研修会 (3) 訪問看護ステーション管理者育成研修会	・令和7年11月11日(火) ・令和7年6月18日(水)~12月17日(水) ・令和7年11月12日(水) ・令和7年9月27日(土)

実施内容	
4 訪問看護災害時等支援体制推進事業 5 訪問看護ステーションサポート事業 6 訪問看護・医療機関相互研修事業 (1) 病院看護師出向研修事業 (2) 病院看護師の研修受入事業 (3) 訪問看護師スキルアップ研修事業 7 訪問看護推進事業 (1) 在宅ケアアドバイザー派遣事業 (在宅ケア事例検討会) (2) 医療機関の看護師の訪問看護研修 8 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業  <b>5-2 訪問看護・看多機の提供体制強化</b>  <b>5-3 訪問看護ステーション活動の推進</b> 1 訪問看護ステーションひよどり 2 訪問看護ステーションひよどり富山 (1) 訪問看護活動 (2) 他機関連携 (3) 訪問看護実習等の受入れ  <b>5-4 地域包括システムにおける活動の推進</b> 1 ひよどり富山居宅介護支援事業所 (1) ケアマネジメント (2) 認定調査 (3) 総合相談 2 神明・五福地域包括支援センター (1) 一般介護予防事業 (2) 介護予防・生活支援サービス事業 (3) 包括的支援事業 (4) 認知症高齢者見守り支援事業 (5) 指定介護予防支援事業	・サポートステーション（県内5か所）  ・令和7年8月～9月 4圏域4会場 ・令和7年7月～9月

6 その他本会の目的を達成するために必要な事業（公益目的事業）

実施内容	
<b>6-1 感染症に関する事業</b> 1 新興感染症の発生・まん延時に備えた体制整備 (1) 災害支援ナースの養成・登録・派遣体制の整備 (2) <u>IHEAT要員の人材確保・育成</u> (3) 医療措置協定の締結・推進  <b>6-2 災害時の看護支援活動に関する事業</b> 1 災害に備えた体制整備 (1) 災害支援ナースの派遣体制整備・訓練 (2) <u>災害支援ナース養成・登録・リスト管理・フォローアップ</u> (3) <u>災害支援ナースポケットマニュアルの改定</u> 2 防災訓練等 (1) 災害支援ナース派遣調整合同訓練（日本看護協会等） (2) 富山県総合防災訓練 (3) 富山県原子力防災訓練 3 <u>災害発生時対応体制の整備</u> <u>富山県看護協会事業継続計画（BCP）及び災害対策マ</u> <u>ニュアルの運用・検証</u>	・ <u>IHEAT要員の募集、名簿管理、人材育成</u>  ・集合研修 （災害10月21日（火）、感染11月14日（金））  ・未定 ・令和7年8月予定 ・令和7年11月予定

実 施 内 容

6-3 県民の健康の増進・啓発に関する事業

1 看護の心普及啓発事業（※看護の日「5月12日」）

- (1) 看護の日記念事業  
ア とやま看護フェスタ2025

イ ふれあい看護体験

ウ 出前講座

- (2) 高校生の一日看護見学  
(3) 看護普及推進事業（看護体験学習）

・令和7年8月2日(土)  
富山医療福祉専門学校

・令和7年7月7日(月)～7月18日(金)

6-4 支部における看護職の連携強化

1 支部活動（県内6支部）

- (1) 地域のニーズに応じた看護活動  
(2) 研修会  
(3) まちの保健室  
(4) 「看護の日」及び看護週間における事業  
(5) フレイル予防活動

6-5 地域における看護職のネットワーク強化事業

1 地域における看護職ネットワーク強化事業

- (1) 施設訪問  
(2) 出前講座

2 自治体保健師と地域の看護職の連携・協働

3 統括保健師の活躍推進

6-6 広報活動

1 看護職及び県民等への広報

- (1) 「看護とやま」の発行・配布  
(2) ホームページの内容充実  
(3) 県医師会報、自治体広報等への情報提供  
(4) 新聞、テレビ等への情報提供

・年4回（4月、7月、10月、1月）

6-7 法人管理に関する事業

1 内部管理体制の強化

- (1) 定時総会  
(2) 理事会  
(3) 職能集会  
(4) 職能委員会（4委員会）  
(5) 委員会（10委員会）  
    合同委員会  
(6) 支部長会  
(7) 職員の人事管理・労務管理の充実

・令和7年6月20日(金)  
・年7回：4, 5, 6, 8, 10, 12, 3月  
・令和7年6月21日(土)  
・各委員会 年8回程度  
・各委員会 年5回～12回  
・年1回：令和7年6月25日(水)  
・年2回：9月、12月予定

2 会員管理

- (1) 新規・継続会員の受付とナースシップの運用・管理  
(2) キャリナース登録推進  
(3) 会員サービスの充実

3 会員の福利厚生

- (1) 表彰  
(2) 各受章（彰）候補者の推薦  
(3) 災害見舞金、弔慰見舞金等の支出

6-8 渉外活動

1 自治体への要望活動

2 自治体及び関係団体等との連携

- (1) 構成団体の一員としての活動

実施内容

<p>(2) 関係団体等の会議への参加、情報交換、委員等派遣</p> <p>3 後援・推薦等依頼への協力</p> <p>4 施設管理</p> <p>(1) 会館の管理・運営</p> <p>(2) 駐車場の確保・運営</p> <p>5 地域活動（町内会等への協力、連携）</p> <p>子ども110番の家等</p> <p>6 - 9 日本看護協会との連携</p> <p>1 会議等</p> <p>(1) 日本看護協会通常総会</p> <p>(2) 全国職能別交流集会</p> <p>(3) 理事会</p> <p>(4) 法人会員会（中央）</p> <p>(5) 地区別法人会員会・職能委員長会（開催県:石川県）</p> <p>(6) 全国職能委員長会</p> <p>(7) 第56回日本看護学会学術集会</p> <p>(8) その他の会議</p> <p>ア 都道府県看護協会看護労働担当者会議</p> <p>イ ナースセンター事業担当者会議</p> <p>ウ 都道府県看護協会会員情報交換会</p> <p>エ 都道府県看護協会図書室担当者研修会</p> <p>オ 都道府県看護協会政策責任者会議</p> <p>カ 医療事故調査制度に関する情報交換会</p> <p>キ 都道府県看護協会広報担当者役員会議</p> <p>ク 都道府県看護協会、都道府県訪問看護連絡協議会合同会議</p> <p>ケ 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議</p> <p>コ 全国看護基礎教育担当役員会議</p> <p>サ 都道府県看護協会教育担当役員会議</p> <p>シ 都道府県看護協会事務担当者会議</p>	<p>・令和7年6月11日(水) 幕張メッセ</p> <p>・令和7年6月12日(木) 幕張メッセ</p> <p>・年6回：日本看護協会JNAホールほか</p> <p>・年5回：日本看護協会JNAホールほか</p> <p>・令和7年10月16日(木)、17日(金)</p> <p>・年2回</p> <p>令和7年8月1日(金)、8年3月6日(金)</p> <p>・9月12日(金)～14日(日)</p> <p>ポートメッセなごや</p> <p>・令和7年7月17日(木)</p> <p>・令和7年4月16日(水)</p> <p>・令和7年7月30日(水)</p> <p>・令和7年9月予定</p> <p>・令和7年9月18日(木)</p> <p>・未定</p> <p>・令和7年11月17日(月)</p> <p>・令和7年11月中旬</p> <p>・令和7年12月予定</p> <p>・令和8年2月予定</p> <p>・未定</p> <p>・未定</p>
--	---

## 令和 7 年度 収支予算

## 令和 7 年度収支予算書

令和 7 年 4 月 1 日から令和 8 年 3 月 31 日まで

(千円)

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
一般正味財産増減の部				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	54,000	54,000	0	
受 取 会 費	54,000	54,000	0	
受 取 会 館 運 営 基 金	16,250	16,600	△ 350	
受 取 会 館 運 営 基 金	16,250	16,600	△ 350	
事 業 収 益	131,217	130,152	1,065	
受 講 料 収 益	29,522	25,601	3,921	
学 会 事 業 収 益	1,900	1,790	110	
訪 問 看 護 事 業 収 益	58,800	62,248	△ 3,448	
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	13,114	13,054	60	
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,625	26,332	293	
そ の 他 の 事 業 収 益	1,256	1,127	129	
受 取 補 助 金 等 収 益	71,308	72,667	△ 1,359	
受 取 県 補 助 金 等 収 益	59,827	61,663	△ 1,836	
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268	2,268	0	
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420	420	0	
受 取 新 人 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	1,823	2,035	△ 212	
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050	2,050	0	
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820	820	0	
受 取 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	28,036	0	28,036	
受 取 看 護 師 等 就 労 促 進 事 業 受 託 収 益	0	26,241	△ 26,241	
受 取 看 護 職 員 就 業 支 援 事 業 受 託 収 益	0	3,207	△ 3,207	
受 取 看 護 師 等 免 許 保 持 者 届 出 事 業 受 託 収 益	0	1,610	△ 1,610	
受 取 看 護 普 及 推 進 事 業 受 託 収 益	0	785	△ 785	
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510	510	0	
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100	17,100	0	
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200	1,200	0	
受 取 看 護 職 員 認 知 症 対 応 力 向 上 研 修 事 業 収 益	0	917	△ 917	
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300	300	0	
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200	2,200	0	
受 取 IHEAT 要 員 人 材 確 保 ・ 育 成 事 業	2,100	0	2,100	
受 取 看 護 補 助 者 の 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	1,000	0	1,000	
受 取 日 看 協 受 託 収 益	11,481	11,004	477	
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	2,058	2,076	△ 18	
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,223	8,228	△ 5	
受 取 地 域 の 実 情 に 応 じ た 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,200	0	1,200	
受 取 日 本 看 護 協 会 主 催 事 業 助 成 金 収 益	0	700	△ 700	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,577	0	
受 取 補 助 金 振 替 額	6,577	6,577	0	
雑 収 益	2,927	2,900	27	
受 取 利 息	0	0	0	
減 価 償 却 引 当 資 産 受 取 利 息	0	0	0	

科 目	当 年 度 算 額	前 年 度 算 額	増 減	備 考
そ の 他 の 雑 収 益	2,927	2,900	27	
経 常 収 益 計	282,279	282,896	△ 617	
2) 経常費用			0	
事 業 費	248,233	250,655	△ 2,422	
役 員 報 酬	7,920	7,920	0	
給 料 手 当 金	86,900	86,423	477	
臨 時 雇 賃 金	23,853	23,197	656	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	504	504	0	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	5,010	3,313	1,697	
福 利 厚 生 費	16,104	15,767	337	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739	739	0	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	6,991	6,934	57	
旅 通 費	4,246	4,440	△ 194	
通 信 費	8,021	7,846	175	
減 価 償 却 費	16,465	15,406	1,059	
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0	
消 耗 什 器 備 品 費	4,859	4,545	314	
修 繕 費	433	1,078	△ 645	
印 刷 製 本 費	5,263	5,454	△ 191	
新 聞 費	639	753	△ 114	
燃 料 費	1,040	810	230	
光 熱 費	3,957	3,989	△ 32	
賃 借 料	11,200	11,760	△ 560	
保 険 料	1,959	1,963	△ 4	
諸 委 託 報 費	12,221	12,946	△ 725	
広 告 費	8,179	11,454	△ 3,275	
租 税 課 金	5,114	5,164	△ 50	
支 払 負 担 金	9,189	9,025	164	
支 払 助 成 金	1,690	885	805	
支 雑 費	4,222	5,882	△ 1,660	
管 理 費	1,515	2,458	△ 943	
管 理 費	30,535	30,413	122	
役 員 報 酬	5,280	5,280	0	
給 料 手 当 金	4,345	4,548	△ 203	
臨 時 雇 賃 金	200	200	0	
役 員 退 職 慰 勞 引 当 金 繰 入 額	336	336	0	
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	106	79	27	
福 利 厚 生 費	1,590	1,330	260	
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	493	493	0	
賞 与 引 当 金 繰 入 額	368	405	△ 37	
会 議 費	145	154	△ 9	
旅 通 費	868	876	△ 8	
通 信 費	184	204	△ 20	
減 価 償 却 費	4,117	3,852	265	
消 耗 什 器 備 品 費	0	0	0	
消 耗 什 器 備 品 費	216	246	△ 30	
修 繕 費	125	125	0	
印 刷 製 本 費	1,886	1,981	△ 95	
新 聞 費	91	81	10	
燃 料 費	400	362	38	
光 熱 費	1,500	1,466	34	
賃 借 料	3,304	3,414	△ 110	
保 険 料	54	54	0	
諸 委 託 報 費	72	72	0	

科 目	当 年 度 予 算 額	前 年 度 予 算 額	増 減	備 考
委 託 費	1,375	1,275	100	
租 税 公 課	2,400	2,500	△ 100	
支 払 負 担 金	329	329	0	
支 払 寄 付 金	8	8	0	
雑 費	743	743	0	
経 常 費 用 計	278,768	281,068	△ 2,300	
当 期 経 常 増 減 額	3,511	1,828	1,683	
<b>経常外増減の部</b>			0	
1. 経常外収益			0	
経常外収益計	0	0	0	
2. 経常外費用計			0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
税引前当期一般正味財産増減額	3,511	1,828	1,683	
法人税、住民税及び事業税			0	
当期一般正味財産増減額	3,511	1,828	1,683	
一般正味財産期首残高	743,059	741,231	1,828	
一般正味財産期末残高	746,570	743,059	3,511	
<b>指定正味財産増減の部</b>			0	
一般正味財産への振替額	△ 6,627	△ 6,627	0	
受取地方公共団体補助金	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	△ 6,627	△ 6,627	0	
指定正味財産期首残高	221,200	227,827	△ 6,627	
指定正味財産期末残高	214,573	221,200	△ 6,627	
正味財産期末残高	961,143	964,259	△ 3,116	

# 令和7年度収支予算書内訳表

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

(千円)

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
<b>一般正味財産増減の部</b>				
経常増減の部				
1) 経常収益				
受 取 会 費	27,000	27,000		54,000
受 取 会 費	27,000	27,000		54,000
受 取 会 館 運 営 基 金	8,125	8,125		16,250
受 取 会 館 運 営 基 金	8,125	8,125		16,250
事 業 収 益	131,217			131,217
受 講 料 収 益	29,522			29,522
学 会 事 業 収 益	1,900			1,900
訪 問 看 護 事 業 収 益	58,800			58,800
居 宅 介 護 支 援 費 収 益	13,114			13,114
地 域 包 括 支 援 セ ン タ ー 受 託 収 益	26,625			26,625
そ の 他 の 事 業 収 益	1,256			1,256
受 取 補 助 金 等 収 益	70,279			70,279
受 取 県 補 助 金 等 収 益	59,827			59,827
受 取 看 護 職 員 研 修 補 助 金	2,268			2,268
受 取 看 護 職 員 定 着 支 援 事 業 補 助 金	420			420
受 取 新 入 看 護 職 員 指 導 者 研 修 事 業 受 託 収 益	1,823			1,823
受 取 保 健 師 助 産 師 看 護 師 等 実 習 指 導 者 講 習 会 事 業 受 託 収 益	2,050			2,050
受 取 看 護 職 員 資 質 向 上 実 務 受 託 収 益	820			820
受 取 看 護 職 員 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	28,036			28,036
受 取 訪 問 看 護 推 進 事 業 受 託 収 益	510			510
受 取 訪 問 看 護 総 合 支 援 セ ン タ ー 運 営 事 業 受 託 収 益	17,100			17,100
受 取 医 療 勤 務 環 境 改 善 支 援 セ ン タ ー 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 精 神 科 訪 問 看 護 師 育 成 支 援 事 業 受 託 収 益	300			300
受 取 医 療 的 ケ ア 児 等 訪 問 看 護 体 制 整 備 事 業	2,200			2,200
受 取 IHEAT 要 員 人 材 確 保 ・ 育 成 事 業	2,100			2,100
受 取 看 護 補 助 者 の 確 保 ・ 定 着 推 進 事 業	1,000			1,000
受 取 日 看 協 受 託 収 益	10,452			10,452
受 取 会 員 登 録 事 務 受 託 費 収 益	1,029	1,029		2,058
受 取 法 人 会 員 助 成 金 収 益	8,223			8,223
受 取 地 域 の 実 情 に 応 じ た 看 護 職 確 保 推 進 事 業 受 託 収 益	1,200			1,200
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
受 取 補 助 金 振 替 額	5,741	836		6,577
雑 収 益	1,277	2,679		3,956
そ の 他 の 雑 収 益	1,277	2,679		3,956
経 常 収 益 計	243,639	38,640	0	282,279
2) 経常費用				
事 業 費	248,233			248,233
役 員 報 酬	7,920			7,920
給 料 手 当	86,900			86,900
臨 時 雇 賃 金	23,853			23,853
役 員 退 職 慰 労 引 当 金 繰 入 額	504			504
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	5,010			5,010
福 利 厚 生 費	16,104			16,104
役 員 賞 与 引 当 金 繰 入 額	739			739
賞 与 引 当 金 繰 入 額	6,991			6,991
旅 費 交 通 費	4,246			4,246
通 信 運 搬 費	8,021			8,021

科 目		公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
減	償	却	費		16,465
消	器	備	費		0
消	什	品	費		4,859
修	耗		費		433
印	刷	繕	費		5,263
新	聞	製	費		639
燃	熱	図	費		1,040
光		料	費		3,957
賃		水	料		11,200
保		借	料		1,959
諸		險	金		12,221
委		謝	費		8,179
租	税	託	費		5,114
支	払	報	課		9,189
支	払	負	金		1,690
支	払	助	担		4,222
支	払	成	成		1,515
管	理		費		30,535
役	員	報	酬		5,280
給	料	手	当		4,345
臨	時	賃	金		200
役	員	引	当		336
退	職	引	金		106
福	利	厚	生		1,590
役	員	引	当		493
賞	与	引	金		368
会	与	引	金		145
旅	費	議	費		868
通	信	交	費		184
減	価	運	費		4,117
消	什	償	費		0
消	耗	器	費		216
修	耗	備	費		125
印	刷	品	費		1,886
新	聞	繕	費		91
燃	熱	製	費		400
光		図	費		1,500
賃		料	費		3,304
保		水	料		54
諸		借	料		72
委		險	金		1,375
租	税	謝	費		2,400
支	払	託	課		329
支	払	負	金		8
支	払	寄	担		743
支	払	付	付		743
經常費用計					248,233
当期經常増減額					△ 4,594
<b>經常外増減の部</b>					
1. 經常外収益					
經	常	外	収	益	計
					0
2. 經常外費用計					
經	常	外	費	用	計
					0
当期經常外増減額					
					0
税引前当期一般正味財産増減額					
					△ 4,594
					8,105
					3,511

科 目	公益目的 事業会計	法人会計	内部取引控除	合計
法人税、住民税及び事業税				
当期一般正味財産増減額	△ 4,594	8,105		3,511
一般正味財産期首残高	453,184	289,875		743,059
一般正味財産期末残高	448,590	297,980		746,570
<b>指定正味財産増減の部</b>				
一般正味財産への振替額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
受取地方公共団体補助金				0
当期指定正味財産増減額	△ 5,741	△ 886		△ 6,627
指定正味財産期首残高	172,045	49,155		221,200
指定正味財産期末残高	166,304	48,269		214,573
正味財産期末残高	614,894	346,249		961,143

# 令和7年度収支予算書内訳表（公益目的事業会計）

令和7年4月1日より令和8年3月31日まで

(千円)

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会等の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業	7. 公益目 的の共通事業	
<b>I 一般正味財産増減の部</b>								
1. 経常増減の部								
1) 経常収益								
受取会費							27,000	27,000
受取会館運営基金収益							27,000	27,000
受取会館運営基金収益							8,125	8,125
事業収益	28,682	1,900	840	0	99,195	600	0	131,217
受講料収益	28,682		840					29,522
学会事業収益		1,900						1,900
訪問看護事業収益					58,800			58,800
居宅介護支援費収益					13,114			13,114
地域包括支援センター受託収益					26,625			26,625
その他の事業収益					656	600		1,256
受取補助金等	6,961	0	0	28,756	24,110	100	10,352	70,279
受取県補助金等	6,961	0	0	28,756	24,110	0	0	59,827
受取看護職員研修補助金	2,268							2,268
受取看護職員定着支援事業補助金				420				420
受取新人看護職員指導者研修事業受託収益	1,823							1,823
受取保健師助産師看護師等実習指導者講習会事業受託収益	2,050							2,050
受取看護職員資質向上実務受託収益	820							820
受取看護職員確保・定着推進事業				28,036				28,036
受取訪問看護推進事業受託収益					510			510
受取訪問看護総合支援センター運営事業受託収益					17,100			17,100
受取医療勤務環境改善支援センター事業受託収益					1,200			1,200
受取精神科訪問看護師育成支援事業受託収益				300				300
受取医療的ケア児等訪問看護体制整備事業					2,200			2,200
受取IHEAT要員人材確保・育成事業					2,100			2,100
受取看護補助者の確保・定着推進事業					1,000			1,000
受取日看協受託収益	0					100	10,352	10,452
受取会員登録事務受託費収益							1,029	1,029
受取法人会員助成金						100	8,123	8,223
受取地域の実情に応じた看護職確保推進事業受託収益							1,200	1,200
受取補助金振替額							5,741	5,741
受取補助金振替額							5,741	5,741
雑収益	0						1,277	1,277
その他の雑収益							1,277	1,277
経常収益計	35,643	1,900	840	28,756	123,305	700	52,495	243,639
2) 経常費用								
事業費	30,347	1,823	2,030	34,033	116,048	5,378	58,574	248,233
役員報酬	3,000	0	0	0	0	0	4,920	7,920
給料手当	6,048	0	993	7,822	71,678	0	359	86,900
臨時雇賃金	3,307	0	0	8,086	12,460	0	0	23,853
役員退職慰労引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	504	504
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	5,010	5,010
福利厚生費	0	0	0	2,269	10,990	0	2,845	16,104
役員賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	739	739
賞与引当金繰入額	0	0	0	0	0	0	6,991	6,991
旅費交通費	1,744	130	209	291	379	1,493	0	4,246
通信運搬費	1,799	40	51	1,310	2,542	979	1,300	8,021
減価償却費	0	0	0	0	0	0	16,465	16,465
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	1,416	100	124	1,014	1,357	448	400	4,859
修繕費	0	0	0	0	55	3	375	433
印刷製本費	181	1,000	0	1,631	420	501	1,530	5,263
新聞図書費	60	0	0	60	41	178	300	639

科 目	公衆衛生の向上を目的とする事業							7. 公益目的の共通事業	合計
	1. 教育等 看護の質の 向上に関する 事業	2. 富山県 看護研究学 会の開催等 学術研究の 振興に関する 事業	3. 看護業 務の開発、 看護制度の 改善等に関 する事業	4. 看護職 の労働環境 等の改善及 び福祉の向 上による県 民の健康及 び福祉の増 進に関する 事業	5. 訪問看 護の実施等 地域の保健 医療福祉に 関する事業	6. その他 本会の目的 を達成する ために必要 な事業			
燃 料 費	0	0	0	0	1,040	0	0	1,040	
光 熱 水 料 費	0	0	0	250	207	0	3,500	3,957	
賃 借 料	3,672	310	413	1,151	5,284	130	240	11,200	
保 険 料	0	0	0	130	1,429	0	400	1,959	
諸 謝 金	8,045	80	219	2,378	1,080	419	0	12,221	
委 託 費	340	60	0	1,200	450	0	6,129	8,179	
広 告 費	0	0	0	2,608	82	924	1,500	5,114	
租 税 公 課	0	0	0	2,845	1,844	0	4,500	9,189	
支 払 負 担 金	344	0	0	785	174	0	387	1,690	
支 払 助 成 金	0	0	0	0	4,222	0	0	17,550	
支 雑 費	391	103	21	203	314	303	180	1,515	
経 常 費 用 計	30,347	1,823	2,030	34,033	116,048	5,378	58,574	248,233	
当 期 経 常 増 減 額	5,296	77	△ 1,190	△ 5,277	7,257	△ 4,678	△ 6,079	△ 4,594	
<b>II 経常外増減の部</b>								0	
1. 経常外収益								0	
経 常 外 収 益 計								0	
2. 経常外費用計								0	
経 常 外 費 用 計								0	
当 期 経 常 外 増 減 額								0	
税引前当期一般正味財産増減額	5,296	77	△ 1,190	△ 5,277	7,257	△ 4,678	△ 6,079	△ 4,594	
法人税、住民税及び事業税								0	
当期一般正味財産増減額	5,296	77	△ 1,190	△ 5,277	7,257	△ 4,678	△ 6,079	△ 4,594	
一般正味財産期首残高								453,184	
一般正味財産期末残高								448,590	
指定正味財産増減の部									
一 般 会 計 へ の 振 替 額							△ 5,741	△ 5,741	
受取地方公共団体補助金									
当期指定正味財産増減額							△ 5,741	△ 5,741	
指定正味財産期首残高								172,045	
指定正味財産期末残高								166,304	
正味財産期末残高								614,894	



# 令和7年度収支予算の概要

## 1 経常収益・費用等

### 【一般正味財産】

		対前年度
1 経常収益計	282,279千円	(△617千円)
(1) 受取会費	54,000千円	(0千円)
(2) 受取会館運営基金	16,250千円	(△350千円)
(3) 事業収益	131,217千円	(1,065千円)
(内 訳)		
・受講料収益	29,522千円	(3,921千円)
・学会事業収益	1,900千円	(110千円)
・訪問看護事業収益	58,800千円	(△3,448千円)
・居宅介護支援費収益	13,114千円	(60千円)
・地域包括支援センター収益	26,625千円	(293千円)
・その他収入	1,256千円	(129千円)
(4) 受取補助金等	71,308千円	(△1,359千円)
(内 訳)		
・受取県補助金等	59,827千円	(△1,836千円)
・受取日看協受託収益	11,481千円	(477千円)
(5) その他収入	9,504千円	(27千円)
受取補助金振替、雑収益等		
2 経常費用計	278,768千円	(△2,300千円)
(1) 事業費	248,233千円	(△2,422千円)
(主な内訳)		
・給料手当	86,900千円	(477千円)

・臨時雇賃金	23,853千円	(656千円)
・旅費交通費	4,246千円	(△194千円)
・減価償却費	16,465千円	(1,059千円)
・印刷製本費	5,263千円	(△191千円)
・賃借料	11,200千円	(△560千円)
・諸謝金(講師等謝金)	12,221千円	(△725千円)
・委託費	8,179千円	(△3,275千円)
(2) 管理費	30,535千円	(122千円)
3 当期経常増減額	3,511千円	(1,683千円)
4 当期経常外増減額	0千円	(0千円)
5 当期一般正味財産増減額	3,511千円	(1,683千円)
6 一般正味財産期末残高	746,570千円	(3,511千円)①

### 【指定正味財産】

1 受取補助金等	0千円	(0千円)
(建物等への県等の補助金)		
2 一般正味財産への振替額	△6,627千円	(0千円)
(補助金を受けた建物等の減価償却費相当額)		
3 当期指定正味財産増減額	△6,627千円	(0千円)
4 指定正味財産期末残高	214,573千円	(△6,627千円)②

### 【正味財産】

正味財産期末残高 (①+②)961,143千円 (△3,116千円)

## 2 収益・費用等の会計別内訳

(単位：千円)

区 分	公益目的会計	法人会計	合 計	
一般正味財産	経常収益	243,639	38,640	282,279
	経常費用	248,233	30,535	278,768
	当期経常増減額	△4,594	8,105	3,511
	当期経常外増減額	0	0	0
	当期増減額	△4,594	8,105	3,511
指定正味財産	当期増減額	△5,741	△886	△6,627
正味財産期末残高	614,894	346,249	961,143	

※経常収益の会費及び会館運営基金は、公益目的事業会計と法人会計に50%ずつ按分

## 3 公益目的会計の内訳(定款に定める事業別予算)

(単位：千円)

事業の区分	当年度	前年度	増 減
①教育等看護の質の向上に関する事業	30,347	37,158	△6,811
②日本看護研究学会等の開催等学術研究の振興に関する事業	1,823	1,430	393
③看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業	2,030	2,371	△341
④看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業	34,033	29,855	4,178
⑤訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業	116,048	117,409	△1,361
⑥その他本会の目的を達成するために必要な事業	5,378	8,601	△3,223
⑦公益目的共通事業	58,574	53,831	4,743
合 計	248,233	250,655	△2,422

※経常費用の額

## 4 公益法人の財務3基準

区 分	要件及び予算の状況等
①収支相償(公益事業会計)	公益事業の収支差額は、△4,594千円で収入が支出を超えていない
②公益目的事業比率	公益目的事業の支出額は全体の89.0%で50%を超えている
③遊休財産額	用途の決まっていない遊休財産は、公益目的事業会計の年間支出合計額の248,233千円を超えない見込み



## 各種報告

---

令和6年度理事会報告 .....	67
令和6年度職能委員会報告 .....	72
令和6年度委員会報告 .....	77
令和6年度支部報告 .....	84



## 令和 6 年度 理事会報告

## 1 理事会開催状況

回	日 時	場 所
1	令和 6 年 4 月 15 日 (月) 15:00~15:45	富山県看護研修センター
2	令和 6 年 5 月 20 日 (月) 15:02~16:18	富山県看護研修センター
3	令和 6 年 6 月 15 日 (土) 15:52~16:40	富山県民共生センターサンフォルテ
4	令和 6 年 8 月 5 日 (月) 15:00~16:14	オンライン開催
5	令和 6 年 10 月 21 日 (月) 14:57~17:00	富山県看護研修センター
6	令和 6 年 12 月 9 日 (月) 14:59~16:51	富山県看護研修センター
7	令和 7 年 1 月 20 日 (月) 15:00~16:08	オンライン開催
8	令和 7 年 3 月 17 日 (月) 15:00~16:21	富山県看護研修センター

## 2 協議事項等

回	協 議 事 項 等	
1	1 協議事項	
	1) 令和 6 年度新規会員の承認について	[承認]
	2) 令和 6 年度各委員の推薦等について	
	(1) 選挙管理委員・推薦委員候補者の推薦について	[承認]
	(2) 職能委員の選任について	[承認]
	(3) 委員の選任について	[承認]
	(4) 支部役員の選任について	[承認]
	3) 令和 6 年度定時総会について	
	(1) 令和 6 年度富山県看護協会定時総会議決事項について <議決事項>	
	第 1 号議案 令和 6 年度富山県看護協会改選役員の選任	[承認]
	第 2 号議案 令和 7 年度日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員の 選任	[承認]
	第 3 号議案 令和 6 年度選挙管理委員及び推薦委員の承認	[承認]
	(2) 令和 6 年度富山県看護協会定時総会報告事項について	
	4) 令和 6 年度富山県看護協会長表彰候補者について	[承認]
	5) 令和 6 年度事業について	
	(1) 合同委員会 (案) について	[承認]
	2 報告事項	
1) 令和 5 年度事業報告		
(1) 各委員会報告		
(2) 支部活動報告		
(3) 社会経済福祉委員会調査結果報告		
(4) 災害支援ナース養成研修実施報告		
(5) ナースセンター事業実績報告		
(6) 訪問看護総合支援センター事業実績報告		
(7) 「訪問看護に関する事業報告会」開催報告		
(8) 後援及び委員等の就任報告		

回	協 議 事 項 等	
1	(9) その他の会議等報告 2) 令和6年度事業について (1) 第34回「看護の日」看護フェスティバルについて (2) 「看護の日」新聞企画	
2	1 協議事項 1) 令和6年度新規会員の承認について 2) 令和6年度富山県看護協会定時総会の運営について 3) 令和6年度職能集会の運営について 4) 令和5年度決算報告及び監査報告について 2 報告事項 1) 令和6年度日本看護協会会議報告 (1) 理事会報告 2) 令和6年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 今後の本会定時総会の開催等について (3) 認定看護管理者教育運営委員会報告 (4) 第34回富山県看護研究学会について (5) 能登半島地震災害支援ナース活動報告会開催報告 (6) 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会の募集について (7) 令和6年度「高校生の一日看護見学」について (8) ナースセンター事業実績報告 (9) 訪問看護・医療機関相互研修事業（病院看護師出向研修事業）等について (10) 後援・協力等依頼報告 (11) その他の会議等報告	[承認] [承認] [承認] [承認]
3	1 協議事項 1) 役員を選定について 2) 委員会及び支部担当理事について 3) 令和6年度新規会員の承認について 2 報告事項 1) 令和6年度日本看護協会事業報告 (1) 第2回理事会報告 (2) 「看護補助者を対象とした研修」説明会（Web）報告 (3) ナースセンター事業担当者会議（Web）報告 2) 令和6年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 看護補助者標準研修～看護補助体制充実加算該当パッケージ～について (3) 災害支援ナース養成研修について (4) 2024看護フェスティバル実施報告 (5) ナースセンター事業実績報告 (6) 新卒訪問看護師育成検討会実施報告 (7) 訪問看護に関する研修等の再募集について	[承認] [承認] [承認]

回	協 議 事 項 等	
4	<p>1 協議事項</p> <p>1) 令和6年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和7年度県要望事項について</p> <p>2 報告事項</p> <p>1) 日本看護協会会議等報告</p> <p>(1) 第3回理事会・第1回法人会員会報告</p> <p>(2) 都道府県看護協会看護労働担当学会議報告</p> <p>2) 富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告</p> <p>(2) 認定看護管理者教育課程 第2回教育運営委員会報告</p> <p>(3) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修会について</p> <p>(4) 研修等実施状況報告</p> <p>(5) 看護補助者の仕事に関する施設説明会・体験会等の開催について</p> <p>(6) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(7) 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインについて</p> <p>(8) 訪問看護サポートステーションについて</p> <p>(9) 小児医療対応力向上技術研修会の開催について</p> <p>(10) 在宅ケア事例検討会のお知らせ</p> <p>(11) 委員会報告</p> <p>(12) 支部報告</p> <p>(13) 後援・協力等依頼報告</p> <p>(14) その他の会議等報告</p>	<p>[承認]</p> <p>[承認]</p>
5	<p>1 協議事項</p> <p>1) 令和6年度新規会員の承認について</p> <p>2) 令和6年度事業について</p> <p>(1) 看護管理者が求める生涯学習支援のための研修についての調査の実施について</p> <p>3) 令和7年度事業等について</p> <p>(1) 令和7年度定時総会及び職能集会の開催について</p> <p>2 報告事項</p> <p>1) 令和6年度日本看護協会会議等報告</p> <p>(1) 第4回理事会・第2回法人会員会報告</p> <p>(2) 全国職能委員長会報告</p> <p>(3) 都道府県看護協会教育担当学会議報告</p> <p>(4) 都道府県看護協会政策責任学会議報告</p> <p>2) 令和6年度富山県看護協会事業報告</p> <p>(1) 会員数報告</p> <p>(2) 2025年度ナースシップ継続の手続きについて</p> <p>(3) 第34回富山県看護研究学会について</p> <p>(4) 研修実施状況報告</p> <p>(5) 看護師基礎教育を考える会 「臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育」研修の開催について</p> <p>(6) 富山マラソン2024(11月3日開催)医療救護活動への派遣について</p> <p>(7) ナースセンター事業実績報告</p> <p>(8) 高校生1日看護見学について</p> <p>(9) 看護学生と看護職のための就職ガイダンスの開催について</p>	<p>[承認]</p> <p>[承認]</p> <p>[承認]</p>

回	協 議 事 項 等	
5	(10) 訪問看護総合支援センター実績報告 (11) 訪問看護インターンシップ実施報告 (12) 委員会報告 (13) 支部報告 (14) 後援・協力等依頼報告 (15) その他の会議等報告	
6	1 協議事項 1) 令和6年度新規会員の承認について 2) 令和6年度事業について 看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査の実施について 3) 令和7年度事業について (1) 認定看護管理者教育課程受講料の改定について (2) 2025年度以降の研修時間の変更について (3) 看護職の体験談「忘れられない看護エピソード」の募集について (4) 令和7年度日本看護協会名誉会員及び会長表彰候補者の推薦について (5) 有料駐車場料金の改定について 2 報告事項 1) 令和6年度日本看護協会等会議報告 (1) 第5回理事会・第3回法人会員会報告 (2) 地区別法人会員会（東海・北陸地区）報告 (3) 地区別職能委員長会報告 (4) 都道府県看護協会広報担当役員会議（Web）報告 (5) 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議（Web）報告 2) 令和6年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 令和6年度中間決算報告 (3) 認定看護管理者教育課程教育運営委員会報告 (4) 研修会等実施状況報告 (5) 富山マラソン2024 救護活動を終えての課題・要望 (6) 看護補助者の仕事に関する施設説明会・体験会実施報告 (7) ナースセンター事業実績報告 (8) 新卒訪問看護師の育成に関する取り組み報告 (9) 訪問看護総合支援センター事業実績報告 (10) 委員会報告 (11) 支部報告 (12) 協会が運営する事業所の実績報告（上半期） (13) 後援・協力等依頼報告 (14) その他の会議等報告	[承認]  [承認]  [承認] [承認] [承認] [承認]
7	1 協議事項 1) 令和6年度新規会員の承認について 2) 令和7年度事業について (1) 研修計画について (2) 職能集会について 3) 令和7年度委員会の任務・諮問事項及び支部の任務について	[承認]  [承認] [承認] [承認]

回	協 議 事 項 等	
7	4) 令和7年度執行部会・理事会日程について 2 報告事項 1) 令和6年度日本看護協会等会議報告 (1) 都道府県看護協会健康危機管理担当者会議報告 2) 令和6年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 第34回(2024年)富山県看護研究学会報告 (3) 看護管理者が求める生涯学習支援のための研修についての調査結果報告 (4) 研修会等実施状況報告 (5) 看護学生と看護職のための就職ガイダンス実施報告 (6) 小児医療対応力向上技術研修会報告 (7) 訪問看護に関する事業報告会の開催について (8) 委員会報告 (9) 支部報告 (10) 後援・協力等依頼報告 (11) その他の会議等報告	[承認]
8	1 協議事項 1) 令和6年度新規会員の承認について 2) 令和7年度事業について (1) 重点事業・事業計画について (2) 収支予算について (3) 富山県看護研究学会参加費の改定について 3) 富山県看護協会事務局長の任免について 4) 令和7年度富山県看護協会定時総会及び職能集会プログラムについて 5) 令和7年度執行部会・理事会日程について 2 報告事項 1) 令和6年度日本看護協会会議等報告 (1) 第6回理事会・第4回法人会員会報告 (2) 全国基礎教育担当役員会議報告 2) 令和6年度富山県看護協会事業報告 (1) 会員数報告 (2) 研修会実施状況報告 (3) 富山県ナースセンターのホームページについて (4) 各委員会・支部活動状況報告 (5) 後援・協力等依頼報告 (6) 各種団体等への推薦について (7) その他の会議等報告 3) 令和7年度富山県看護協会事業 (1) 2025年度研修計画について (2) 訪問看護・医療機関相互研修事業等の意向調査について	[承認]  [承認] [承認] [承認] [承認] [承認]

## 令和 6 年度 職能委員会報告

### ◎保健師職能委員会活動報告

委員長 若杉 央

- 1 開催回数 7回（研修会2回含まず）
- 2 活動目標
  - (1) 保健師の専門性の向上を図る。
  - (2) 地域包括ケアの推進に向けて、産後ケア等の課題や取組みを共有するとともに、保健師・助産師等の連携を深める。
  - (3) 統括保健師の課題や今後の方策について共有する。

### 3 活動内容

#### (1) 研修会の開催

##### ア 保健師・助産師交流会

テーマ「性暴力被害 ワンストップ支援センターの役割と活動の実際」

※保健師職能・助産師職能共同開催のため、助産師職能に準じる。

##### イ 統括保健師の育成と今後の方策

日時 令和6年10月15日(火) 9:00～11:30

場所 富山県看護研修センター

内容 報告「統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査」

保健師職能委員

#### シンポジウム

「統括保健師育成の現状と今後の方策を考える」

座長 保健師職能委員長

シンポジスト 富山中央保健福祉センター 梅村 夕子 氏

高岡市健康増進課 高柳 知子 氏

立山町保健センター 中川 輝美 氏

富山県砺波厚生センター 角 園子 氏

助言者 富山県新川厚生センター魚津支所長 河村 瑞穂 氏

富山県厚生部医務課主幹 平 和美 氏

スーパーバイザー 富山県立大学看護学部長 佐伯 和子 氏

参加者 38名

##### ウ 産前・産後のこころに寄り添う

～産前・産後うつ等精神的に課題を抱える妊産婦や家族の悩みと対処法～

日時 令和6年11月26日(火) 13:30～16:00

場所 富山県看護研修センター

講師 国立大学法人信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 村上 寛 氏

内容 講義及びグループワーク

参加者 50名

#### (2) 統括保健師に関する調査

内容 県内の統括保健師に関する現状と課題を明らかにし、統括保健師育成の方策を検討することを目的にWEB調査を実施

対象者 統括保健師等：富山県及び県内15市町村の統括保健師もしくは、同様の役割を担う保健師 計20名

統括保健師以外：上記以外の富山県及び15市町村の全保健師 計411名

調査期間 令和6年4月～6月上旬

(3) 日本看護協会保健師職能委員会活動

ア 全国保健師職能委員長会 2回

(TKP新橋カンファレンスセンター)

イ 東海北陸地区保健師職能委員長会 1回(都ホテル岐阜長良川)

4 目標達成度、次年度に向けての課題

県内の統括保健師に関する調査を実施し、統括保健師の配置と育成に関する課題を把握した。統括保健師に関する研修により、統括保健師に必要な能力や育成、統括保健師へのサポートなどについて考えることができた。また、精神的に課題を抱える妊産婦への支援について、各機関の役割と専門性を理解し関係づくりを構築することにつながった。

以上より、活動目標はほぼ達成とする。

次年度は、引き続き助産師等との連携を深めるとともに、統括保健師の配置や育成について関係者と共有する。

◎助産師職能委員会活動報告

委員長 炭田 恵

1 開催回数 8回(研修会2回含まず)

2 活動目標

(1) ライフステージに応じた女性のケアを考え、助産師の役割拡大を検討する

(2) 周産期の災害対策について検討する

(3) 県内の小中学校と連携し「いのちの教室」を実施する

3 活動内容

(1) 保健師・助産師交流会

テーマ「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」の役割と看護職の活動

場 所 富山県看護研修センター

日 時 令和6年8月26日(月) 13:00～16:00

講 師 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま 助産師 木村 なぎ 氏

内 容 講義およびグループワーク

参加者 21名(保健師1名、助産師14名、看護師6名)

(2) 研修会開催

ア 分娩施設における災害対策研修 ～自施設の周産期災害対策について考える～

場 所 富山県看護研修センター

日 時 令和6年9月7日(土) 9:00～16:00

講 師 大阪母子医療センター看護部長 宮川 祐三子 氏

内 容 講義およびグループワーク

参加者 28名(助産師25名、看護師3名)

(3) 「いのちの教室」実践報告(資料参照)

「いのちの教室」は4施設に依頼した(11回出講)。

(4) 日本看護協会助産師職能委員会活動

ア 全国助産師職能委員長会(東京開催)2回

イ 地区別職能委員長会(岐阜開催)1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

少子化が進む中、分娩取扱い施設で勤務する助産師の現状を意見交換した。ライフステージに応じるにはどう活動すべきか、その中で施設助産師はどのように女性のライフステージに関与していくか意見交換した。助産師として何が出来るか、自施設の看護管理者に理解してもらえるよう行動することが求められることを理解した。また、令和6年1月の能登半島地震を経験し、災

害対策を見直す時期に研修を開催し、日々の準備と訓練必要性の理解に繋がった。いのちの教室は前年度より2校の依頼を増やすことができた。目標はほぼ達成とする。

次年度は、母子の地域包括ケアの推進やライフステージに応じた役割拡大を踏まえ、施設内だけでなく地域に参画できるよう取り組む。また、助産師の現状について把握し、アドバンス助産師への挑戦や資格維持に向け全体で何ができるか検討していく。

## ◎看護師職能 I 委員会活動報告

委員長 小倉 里美

1 開催回数 8回(研修会・交流会は含まず)

2 活動目標

- (1) 看護師の生涯学習支援を推進する
- (2) 病院における在宅療養支援の質向上を図る

3 活動内容

(1) 看護職員資質向上研修の企画・運営

ア 小規模病院・福祉施設で行う感染管理

ねらい：看護職員が従事している領域の感染管理を学び、自施設で活かすことができる

日時：令和6年7月18日(木) 13:30~16:30

講師：真生会富山病院 感染管理認定看護師 梅田 加洋子 氏

内容：講義 演習(PPE着脱訓練 意見交換)

参加者：33名(助産師1名、看護師31名、准看護師1名)

イ 重症化予防に役立つフィジカルアセスメントとケア

ねらい：フィジカルアセスメントの基礎知識を学び、日々の看護実践に活かす

日時：令和6年8月22日(木) 9:00~16:00

講師：黒部市民病院 クリティカルケア認定看護師 八倉巻 考司 氏

富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 佐藤 慎哉 氏

高岡市民病院 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 奥田 公也 氏

北陸中央病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 有澤 未来 氏

内容：講義 演習(机上シミュレーション 呼吸音聴取 口腔ケア)

参加者：51名(助産師1名、看護師49名、准看護師1名)

(2) 准看護師キャリア研修の企画・運営

ねらい：准看護師の資質の向上とキャリア支援

日時：令和6年9月7日(土) 13:30~16:00

講師：ふくの若葉病院 看護部長 鍛冶本 秀子 氏

かみいち総合病院 認知症看護認定看護師 中山 和昭 氏

かみいち総合病院 手術室認定看護師 柿森 祐司 氏

内容：講義 意見交換

参加者：8名(准看護師8名)

(3) 外来における在宅療養支援能力向上のための研修の企画・運営

ねらい：地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来を担うべき役割を習得するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。

在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

日時：令和6年12月20日(金) 13:30~16:00

講師：公益社団法人富山県看護協会 会長 岡本 里美 氏

厚生連高岡病院総合的がん診療センター 師長 吉田 志布 氏

南砺市民病院 外来師長 小竹 昌子 氏

内容：事前eラーニング 講義 事例報告 意見交換

参加者：47名（看護師47名）

(4) 夜勤者確保に向けた取り組み状況について現状把握 情報共有

日本看護協会地区別看護師職能委員長会 I への出席にあたり、夜勤者確保の取り組み内容、多様な勤務形態の具体的内容とマネジメントの工夫について情報提供を求め、県内15施設から回答を得た。各施設の取り組みを一覧にまとめ、情報共有を行った。

(5) 日本看護協会看護師職能委員会活動

ア 全国看護師職能委員長会 I 病院領域出席 2回

イ 地区別看護師職能委員長会 I 病院領域出席 1回

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

看護師職能 I では、4つの研修会の企画・運営を行い、看護師の資質の向上を図るための生涯学習の一翼を担うことができたと考える。「外来における在宅療養支援能力向上のための取り組み」では、各施設の外来看護師が、在宅療養支援強化のために組織及び自らが取り組む課題を見出し、外来看護の役割と提供する看護について考える機会とすることができた。県内の他施設の取り組みの情報交換や意見交換により、外来看護の役割や在宅療養支援の課題を多くの施設が認識したという点で、今年度目標達成率は90%とする。

次年度も、「外来における在宅療養支援能力向上のための研修」を継続して実施し、対象者を外来に関わる看護職として拡大することにより、病院全体の取り組みを推進し、さらに切れ目のない看護連携を推進できるよう取り組んでいきたい。また、日本看護協会の看護師職能 I 病院領域の重点課題をうけ、県内の現状と課題の集約を行い委員会として発進できるよう取り組んでいきたい。

◎看護師職能 II 委員会活動

委員長 小原 留美

1 開催回数 8回（研修会・交流会は含まず）

2 活動目標

(1) 病院・施設・在宅における看護職の連携強化ができる

基本情報共有シートの周知と広報活動

(2) 訪問看護に従事する看護職の育成をはかる

3 活動内容

(1) 看護師職能集会（I II 合同開催）看護師職能 I 委員会活動報告参照

(2) 資質向上研修（小規模施設・福祉施設対象）

高齢者の転倒・転落予防について～寝たきりを作らない看護～

日時 令和6年6月27日(木) 13:30～16:30

場所 富山県看護研修センター

参加者 31名

講師 市立砺波総合病院脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 池守 実智代 氏

(3) 介護・福祉・在宅領域の研修

介護・福祉・在宅領域における特定行為研修の実際を学ぶ 第二弾

日時 令和6年11月13日(水) 13:30～16:00

場所 富山看護研修センター

参加者 24名

講師 おれんじ訪問看護ステーション 乳がん看護認定看護師 加藤 直美 氏

南砺市訪問看護ステーション 森田 知佳子 氏

(4) 在宅事例検討会

4地区6か所で開催、県内の訪問看護ステーションから事例を提供し、認定看護師等がアドバイザーとなり、訪問看護師や医療機関の看護職が在宅療養者・家族の現状やニーズに応じたより質の高いケアが提供できるよう事例検討会を行った。

(5) 病院から転院または在宅など、次の受け入れ先でスムーズなケアと継続的な看護が続けられるような情報の共有が十分にできていないという意見集約から、昨年度「基本情報共有シート」を作成し、今年度は活用するために、富山県看護協会ホームページ、看護とやまへ掲載、研修会での周知活動に努めた。

(6) 日本看護協会看護師職能Ⅱ委員会活動

ア 全国職能委員長会 2回

イ 地区別職能委員長会 1回

#### 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

今年度は研修会や事例検討会を開催し、連携強化や資質向上を行った、活動目標はほぼ達成。次年度は職能Ⅱ領域の魅力を発信し、人材確保と育成、ハラスメント対策等のリスク管理、看護職が安全に働き続けられる環境づくりについて情報収集、課題発見を行う。

## 令和 6 年度 委員会報告

### ◎総務委員会

委員長：越坂 裕子

1 開催回数 8 回

2 活動目標

- (1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進を図る。
- (2) 新人会員の加入促進に向けた活動を行う。
- (3) 看護の啓発普及（看護の日新聞掲載記事）を促進する。

3 活動内容

(1) 看護協会の組織強化及びネットワークの推進

ア 看護専門学校訪問

今年度は訪問先を病院から看護専門学校とし、看護協会事務職員と協働し、計5校を訪問した。看護協会ガイドブック「看護協会ってどんなところ」をもとに、作成したパワーポイント視聴にて看護協会事業についての理解と促進を図るとともに意見交換を行った。参加者計160名。

イ 出前講座

今年度は、施設からの依頼がなく0件であった。引き続き施設からの要望や依頼に対して調整していく。

(2) 新規会員の加入促進

学校訪問前に委員会で訪問対象者が学生であるため、看護協会の目的・活動内容についてアプローチ方法を検討し、看護協会会員向けの特典やメリットを紹介した。

(3) 「看護の日」新聞企画についての検討と取り組み

「看護の日」の新聞掲載テーマと内容、掲載写真について検討し、選定理由を提案した。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

看護協会の組織強化やネットワークの推進に向けて施設・看護専門学校訪問を継続することで看護協会への要望を把握し、看護協会事業への理解を促すことができた。

今年度、施設訪問先を看護専門学校としたことで、看護協会の活動を就職前から理解できる機会となり、興味を持ってもらえる実感が得られた。次年度も取り組みを継続し、看護の魅力を伝える機会を増やす工夫をしたい。

### ◎教育委員会

委員長：浜田 清美

1 開催回数 7 回

2 活動目標

年間教育活動計画・実施・評価に関する審議・検討を行い、会員の資質の向上をめざす。生涯学習ガイドラインに沿って研修を評価し、次年度の研修を計画する。

3 活動内容

(1) 令和 6 年度研修会を2024年度新分類に沿って29研修40日間実施した。

ア 新人研修：新人看護職研修Ⅱ

イ 専門性を深める研修：優しさを伝える認知症ケア、感染対策Ⅰ基礎編A・B感染対策Ⅱ実践編、糖尿病の看護、脳卒中患者の看護、摂食嚥下障害の理解とケア、現場に活かせる褥瘡ケアA・B、せん妄の理解とケア、がん看護（基礎編・応用編）、高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA・B、ジェンダー（LGBTQ）への理解と支援、こころと命を守る支援、虐待とネグレクトを予防する

- ウ 教育・研究：新人看護職員研修責任者・教育担当者研修、実地指導者研修
- エ 看護管理：中堅看護師に役立つコミュニケーション、コーチングできるリーダー育成、サーバントリーダーシップ
- オ 在宅・地域医療を推進する研修：精神科訪問看護師育成研修、地域で暮らす患者を支える多職種連携
- カ 日本看護協会主催または診療報酬に関する研修：糖尿病重症化予防研修、看護補助者の活用推進のための看護管理者研修、認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識

(2) その他

臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育研修会（看護基礎教育を考える）を開催  
 看護管理者が看護協会に求める研修についてアンケート調査を実施した結果を分析報告した。  
 看護研究学会を研究委員と連携しサポートすることができた。

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

(1) 目標達成度

WEB研修、ハイブリッド研修を取り入れ、受講しやすい環境の整備を推進している。  
 臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育研修を開催し看護師基礎教育4年制化について考えることができた。  
 身体拘束最小化、ハラスメント、職場適応支援、メンバーシップの新規研修を企画した。

(2) 次年度研修企画 同じ分野で内容が似ている研修を統合し効果的な研修会運営となるようにした。  
 研修内容がわかり、参加したくなるような研修テーマの検討

(3) 次年度に向けての課題

・WEB参加者の受講状況の確認 ・WEB研修の拡大と評価 ・再編した研修の評価  
 看護研究学会を研究委員と連携しサポートする。  
 各施設で開催されている研修内容を調査する方法を検討する。

◎広報委員会

委員長：表寺 朱美

1 開催回数 12回

2 活動目標

富山県看護協会の使命を受け、県民及び会員の皆様、看護を目指す皆様に、看護協会の活動等、看護に関する情報を提供する。

3 活動内容

(1) 行事の取材（定時総会、看護研究学会）

(2) 富山県看護協会機関誌「看護とやま」の発行

ア 「看護とやま」掲載記事の編集を行い年4回発行

No.151（4月号）、No.152（7月号）、No.153（10月号）、No.154（1月号）

イ テーマ「ともに歩む」

ウ 表紙「富山県の四季折々の風景」

会員から写真を募集。富山県の自然の美しさを表現し、会員の興味を惹きつける写真を選定した。

エ 主な掲載内容

No.151 ・支部活動報告「高岡・射水・氷見支部」「富山西・富山南支部」

・未来へつなぐ看護 令和6年能登半島地震で活動した保健師・助産師・看護師の活動報告

No.152 ・令和6年度富山県看護協会定時総会報告・新役員紹介

・社会福祉委員会 看護職が働き続けられる職場環境に関する調査結果  
 ・令和6年能登半島地震災害支援ナースの活動報告

No.153 ・令和7年度富山県に対する要望事項

- ・「性暴力被害ワンストップ支援センターとやまの役割と活動」研修会報告
- ・「生涯学習支援の取り組み」
- ・「ともに歩む」特集 母子支援活動について
- No.154 ・「新卒・新任訪問看護師の交流会」報告
- ・「地域で活躍する看護職OB」紹介
- ・支部活動報告 「砺波・小矢部支部」「富山東・北支部」

#### 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

「看護とやま」は、皆様の原稿協力を得て、発刊することができた。次年度も、引き続き会員の皆様に興味を引く企画を検討し、取材を通して看護の情報発信を行っていく。

### ◎社会経済福祉委員会

委員長：水野 博美

#### 1 開催回数 9回

#### 2 活動目標

- (1) 離職調査結果から得られた要因をもとに、働き続けられる職場づくりを提案し、推進する。
- (2) 離職原因に挙げられた勤務体制の改善を発信する。

#### 3 活動内容

看護職が働き続けられる職場づくりの推進及び、看護師等の就業と定着、WLB推進を目的に研修会を企画した。

##### (1) 看護職員定着支援事業シンポジウム

日時 令和6年8月9日(金) 13:30～16:00 参加人数 37名

ア 調査報告「看護職が働き続けられる職場環境に関する実態調査」

イ シンポジウム「看護職が働き続けられる職場環境について」

ウ 講演「離職予防について」 講師 社会保険労務士 友澤 景子氏

##### (2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会

日時 令和6年12月11日(水) 13:30～16:00 参加人数 42名

ア 報告 黒部市民病院

イ 講演「就業継続が可能な看護師の働き方の提案」

講師 国際医療福祉大学大学院 副大学院長 福井 トシ子氏

ウ 広報誌「看護とやま」(NO152・153・154)に看護職が働き続けられる職場環境に関する実態調査報告や研修内容を掲載した。

エ 看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査の実施

#### 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

離職原因に挙げられた勤務体制の改善を発信し、シンポジウムや講演を通して、働き続けられる職場づくりを提案することができた。看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査を実施し、各医療機関における実態を知ることができた。

次年度は、心理的安全性について学び、安心して発言、行動できる職場環境づくりを推進する。

### ◎看護倫理委員会

委員長：福澤 智香子

#### 1 開催回数 7回

#### 2 活動目標

- ・令和5年度に実施した「看護倫理活動に関する調査」を基に倫理研修を企画・運営する。
- ・研修後アンケートを基に研修を評価し、次年度の計画に活かす。

#### 3 活動内容

##### (1) 看護倫理研修Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 研修の企画・運営・支援

ア 看護倫理Ⅰ 令和6年9月24日(火) 参加者33名

ねらい：日常の看護実践の場において、患者の人権や倫理的問題に関心を持ち、臨床場面

で遭遇する倫理的問題に気づき顕在化できる。倫理的問題には、患者の立場に立ち「倫理原則」に基づき検討することを学んだ。また回復期・慢性期の医療施設からの参加もあり、身体拘束や高齢者の意思決定支援等へ関心も高く、次年度の研修で企画する。

イ 看護倫理Ⅱ 令和6年10月18日(金) ハイブリッド開催 参加者69名

ねらい：看護職が専門職として必要な倫理の基礎知識を基に、意思決定を支えるプロセスを学び自施設の活動に活かす。

ACPや意思決定支援への関心が高く、事例やグループワークを通し多職種との倫理カンファレンス開催の必要性やファシリテーターの役割を学ぶことができた。参加理由では、研修を自施設のラダー取得要件として活用するケースが増加していた。

ウ 看護倫理Ⅲ 令和7年2月13日(木) 参加者46名

ねらい：地域包括ケア時代において多様な倫理問題に向き合い、倫理風土を育む人材を育成する。今年度研修講師を変更した。講義は急性期から在宅までの多様な臨床場面を基に、医療倫理や生命倫理の基本や、医療におけるナラティブアプローチが倫理的問題解決に重要であることを学んだ。倫理コンサルテーションなど臨床倫理を日常化するための人材育成についても見識を深めることができた。

(2) 令和7年度看護倫理研修会の企画(看護倫理Ⅰ 看護倫理Ⅱ 看護倫理Ⅲ)

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

(1) 倫理研修Ⅰ Ⅱ Ⅲについて

すべての研修において受講者の75%~100%が目的を「達成できた・一部達成」との評価であった。今年度は病院機能別に研修後アンケートを実施した結果、慢性期施設より「事例検討を増やしてほしい」「高齢者や身体拘束について具体的に学びたい」との回答があり、施設での倫理カンファレンスを活発に運用したい意向も確認することができた。

(2) アンケート調査からの今後の課題、取り組みについて

参加者の勤務する病床機能や入院・入所患者は様々で、直面する倫理的問題にも違いがみられる。慢性期や小規模病院・施設の倫理研修について次年度要望を調査し、倫理的問題の分析や効果的なカンファレンスが個々の施設で開催できる研修企画等について検討する。

◎医療安全委員会

委員長：関堂 好子

1 開催回数

5回(研修会開催を含まず)

2 活動目標

- ・医療安全対策に関する研修を開催し、専門的知識の獲得を支援する
- ・医療安全管理者の養成及び施設内の医療安全体制を整備・構築するための情報交換や資質向上を図る
- ・医療事故調査制度について学び、組織で取り組む医療事故再発防止の支援に活かす

3 活動内容

医療安全対策研修会の企画及び運営(5回9日間)

(1) 医療安全の観点からのリスクマネジメント(定員50名×3日)

6月13日(木) 33名参加、7月25日(木) 32名参加、8月29日(木) 33名参加

(2) 楽しく学ぼうKYT・チームSTEPPS(定員60名×2日)

7月12日(金) 45名参加、10月11日(金) 47名参加

(3) 新人看護職員Ⅱコミュニケーションスキルを磨こう(定員140名×2日)

10月16日(水) 130名参加、10月23日(水) 120名参加

今年度から教育委員会と合同で開催した

午前と午後で講師と委員が会場を移動し、同じ内容の研修を1日に2回開催した

(4) 医療安全管理者養成研修（定員50名）

10月24日（木）28名参加

今年度から他職種の受講を可能とし、薬剤師1名、理学療法士1名が参加した

(5) 医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント（定員50名）

11月11日（月）25名参加

4 目標の達成度、次年度に向けての課題

(1) 専門的知識の獲得支援について

今年度もラダーに応じた研修を実施した。研修受講後のアンケート結果から、「受講目的が達成できた、一部達成できた」、「受講後とても満足、満足」との回答が大部分であることから、研修会としての目標は達成できたと評価する。今年度は、研修終了後に講師との振り返りを実施していなかったため、次年度は実施することとし今後の研修に活かしたいと考える。また、参加者が定員より少ない研修が多かったため、次年度はラダーに応じた研修をスリム化することとした。研修会の内容については今年度と同様とするが、KYT・チームSTEPPS研修は医療安全委員が講師として開催する予定である。

(2) 医療安全管理者の養成及び資質向上について

医療安全管理者研修は、自施設のインシデント事例を持ち寄り医療安全に関する問題とその初期対応や再発防止のアプローチをグループで検討した。システム思考で考えることができ目標を達成できた。

(3) 医療事故再発防止の支援について

研修内容に医療事故調査制度や分析方法を組み込み、知識を得ることができた。

◎災害看護委員会

委員長：水口 直美

1 開催回数 7回

2 活動目標

富山県看護協会として、新たな仕組みによる災害支援ナースの応援派遣体制を構築する。

(1) 災害支援ナース養成研修（災害編・感染編）を実施し、登録者を養成

(2) 災害支援看護師派遣体制の整備

(3) 防災訓練に参加し、地域の災害対応を把握

3 活動内容

(1) 災害支援ナース養成研修（オンデマンド研修・集合研修）を実施と運営

ア 令和6年8月1日（木）～10月15日（火）オンデマンド研修

イ 令和6年10月30日（水）感染看護 受講者 78名

ウ 令和6年11月14日（木）災害看護 受講者 78名

(2) 災害支援看護師派遣体制の整備

ア 能登半島地震の活動内容や報告書から今後の課題や改善点をあげ、災害支援マニュアルの改訂作業を行う。

イ 災害派遣時のリストに沿って災害発生時にすぐに持ち出せるよう災害支援活動物品の整理を行った。

(3) 災害訓練参加

ア 富山県総合防災訓練

令和6年9月29日（日）朝日町立さみさと小学校 参加者2名

避難住民に対しJMATや薬剤師会と協力し救護所での医療救護活動を行った。

イ 富山県原子力防災訓練

令和6年11月24日（日）氷見運動公園 参加者2名

避難退域時検査に訪れた住民の新興感染症疑いや体調不良者の対応を行った。

#### 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

- (1) 新カリキュラムによる災害支援ナースは合計127名となった。次年度は、災害支援ナースを増やす等の目的で災害研修基礎編、災害支援ナースフォローアップ研修を企画する。
- (2) 災害マニュアルの改訂作業を行ったが、応援派遣は「日本看護協会 災害支援ナース派遣調整マニュアル」に準ずることになった。次年度は、災害支援ナースポケットマニュアルの改訂を行う。

#### ◎学会委員会

委員長：寺井 彩

##### 1 開催回数 委員会 9 回、研修会 8 回

##### 2 活動目標

- (1) 富山県看護研究学会の企画・運営ができる。
- (2) 看護研究研修の企画・運営ができる。

##### 3 活動内容

###### (1) 第34回富山県看護研究学会の企画・運営について

演題登録数は25演題であった。今年は新興感染症拡大後初めて対面形式の学会開催であったため、示説発表を加え、口演16演題、示説 9 演題を採択した。特別講演は「触れて、見て、心の奥に気づく。て・あーての実践」という題で、一般社団法人 日本て・あーて (TE/ARTE) 推進協会 理事 水野陽子氏に依頼した。

###### (2) 看護研究研修の企画・運営について

レベルごとにⅠ～Ⅳを企画し、受講者のニーズに答えられるよう開催時期・回数・研修内容・参加者数を検討した。Ⅰは1日コースを3回、Ⅱは2日間コースを2回、Ⅲは1日コースを2回・Ⅳは1日コースを1回開催し、研修後に受講生のアンケートに基づき評価を行った。

#### 4 目標の達成度、次年度に向けての課題

- (1) 富山県看護研究学会においては、査読・集録の作成ともに予定通りに進めることができた。学会会場は初使用の場所（オーバードホール・中ホール）であったが、事前打ち合わせを十分に行い、大きなトラブルはなく開催できた。最大客席数652席の会場で、参加者は574名であった。しかし時間帯により空席が目立つこともあり、参加者を会場へ誘導する際の工夫が必要である。アンケートの回収率は28%と低い結果となったが、今後学会運営をする上で様々なご意見やアドバイスを頂戴したため、次年度に生かしていく。
- (2) 看護研究研修については、全て計画通り実施できた。研修Ⅱにおいては、講義担当者の都合と受講状況を考慮し、2回開催から1回開催に変更し、その分1回開催の募集人数を50人から80人に増やすこととなった。研修は演習が多いため、次年度も引き続き、受講生のニーズを把握しながら委員が講師と受講生の橋渡し役となることが求められる。

#### ◎推薦委員会

委員長：針原 昌美

##### 1 開催回数 6 回

##### 2 活動目標

- (1) 改選役員、職能委員、推薦委員候補者を推薦する
- (2) 代議員及び予備代議員を推薦する

##### 3 活動内容

###### (1) 公益社団法人日本看護協会定款及び定款細則について読み合わせ

日本看護協会：定款第4章（代議員・予備代議員）第5章（総会）

定款細則第5章（代議員・予備代議員の選出）第6章（総会）

###### (2) 公益社団法人富山県看護協会役員などの推薦及び推薦委員に関する規定について読み合わせ（目的から附則まで）

###### (3) 公益社団法人富山県看護協会職能委員会規程の読み合わせ（目的から附則まで）

富山県看護協会：定款5章（役員）第7章（職能委員）

- (4) 令和7年度推薦委員及び職能委員の選出施設の検討
  - (5) 令和7年度推薦委員及び職能委員の候補者を選出
  - (6) 公益社団法人富山県看護協会役員などについて  
令和7年度役員のおすすめ候補を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
  - (7) 日本看護協会通常総会代議員・予備代議員について  
令和8年度予備代議員を選出し、規程に基づいて選挙管理委員会に選挙推薦候補者名簿届出書を提出
  - (8) 推薦委員会運営マニュアルの改訂
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題  
適正な委員候補者を推薦することができた。  
今年度改訂した委員会運営マニュアルを活用し、今後も適正な委員の選出を行う  
予備代議委員、職能委員の継続の有無が分からず、1月の委員会までは活動を行う事が出来なかった。  
そのため、12月に職能委員など任期を終える方についての確認を6月の合同委員会の時点で職能理事の方から職能委員へお知らせできるよう事前に理事会で看護協会から伝達してもらう。それによりスムーズに選出が行えるのではないか(准看護師、職能Ⅱの枠)

◎選挙管理委員会

委員長：宮田 美絵

- 1 開催回数 5回
- 2 活動目標
  - ・公益社団法人富山県看護協会の役員及び日本看護協会代議員並びに同予備代議員の選挙を公正に行う。
- 3 活動内容
  - (1) 当選者の公表  
令和6年度公益社団法人富山県看護協会役員と、令和7年度公益社団法人日本看護協会代議員・予備代議員選挙結果を「看護とやま」7月15日号に掲載した。
  - (2) 選挙公示  
公募について、令和7年度公益社団法人富山県看護協会役員と、令和8年度公益社団法人日本看護協会代議員・予備代議員を「看護とやま」1月15日号に掲載した。
  - (3) 立候補者なし。推薦候補者を「看護とやま」4月30日号に公示した。
  - (4) 選挙手順の確認
    - ・選挙に備え、看護協会総会での選挙管理委員会の役割を確認した。  
(準備から当選当日までの工程を確認)
    - ・総会出席者による投票を支障なく行うため、選挙当日の手順書の内容を確認した。
  - (5) 選挙録の作成  
選挙の経過を記録した選挙録を作成し、委員長の署名捺印を行う。  
6月19日(水) 年間活動計画を作成  
9月13日(金) 総会予定日・選挙手順の確認  
11月8日(金) 選挙公示に向けての準備  
選挙関連書類の確認  
3月14日(金) 「看護とやま」掲載内容の検討  
4月2日(水) 候補者の最終確認
- 4 目標の達成度、次年度に向けての課題  
目標達成に向け、選挙が行われた場合に備えて準備を行った。  
次年度に向けた課題は、実際に選挙が行われた際には滞りなく実施できるようにする。

## 令和 6 年度 支部報告

### ◎黒部・魚津支部

支部長 山本 陽子

#### 1 活動目標

多職種と連携し、地域高齢者の健康ニーズに沿った支部活動を実施する。

#### 2 活動内容

##### (1) 地域のニーズに応じた看護活動

魚津市住民を対象に、通所型介護予防事業「さんさん介護予防倶楽部」にて「健康寿命のためのうんちの話」と題した健康出前講座の実施、および魚津市健康センターの企画である「フレイル予防セミナー」に支部後援として参加した。どちらも演習や筋量測定などを含めたことで参加者からの質問も多く、排便コントロールやフレイル予防の啓発となった。参加者は計65名。

##### (2) 支部研修会

岡本里美富山県看護協会長による「最近の看護の動向」の講義のあと、「誤嚥性肺炎入院をゼロ人達成にする口腔ケア」と題し、精田紀代美氏（歯科衛生士／ピュアグループ歯科衛生士事務所代表）から演習を交えた講義を受け、「舌の筋力」に着目した誤嚥性肺炎を未然に防ぐケアの方法を学んだ。参加者からケアの実践に活かされると好評であった。会場：黒部市民病院、参加者60名。

##### (3) 「まちの保健室」事業

入善町事業である「健康フェスティバル」に会場した一般住民を対象に、健康相談・介護相談・認知症相談・体脂肪測定などを実施した。その際、フレイル自己チェック表付ティッシュ、協会のクリアケース、健康に関するパンフレットを配布しながらフレイル予防事業のPRを行った。参加者は、相談16名、体脂肪測定約100名。

##### (4) 「看護の日」及び看護週間における事業

看護職の魅力ややりがいを伝えることを目的に地区教育委員会にて広報活動を行い、応募のあった小学校2校（6年生）・中学校1校（1年生）にて看護の出前講座を行った。手指消毒演習による感染対策と命の教室をベースに企画したことで、多方面で活躍する看護師の仕事に驚きがあり、仕事のイメージが広がったようであった。

##### (5) フレイル予防に関すること

「フレイル自己チェック表」と「オーラルフレイル予防体操」の紹介を添付したポケットティッシュを作り、「1. 地域のニーズに応じた看護活動」「3. まちの保健室事業」の会場にて、パンフレット等とともに配布しフレイル予防を啓発した。

#### 3 目標の達成度、次年度に向けての課題

予定した活動は支部委員の協力にて実施できた。「まちの保健室」は、単独の開催では参加者が少ないため、地域で行われる各種イベントに参加する形で企画していく予定である。

### ◎富山東支部、富山北支部

支部長 籠井 瑞穂

#### 1 活動目標

多職種と連携を取り、地域に求められる支援・看護活動を行う。

## 2 活動内容

### (1) 地域のニーズに応じた看護活動

9月28日に「やつおフェスティバル」(70名参加)、10月13日に五省会主催「ロコケン」(40名参加)に参加し、各会場において、血圧測定や高血圧や糖尿病に関する健康相談を実施した。日頃、体験できないFMD測定やベジチェックへの関心が高く、個別に食生活改善の指導ができ健康維持・増進に繋がった。

### (2) 支部研修会

ア 7月27日に富山地区支部合同研修として、「在宅に戻るための看護(医療)・介護連携」をテーマにシンポジウムを開催した。今年度の診療報酬、介護報酬、福祉報酬の同時改定に伴い、取り組むべき役割を多職種から発表していただいた。患者中心の情報共有をスピード感を持って取り組むことの重要性を学ぶことができた。アンケート結果では、理解度、満足度、活用度のいずれも75%以上の高い評価であり有意義な研修であった。100名参加。

イ 在宅医療体験実習を6月～7月にまちなか診療所において11名、8月～11月にくれよん在宅クリニックにおいて18名が実習した。報告会では3名の実習生から、体験実習内容や自施設での課題解決に向け取り組んでいる内容などについて報告発表を行い、実習施設の医師・看護師から「病院と在宅医療における連携と課題」について意見交換を行った。在宅医療現場の生の声を聞き、病院医療と在宅医療の連携強化の重要性を学び、自施設の課題を明確にする機会となった。在宅医療体験の学びを看護実践に活かし、病院と在宅医療の連携推進に繋がり地域医療の質向上に貢献できた。

### (3) 「まちの保健室」事業

ア 富山市民病院において「メディカルジョブ体験・夏休みワクワク職業体験」に参加した。手術室や救急センターなど、各部署特有の仕事を体験してもらった。日頃、見ることのない場所で腹腔鏡機械を使った疑似体験や救急隊員と一緒に救急車による患者搬送などのインパクトのある仕事を楽しく体験できたことで看護職に興味を持って、将来の看護職確保のきっかけ作りができた。30名参加。

イ グランドプラザでの富山市民と障害者、福祉団体、ボランティアとのふれあいや交流を通して、「看護のシゴト」、グッズの配布、健康相談を実施し看護職に対する理解を深めた。また、かんごちゃんを展示、着用しながら看護職の役割や人材確保について説明し、次世代看護師確保に繋いだ。40名参加。

### (4) 「看護の日」及び看護週間における事業

富山市内の小学校3校、高校1校への出前講座を実施した。看護職の理解を深めるために「看護のシゴト」などのパンフレットを活用し説明した。災害看護、能登半島地震について話したときは興味深く聞いてもらえ、特にDMATに対する関心が高かった。看護体験は「楽しかった」と笑顔で話す生徒ばかりで看護職について興味・関心を持ってもらえ、将来の看護職の人材確保に繋がった。

次年度は、保護者参加型の出前講座や富山市の広報・ホームページなどメディア積極的に活用する。

### (5) フレイル予防に関すること

グラウンドプラザでの富山市民と障害者、福祉団体、ボランティアとのふれあいや交流を通して、健康寿命延伸、疾病予防に向けオーラルフレイル、フレイル予防のパンフレットなどを配布し、理解を深め、地域住民への啓発を図った。40名参加。

## 3 目標の達成度、次年度に向けての課題

今年度の目標である「多職種と連携を取り、地域に求められる支援・看護活動を行う」について、在宅医療体験実習が最も有効であったと考える。今年度は、募集人数を上回る応募があり、実習体験後のアンケート結果では、在宅医療の多職種連携の重要性や病院と在宅医療の連携強化の必要性

を理解できたという意見が多かった。さらに、全員が今後も実習の継続を希望していることから有意義な研修であったと確信できる。このような活動を通し、地域医療の質向上、地域包括ケアシステム推進に貢献していきたい。

次年度は、保護者参加型の出前講座や富山市の広報・ホームページなどメディアを活用するようにしたい。

## ◎富山西支部、富山南支部

支部長 南 峰子

### 1 活動目標

地域での看護職のネットワークの構築を図るとともに、関係機関と連携し、地域のニーズに対応した看護活動を行う。

### 2 活動内容

#### (1) 地域のニーズに応じた看護活動

八尾コミュニティセンターで、70名の参加で「やつおふれあいフェスティバル」に参加し、血圧測定、血管弾力測定、ベジチェックなどを実施し、地域住民の健康相談を受けた。駅前マルトでは、五省会主催の「ロコケン」に参加し、血圧測定、酸素飽和度測定、今年度作成のフレイル予防のためのパンフレット配布などを40名の参加者に実施した。いずれもかんごちゃんの展示によって小さいお子さん連れのご家族から高齢者まで幅広く、健康管理と看護の仕事について啓発活動を行えた。

#### (2) 支部研修会

富山県看護研修センターで100名の参加、富山地区支部合同Web研修会「在宅に戻るための看護（医療）・介護連携」というテーマのもとに4名のパネラーによるシンポジウム、富山短期大学教授の中島眞由美先生ご講演の研修会を開催した。今年度の診療報酬、介護報酬、福祉報酬の同時改定ということで様々な方面から多くの方に参加頂き、病院・施設と在宅の連携強化に繋がった。富山支部合同研修「在宅医療体験」では、まちなか診療所11名、くれよん在宅クリニック18名の参加者があり、それぞれの在宅診療に受講生が同行した。報告会では受講生3名と実習施設の医師・看護師から「病院と在宅医療における連携と課題」について報告があり、「連携強化に繋がった」や「在宅医療の現場の声を聴くことができてよかった」という意見があった。

#### (3) 「まちなかの保健室」事業

婦中ふれあい館で3月1日(土)、「婦中生涯学習フェスティバル」に富山西保健福祉センターの保健師の方と合同で健康相談のブースを設けた。フレイル予防につながるようポスター展示、パンフレット・フレイル予防ティッシュペーパー配布、骨密度簡易測定、血圧測定を実施し、77名の参加があった。多くの方にフレイルについて興味を持って頂けた。

#### (4) 「看護の日」及び看護週間における事業

桜谷小学校、月岡小学校、大久保小学校の3校から看護師出前講座依頼があり、教員と小学6年生の子供さん合計154名に看護の仕事を紹介し、心臓音を聴診器で聴くこと、手洗いチェッカーや酸素飽和度計の体験をしてもらった。看護師の体験も紹介したことから、小学生の生徒さんからの質問も多く、「色々な体験をして楽しかった」や「看護師の仕事に興味があった」、「やってみよう」という意見をもらえた。

#### (5) フレイル予防に関すること

「ふれあいフェスティバル」「ロコケン」「婦中生涯学習フェスティバル」のイベントでは、健康相談ブースを設け、血圧測定や骨密度簡易測定を実施した。また、今年度作成したポスターとパンフレット・ティッシュペーパーを配布し、フレイル予防の啓蒙に繋がった。

### 3 目標の達成度、次年度に向けての課題

各イベント健康相談ブースでは地域住民の健康意識を高めるきっかけとなり、支部研修では在宅と病院・施設の連携強化につながった。「看護の日」の事業としての小学校出前講座では多くの小学6年生とふれあうことで、看護師という仕事をより知ってもらうことに繋がり、目標は達成できた。次年度は今年度の事業を継続し、もっとフレイルについてわかりやすいポスターを作成、説明に繋げていきたい。

#### ◎上市支部

支部長 沖山 正子

##### 1 活動目標

地域のニーズに応じた看護活動を実施する。

##### 2 活動内容

###### (1) 地域のニーズに応じた看護活動

9月～11月にかけて、管内の病院で認知症に関する情報提供と啓発活動、乳がん検診率向上のためのピンクリボン活動、糖尿病の情報提供と啓発活動を行なった。啓発活動を見た病院来訪者から「病気に関する情報を知る機会となり良い取り組みである。このように健康に関する様々な情報を発信して欲しい」との意見が聞かれた。認知症・乳がん・糖尿病について広く情報発信することができた。

###### (2) 支部研修会

ア 7月27日に富山地区合同開催として「在宅に戻るための看護（医療）・介護連携」についてシンポジウムを開催し、100名が参加した。富山福祉短期大学 学科長 教授 中島 眞由美先生の講演に続き、4名のシンポジストが発表を行った。介護支援専門員、社会福祉士、看護師から話しを聞くことができ、在宅に戻るための看護（医療）・介護連携について取り組むべき役割を前向きに考える機会となった。

イ 6月から11月にかけて富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師24名が、まちなか診療所及びくれよん在宅クリニックにて在宅医療体験実習を行った。また、11月29日に在宅医療体験実習報告会を実施した。看護・介護・福祉の連携について考え、自施設における入退院支援に役立てる機会となった。

###### (3) 「まちの保健室」事業

11月10日に「つるぎフェスティバル in かみいち」に「まちの保健室」として出店し、バイタル測定、血管年齢測定、介護・健康・認知症相談、フレイル予防等を実施した。マスコット「かんごちゃん」が子供たちの興味を誘い集客につながり、約465名の地域住民がブースを訪れた（血圧・体脂肪測定:85名、血管年齢測定:76名、認知症相談:18名、フレイル・骨密度測定:156名、骨折評価:130名）。地域住民が自身の健康について理解を深め、看護への興味や関心につながる機会となった。

###### (4) 「看護の日」及び看護週間における事業

ア 6月に管内の小学校3校において、ふれあい看護体験出前講座を実施した。小学生、保護者ら55名が参加し点滴下体験、妊婦体験、AED体験、バイタル測定等を実施した。生徒の感想文では、「看護体験を通して、将来看護師になりたいと思った」などの意見が聞かれた。また、参加した保護者からは、「将来の職業について親子で話す機会となった」などの意見が聞かれたことより、看護の仕事について関心をもってもらい将来の職業選択の一助となった。

イ 6月8日に厚生連滑川病院でふれあい看護体験を実施した。管内小学生～中学生、保護者ら34名が参加した。看護の仕事に関心を持ってもらうように、高齢者体験、AED体験、手術室体験等の看護体験を実施した。アンケート結果より「とても楽しかった」「楽しかった」

が100%であり、看護が身近に感じられ、関心が高まるきっかけとなった。

(5) フレイル対策に関すること

フレイル予防について地域住民の理解を深め、住民が自発的に健康管理に取り組めるよう働きかけることを目的に、フレイル予防に関するYouTube動画「健やかに老いる、寝たきりにならないための智恵～知っていますか、フレイル」と「フレイル・ロコモ・サルコペニア」を作成した。地域住民や医療従事者をはじめ、地域包括支援センターや訪問看護ステーション、看護学校等において約600名以上が視聴し、フレイル予防についての理解を深め、自発的に健康管理に取り組めるよう啓発することができた。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

支部活動は計画通り実施することができた。富山地区合同研修では、看護・介護・福祉の連携について考え、地域の関係医療機関との交流の場となり、ネットワーク強化につながった。まちの保健室の開催などで地元住民と触れ合い、直接対話が出来たことで地域のニーズを知ることができた。次年度も地域や行政機関と連携を図りながら看護活動を行なっていきたい。また、時代に即した方法も取り入れ看護の魅力や情報を発信し、将来看護職を目指すきっかけ作りとなるよう活動を推進していく。

◎高岡・射水・氷見支部

支部長 高柳 知子

1 活動目標

- (1) 地域の介護施設のニーズに応じた看護・介護に係る支援を行い、医療機関と介護施設の相互理解・連携を深め、地域包括ケアの推進に寄与する。
- (2) 各施設における災害対策の実践を支援する。
- (3) 地域住民が主体的に健康づくりに取り組むことを支援する。

2 活動内容

(1) 地域のニーズに応じた看護活動

支援の希望があったサ高住3施設、グループホーム1施設へ各々のニーズに応じた認定看護師を派遣し、相談に応じた。終了後のアンケートでは、「有効な感染症対策について具体的な指導をうけることができた」、「救急搬送時の救急隊や搬送先病院への報告事項について学ぶことができた」、「飲み込みが悪い利用者に対する支援方法が理解できた」等、日々の実践に即つながる支援ができたと思われる。

(2) 支部研修会

令和4年度から5年計画で東京都立病院機構広尾病院減災対策支援センター長の中島氏に講師を依頼している。令和6年1月の能登半島地震発生により、一層実効性の高い減災対策やBCP立案等の必要性を感じている参加者59名が視聴した。終了後のアンケートでは、全員が「今後に活かそう」と回答しており、その内容として「職場の整理整頓」「アクションカードの見直し」「受援に向けた業務の仕分け」等の回答が多かった。参加しやすいよう参集とWEB配信による受講を可能としており、次年度も継続予定である。

(3) 「まちの保健室」事業

今年度は新たに「高岡市民健康フォーラム」にブースを設け、健康相談、骨密度測定、ベジチェック（推定野菜摂取量測定）を実施した。測定後の結果説明では、食生活をはじめとする生活習慣全般を振り返っていただき生活習慣病予防や介護予防を啓発することができた。

(4) 「看護の日」及び看護週間における事業

高岡市教育委員会に働きかけ、校長会で出前講座や講師紹介等の窓口として活用してほしいことを伝えた。看護職に関心がある中学生が、高岡市民病院、射水市民病院の現場で看護職の役

割や魅力、病院の機能について学んだ。また、高等学校1校に訪問し、キャリアガイダンスを行った。

(5) フレイル予防に関すること

「まちの保健室」の一環として取り組んできたが、次年度以降は、参加者の年齢層により「まちの保健室」と「フレイル予防」の取り組みを仕分けし、よりターゲットの年齢層を意識した啓発に努めたい。

3 目標の達成度、次年度に向けての課題

「地域のニーズに応じた看護活動」の利用施設においては、満足度が高いが、利用施設数は少数に留まっており、本活動の具体的内容や利用施設の感想、有効性を広く周知する必要があると考える。次年度の案内文には、これらも掲載し、利用施設数を伸ばしたい。

支部研修会の受講者の満足度は高いが、令和4年度の初回参加者数の6割に留まっている。講演内容は一層実践的なものとなっており、参加施設及び参加者数の増加を図るため、申し込みのない医療機関に声掛けする等努めたい。

「看護の日」及び看護週間における事業については、今年度、中学2年生の「14歳の挑戦」で看護職の体験を選んでもらえるよう、その前段階の中学1～2年生に働きかけをしたが、参加は少なかった。次年度は、小学生をターゲットとし、小学生が集まるスポーツイベントとタイアップした取り組みを計画している。

◎砺波・小矢部支部

支部長 中山 詠美

1 活動目標

看護職が砺波医療圏の現状を理解し、地域住民が自ら健康づくりに取り組むことを支援する。

2 活動内容

(1) 地域のニーズに応じた看護活動

各地で開催される健康教室などの参加者を対象に、心不全発症のリスクや予防行動がとれるよう住民の意識を高めることを意識して活動を行った。

冬季開催の活動については、ヒートショックも啓発活動として行った。タブレットで確認できる「ヒートショック予報」を確認するなどデジタルツールの活用も行った。

(2) 支部研修会

心不全パンデミックの到来の理解と抑制のために看護職のできることをテーマとして研修を行った。再入院抑制のため治療の継続を患者自身に取り組めるよう啓蒙活動を多職種で連携していかなければならないことを学び、現場で実践できる内容として高評価であった。71名参加。

(3) 「まちの保健室」事業

今年度も、ショッピングセンターで「熱中症」「フレイル」「ヒートショック」のそれぞれを予防する啓発活動と健康相談を行い、合計142名の参加があった。スポーツ施設のそばであったことも関係したのか、高齢の方からもタンパク質の適切な摂取量などの相談があり、意識の高まりを感じた。

(4) 「看護の日」及び看護週間における事業

今年度は出前講座の依頼はなかったが、それぞれ病院のイベントや14歳の挑戦などの機会を捉え、幼児から高校生へ伝えることができた。152名の参加となった。高校生への出前講座では進路相談などもあり、自分事として関心を持ってもらっていると感じた。

(5) フレイル予防に関すること

南砺市主催の「フレイルの日」のイベントに参加した。5つのブースで「食事・運動・社会参加」について啓発活動を行った。周囲の人とのつながりが減ったため人と話しに来たという方もお

り、そのような方の支援にもなっていると感じた。36名参加。

### 3 目標の達成度、次年度に向けての課題

「地域のニーズに応じた看護活動」、「まちの保健室」、「看護の日」について当初の計画よりも、多く開催することができた。他の団体でのイベントへの参加や、若年層が参加する行事などを捉え、目的にあった事業を開催できるよう意識していたためと思われる。若年層などはすでに行事予定が詰まっていることや、地域住民も年間計画として活動されているため、新規参入は難しいと感じている。そのため、若年層や地域住民が参加する既存の計画を捉え、看護協会の目的にかなった事業を展開していくようにする。

# 資 料

令和7年度	優良看護職員表彰者名簿	93
<b>[報告事項1 令和6年度事業報告資料]</b>		
令和6年度	研修会等実施状況報告	94
令和6年度	認定看護管理者教育課程 教育運営委員会	106
令和6年度	富山県ナースセンター事業報告	107
令和6年度	富山県訪問看護総合支援センター事業報告	122
令和6年度	訪問看護ステーションひよどり事業報告	131
令和6年度	訪問看護ステーションひよどり富山事業報告	134
令和6年度	ひよどり富山居宅介護支援事業所事業報告	139
令和6年度	神明・五福地域包括支援センター事業報告	141
令和6年度	高齢者保健事業推進基盤整備事業報告(県委託事業)	144
令和6年度	富山県行政への要望事項	145
令和6年度	行政機関および関連団体等の委員等就任状況	148
令和6年度	他団体等への推薦	150
令和6年度	後援等の報告	151
<b>[各種報告2 令和6年度職能委員会報告資料]</b>		
産前・産後のこころに寄り添う 研修報告	保健師職能委員会	153
統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果報告	保健師職能委員会	155
統括保健師の育成と今後の方策研修報告	保健師職能委員会	159
「いのちの教室」実践報告	助産師職能委員会	160
保健師・助産師交流会報告	助産師職能委員会	161
外来における在宅療養支援能力向上のための取り組み 報告	看護師職能Ⅰ委員会	163
在宅ケア事例検討会報告	看護師職能Ⅱ委員会	165
<b>[各種報告3 令和6年度委員会報告資料]</b>		
看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査結果	社会経済福祉委員会	167
<b>[各種報告4 令和6年度支部報告資料]</b>		
令和6年度	支部(5事業)報告	支部 170
令和6年度	支部長会報告	支部 180
<b>[各種名簿等]</b>		
令和6年度	富山県看護協会施設別・職種別会員数	181
令和6年度	受章(彰)者名簿	183
令和6年度	富山県看護協会役員及び委員名簿	184
令和6年度	富山県看護協会支部役員名簿	187
令和7年度	日本看護協会通常総会代議員及び予備代議員名簿	188
<b>[参考資料]</b>		
会員数と入会率		190
都道府県看護協会一覧表		192
都道府県ナースセンター一覧表		193
公益社団法人富山県看護協会定款		194
公益社団法人富山県看護協会組織図		206
公益社団法人富山県看護協会職員名簿		207



---

---

令和7年度優良看護職員表彰者名簿

---

---

◎富山県部門功労表彰者（5人）

五十音順

岩城光子	厚生連滑川訪問看護ステーション
浦野妃路美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
加藤浩子	元 富山市役所
川岸孝美	公益社団法人富山県看護協会
藤井淳子	公益社団法人富山県看護協会

◎富山県看護協会会長表彰者（10人）

五十音順

伊井亮子	かみいち総合病院
稲見年美	高岡市民病院
海原真澄	厚生連滑川病院
梅村夕子	富山市基幹相談支援室
河上裕子	高岡市民病院
酒井敦子	富山市役所
酒井和子	国立大学法人富山大学附属病院
高長雅美	富山県立中央病院
向千春	金沢医科大学氷見市民病院
若杉央	富山県高岡厚生センター

# 令和6年度 研修会等実施状況報告

◎参加状況一覧表

R7年3月現在

区分	富山県委託補助事業	zoom活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数(うち非会員)		受講率(%)	受講者の内訳				
								保	助		看	准	その他		
1 新人研修		○	新人看護職員研修Ⅰ働き始めたあなたに！(オンデマンド研修) ※申込方法は21Pに記載	配信期間 4/1(月)～10/31(木)	2h	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※補助		新人看護職員研修Ⅱ～コミュニケーションスキルを磨こう～	10/16(水) 10/23(水)	1 1	140 140	130 122	130 120	(1) (1)	93% 87%	1 2	8 6	120 112	1 0	0 0
2 専門性を深める研修		○	糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への生活調整と支援【zoom】	9/5(木)	1	80	35	32	(4)	40%	1	1	30	0	0
		○	脳卒中患者の看護～急性期の重篤化回避から機能回復へ～【zoom】	10/2(水)	1	80	31	29	(3)	36%	0	1	27	1	0
			がん看護(基礎編) がん看護に関する基礎知識	10/29(火)	1	80	42	40	(5)	50%	1	1	38	0	0
			がん看護(応用編) ライフステージの特徴に応じた意思決定支援	11/8(金)	1	80	33	32	(1)	40%	1	0	31	0	0
			摂食嚥下障害の理解とケア	9/17(火)	1	80	80	73	(19)	91%	0	3	64	6	0
		○	現場に活かせる褥瘡ケアA【zoom】	10/10(木)	1	80	63	60	(9)	75%	0	0	59	1	0
			現場に活かせる褥瘡ケアB	10/17(木)	1	80	58	56	(29)	70%	0	0	46	9	1
			高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアA	11/6(水)	1	80	65	64	(9)	80%	0	0	63	1	0
			高齢者に多い呼吸器循環器疾患のケアB	11/21(木)	1	80	36	34	(11)	43%	0	0	30	4	0
		※補助		せん妄の理解とケア	10/28(月)	1	80	72	67	(6)	84%	0	2	64	1
①疾患別看護	※補助	講師のみ	心といのちを守る支援～看護職としてのゲートキーパーの役割を知る～	11/22(金)	1	50	30	30	(2)	60%	0	0	29	1	0
			虐待とネグレクトを予防する	12/4(水)	1	70	49	46	(9)	66%	0	3	41	0	1
			ジェンダー(LGBTQ)への理解と支援	11/20(水)	1	70	43	41	(1)	59%	0	5	34	2	0
			感染対策Ⅰ 基礎編A	9/4(水)	1	80	54	51	(6)	64%	2	0	45	4	0
2 ②			感染対策Ⅰ 基礎編B	9/12(木)	1	80	48	44	(17)	55%	0	1	35	4	4
			感染対策Ⅱ 実践編	9/20(金)	1	80	70	65	(10)	81%	2	2	56	5	0
2 ③看護倫理			看護倫理Ⅰ(基礎編) あなたの感性が活きる看護倫理	9/24(火)	1	70	35	33	(5)	47%	0	3	26	4	0
		○	看護倫理Ⅱ(実践編) 意思決定を支える力を養おう【zoom】	10/18(金)	1	70	70	69	(2)	99%	0	5	64	0	0
		※補助	看護倫理Ⅲ(上級編) 倫理風土を育む組織	令和7年/2/13(木)	1	80	47	46	(0)	58%	0	1	45	0	0
			楽しく学ぼうKTY・チームSTEPPS	A 7/12(金) B 10/11(金)	1 1	60 60	45 44	44 47	(10) (7)	73% 78%	1 1	1 1	38 43	3 1	1
			医療安全管理者・推進者のためのセーフティマネジメント	11/11(月)	1	50	27	25	(2)	50%	0	1	23	0	1
3 教育・研究			新人看護職員 研修責任者・教育担当者研修	5/18(土),6/24(月) 6/25(火),9/30(月)	4	70	36	33	(1)	47%	0	2	31	0	0
			新人看護職員 実地指導者研修	5/30(木),5/31(金) 6/10(月),2025.2/20(木)	4	80	78	67	(10)	84%	0	2	65	0	0
		※委託	富山県保健師助産師看護師実習指導者講習会	一般 10/25(金)～12/13(金) 特定分野 10/25(金)～12/13(金)	180h 39h	40 8	37 3	37 3	(2) (2)	93% 38%	1 0	1 0	35 3	0 0	0
			富山県保健師助産師看護師実習指導者講習会 指導案発表会	12/12(木)	1	40	5	4	(0)	10%	0	0	4	0	0
3 ②研究			看護研究Ⅰ(楽しく学ぶ初めての看護研究)	A 5/9(木) B 5/23(木) C 9/19(木)	1 1 1	70 70 40	71 71 39	71 69 (0)	(2) (1) (0)	101% 99% 56%	0 1 2	2 5 0	69 63 37	0 0 0	0
		※補助	看護研究Ⅱ(進めよう看護研究)	A 7/10(水),7/11(木) B 7/29(月),8/3(土)	2 2	50 50	49 30	49 25	(1) (1)	98% 50%	0 0	1 5	48 20	0 0	0
			看護研究Ⅲ-①(質的研究を学ぼう！)	8/2(金)	1	50	40	38	(2)	76%	1	2	35	0	0
			看護研究Ⅲ-②(量的研究を学ぼう)	9/6(金)	1	50	25	23	(0)	46%	1	0	22	0	0
			看護研究Ⅳ(迷わない研究サポート)	8/27(火)	1	50	23	19	(0)	38%	1	0	18	0	0
			中堅看護師に役立つコミュニケーション！	7/17(水)	1	70	63	61	(7)	87%	0	2	59	0	0
		※補助	コーチングできるリーダー育成	10/8(火),10/9(水)	2	50	50	50	(6)	100%	0	4	46	0	0
4 ②管理者研修			認定看護管理者教育課程セカンドレベル	6/20(木)～8/8(木)	31	25	30	30	(0)	120%	0	1	29	0	0
			セカンドレベル公開講座(ヘルスケアサービスにおける多職種連携)	6/30(日)	1	25	17	17	(0)	68%	0	1	16	0	0
			セカンドレベル公開講座(人材を育てるマネジメント)	7/4(木)	1	25	25	22	(0)	88%	0	0	22	0	0

区分	富山県委託補助事業	zoom活用	研修会名	開催日	期間	定員	応募者数	受講者数(うち非会員)		受講率(%)	受講者の内訳				
								保	助		看	准	その他		
4-2 管理者研修			セカンドレベル公開講座(経営資源と管理の実際)	7/19(金)	1	25	12	12	(0)	48%	1	1	10	0	0
			セカンドレベル公開講座(看護管理実践報告会)	8/9(金)	1	50	39	38	(0)	76%	0	2	36	0	0
			認定看護管理者教育課程ファーストレベル	9/3(火)~10/4(金)	21	50	50	50	(1)	100%	0	3	47	0	0
			ファーストレベル公開講座(組織マネジメント概論)	9/9(月)	1	30	30	29	(1)	97%	0	3	26	0	0
			ファーストレベル公開講座(人材育成の基礎知識)	9/11(水)	1	30	32	32	(1)	107%	0	0	32	0	0
			ファーストレベル公開講座(経営資源と管理の基礎知識)	9/14(土)	1	30	30	26	(1)	87%	0	0	26	0	0
5 在宅・地域医療を推進する研修	※委託	○	訪問看護ステーション管理者育成研修会【zoom】	7/6(土)	1	35	35	35	(8)	100%	3	1	31	0	0
			外来における在宅療養支援の実際	12/20(金)	1	50	50	47	(5)	94%	0	0	47	0	0
			地域で暮らす患者を支える多職種連携	11/19(火)	1	80	72	68	(5)	85%	0	0	68	0	0
			介護・福祉・在宅領域の研修	11/13(水)	1	50	24	24	(2)	48%	0	0	24	0	0
	※委託		「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	6/28(金),7/26(金),8/30(金) 10/1(火),12/6(金)	-	30	15	13	(3)	43%	0	0	13	0	0
	※委託		訪問看護従事者等研修会	11/1(金)	1	30	15	16	(7)	53%	0	0	15	1	0
	※委託		医療機関看護師の訪問看護研修	7/4(木),7/5(金),8/2(金) 8/6(火),8/7(水),8/9(金)	6	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※委託		在宅ケア事例検討会	8/22(木),8/28(水),9/3(火) 9/12(木),10/1(火),10/16(水)	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	※委託		訪問看護キャリア支援セミナー	7/30(火) 11/12(火)	1	20	9	9	(4)	45%	0	0	9	0	0
	※委託	○	精神科訪問看護師育成研修【zoom】	8/24(土)	1	50	22	19	(2)	38%	0	2	17	0	0
6 看護職に関する研修	※補助		看護職員定着支援事業シンポジウム	8/9(金)	1	50	39	37	(2)	74%	0	1	36	0	0
	※委託		看護職員再就業支援研修	6/4(火) 7/2(火) 8/6(火) 9/3(火)	1	15	12	12	(12)	80%	0	0	12	0	0
				7/2(火)	1	15	15	14	(14)	93%	0	0	12	2	0
				8/6(火)	1	15	16	15	(15)	100%	0	0	12	3	0
※委託		看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会	12/11(水)	1	50	43	42	(6)	84%	0	2	36	1	3	
①保健師・助産師・看護師研修			統括保健師の育成と今後の方策	10/15(火)	1	40	32	32	(3)	80%	32	0	0	0	0
			産前・産後のこころに寄り添う	11/26(火)	1	40	48	51	(6)	128%	6	38	7	0	0
			「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」の役割と看護職の活動	8/26(月)	1	40	21	21	(2)	53%	0	17	4	0	0
	※補助		分娩施設における災害対策研修	9/7(土)	1	50	32	30	(2)	60%	0	27	3	0	0
			准看護師キャリア研修	9/7(土)	1	30	7	8	(8)	27%	0	0	0	8	0
		摂食・嚥下障害看護認定看護師フォローアップ研修	令和7年/2/28(金)	1	80	41	39	(3)	49%	0	0	38	0	1	
		認定看護師交流会	令和7年/2/8(土)延期	1	100										
7-2 資質向上研修(小規模施設・福祉施設等対象)	※委託		高齢者の転倒・転落予防について～寝たきりを作らない看護～	6/27(木)	1	50	32	31	(12)	62%	0	0	29	3	0
			小規模病院・福祉施設で行う感染管理	7/18(木)	1	50	36	33	(17)	66%	0	0	32	1	0
			重症化予防に役立つフィジカルアセスメントとケア	8/22(木)	1	50	55	51	(11)	102%	0	0	51	0	0
			医療安全の観点からのリスクマネジメント	6/13(木),7/25(木) 8/29(木)	3	50	35	33	(10)	66%	0	1	31	0	1
8 日本看護協会・診療報酬に関する研修			糖尿病重症化予防(フットケア)研修	7/16(火),7/23(火) 7/24(水)	3	30	34	33	(2)	110%	1	0	32	0	0
			看護補助者の活用推進のための看護管理者研修	8/30(金)	1	50	72	69	(0)	138%	0	3	66	0	0
			看護補助者標準研修 看護補助体制充実加算該当パッケージ	10/1~11/6(オンデマンド) 11/8演習		15	12	12	(12)	80%	0	0	0	0	12
	※委託		看護職員認知症対応力向上研修会	8/7(水),8/13(火) 8/21(水)	3	60	67	64	(21)	107%	1	0	63	0	0
			認知症高齢者の看護実践に必要な基礎知識	10/21(月),10/22(火)	2	80	94	91	(11)	114%	1	3	86	1	0
	※委託		災害支援ナース養成研修(災害)	10/30(水) ※オンデマンド研修がある為、7月締切	1	50	82	78	(0)	156%	2	1	75	0	0
	※委託		災害支援ナース養成研修(感染)	11/14(木) ※オンデマンド研修がある為、7月締切	1	50	82	78	(0)	156%	2	1	75	0	0
			日本看護協会主催 医療安全管理者養成講習会(オンデマンド修了者)	10/24(木)	1	40	29	28	(3)	70%	0	0	26	0	2
トピックス他			臨床・教育現場と共に考える看護師基礎教育	11/25(月)	0.5	50	40	39	(3)	78%	2	1	36	0	0
	○		災害支援ナース活動報告会	4/23(火)	2h	-	-	Web 159 会場 46		-	-	-	-	-	-
合計						4618	3613	3447	436	75%	77	180	3088	73	29
令和5年度						5383	4097	3905	480	73%	86	174	3551	55	39

## 一般研修

### 1. 新人研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員研修I 働き始めたあなたに！ 【オンデマンド研修】	富山県看護協会 会長 稲村 睦子	看護を取り巻く状況を知り、専門職業人としての自覚を深める	・日本看護協会について ・富山県看護協会について
	富山県ナースセンター センター長 境 信子		・ナースセンターの役割
	富山県看護協会 常任理事 満間 信江	専門職業人として生涯学習を理解し個々の学びを深める	・看護職の生涯学習について
新人看護職員研修II コミュニケーション スキルを磨こう	特定非営利活動法人 アサーティブジャパン 事務局長 専属講師 牛島 のり子 研修A	社会人として求められるコミュニケーションスキルを理解する  自己の現状のコミュニケーションスタイルを把握する  全ての人間関係に必要なコミュニケーションスキルを身につける	・コミュニケーションの基本を理解する ・自己のコミュニケーションスタイルを知る ・コミュニケーション技法を学ぶ ・演習
	南砺市民病院 GRM 看護師長 横川 香 研修B	新人が起こしやすいインシデントの種類、原因、防止対策について理解する	・医療事故等の事例から学ぶ ・故意の事故や犯罪の防止 ・患者の診療情報管理 ・安全な薬剤の取り扱い

### 2. 専門性を深める研修

#### 2-①疾患別看護

研修名	講師	ねらい	主な内容
糖尿病の看護 基礎知識・自己管理への 生活調整と支援 【ZOOM】	糖尿病看護認定看護師 沢田 悦子 濱野 初恵	生活習慣病である糖尿病の正しい知識を知り、最新の情報やケアを学ぶ  糖尿病患者の重症化予防のための療養指導を学ぶ	・糖尿病の基礎知識 ・看護ケアの観察と注意点 ・糖尿病指導のコツ ・フットケア ・薬物療法 ・チームでの取り組み
脳卒中患者の看護 急性期の重篤化回避から 機能回復へ 【ZOOM】	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 新林 正子 菅野 陽子	急性期における重篤化回避～脳卒中患者の機能回復及び日常生活の支援について学ぶ	・脳卒中とは ・脳卒中患者の重篤化回避のための看護 ・脳卒中患者の回復期の看護 ・脳卒中再発予防指導について
がん看護（基礎編） がん看護に関する 基礎知識	がん性疼痛看護 認定看護師 細見 由加里 緩和ケア認定看護師 湯川 舞	がん患者の苦痛症状を理解し、適切なケアが実践できる  がん患者や家族に寄り添えるサポートを学ぶ	・がんの痛みの理解アセスメント ・薬剤を使用した疼痛マネジメント ・副作用とケア ・痛みを緩和するケア ・がんによる苦痛症状のアセスメントケア（症状コントロール） ・患者家族の思いに寄り添うケア ・エンゼルケア

研修名	講師	ねらい	主な内容
がん看護（応用編） ライフステージの特徴に 応じた意思決定支援	がん看護専門看護師 平 優子 樋口 麻衣子	ライフステージの特徴に応じたがん患者、家族の心理と看護師の役割を理解し援助の実際を知る  今日の看取りについて理解を深め、最期を迎えるための意思決定支援や多職種連携における看護職の役割を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・AYA世代の特徴のがんについて</li> <li>・AYA世代がん患者・家族の理解</li> <li>・がん告知、終末期医療における意思決定支援のプロセスへの支援</li> <li>・治療経過中の患者・家族の危機的状態に応じた精神的支援</li> <li>・療養生活の実際と意思決定支援</li> <li>・今日の看取りと現状の課題</li> <li>・多職種連携</li> </ul>
摂食嚥下障害の理解 とケア	摂食・嚥下障害看護 認定看護師 土井 早希子 黒瀬 潤子	摂食嚥下のメカニズムとその障害を理解する 摂食嚥下機能評価と訓練の実際を学び看護実践に活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・摂食嚥下のメカニズム</li> <li>・摂食嚥下の評価</li> <li>・摂食嚥下訓練の実際</li> <li>・誤嚥を防ぐ方法</li> <li>・チームでの取り組み</li> </ul>
現場に活かせる 褥瘡ケアA 【ZOOM】	皮膚・排泄ケア 認定看護師 東城 美智代 川村 智子	病院における褥瘡の予防と悪化させないための最新の知識・技術を取得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・褥瘡の基礎</li> <li>・褥瘡予防① (体圧分散、ポジショニング)</li> <li>・褥瘡予防② (スキンケア、栄養管理)</li> <li>・医療関連機器圧迫創傷の予防、スキンケアの予防</li> <li>・DESIGN-R<sup>®</sup> 2020について</li> <li>・創傷治癒傾向と褥瘡治療</li> <li>・事例検討</li> </ul>
現場に活かせる 褥瘡ケアB	皮膚・排泄ケア 認定看護師 志田 麻依子 土居 奏美	褥瘡の基礎知識を理解し、 予防対策・褥瘡ケアを実践 できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・皮膚の解剖</li> <li>・褥瘡の基礎知識、リスクアセスメント、 褥瘡分類、DESIGN-R<sup>®</sup> 2020</li> <li>・医療機器関連圧迫創傷</li> <li>・スキンケア</li> <li>・褥瘡管理・創傷治癒経過</li> <li>・局所陰圧閉鎖療法</li> <li>・除圧(体圧分散寝具、体位交換、ポジショニング、 車いす、移乗)</li> <li>・IAD(失禁関連性皮膚炎)</li> <li>・褥瘡と栄養</li> <li>・褥瘡対策の実際</li> <li>・事例検討</li> </ul>
高齢者に多い呼吸器 循環器疾患のケアA (自己管理が難しい高齢患 者へのアプローチ)	慢性呼吸器疾患看護 認定看護師 前川 典子 慢性心不全看護 認定看護師 藤坂 亜希	高齢者に多い疾患の病態を 理解し、実践に即したケア のポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の基礎知識</li> <li>・症状別看護ケアのポイント</li> <li>・在宅でのセルフケアポイント</li> <li>・チームでの取り組み</li> </ul>
高齢者に多い呼吸器 循環器疾患のケアB (急変に気付けるフィジカル アセスメント)	慢性呼吸器疾患看護 認定看護師 前川 典子 慢性心不全看護 認定看護師 藤坂 亜希	高齢者に多い疾患の病態を 理解し、実践に即したケア のポイントを学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性呼吸器疾患・慢性心不全の基礎知識</li> <li>・症状別看護ケアのポイント</li> <li>・在宅でのセルフケアポイント</li> <li>・チームでの取り組み</li> </ul>
せん妄の理解とケア	福井県立病院 こころの医療センター 精神看護専門看護師 山口 達也	せん妄について理解し、予 防や対応について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・せん妄を引き起こす要因</li> <li>・せん妄の症状と治療</li> <li>・せん妄の症状・評価と対応</li> <li>・チームでの取り組み</li> <li>・演習</li> </ul>

研修名	講師	ねらい	主な内容
優しさを伝える 認知症ケア ～対象を理解することで ケアが変わる～	認知症看護認定看護師 林 浩靖	認知症ケアの「人として守られる尊厳」について学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症の本人の声を知る</li> <li>・認知症とともに生きる体験を知る</li> <li>・認知症ケアのあり方と自分のこと考える</li> <li>・認知症患者・患者家族の声</li> </ul>
心といのちを守る支援 ～看護職としてゲート キーパーの役割を知る～	【講師のみZoom】 岩手医科大学 神経精神科学講座 教授 大塚 耕太郎	潜在的な自殺リスク者に高い頻度で接する医療従事者をメンタル面での異変に「気づき」「聴き」専門機関に「つなぐ」ことのできるゲートキーパーの役割を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・かけがえない命を守る</li> <li>・自殺の予防と対策</li> <li>・災害現場の心のケア</li> <li>・ゲートキーパーの役割</li> <li>・基本的面接法</li> </ul>
虐待とネグレクトを 予防する	富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター 副院長 五十嵐 登 富山県厚生部高齢福祉課 浅野 詩桜 小児看護専門看護師 松井 弘美 老人看護専門看護師 長瀬 佐知子	子どもと高齢者を虐待から守るための予防的視点と対策を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもや高齢者を取りまく社会の変化</li> <li>・気がかりな子どもや要保護高齢者のスクリーニング</li> <li>・サポート体制</li> </ul>
ジェンダー (LGBTQ) への理解と支援	富山大学附属病院 形成再建外科・美容外科 教授診療科長 佐武 利彦 岡山大学大学院保健学研究科 博士後期課程 江口 珠美 女性クリニックWe富山 産婦人科医師 県議会議員 種部 恭子	医療従事者側の性的マイノリティに関する正しい理解  多様な性の人たちへの受診・入院することを想定したシステムの在り方を学ぶ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェンダー平等における病院での対応・あり方を学ぶ</li> <li>・LGBTQへの個別性の看護・対応（現場での実践）</li> <li>・北陸のGID（性同一性障害）ネットワークについて（Gender identity disorder）</li> </ul>

## 2-②感染管理

研修名	講師	ねらい	主な内容
感染対策Ⅰ 基礎編A	感染管理認定看護師 小泉 順平 野原 里香 多喜 宏平 長枝 智子	感染対策の基礎知識を理解し、看護に役立てる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準予防策について</li> <li>・感染経路別予防策について</li> <li>・職業感染予防策について</li> <li>・ケア別感染対策について</li> </ul>
感染対策Ⅰ 基礎編B	感染管理認定看護師 荒俣 ゆかり 青木 雅子 高松 広彰 高本 良子	標準予防策を理解し正しい感染対策（手指衛生、予防具、環境整備、職業感染）予防を実践することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準予防策、感染経路別予防策、個人防護具の着脱演習</li> <li>・環境整備について</li> <li>・職業感染対策</li> <li>・医療処置における感染対策末梢・中心静脈カテーテル（ポート管理含む）尿道留置カテーテルの管理</li> <li>・看護ケアにおける感染管理、経管栄養、吸引、おむつ交換</li> <li>・病院の取り組みについて現状の報告</li> </ul>
感染対策Ⅱ 実践編	感染管理認定看護師 窪田 恵子 松浦 美里 土田 真人 三宅 愛美	根拠に基づいた感染対策を実践・指導できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・標準予防策</li> <li>・感染症別感染対策とアウトブレイク対策（インフルエンザ、ノロウイルス、COVID感染症）</li> <li>・結核、疥癬、流行性ウイルス疾患</li> <li>・侵襲的処置別感染対策（尿路感染防止対策、血流感染防止対策）</li> <li>・感染症発症時の対応～事例を通して感染症を考える～</li> </ul>

2-③看護倫理

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護倫理Ⅰ (基礎編) ～あなたの感性が活きる 看護倫理～	急性・重症患者看護 専門看護師 寺井 彩 がん看護専門看護師 加藤 麻衣	看護実践の場において、患 者の人権や倫理的問題に関 心を持つことができる  日常の看護実践で遭遇する 倫理的問題に気づき、その 問題を顕在化できる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・看護職の倫理綱領</li> <li>・倫理的行動と4つの要素</li> <li>・看護専門職と倫理の関係</li> <li>・事例検討</li> </ul>
看護倫理Ⅱ (実践編) ～意思決定を支える力を 養おう～ 【ZOOM】	がん看護専門看護師 村上 真由美 時山 麻美	看護専門職として、身につ けるべき倫理の基礎知識を 基に、ケアの受け手や周囲 の人々の意思決定を支える プロセスを学び、自施設に 活かす	<ul style="list-style-type: none"> <li>・倫理原則、看護倫理、意思決定をさせるプロ セス</li> <li>・Jonsenの4分割法</li> <li>・演習 事例検討シートを用いた事例検討</li> <li>・コンサルテーションについて</li> </ul>
看護倫理Ⅲ(上級編) 倫理風土を育む組織 ～多職種で看護倫理を 現場に根付かせるコツ～	南砺市民病院 院長 清水 幸裕	地域包括ケア時代におい て、多様な場面での倫理問 題に向き合い、倫理風土を 育む人材を育成する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・臨床倫理の基礎知識と取り組みについて</li> <li>・急性期から在宅まで多様な臨床場面をもとに グループワーク</li> <li>・倫理的問題の顕在化と、適切なリソースの活 用や相談・コンサルテーションについて</li> <li>・倫理活動を推進する人材育成のための組織作 り</li> </ul>

2-④医療安全

研修名	講師	ねらい	主な内容
楽しく学ぼうKYT・ チームSTEPPS	国立大学法人富山大学 附属病院 (general risk manager) 高橋 美由紀	医療安全対策の基本概念と 具体的対策に関する知識を 学び、安全性を高める行動 が取れる (KYT)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・KYT</li> <li>・医療安全対策の基本的概念</li> <li>・ヒューマンエラーの基礎知識</li> <li>・安全文化・リスクアセスメントについて</li> <li>・医療安全教育のポイントについて</li> <li>・インシデントレポートの事例検討及び演習</li> <li>・チームSTEPPS</li> <li>・チームSTEPPSの基本的知識</li> <li>・グループ演習：コミュニケーション技法につ いて</li> </ul>
	あさひ総合病院 看護部長 team steps トレーナー 山本 陽子	チームSTEPPSを活用し、 エビデンスに基づいたチ ームトレーニングを学び、コ ミュニケーションの強化、 組織としてのチーム力向 上、患者安全文化の醸成に つなげる	
医療安全管理者・推進者の ためのセーフティマネジメント	日本赤十字社 武蔵野赤十字病院 看護部 看護師長 黒川 美知代	医療安全管理者・推進者の 役割を理解し、自施設内の 医療事故防止に活かすため の情報収集から対策立案・ 実践・評価までの実践能力 を身につける	<p>AM・医療安全管理推進者の役割</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事故報告の情報収集と分析法 (事故分析法 POAM)</li> <li>・現場へのフィードバック並びに再発、風 化防止に向けた取り組み(組織対応)</li> <li>・医療安全実践活動の評価方法</li> <li>・適時調査について(日々のラウンドにど のように落とし込むか)</li> </ul> <p>PM・医療安全管理について (ポジティブマネジメント)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療安全活動のコツ</li> <li>・自施設での問題・検討事項を含めて意見 交換</li> </ul>
	富山大学附属病院 副病院長 医療安全管理部 部長 富山大学 学術研究医学系 医療安全学教授 長島 久	医療安全管理者・推進者で 意見交換を図り、自施設の 質向上を図る	

### 3. 教育・研究

#### 3-①教育

研修名	講師	ねらい	主な内容
新人看護職員 研修責任者 教育担当者研修	医療法人社団 康心会 康心会汐見台病院看護部 看護部長 熊谷 雅美	新人看護職員研修の卒後臨床研修制度について理解し、その実施に向けて部署としての取り組みを考えることができる	<1日目> 【ガイドラインの理解と活用方法】 ・新人看護職員をめぐる現状と課題 ・新人看護職員研修制度の概要 ・新人看護職員研修ガイドラインの内容と活用方法 ・新人看護職員研修の組織体制 ・研修責任者・教育担当者・実地指導者の役割 ・新人看護職員に関わる看護職員の現場対応メンタルサポート
	済生会横浜市東部病院 健康支援センター 健康支援室 副室長 小陽 美紀		<2日・3日目> 【研修の企画と評価の実際】 ・基礎教育における看護実践能力の習得状況 ・指導方法や教育的関わり方 ・新人看護職員教育計画立案と運営、評価の実際 ・グループワーク
			<4日目> 【リフレクション】 ・新人看護職員指導上の問題とその解決方法 ・実践事例から学ぶ ・演習
新人看護職員 実地指導者研修	東京医療保健大学 医療保健学部 看護学科 機能看護学 教授 末永 由理	新人看護職員研修の実地指導者としての役割を理解し、新人看護職員に対して効果的な臨床実践指導及び教育的なかかわりができるように必要な知識・技術を習得する	<1・2・4日目> 【新人看護職員研修ガイドライン】 ・新人看護職員ガイドライン ・実地指導者の役割 ・新人看護職員の特徴 ・新人看護職員への効果的な関わり 【指導方法・評価】 ・成人学習者の特徴と教育方法 ・指導計画の立案と実施・評価のポイント 【実地指導者の育成・支援】 ・実地指導者が経験しやすい指導上の問題や困難と解決方法 ・フィードバック<2025.2.20(木)> ※1日目に自施設の「今年度の新人教育計画と人材育成像」をお持ちください
	心理臨床オフィス・Psyche 金沢医科大学 精神神経科学 非常勤講師 臨床心理士 北本 福美		<3日目> ・新人看護職員の精神的支援・新人看護職員の心理的特徴・適応状況の把握・適応の支援・関係を築くコミュニケーション ・自身のストレスマネジメント ・情報交換、グループワーク

#### 3-②研究

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護研究Ⅰ ～楽しく学ぶ初めての看護研究～	富山県立大学 看護学部看護学科 成人看護学 教授 城戸口 親史	日頃の疑問を看護研究に繋げる方法を学ぶ	・看護研究のテーマの見つけ方 ・研究デザイン ・レポート・論文の書き方
看護研究Ⅱ ～進めよう看護研究～	富山大学大学院 医学薬学研究部 基礎看護学 准教授 吉井 美穂	看護研究計画書の実際を学び、作成する	・看護研究方法の選択 ・対象の絞り方 ・データの分析 ・データの集め方 ・研究計画書作成 ・アンケートに作成方法 ・演習

研修名	講師	ねらい	主な内容
看護研究Ⅲ-① (質的研究を学ぼう)	元金城大学 看護学部 成人看護学 教授 岩城 直子	質的看護研究の進め方を学ぶ	・質的研究デザイン ・質的研究の進め方 ・演習
看護研究Ⅲ-② (量的研究を学ぼう)	元金城大学 看護学部 成人看護学 教授 岩城 直子	量的看護研究の進め方を学ぶ	・量的研究デザイン ・量的研究の進め方 ・演習
看護研究Ⅳ (迷わないサポート)	奈良学園大学 保健医療学部 学部長 精神・小児看護学領域 教授 上野 栄一	円滑な看護研究活動の支援 及び査読方法が分かる	・査読の実際 ・研究遂行上に直面しやすい問題 ・具体的な助言方法

#### 4. 看護管理

##### 4-①リーダーシップ研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
中堅看護師に役立つ コミュニケーション!	有限会社ビジネス ブレーン 代表取締役 一般財団法人 生涯学習開発財団 認定コーチ 永井 則子	患者のQOLに対話力を通して 貢献するための技法を学ぶ	・関係性構築の重要性 ・傾向と質問 ・論理的な説明のスキル ・固定観念を取り払った聴き方 ・コンフリクト・マネジメントとは ・事例研究 ※スマートフォンを使った演習があります。お持ちの方は充電してご持参ください。
コーチングできる リーダー育成	有限会社AEメディカル 代表取締役 野津 浩嗣	スタッフを育成するための コーチングスキルを学ぶ	・コーチングとは ・心理的安全性とは ・スタッフ育成のためのコーチングスキル ・聞く・結果承認・事実承認・存在承認・叱る、 質問 ・総合ロールプレイ ・マネジメント特性診断MPA
サーバントリーダーシップ ～変化に対応する リーダー適応とは～	聖隷クリストファー大学 大学院 看護学研究科長 看護学部 学長補佐 看護学研究科 看護学管理領域 看護学部 基礎看護学領域 教授 榎原 理恵	看護管理者に必要なサーバ ントリーダーシップを理 解することで、チームメ ンバーとの関係を構築し、 チームで成果をあげる手法 を学ぶ	・サーバントリーダーシップとは ・支配型リーダーシップとの違い ・サーバントリーダーシップの活用分野 ・サーバントリーダーシップの浸透方法

##### 4-②管理者研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
セカンドレベル 公開講座 ヘルスケアサービスにおける 多職種連携	名古屋大学医学部附属病院 卒後臨床研修・キャリア形 成支援センター 看護キャリア支援室 教授 秋山 智弥	看護管理者として基本的業 務を遂行するために必要な 知識・技術・態度を習得す る	・多職種によるチーム提供の実際と課題
セカンドレベル 公開講座 人材を育てる マネジメント	昭和大学横浜市北部病院 看護部長 認定看護管理者 小笠原 京子		・人材育成計画
セカンドレベル 公開講座 経営資源と管理の実際	株式会社獨協メディカル サービス 参与 認定看護管理者 佐山 静江		・医業収支 ・経営指標の活用 ・費用対効果
セカンドレベル 公開講座 セカンドレベル 看護管理実践報告会	2023年度認定看護管理者教育 課程セカンドレベル修了者 8名	看護管理実践報告を基に問 題点の共有と課題の明確化 を図り、より望ましい看護 のあり方を学ぶ	実践報告

研修名	講師	ねらい	主な内容
ファーストレベル 公開講座 組織マネジメント概論	東京医療保健大学 東が丘看護学部看護学科 大学院看護学研究科 教授・博士(看護学) 中島 美津子	看護専門職として必要な管理に関する基本的知識・技術・態度を修得する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・組織マネジメントに関する基礎知識</li> <li>・看護管理の基礎知識</li> </ul>
ファーストレベル 公開講座 人材育成の基礎知識	トータルライフケア プロモーション 代表 青木 菜穂子		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成人学習の原理</li> <li>・役割理論</li> <li>・動機付けの理論</li> </ul>
ファーストレベル 公開講座 経営資源と管理の 基礎知識	聖路加国際大学 常任理事 法人事務局長 渡辺 明良		<ul style="list-style-type: none"> <li>・診療・介護報酬制度の理解</li> <li>・経営指標の理解</li> <li>・看護活動の経済的効果</li> </ul>
ファーストレベル 公開講座 ヘルスケアサービスにおける 看護の役割	日本看護協会 看護開発部 看護業務/看護教育制度 担当専門職 安西 恵梨子		<ul style="list-style-type: none"> <li>・看視連携</li> <li>・地域医療における看護職の役割</li> <li>・保健医療福祉関連職種との理解</li> <li>・看護の社会的責務と業務基準</li> </ul>

## 5. 在宅・地域医療を推進する研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
外来における在宅療養 支援能力向上のための 研修	かかりつけ医機能を担う 医療機関の外来部門 管理者 紹介受診重点医療機関の 外来部門管理者	外来における在宅療養支援 の実態を共有する 外来における在宅療養支援 の資質向上を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 「外来における在宅療養支援の現在と未来」 「外来看護師が退院後訪問に同行した事例を通して」 「地域の看護管理者ネットワークの重要性」</li> <li>・意見交換</li> </ul>
地域で暮らす患者を 支える多職種連携	富山市まちなか総合支援セ ンターまちなか診療所 管理者・医師 三浦 太郎  南砺市訪問看護 ステーション 緩和ケア認定看護師 吉田 裕美子	入院前から始める入退院支 援  在宅生活での事例を通して 在宅療養支援の知識を深め る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域包括ケアシステムについて</li> <li>・入退院支援に必要な基礎知識</li> <li>・介護保険制度</li> <li>・地域へつなぐ退院支援と多職種連携</li> <li>・退院後の療養生活の現状</li> <li>・訪問事例から学ぶ</li> </ul>
介護・福祉、 在宅領域の研修 ～介護・福祉・在宅領域 における特定行為の実際 を学ぶ～第二弾	おれんじ訪問看護ステー ション 副管理者 乳がん看護認定看護師 (特定行為研修修了) 加藤 直美  南砺市訪問看護 ステーション 副主幹 (特定行為研修修了) 森田 知佳子	質の高い介護・福祉・在宅 医療における特定行為研修 修了看護師の役割を知る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問看護における特定行為実践の流れを理解し、特定行為看護師の活動の実際を知る</li> </ul>
精神科訪問看護師 育成研修 【ZOOM】	精神科認定看護師 訪問看護ステーション 和来やす 尾崎 景子	精神障害者地域サポート強 化：精神疾患をかかえる患 者の地域生活を支えるた め、基本的知識及び技術の 取得を図る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・精神疾患を持ちながら生活すること</li> <li>・精神科訪問看護とは</li> <li>・GAF尺度と診療報酬</li> <li>・疾患の理解</li> <li>・患者情報の捉え方とアセスメント</li> <li>・コミュニケーションとかかわりのポイント</li> <li>・連携・社会資源</li> <li>・家族支援</li> <li>・事例演習</li> </ul>

## 6. 職能別キャリア研修

### 6-① 保健師・助産師・看護師・准看護師研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
統括保健師の育成と今後の方策	スーパーバイザー 富山県立大学看護学部 学部長 佐伯 和子  助言者 富山県新川厚生センター 魚津支所長 河村 瑞穂 富山県厚生部医務課 課長補佐 平 和美	「調査」結果を踏まえ、統括保健師が役割を発揮し、保健活動を効果的に推進することができるよう、統括保健師の育成について考える	・調査結果報告 「統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果」 ・シンポジウム ・グループワーク
産前・産後のこころに寄り添う ～産前・産後うつ等精神的に課題を抱える妊産婦や家族の悩みと対処法～	信州大学医学部 周産期こころの医学講座 精神科医師 村上 寛	産前・産後の心の変化や悩み・対処方法を学ぶとともに、精神的に課題を抱える妊産婦への支援や看護職の連携のあり方について理解を深める	・講義 「産前・産後のこころに寄り添う」 ・グループワーク
「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」の役割と看護職の活動	性暴力被害ワンストップ支援センターとやま 助産師 木村 なぎ	性暴力被害者の支援の現状を理解し、看護職が連携した支援を考える	・ワンストップ支援センターの役割と活動の実際 ・性暴力被害者支援における看護職の役割 ・グループワーク
分娩施設における災害対策研修	大阪母子医療センター 看護部長 宮川 祐三子	災害発生時のマニュアル作成について考える 起こりうる災害を想定して、日頃から被害最小化に向けた準備や発生時の行動について考える	・講義：分娩施設における災害発生時の対応マニュアル作成ガイドについて ・シミュレーション：減災ドリルを活用した防災教育について
准看護師キャリア研修	ふくの若葉病院 看護部長 鍛冶本 秀子  認知症看護認定看護師 中山 和昭  手術看護認定看護師 (2年課程教育卒業生) 柿森 祐司	准看護師の資質向上とキャリア支援	・講演：准看護師へのキャリア支援 ・講義：認知症看護の基礎知識 ・体験談：わたしのキャリアアップ ・意見交換：テーマ「准看護師と生涯学習」

### 6-② 資質向上研修（小規模施設・福祉施設等対象）

研修名	講師	ねらい	主な内容
高齢者の転倒・転落予防について ～寝たきりを作らない看護～	脳卒中リハビリテーション 看護認定看護師 池守 実智代	ロコモティブシンドロームを理解し、転倒転落を予防する お互いの病院・施設の取り組みを知り学ぶ機会とする	・テーマ：ロコモティブシンドロームの概念および現状 ・演習：転倒予防のリハビリテーションについて学ぶ
小規模病院・福祉施設で行う感染管理 ～保健所の立ち入り調査や医療監視に役立てよう～	感染管理認定看護師 梅田 加洋子	看護職員が従事している領域の感染管理を学び、自施設で活かすことができる	・標準予防策（主な疾患と感染対策） ・感染性廃棄物の取り扱い ・環境整備 ・針刺し・体液暴露時の対応 ・個人防護服 PPEのつけ方・外し方 ・演習
重症化予防に役立つフィジカルアセスメントとケア	クリティカルケア認定看護師 八倉巻 考司 佐藤 慎哉 慢性呼吸器疾患看護認定看護師 奥田 公也 摂食・嚥下障害看護認定看護師 有澤 未来	フィジカルアセスメントの基礎知識を学び、日々の看護実践に活かす	AM ・講義：循環器系、消化器系、脳神経系のフィジカルアセスメント PM ・講義：呼吸器系のフィジカルアセスメント、摂食嚥下・肺炎予防のケア

研修名	講師	ねらい	主な内容
医療安全の観点からの リスクマネジメント	パラマウントベッド 株式会社顧問 転倒転落研究会 (RoomT2) 主幹 杉山 良子	医療安全の実務力向上を目指す	1 日目 ・医療安全文化の醸成 ・医療安全管理に必要な基礎知識 ・転落転倒防止対策と事故分析の実際
	一般社団法人 富山県病院 薬剤師会 会長 射水市民病院 薬剤師 脇田 真之		2 日目AM ・安全な与薬業務を行うための管理 ・薬剤の安全管理に必要な知識 ・カリウム製剤の基礎知識
	黒部市民病院 臨床工学士 笹山 真一		2 日目PM ・安全に医療機器を使用するために必要な知識 (輸液ポンプ、シリンジポンプ、モニターアラーム管理等)
	公益社団法人 愛知県看護協会 常務理事 森田 恵美子 (ZOOM)		3 日目 ・医療コンフリクト ・医療メディエーション・スキル

## 7. 日本看護協会・診療報酬に関する研修

研修名	講師	ねらい	主な内容
糖尿病重症化予防 (フットケア) 研修  ※診療報酬「糖尿病合併症管理料」算定要件の「糖尿病足病変に係る適切な研修」に該当します	講師・ファシリテーター 富山市立富山市民病院 内分泌代謝内科部長 日本糖尿病学会専門医 家城 恭彦  FHA認定シューフィッター JPポドロジー富山校校長 奥野 瑠美  糖尿病看護認定看護師	糖尿病患者へのフットケアの意義を理解し、評価方法と実践の技術を身につける	<ul style="list-style-type: none"> <li>糖尿病患者へのフットケアの意義を理解する</li> <li>糖尿病患者の足病変の病態生理、治療を理解する</li> <li>糖尿病患者へのフットケアのための評価方法を学ぶ</li> <li>糖尿病患者へのフットケアの技術を学ぶ</li> <li>糖尿病患者の事例検討を通して、フットケアにおけるセルフケア支援を理解する</li> <li>予防的フットケアを実践するためのシステム構築について考えることができる</li> </ul>
看護補助者の活用推進のための看護管理者研修  ※看護補助者体制充実加算の算定要件となります	公益社団法人 日本看護協会 講師    (ファシリテーター) 病院看護管理者	看護管理者が看護補助者の活用推進のために必要な知識や考え方を理解し、安全で効率的な業務実践体制整備に活用することができる	<ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者の活用推進の背景</li> <li>看護補助者との位置づけ</li> <li>看護補助者との協働に関する基本的な考え方</li> <li>業務実施体制の整備</li> <li>看護職への教育体制の整備</li> <li>看護補助者の労働環境の整備及び確保等</li> <li>看護補助者の育成・研修・評価</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護補助者と協働のための体制整備に関する課題に対する対策案の作成</li> </ul>
看護職員認知症対応力 向上研修会  ※認知症ケア加算の算定要件となります	谷野呉山病院 診療部長 認知症疾患医療センター センター長 島崎 正夫 富山県立大学 看護学部 看護学科 老年看護学 准教授 伊藤 裕佳 金沢医科大学 看護学部 在宅看護学 講師 蘭 直美  ファシリテーター 認知症看護認定看護師	認知症の方の入院から退院までのプロセスに沿って、認知症の原因疾患の病態・特徴などの基本的知識を習得する 認知症の人を理解し、より実践的な対応力(アセスメント、看護技術、チーム対応、院内買いの連携等)を習得する 病棟等における認知層ケア体制(院内・地域)の構築及びスタッフ育成・教育等の知識と技法を習得する	1 日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>意義と役割</li> <li>認知症の病態論、施策・社会資源等</li> <li>認知症の人の理解、実践対応力1</li> </ul> 2 日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>実践対応力2</li> <li>演習：身体抑制への対応、BPSD対応、せん妄対応の事例検討</li> </ul> 3 日目 <ul style="list-style-type: none"> <li>認知症ケア体制構築、スタッフ育成・教育</li> </ul>

研修名	講師	ねらい	主な内容
<p>認知症高齢者の看護実践に必要な知識</p> <p>※認知症ケア加算2及び3の施設基準における「認知症患者のアセスメントや看護方法等に係る適切な研修」に該当します。</p>	<p>演習支援者 認知症看護認定看護師 盛田 大樹</p>	<p>認知症高齢者における国の施策や医療の現状を理解することができる</p> <p>入院中の認知症高齢者を適切にケアするための基本的な知識を理解することができる</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症高齢者に関する医療の現状と国の取り組み</li> <li>・認知症に関連する疾患と病態と治療・組織で取り組む認知症高齢ケア</li> <li>・認知症高齢者の看護に必要なアセスメント</li> <li>・認知症高齢者の看護に必要なコミュニケーションと援助技術</li> <li>・認知症高齢者ケアにおける多職種・看看連携のあり方</li> <li>・多職種・看看連携による認知症高齢者のケアの進め方</li> <li>・認知症高齢者の適した療養環境と調整方法</li> <li>・認知症高齢者に特注な倫理的問題</li> <li>・認知症高齢者の意思決定支援</li> </ul>
<p>災害支援ナース養成研修（集合研修災害）</p>	<p>国立医療福祉大学大学院 医療福祉研究科 保健医療学専攻 災害医療分野 内海 清乃</p>	<p>看護職として必要な災害医療と看護の基礎知識を習得する</p> <p>災害時の看護職の役割と活動の実際を理解する</p> <p>看護職として被災地や被災者に対して有効に機能できる技能を習得する</p> <p>災害時に看護職として他者と協働でき、自律した活動ができる知識を習得する</p>	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・派遣決定から出発までの準備</li> <li>・支援者の心構え</li> <li>・活動場所の違いによる活動の特性</li> <li>・CSCA</li> </ul> <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク</li> </ul>
<p>災害支援ナース養成研修(集合研修:感染)</p>	<p>感染管理認定看護師 清水 直美</p> <p>急性・重症患者看護 専門看護師 山本 憲督</p> <p>市立砺波総合病院 副院長 集中治療・災害医療部部长 廣田 幸次郎</p> <p>富山県厚生部医務課 主任 宮崎 由美子</p>	<p>新型コロナなど新興感染症に関する基礎知識を習得する</p> <p>新型コロナなど新興感染症患者に対応できる知識・技術を習得する</p> <p>酸素療法、集中治療管理に関する基礎知識を習得する</p> <p>新型コロナなど新興感染症患者の看護に関する基礎知識を習得する</p>	<p>講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感染拡大・重症化予防</li> <li>・安楽な呼吸の保持</li> <li>・集中治療管理について</li> <li>・多職種連携による医療提供</li> <li>・患者・家族へのケア・看取り</li> <li>・富山県における災害・感染症に係る応援派遣時の看護支援活動</li> <li>・災害支援ナースとしての心構え</li> </ul> <p>演習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループワーク</li> </ul>
<p>医療安全管理者養成研修</p>	<p>集合研修5時間</p> <p>開催地 富山県（富山県看護研修センター）</p> <p>開催日時 10月24日(木) 9:00～15:00</p> <p>講師 富山大学附属病院 副院長 医療安全管理部部长 富山大学 学術研究医学系 医療安全学 教授 長島 久</p> <p>演習支援 富山県看護協会 医療安全委員</p> <p>内容 講義：安全文化の醸成、医療事故発生時の対応 演習：事例検討</p>		

## 令和6年度 認定看護管理者教育課程 教育運営委員会

区分	内容
[第1回] 令和6年 5月15日(水) 10:00~10:45	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2024年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講生の選考について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 定員25名に対して応募者30名あり、審査の結果、全員受講決定とする。</li> <li>(2) 応募は23施設からあり、そのうち民間施設からは6施設の応募があった。</li> </ol> </li> <li>2 応募のあった小論文について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 内容が現状や課題とつながっておらず、一般論にとどまっている小論文が散見され、自部署の背景やデータと結び付けていく指導が必要である。</li> </ol> </li> </ol>
[第2回] 令和6年 7月10日(水) 10:00~10:50	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2024年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講生の選考について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 定員50名に対して応募者50名あり、全員受講決定とする。</li> <li>(2) 応募は31施設からあり、そのうち民間施設からは11施設の応募があった。医療施設だけではなく、福祉施設からの応募が増加している。</li> </ol> </li> <li>2 ファーストレベル事前課題について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 受講生の経験年数が、10~32年と幅広く、所属施設も様々になってきている。一律の指導は、やや困難な部分もあると思われるが、管理に興味のある受講生同士の意見交換や情報収集も教育のよい機会になる。</li> <li>(2) 民間施設からの受講生が増加するよう何らかの対策が必要であり、今後、検討する。</li> </ol> </li> </ol>
[第3回] 令和6年 10月16日(水) 10:00~11:05	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2024年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル受講生の修了について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度の受講生30名と前年度未修了者1名の31名を修了と認定する。</li> <li>(2) 図表の効果的な使用がなく、SWOT分析や目的、行動計画が具体的ではないという受講生がおり、個別指導が必要である。</li> </ol> </li> <li>2 セカンドレベル受講生の研修アンケート結果について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 学びの多かった科目は統合演習であり、グループワークを含め、活発な意見交換ができていた。</li> </ol> </li> </ol>
[第4回] 令和6年 11月20日(水) 10:00~11:15	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 2024年度認定看護管理者教育課程ファーストレベル受講生の修了について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 今年度の受講生48名と前年度未修了者3名の51名を修了と認定する。</li> <li>(2) 今年度2名の未修了者は、次年度に再履修を予定する。</li> </ol> </li> <li>2 ファーストレベル受講生の研修アンケート結果について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) タイムなスケジュールであったため、期間中の休みを考慮していく。</li> </ol> </li> <li>3 公開講座について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 法律や経営の新しい知見が得られるので、長期教育課程修了済みであっても、管理に興味のある多くの人に参加してもらいたい。</li> </ol> </li> <li>4 認定看護管理者教育機関の認定更新審査について               <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 審査は11月5日に終了した。特に重大な指摘はなく、日本看護協会認定部より、更新は認定された。次回は、令和13年度である。</li> </ol> </li> </ol>

## 令和6年度 富山県ナースセンター事業報告

	事業	事業内容	実績
就労促進に関する事項	就労相談事業	①無料職業紹介所の運営	
		②eナースセンターの登録・管理	求人登録数 5,614人 求職登録数 2,087人 有効求人倍率 2.7倍 就職者数 213人
		③就業相談 対面・電話 オンライン（令和6年8月～）	相談件数（看護職） 6,264件 相談件数（看護職以外） 9件 内、就職アドバイザー対応件数 3,175件
		④移動就業相談 介護職場の就職説明会 （5/22、9/25、11/27、2/26）	相談件数 8件
		⑤病院等訪問（11月）	訪問先 5施設
		⑥就職ガイダンス 県内病院就職ガイダンス 令和6年12月24日（火） オーバード・ホール 中ホール	参加者 125名 参加施設 44施設
		看護職員就業支援事業	①ハローワーク（7ヶ所）への就業支援 専門員の派遣（各月1回）
	②ナースセンターサテライト（新川）の 運営（各月1回）		相談件数 3件
	③ハローワーク（富山・高岡・魚津）と の連携		新規登録 求人数 620人 新規登録 事業所数 212事業所 新規登録 求職者数 222人 連携事業対象 求人数 680人（31人） 連携事業対象 求職者数 67人（31人） 連携事業対象 就職者数 34人（9人） （ ）はナースセンター実績
	④会議等 連絡調整会議（年1回） 令和6年12月3日（火） 医療機関へのあっせん強化（就職ガイダンス）		参加者 15名 連携先 わかものハローワーク
	⑤広報 就業相談ちらし作成と配布		発行枚数 1,500枚
	看護師等免許保持者届出事業	①届出情報の登録・管理 ②求職登録の促進 ③情報提供・周知活動	届出人数 253人 うち、eナースセンター登録希望人数 75人 うち、eナースセンター登録人数 28人
	潜在看護職員把握調査	登録看護職員就業希望条件等の調査 令和6年8月19日（月）	対象：eナースセンター登録者 182名
	看護職員再就業支援研修	①定期研修 （4回 6/4、7/2、8/6、9/3）	受講者（延人数） 52名
		②病院実習	受講者 0名
		③技術チェック研修	受講者 13名
		④eラーニングを活用した復職支援研修	受講者 26名
	看護職員・看護大学生 Uターン促進事業	富山の看護職員募集案内の作成 ホームページ掲載	掲載施設 51施設
	看護師等養成機関 共同PR事業	看護師等養成機関紹介ガイドブックの 作成、配布、ホームページ掲載	掲載看護師等学校・養成所 9校 発行部数 1,200部
	看護学生就労啓発事業	看護師等学校・養成所で出向講義	富山福祉短期大学（10/2） 79人 富山県立大学（12/23） 93人 富山市医師会看護専門学校（2/19） 31人 富山市立看護専門学校（2/27） 35人

	事業	事業内容	実績	
就労促進に関する事項	広報活動	①TOYAMAナースセンターニュース（看護とやま）発行	年4回（4月、7月、10月、1月）	
		②新聞・タブロイド紙広告	年5回（7/5、7/8、8/11、11/20、12/10）	
	ナースセンターデジタル化事業	ホームページ制作		
	ナースセンター事業運営委員会	①ナースセンター事業運営委員会（年1回）令和7年2月7日（金）	委員	15名
②事業実績報告の作成・配布		発行部数	250部	
訪問看護支援に関する事項	「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会	①「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会 令和6年6月28日（金）～12月6日（金）	受講者 内、修了者	15名 13名
		②修了者就業状況調査	対象者	1名
	訪問看護従事者等研修会	令和6年11月1日（金）	受講者	16名
	訪問看護ステーション管理者育成研修会	令和6年7月6日（土）	受講者	35名
看護の心普及啓発に関する事項	看護の日記念事業	①第34回「看護の日」看護フェスティバル 令和6年5月11日（土） 富山県高岡看護専門学校	参加者	小中高生 41名 保護者 27名
		②ふれあい看護体験	参加者 協力病院	約2,200人 28病院
		③「とやまおしごと図鑑」の作成	協力病院	富山市立富山市民病院
	高校生の一日看護見学	令和6年7月1日（月）～7月12日（金）	参加者 協力病院	40校 632名 23病院
	看護普及推進事業	看護体験学習	参加者 実施看護師等学校・養成所	573人 5校
その他	富山県医療勤務環境改善支援センター 病院サポート事業	①個別病院支援	1年目：野村病院 2年目：富山県済生会富山病院、栗山病院 3年目：黒部市民病院	
		②看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 令和6年12月11日（水）	参加者	20施設 42名
		③看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会（年1回） 令和6年5月31日（金）	委員	10名
	看護職員定着支援事業	①看護職員等からの体験談 募集・表彰 募集期間 令和5年12月12日～令和6年1月26日 表彰式 令和6年5月11日（土）	応募数 表彰	89編 最優秀賞 1名 優秀賞 2名 特別賞 4名
		②看護職員定着支援事業シンポジウム 令和6年8月9日（金）	参加者	19施設 37名
	看護補助者の確保・定着推進事業 （日本看護協会委託）	①お仕事説明会&体験会	参加者 実施病院	18名 6施設
		②看護補助者の就業に向けた研修	受講者	14名

## 就労促進に関する事項

### 1 就労相談事業

#### (1) 無料職業紹介所の運営

許可年月日 昭和60年7月22日

許可期間 令和4年8月1日～令和9年7月31日

#### (2) eナースセンターの登録・管理

	求人数 (人)	求職者数 (人)	求人倍率 (倍)	就職件数(延べ)(件)		
				計	NC紹介	NC以外
4月	508	202	2.5	7	3	4
5月	506	208	2.4	23	9	14
6月	502	197	2.5	8	4	4
7月	472	193	2.4	12	6	6
8月	423	181	2.3	9	0	9
9月	391	175	2.2	20	7	13
10月	412	168	2.5	15	6	9
11月	416	149	2.8	11	3	8
12月	462	148	3.1	3	1	2
1月	451	154	2.9	10	4	6
2月	521	158	3.3	35	28	7
3月	550	154	3.6	60	51	9
延べ人数	5,614	2,087	2.7	213	122	91

求人数 : 「対象月の前月以前から繰越した求人票の募集人数」 + 「対象月に新規求人票を登録した求人票の募集人数」

求職者数 : 「対象月の前月以前から繰越した求職者数」 + 「対象月に新規求職票を登録した求職者数」 + 「対象月に求職票を有していないシステム応募した求職者数」

就職件数(延べ) : ナースセンターからの紹介、もしくはナースセンター以外(ハローワークからの紹介、自己による)のいずれかの就職による延べ件数

#### (3) 就業相談

相談件数 (件)

	看護職からの相談	看護職以外からの相談	計	内、就職アドバイザー対応
求職相談	3,163	9	3,172	3,163
求人相談	3,089	0	3,089	-
進路相談	12	0	12	12
計	6,264	9	6,273	3,175

就職アドバイザーが対応した相談の内訳 (件)

相談件数	受付区分別			相談方法別			
	新規	再来	その他	オンライン	来所	電話	メール・郵送
3,175	338	1,864	973	3	110	1,707	1,355

#### (4) 移動就業相談

介護職場の就職説明会(主催:富山市、富山労働局、ハローワーク富山)

回	日時・場所			相談件数(件)
1	令和6年5月22日(水)	13:00~15:30	サンフォルテ	2
2	令和6年9月25日(水)	13:00~15:30	サンフォルテ	2
3	令和6年11月27日(水)	13:00~15:30	サンフォルテ	3
4	令和7年2月26日(水)	13:00~15:30	サンフォルテ	1

(5) 病院等訪問

目的 富山県ナースセンター職員が、県内施設を訪問し、「看護の質の向上」「働き続けられる環境作り」に関する情報を看護管理者や事務担当者等と共有することで、看護職員の人材確保や定着支援を目指す。

実施時期 令和6年11月

訪問先 5施設（民間病院）

(6) 就職ガイダンス

目的 看護学生および看護師等免許を有する求職者に、医療機関担当者から直接説明を受ける場を提供し、就職促進を図るとともに、県内医療機関（訪問看護事業所含む）の人材確保を図る。また、来場者は、身近な先輩（若手看護師）から仕事のやりがいや職場の雰囲気について直接話を聞き、入職後の「自分」や「仕事」のイメージを描くとともに、医療機関への理解を深める機会とする。

開催日 令和6年12月24日(火) 10:15～16:10

場所 オーバード・ホール 中ホール

内容 個別面談

参加状況 参加者 125名  
参加施設 44施設（40病院、4団体）

2 看護職員就業支援事業

(1) 目的 保健師・助産師・看護師・准看護師の資格を持ち、再就業等を希望する看護職員等に対し、情報提供や復職に対する不安や悩み等に対する相談・助言を行い、円滑な就労・定着を支援する。

(2) 内容

- ア ハローワーク（7ヶ所）への就業支援専門員の派遣（各月1回）  
就業支援専門員をハローワークに派遣し、潜在看護職等に対する就業相談を行う。
- イ ナースセンターサテライト（新川）の運営（月1回）  
就職アドバイザーをナースセンターサテライトに派遣し、就業を希望する看護職および退職予定の看護職、潜在看護職等に対し、情報提供、相談等の支援を行う。また、病院等の開設者、管理者、看護師等確保推進者（人事担当者）に対し、看護師確保に関する情報提供、相談等の援助を行う。
- ウ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携
- エ 会議等
- オ 広報

(3) 実績

ア ハローワークへの就業支援専門員の派遣

派遣先	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
ハローワーク富山	第4木曜日	12	42
ハローワーク高岡	第3火曜日	12	31
ハローワーク魚津	第2水曜日	12	16
ハローワーク滑川	第3木曜日	11	12
ハローワーク氷見	第2木曜日	12	8
ハローワーク砺波	第3水曜日	12	14
ハローワーク小矢部	第2水曜日	12	8
計		83	131

イ ナースセンターサテライトの運営

場所	開催日	開催回数（回）	相談件数（件）
新川ナースセンターサテライト	第1月曜日	12	3

ウ ハローワーク（富山・高岡・魚津）との連携

	求人	求職	
	新規求人数（人）	新規求職者数（人）	就職件数（件）
ナースセンター	31	31	9
ハローワーク	649	36	25
計	680	67	34

エ 会議等

(ア) 連絡調整会議（年1回）

開催日 令和6年12月3日(火) 14:00～15:00  
 場所 富山県看護研修センター 第2研修室  
 内容 令和6年度活動実績について  
 令和7年度事業計画（案）について  
 参加者 15名（就業支援専門員・就職アドバイザー、労働局・ハローワーク担当者、  
 県医務課）

(イ) 医療機関へのあっせん強化（就職ガイダンス）

就職ガイダンスで「わかものハローワーク」のブースを設置

オ 広報

就業相談ちらしの作成（1,500枚）と配布

3 看護師等免許保持者届出事業

- (1) 目的 「看護師等免許保持者届出制度」の届出情報を効果的に活用し、看護師等の潜在化を予防するとともに、復職支援を促進し看護師等の確保を図る。
- (2) 開始 2015年10月
- (3) 内容 ア 届出情報の登録・管理  
 イ 求職登録の促進  
 ウ 情報提供、周知活動

(4) 実績

ア 届出情報の登録・管理 (人)

届出人数	eナースセンター登録状況		
	登録済み	登録を希望する	登録を希望しない
253	28	75	150

イ 情報提供、周知活動

- ・病院訪問で制度を説明
- ・県内看護師等養成機関の学生を対象とした講義で制度を紹介
- ・理事会および会議で制度を周知

4 潜在看護職員把握調査

- (1) 目的 eナースセンター登録者の実態と就業希望条件等を把握する
- (2) 調査日 令和6年8月19日(月)
- (3) 調査対象 eナースセンター登録者182名

5 看護職員再就業支援研修

- (1) 目的 最近の看護についての知識及び技術を学び、看護力の向上と職場復帰の促進を図る。
- (2) 定期研修
- 開催日 1回目 令和6年6月4日(火) 10:00～12:30  
 2回目 令和6年7月2日(火) 10:00～12:30  
 3回目 令和6年8月6日(火) 10:00～12:30  
 4回目 令和6年9月3日(火) 10:00～12:30

会場 富山県看護研修センター 第2研修室  
 対象 県内に居住する未就業の看護職  
 県内に居住する就業1年以内で看護技術に不安のある看護職  
 受講者 延べ52名  
 プログラム

回	内容	受講者(名)
1	講義 「ナースセンターの役割①」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習「急変時の対応について学ぼう めざせ急変マスター」 講師 富山県済生会高岡病院 クリティカルケア認定看護師 福井 達也 氏	12
2	講義 「看護職を取り巻く状況について」 講師 富山県厚生部医務課 主幹 平 和美 氏 講義・演習「感染看護について学ぼう」 講師 厚生連滑川病院 感染管理認定看護師 高橋 孝治 氏	14
3	講義 「ナースセンターの役割②」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習「採血・点滴について学ぼう」 講師 富山県済生会高岡病院 感染管理認定看護師 松木 悠平 氏	15
4	講義 「ナースセンターの役割③」 講師 富山県ナースセンター センター長 境 信子 氏 講義・演習「膀胱留置について学ぼう」 講師 厚生連高岡病院 感染管理認定看護師 廣野 和子 氏	11
計(延べ人数)		52

(3) 病院実習

開催日 受講者が希望する2日間  
 会場 受講者が希望する病院  
 対象 県内に居住する未就業の看護職  
 内容 病院実習  
 受講者 0名

(4) 技術チェック研修

開催日 通年(予約制)  
 会場 富山県ナースセンター相談室  
 対象 県内に居住する未就業の看護職  
 県内に居住する就業1年以内で看護技術に不安のある看護職  
 内容 DVD視聴、シミュレータを使用した技術演習(採血)  
 受講者 13名

(5) eラーニングを活用した復職支援研修

対象 県内に居住する未就業の看護職  
 県内に居住する看護業務に従事していない看護職  
 県内に居住する就業1年以内で、看護技術に不安のある看護職  
 内容 パソコンやスマートフォンを使って、株式会社学研メディカルサポート「学研ナーシングサポート」及び「ビジュアルナーシングメソッド」を視聴する  
 視聴期間 3か月間  
 受講者 26名

## 6 看護職員・看護大学生Uターン促進事業

- (1) 目的 県外から転居してきた看護職員や県外の看護大学進学者等に対し、県内の就職情報等を提供し、県内医療機関への就業を促進する。
- (2) 内容 富山の看護職員募集案内の作成、ホームページに掲載
- (3) 実績 掲載施設 51施設

## 7 看護師等養成機関共同PR事業

- (1) 目的 県内看護師等学校・養成所の入学者を確保するため、看護職員養成課程の概要や各校の特徴等を紹介したガイドブックを作成し、県内の中学校、高等学校等に配布し、広く学生募集を行う。
- (2) 内容 看護師等養成機関紹介ガイドブックの作成、配布、ホームページに掲載
- (3) 実績 掲載看護師等学校・養成所 9校  
発行部数 1,200部  
配布先 高校生の一日看護見学参加者および協力病院  
県内中学校・高等学校、県外高等学校  
市町村教育委員会、ハローワーク等

## 8 看護学生就労啓発事業

- (1) 目的 看護学生に、スキルアップをしながら生涯にわたり働き続けることの必要性を啓発し、その支援を看護協会、ナースセンターが行っていることを周知することにより就労促進を図る。
- (2) 内容 看護学生に対し、看護協会及びナースセンターの役割等について講義を行う。
- (3) 実績

実施日	対象	受講者(人)
令和6年10月2日(水)	富山福祉短期大学 看護学科3年生	79
令和6年12月23日(月)	富山県立大学 看護学部3年生	93
令和7年2月19日(水)	富山市医師会看護専門学校 准看護学科2年生	31
令和7年2月27日(木)	富山市立看護専門学校 3年生	35

## 9 広報活動

### (1) TOYAMAナースセンターニュース(看護とやま)

号	内容	配布先・発行部数
No.151 (4月)	・案内 再就業支援研修 第34回「看護の日」看護フェスティバル 職業安定法施行規則の改正について ・その他 求人情報の掲載	<配布先> 県内 ・医療機関・施設 ・看護師等養成所 ・求人登録施設 ・未就業看護職 ・看護協会員 ・行政機関 等 県外 ・日本看護協会 ・都道府県看護協会  <発行部数> 年37,200部
No.152 (7月)	・報告 第34回「看護の日」看護フェスティバル 「看護職員等からの体験談」受賞者 訪問看護師養成講習会 ・その他 求人情報の掲載	
No.153 (10月)	・報告 看護職員定着支援事業シンポジウム 高校生の日看護見学 ・その他 求人情報の掲載	
No.154 (1月)	・報告 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会 訪問看護師養成講習会 ・その他 求人情報の掲載	

(2) 新聞（タブロイド紙）広告・記事等

掲載日	掲載先	内容
7/5	北日本新聞タブロイド情報紙 「コノコトプラス」夏号（Vol.11）	案内 看護職員再就業支援研修 配布先 県内全ての小中学生
7/8	北日本新聞タブロイド情報紙 「Future」夏号（Vol.18）	案内 看護師のお仕事紹介 配布先 県内の中学3年生と高校生
8/11	北日本新聞	案内 オンライン相談
11/20、12/10	北日本新聞	案内 就職ガイダンス

10 ナースセンターデジタル化事業

- (1) 目的 ナースセンター事業の対象は、若年層や転職希望者、子育て世代、定年後の再就職希望者、看護職を求める医療機関と幅広く、対象者が簡潔に情報を得られ、かつ双方向コミュニケーションが必要となる。富山県ナースセンターとして独立したホームページを作成することで、利便性の向上を図るとともに、単なる情報提供から双方向のやりとりへと発展させ、認知度の向上、利用者増を目指す。
- (2) 内容 ナースセンター専用ホームページの制作
- (3) 実績 2025年4月公開

11 ナースセンター事業運営委員会

- (1) 富山県ナースセンター事業運営委員会  
開催日 令和7年2月7日（金）15:00～16:00  
場所 富山県看護研修センター 第1研修室  
委員 15人  
議事 令和6年度事業と実績について  
令和7年度事業計画（案）について
- (2) 事業実績報告の作成  
発行部数 250部  
配布先 県内病院、県内看護師等学校・養成所、ハローワーク等

## 訪問看護支援に関する事項

### 1 「訪問看護eラーニング」を活用した訪問看護師養成講習会

- (1) 目的 訪問看護に必要な基本的知識と技術を習得し、質の高い看護サービスを提供できる訪問看護師を養成する。
- (2) 開催期間 令和6年6月28日(金)～12月6日(金)
- (3) 対象者 訪問看護を実施している施設の看護職  
これから訪問看護を始めようとする看護職  
訪問看護の知識習得を目指す看護職
- (4) 受講者 15名(内、修了者13名)
- (5) プログラム

#### ア 集合研修(開催場所:富山県看護研修センター)

開催日	内容・講師
6月28日(金)	開講式 講義「富山県の訪問看護の現状」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 係長 平瀬 綾 氏 講義「訪問看護の魅力について」 講師 済生会高岡訪問看護ステーション 緩和ケア認定看護師 齋藤 矢寿子 氏
7月26日(金)	講義・演習「フィジカルアセスメント」 講師 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 大屋 江里子 氏 富山県立中央病院 救急看護認定看護師 坂井 祐樹 氏
8月30日(金)	講義・演習「スキンケア」 講師 厚生連滑川病院 皮膚・排泄ケア認定看護師 横山 真代 氏 講義・演習「摂食嚥下障害患者の看護と栄養管理」 講師 富山赤十字訪問看護ステーション 摂食嚥下障害看護認定看護師 中山 香菜 氏
10月1日(火)	講義「認知症の看護」 講師 富山県立大学 在宅看護学 教授 河野 由美子 氏 講師 富山市立富山市民病院 認知症看護認定看護師 高柳 佳忠 氏
12月6日(金)	特別講演「地域密着小規模多機能ケア」 講師 このゆびとーまれ 副理事長 西村 和美 氏 閉講式、ワールドカフェ

#### イ eラーニング(開催場所:自宅等)

期間 令和6年7月1日(月)～9月30日(月)

内容 日本訪問看護財団「訪問看護eラーニング～訪問看護の基礎講座～」

#### ウ 実習(開催場所:病院、訪問看護ステーション、地域包括支援センター)

期間 令和6年10月2日(水)～11月8日(金)

内容 病院実習1日、訪問看護ステーション実習3日、地域包括支援センター実習1日

2 訪問看護師養成講習会修了者の就業状況確認

- (1) 目的 訪問看護師養成講習会修了者で、修了時未就業の者の状況を把握し、就業を促進する
- (2) 対象 1名(令和5年度受講修了者18名のうち、修了時未就業だった者)
- (3) 結果 家庭の都合で現在も未就業

3 訪問看護従事者等研修会

- (1) 目的 訪問看護に従事する看護職及び訪問看護に関心のある看護職員が、より高度な知識を習得し、質の高い看護を提供する。
- (2) 開催日 令和6年11月1日(金) 9:00~16:00
- (3) 会場 富山県看護研修センター 第1研修室
- (4) 対象者 訪問看護に従事している、あるいは今後従事しようとしている看護職
- (5) 受講者 16名
- (6) プログラム

時間	内容
9:00~16:00	講義 「訪問看護をめぐる動向」 講師 富山県厚生部高齢福祉課 係長 平瀬 綾 氏 講義・演習 「フィジカルアセスメント」 講師 富山赤十字病院 クリティカルケア認定看護師 浅生 かおり 氏 富山大学附属病院 クリティカルケア認定看護師 宮崎 優 氏 富山県済生会高岡病院 クリティカルケア認定看護師 福井 達也 氏 厚生連高岡病院 集中ケア認定看護師 三輪 哲也 氏

4 訪問看護ステーション管理者育成研修会

- (1) 目的 訪問看護での家族看護について学ぶ
- (2) 開催日 令和6年7月6日(土) 10:00~16:00
- (3) 方法 Zoom開催
- (4) 対象者 訪問看護ステーション管理者および準ずる看護職
- (5) 受講者 35名
- (6) プログラム

時間	内容
10:00~16:00	講演 「家族看護とは」「渡辺式の考え方」 グループワーク 「家族看護についての事例検討」 講師 株式会社ウッディ 訪問看護ステーションハート 訪問看護認定看護師 富岡 里江 氏

## 看護の心普及啓発に関する事項

### 1 看護の日記念事業

#### (1) 第34回「看護の日」看護フェスティバル

目的 看護に興味のある学生・その家族に看護の魅力を発信し、将来の人材確保・進路選択に結びつける。

開催日 令和6年5月11日(土) 12:30~15:00

場所 学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校

参加者 県内小中高生41名、保護者27名

プログラム

時間	内容
12:30	式典 「看護職員等からの体験談」表彰式・朗読
13:00	看護体験 看護体験コーナー、展示コーナー、看護学校紹介、白衣試着体験
15:00	閉会

#### (2) ふれあい看護体験

目的 知識と技術を持つプロフェッショナルとしての看護師像を、若年層や看護職志望者・家族、県民、看護職に伝えることを通して、看護のイメージアップを図り、人材確保・定着に結び付ける。また、「看護の日」事業の一環として、施設見学や簡単な看護体験、交流等を実施し、看護の心を伝える。

実施期間 5月12日の看護の日にあわせて、5~7月に実施

内容 各施設で、施設見学、看護体験、健康相談、看護相談、介護相談等を企画・運営する。ポスター・チラシの掲示による広報活動を行う。

参加者 約2,200人

協力病院 28病院

#### (3) 「とやまおしごと図鑑」の作成（企画／富山テレビ放送）

目的 富山で暮らす子どもたちが「ふるさと富山」の産業や職業に対して関心や知識を持つ「きっかけ」をつくり、仕事を知る、学ぶことで、将来につなげる。富山県内全ての小学5年生に配布し、将来の夢・目標を育んでもらう副読本として活用してもらう。

協力病院 富山市立富山市民病院

配布先 県内の小学5年生

#### (4) 広報

掲載日 令和6年5月12日

内容 北日本新聞「子どもと家族の、明日のために。」  
富山新聞 「看護職員等からの体験談」受賞作品

## 2 高校生の一日看護見学

目的	高校生が看護業務と看護に対する理解を深め、看護職への進路選択の参考に資することを目的とする。
実施期間	令和6年7月1日(月)～7月12日(金)
対象	県内の高等学校に在学する生徒
内容	院内見学、看護業務見学、「看護の道」について説明、座談会、個別進路相談
参加者	高校生632名(男子36名、女子596名)
協力病院	23病院

回	月日	病院名
1 回目	7月1日(月)	富山赤十字病院 富山県済生会富山病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	7月2日(火)	富山労災病院 高岡市民病院 富山県済生会高岡病院
	7月3日(水)	あさひ総合病院 富山市立富山市民病院
	7月4日(木)	厚生連高岡病院 高岡ふしき病院
	7月5日(金)	黒部市民病院 富山市立富山まちなか病院 富山県立中央病院
2 回目	7月8日(月)	富山市立富山まちなか病院 富山赤十字病院 富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
	7月9日(火)	富山労災病院 富山県立中央病院
	7月10日(水)	富山県済生会高岡病院
	7月11日(木)	あさひ総合病院 富山県済生会富山病院 国立大学法人富山大学附属病院
	7月12日(金)	黒部市民病院 富山市立富山市民病院 厚生連滑川病院

### 3 看護普及推進事業

目的 小、中、高校生や学校教員等へ看護の普及啓発を行い、看護について理解や関心を高め、看護職員の確保を図る。

実施期間 令和6年7月～10月

対象 県内小学生、中学生、高校生、保護者、学校教員、地域住民等

内容 看護師等学校・養成所における講義及び看護体験学習

実施状況

学校	開催日	参加者	主な内容
国立大学法人 富山大学	7/13	高校生53人	説明「看護のお仕事」「富山大学看護学科の特徴」 母性看護学模擬授業「分娩期の看護」
公立大学法人 富山県立大学	7/28	高校生延べ353人	模擬講義「ナースのお仕事 訪問看護編」
	8/19	保護者等延べ102人	演習「高齢者疑似体験、身体観察等」
	8/8	高校生19人 教員1人	模擬講義「身体からのメッセージについて」 演習体験「モデル人形を使ってアセスメント」
富山福祉短期大学	10/12	幼児・小学生6人 その保護者	白衣でポーズ！未来の白衣の天使あつまれ (写真撮影)
富山医療福祉 専門学校	8/6	中学生3人	授業体験・ミニ演習 ヘルスアセスメント 赤ちゃんの特徴と観察・看護
富山県 高岡看護専門学校	8/21	小学生20人 保護者6人 教員10人	「看護の仕事（魅力）」について からだの音クイズ 胎児モデルで胎児発育過程を学ぶ 正しい手洗い法体験と洗い残しチェック

## その他

### 1 富山県医療勤務環境改善支援センター病院サポート事業

- 目的 多様な勤務形態の整備や看護業務の効率化を促進し、看護職が健康で安心して働き続けられる職場環境づくりを行う。
- 内容 (1) 個別病院支援  
(2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会の開催（年1回）  
(3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会の開催（年1回）
- 参加施設 1年目 野村病院  
2年目 富山県済生会富山病院、栗山病院  
3年目 黒部市民病院
- 実施状況 (1) 個別病院支援  
インデックス調査 令和6年6月  
施設訪問 令和6年9月26日(木) 野村病院  
令和6年9月30日(月) 栗山病院  
令和6年10月30日(水) 黒部市民病院  
令和6年10月31日(木) 富山県済生会富山病院
- (2) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進事業報告会  
開催日 令和6年12月11日(水) 13:30~16:00  
場所 富山県看護研修センター 第1研修室  
参加者 42名(20施設)  
プログラム 報告 黒部市民病院  
講演 「就業継続が可能な看護職の働き方の提案」  
講師 国際医療福祉大学大学院  
副大学院長 福井 トシ子 氏
- (3) 看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員会  
開催日 令和6年5月31日(金) 15:00~16:00  
場所 富山県看護研修センター 第3研修室  
委員 10名  
内容 事業説明等

### 2 看護職員定着支援事業

#### (1) 看護職員等からの体験談

- 目的 看護の魅力、看護の心を広く県民に伝えるとともに、看護職を目指す方々の希望へと繋げる。
- 募集期間 令和5年12月12日~令和6年1月26日
- 募集内容 看護を通して得られた忘れられない体験談やエピソード
- 募集資格 富山県内の看護職員および看護学生
- 応募数 89編
- 受賞者 最優秀賞 1名 松井美揮子  
優秀賞 2名 佐伯優、森木郷江  
特別賞 4名 寺本璃胡、福井達也、松井美希、水上葉月
- 表彰式 令和6年5月11日(土) 第34回「看護の日」看護フェスティバルで表彰
- 広報 受賞作品を富山新聞、広報誌「看護とやま」、ホームページに掲載

- (2) 看護職員定着支援事業シンポジウム  
 目的 看護職の定着支援を考える機会とする  
 開催日 令和6年8月9日(金) 13:30~16:00  
 場所 富山県看護研修センター 第3研修室  
 参加者 37名(19施設)  
 プログラム 調査報告「看護職が働き続けられる職場環境に関する実態調査」  
 シンポジウム「看護職が働き続けられる職場環境について」  
 シンポジスト 富山市立富山市民病院 宮村 竜也 氏  
 市立砺波総合病院 野村 由樹 氏  
 厚生連高岡病院 鷺北 麻実 氏  
 講演「離職予防について」  
 講師 ともさわ社会保険労務士事務所 社会保険労務士 友澤 景子 氏

3 看護補助者の確保・定着推進事業(日本看護協会委託)

- (1) 目的 病院等における看護補助者の確保・定着が困難となっていることから、質の高い看護補助者を養成するとともに、看護補助者の就業支援を行う。
- (2) 看護補助者のお仕事説明会・体験会の開催と看護補助者の就業に向けた研修  
 目的 看護補助者の仕事に関する施設説明会や施設体験会を通して、看護補助者の仕事内容を具体的に知ってもらい、看護補助者の確保・定着に繋げる。  
 時期 令和6年10~11月  
 場所 県内の病院  
 内容 仕事説明(看護補助者の役割・業務内容についての説明)  
 仕事体験(車いす操作体験、ベッドメイキング、環境整備、配膳下膳等)  
 座談会(現役看護補助者との意見交換等)

実施状況

(人)

実施病院	開催日	参加者	研修受講者
富山労災病院	10/30(水)	3	3
富山赤十字病院	11/20(水)	4	3
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター	11/19(火)	4	3
厚生連滑川病院	10/4(金)	2	2
かみいち総合病院	11/19(火)	2	1
厚生連高岡病院	11/29(金)	3	2
合計		18	14

(3) 看護補助者の仕事に関する周知・広報活動

周知媒体	周知方法
お仕事説明資料 看護補助者お仕事説明会&体験会 ちらし パンフレット(日本看護協会発行)	介護職場の就職説明会で配布し 参加者に説明、面談。
お仕事説明資料 看護補助者お仕事説明会&体験会 ちらし パンフレット(日本看護協会発行)	ハローワーク・サテライトの就業相談で配布し 相談者に説明。
看護補助者お仕事説明会&体験会 ちらし	開催病院にちらし(A3)を掲示
看護補助者お仕事説明会&体験会 ちらし	市町村広報誌に掲載

# 令和6年度 富山県訪問看護総合支援センター事業報告

## 富山県訪問看護総合支援センター運営事業（富山県委託事業）

富山県訪問看護総合支援センターは、県内訪問看護ステーションの人材確保、質の向上、経営の安定化・機能強化を行い、訪問看護提供体制の推進を図る。

### 1 訪問看護支援強化事業

(1) 事業目的 訪問看護に関する相談や啓発等の実施、運営支援アドバイザーの派遣、小児医療対応力向上技術研修会の開催等を行うことにより、在宅療養環境の充実を図る。

(2) 訪問看護相談窓口（コールセンター）の開設

県民や関係機関からの訪問看護の利用に関する相談や、訪問看護ステーションの運営や開設等に関する相談に応じている。

#### ア 相談数及び相談方法

相談数 延575件（月平均47.9件）（対前年比0.91倍）

相談方法 電話相談530件（92.2%）、メール7件（1.2%）、来訪等38件（6.6%）

#### イ 相談者及び相談内容

相談者	延件数	割合(%)	相談内容
訪問看護ステーション	490	85.2	診療報酬、介護報酬、報酬改定、訪問看護指示書等に関する事
病院・診療所	23	4.0	訪問看護ステーションの紹介 訪問看護制度・利用料に関する事
新規開設予定者	7	1.2	開設準備等に関する事
ケアマネジャー	11	1.9	医療保険の訪問看護、サービス内容に関する事
利用者・家族等	4	0.7	訪問看護ステーションの紹介 サービス内容、利用料に関する事
施設	2	0.4	訪問看護のサービス内容に関する事
その他	38	6.6	事業・研修会の問い合わせや依頼等
合計	575	100.0	

(3) 訪問看護の普及・啓発

#### ア 啓発・相談会

院内に訪問看護ステーションを所有していない6カ所の公的病院で計8回開催。訪問看護ステーションの管理者や訪問看護総合支援センターの職員（各回2名）が対応。

開催病院	開催数（回）	相談者数（人）
富山県立中央病院	2	10
富山市立富山市民病院	1	2
富山大学附属病院	2	6
高岡市民病院	1	1
射水市民病院	1	4
黒部市民病院	1	5
合計	8	28

#### イ 県民への啓発

(ア) イベントでの啓発

開催日	内容
令和6年5月11日(土)	第34回「看護の日」看護フェスティバル

(イ) 相談窓口の案内 (新聞掲載)

	掲載欄	掲載日
北日本新聞	情報かわら版	毎週木曜日
富山新聞	社会面のお知らせ欄	土・日・祝日を除く毎日

ウ 出前講座

2回 (富山県立大学等)

エ その他

(ア) 「看護とやま」(4月、7月、10月、1月)を活用した啓発

(イ) 訪問看護に関する情報発信、広報や研修案内等富山県訪問看護総合支援センターのホームページの更新

(4) 訪問看護の機能強化

訪問看護ステーションの安定した運営基盤の構築、小児医療への対応力の向上、訪問看護ステーション連絡協議会への支援等を行う。

ア 訪問看護運営支援アドバイザー派遣

事業内容 アドバイザーによる事業所運営全般に関する助言指導

講師 株式会社ウッディ訪問看護ステーションはーと

訪問看護認定看護師 富岡 里江氏

開催日及び方法

(ア) 令和6年10月31日(木) オンライン指導

(イ) 令和7年1月31日(金) 書面による指導

実施施設 4カ所 高岡市医師会訪問看護ステーション、あさなぎ訪問看護ステーション、朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション、訪問看護ステーションふれあいの里

イ 訪問看護ステーション管理者育成研修会

目的 訪問看護での家族看護について学ぶ

開催日 令和6年7月6日(土) 10:00~16:00

方法 オンライン開催

参加者 35名

プログラム

時間	内容
10:00~16:00	講義「看護をケアするということ」 渡辺式家族アセスメント/支援モデルの考え方 グループワーク「渡辺式」家族看護見える化シートを使い事例検討  講師 株式会社ウッディ訪問看護ステーションはーと 訪問看護認定看護師 富岡 里江氏

ウ 小児医療対応力向上技術研修会

目的 医療的ケア児等の在宅医療を推進するため、訪問看護師の知識の習得、技術向上のため、NICU等の小児医療機関において実習を含めた研修を実施する。

開催日及び受講者

1日目 令和6年10月3日(木) 受講者12名

2日目 令和6年10月17日(木) 受講者13名

3日目 令和6年10月22日(火)または23日(水) 受講者7名

4日目 令和6年10月24日(木)~11月13日(水)のうち1日 受講者7名

プログラム

		研 修 内 容	講 師
1 日 目	講義	①医療的ケア児等の支援に係る制度	富山県厚生部障害福祉課 地域生活支援係 係長 岩崎 渉 氏
		②医療的ケアを必要とする小児の理解	富山県立中央病院 理事・新生児科 部長 二谷 武 氏
		③小児の訪問看護の実際	訪問看護ステーションままアシスト 管理者 高尾 久子 氏
		④障害児支援計画の作成等について	社会福祉法人くるみ 相談支援専門員 松田 瞳 氏
2 日 目	講義	⑤医療的ケアを必要とする子どもと家族の看護 ⑥医療的ケアを必要とする子どものフィジカルアセスメントと蘇生術 ⑦医療的ケアを必要とする子どもの栄養管理とストマ管理 ⑧医療的ケアを必要とする子どもの人工呼吸器管理	富山県立中央病院 小児看護専門看護師 松井 弘美 氏 小児救急看護認定看護師 柿沢 有希子 氏 新生児集中ケア認定看護師 濱木 妙子 氏 新生児集中ケア認定看護師 林 美智子 氏
	演習	医療的ケアの実際 (呼吸、栄養、ストマ管理、蘇生等)	
3 日 目	実習・ 意見交換	N I C U ・ G C U ・ 小児科病棟 退院調整・家族支援・地域との連携	富山県立中央病院 小児科医師、小児科病棟・2階南・N I C U ・ G C U 看護師等、地域連携室 等
		意見交換（医療的ケア児の支援と課題）	
4 日 目	実習 (同行訪問)	小児を対象とした訪問看護ステーションにおける訪問看護の実際	訪問看護ステーションままアシスト 管理者 高尾 久子 氏

エ 専門性の高い看護師による地域支援

目 的 専門性の高い看護師と訪問看護師との連携による質の高い在宅療養支援の促進を図る。

実 績

- (ア) 高岡市内公的4病院看護部長会議への参加による支援（6回）
- (イ) 専門性の高い看護師と訪問看護師の連携について調査実施
- (ウ) 「専門性の高い看護師の同行訪問における医療機関・訪問看護ステーションの共通ルール」及び「ご自宅訪問時のマナー」作成の支援
- (エ) 事業報告会にて医療機関及び訪問看護ステーションの取組み報告

オ 事業報告会

開 催 日 令和7年3月15日(土)  
開催場所 富山県看護研修センター  
参加人数 76名  
内 容 報告及び意見交換

- (ア) 新卒訪問看護師育成の取り組みについて
- (イ) 専門性の高い看護師による地域支援について

カ 富山県訪問看護ステーション連絡協議会への支援

- (ア) 事務局としての支援
- (イ) 訪問看護ステーション実績調査・報告（データ集計、分析含む）
- (ウ) 総会、役員会（8回）、研修会（2回）、新卒・新任訪問看護師交流会

キ 関係者研修会への支援

富山県ホームヘルパー協議会研修会へ講師を派遣し、訪問介護と訪問看護の連携の強化を図る。

地区	日時	場所	参加者(人)	講 師
新川	10月5日(土) 10:00～12:00	魚津ありそドーム	13	朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション 管理者 飯野 夕子 氏
富山 東部	10月4日(金) 18:00～20:00	自治労とやま会館	9	高志訪問看護ステーション 言語聴覚士 森田 鈴世 氏
富山 西部	9月21日(土) 13:30～15:30	富山市八尾コミュニティセンター	10	訪問看護ステーション希望のひかり 管理者 杉田 美紀 氏
高岡	1月22日(水) 18:00～20:00	高岡ふれあい福祉センター	10	厚生連高岡訪問看護ステーション 管理者 近藤 道代 氏
砺波	10月5日(土) 10:00～12:00	砺波市福祉センター苗加苑	16	ものがたり訪問看護ステーション 管理者 宮川 尚乃 氏

ク その他

訪問看護に関する情報分析、診療報酬改定に伴う訪問看護指示書様式変更の周知及び富山県訪問看護総合支援センターホームページへの掲載等

## 2 訪問看護人材確保事業

- (1) 事業目的 新卒・新任看護師が安心して訪問看護師として就労できるよう、県内訪問看護ステーション等でのインターンシップやセミナー等を開催し、訪問看護師の安定的な確保を目指す。

- (2) 新卒看護師雇用・育成事業（訪問看護インターンシップ事業）

目 的 訪問看護に関心のある看護学生が、訪問看護ステーションの職場を体験し、訪問看護の魅力の発見や関心を高めることにより訪問看護ステーションへの就業促進を目指す。

実施期間 令和6年8月20日(火)～8月27日(火)

参加者 看護学生12名（富山県立大学、富山福祉短期大学、高岡看護専門学校、富山医療福祉専門学校、富山市立看護専門学校）

体験事業所 訪問看護ステーション5カ所（朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション、済生会富山訪問看護ステーション、光風会訪問看護ステーション、厚生連高岡訪問看護ステーション、砺波市訪問看護ステーション）

- (3) 先輩と語るセミナー（訪問看護キャリア支援セミナー）の開催

目 的 新たに訪問看護に従事しようと考えている看護職員等を対象に、訪問看護の魅力や働き方を伝えるセミナーを開催し、訪問看護師の確保につなげる。

開 催 日 第1回 令和6年7月30日(火)

第2回 令和6年11月12日(火)

テ ー マ あなたのセカンドキャリア 応援します ～もっと知りたい訪問看護～

内 容 体験談（各回3名）「訪問看護という選択 ～私が訪問看護を選んだ理由(わけ)～」

報告者 宮川 尚乃 氏（ものがたり訪問看護ステーション）

澤井 啓子 氏（真生会訪問看護ステーションこころ）

宮田 美香子 氏（訪問看護ステーションひよどり富山）

岡 英里 氏（朝日町在宅介護支援センター訪問看護ステーション）

中山 みゆき 氏（厚生連高岡訪問看護ステーション）

西野 友香里 氏（在宅福祉総合センターきずな訪問看護ステーション）

本音deトーク（グループワーク）

参加者 21名（第1回 9名 第2回 12名）

#### (4) 新卒訪問看護師育成試行事業

- ア 看護師のクリニカルラダー（日本看護協会版）の到達を目指した教育・実践及び評価  
実施場所 富山県済生会高岡病院・済生会高岡訪問看護ステーション  
実施期間 令和5年4月～令和7年3月（2年間）  
実施内容 新卒看護師（令和5年4月新規採用）を自施設が所有する訪問看護ステーションに配属し、作成した訪問看護師用ラダー及び育成プログラムによる教育・育成を行う。
- イ 富山県新卒訪問看護師育成検討会  
目 的 新卒訪問看護師が訪問看護師として成長するための教育・育成体制の検討及び訪問看護ステーションにおける新卒看護師の採用に向けた準備・教育・育成に必要なガイドラインの作成等について、総合的に検討する。  
開 催 日 第1回 令和6年5月29日(水)  
第2回 令和7年2月18日(火)  
開催場所 富山県看護研修センター  
委 員 11名
- ウ 富山県新卒訪問看護師育成ガイドラインの作成及び活用の推進  
日本看護協会が2023年に公表した「看護職の生涯学習ガイドライン」に基づく「看護師のまなびサポートブック」の看護実践能力及び厚生労働省の「新人看護職員研修ガイドライン(平成26年)」を基に育成プログラムを作成し、「富山県新卒訪問看護師育成ガイドライン」が令和6年6月に完成した。活用推進のために、ガイドラインの周知、ホームページへの掲載及び研修会を開催した。

### 3 訪問看護災害時等支援体制推進事業

- (1) 事業目的 新興感染症拡大時や災害発災時に、訪問看護サービスを必要とする在宅療養者が継続して訪問看護を利用できるよう、県内訪問看護ステーション相互の連携を支援する。
- (2) 事業内容 ア サポートステーションの圏域内で情報交換会の開催  
BCP更新の支援や応援体制の整備  
イ 災害時等のシミュレーション  
ウ 感染症・災害時等のBCP作成状況の確認  
エ サポートステーションとの情報共有
- (3) 実 績 ア サポートステーション連絡会議で情報交換を実施  
イ 災害時情報共有システムへの入力について周知  
ウ 各圏域での訪問看護ステーション間の連絡体制について調査・検討

### 4 訪問看護ステーションサポート事業

- (1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、教育的機能を有する「訪問看護サポートステーション」を医療圏毎に選定し、圏域内の訪問看護職員を対象とした実践的研修等や管理者等への相談対応や情報交換会等を開催することにより、訪問看護サービスの向上を目指す。
- (2) 事業内容  
ア サポートステーションの審査及び必要経費の助成  
イ 連絡会議の開催、サポートステーションからの相談対応、実績の取りまとめ等  
ウ コーディネーターの設置・連絡調整・対応策の検討等

(3) 実績

ア サポートステーションの一覧及び活動実績

医療圏	サポートステーション	電話相談	同行訪問	ST訪問	研修	情報交換会
新川	朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	4	0	0	4	2
富山	済生会富山訪問看護ステーション	1	0	0	2 (合同)	2 (合同)
	光風会訪問看護ステーション	9	0	0	2 (合同)	2 (合同)
高岡	厚生連高岡訪問看護ステーション	6	0	0	2	3
砺波	砺波市訪問看護ステーション	2	0	0	3	3
	計	22	0	0	11	10

イ 連絡会議

開催日 第1回 令和6年6月25日(火)

第2回 令和7年2月25日(火)

5 訪問看護・医療機関相互研修事業

(1) 事業目的 多様化する在宅医療ニーズに対応するため、医療機関と訪問看護ステーション双方の技術向上と連携強化を図る。

(2) 病院看護師出向研修事業

ア 事業内容 病院看護師が一定期間（3～6ヶ月程度）訪問看護ステーションに出向し、退院支援や訪問看護等に必要な知識や技術の習得及び実践を支援する。

イ 実績

派遣病院 受入事業所	出向研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
富山県立中央病院 訪問看護ステーションひよどり富山	令和7年 1月1日～ 3月31日	病棟 副主幹看護師長（1名）

(3) 病院看護師の研修受入事業

ア 事業内容 派遣等により病院看護師を一定期間（1～2ヶ月程度）訪問看護ステーションで受入れ、訪問看護の理解を深め、退院支援に必要な知識や技術研修を行うとともに、地域包括支援センターなど関係機関との役割も学ぶ。

イ 実績

派遣病院 受入事業所	研修期間	派遣元の所属部署・職位（人数）
国立大学法人富山大学附属病院 富山赤十字訪問看護ステーション	令和6年 10月7日～ 10月18日 11月11日～ 11月22日	病棟 看護師（1名）

(4) 訪問看護師スキルアップ研修事業

ア 事業内容 県内の公的病院において、下記の内容の研修を行う。

(ア) 医療機器装着患者等対応研修

最新医療機器や緩和ケア外来化学療法等の知識や技術を学ぶ。

(イ) 訪問看護師と病院看護師等との連携会議（情報交換）

在宅移行や退院調整に必要な事項を意見交換する連携会議を開催する。

イ 実績（4圏域5病院）

圏域	開催日	場 所	参加者(人)	内 容
新川	9月9日(月)	あさひ総合病院	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定看護師等6名による講義・演習等</li> <li>・排便管理、褥瘡ケア、フィジカルアセスメント、認知症看護等</li> <li>・意見交換</li> </ul>
富山	10月25日(金)	富山大学附属病院	15	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門看護師・認定看護師10名による講義・演習等</li> <li>・呼吸アセスメント、がん看護、看取り、通院治療センター見学等</li> <li>・意見交換</li> </ul>
	11月15日(金)	かみいち総合病院	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・認定看護師7名による講義・演習等</li> <li>・呼吸アセスメント、摂食嚥下看護、認知症看護、看取り、褥瘡管理等</li> <li>・意見交換</li> </ul>
高岡	12月4日(水)	高岡市民病院	11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門看護師・認定看護師等7名による講義・演習等</li> <li>・睡眠指導、がん性疼痛看護等</li> <li>・意見交換</li> </ul>
砺波	11月29日(金)	北陸病院	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門看護師・認定看護師等6名による講義・演習</li> <li>・事例検討、認知症疾患センター紹介、病院内見学等</li> <li>・意見交換</li> </ul>
計			35	

## 6 訪問看護推進事業

(1) 事業目的 医療機関の看護師が訪問看護の現場に赴き、在宅医療移行に向けてのケアの視点や退院支援、地域連携に関する知識を養うことなどを通し、地域医療の充実と質の高い在宅療養支援体制づくりを推進する。また、訪問看護師や医療機関に勤務する看護師が、共同で在宅療養患者の療養上の課題を明確にし、対応策を検討することにより、看護師の資質向上や相互理解、連携強化を図る。

### (2) 実績

ア 在宅ケア事例検討会へのアドバイザー（専門看護師・認定看護師等）の派遣

(ア) 派遣アドバイザー（12名）

氏名	所属	認定看護師等名称
① 細見 由加里	黒部市民病院	がん性疼痛看護認定看護師
② 原 直子	富山労災病院	緩和ケア認定看護師
③ 小原 留美	光風会訪問看護ステーション	訪問看護認定看護師
④ 石黒 伸昌	あさひ総合病院	皮膚排泄ケア認定看護師
⑤ 布川 佳要子	富山赤十字病院	緩和ケア認定看護師
⑥ 長 光代	おれんじ訪問看護ステーション	がん看護専門看護師
⑦ 林 浩靖	医療法人光が丘病院	認知症看護認定看護師
⑧ 橋本 美代子	高岡市国吉・五位地域包括支援センター	主任ケアマネジャー
⑨ 加藤 真理子	富山赤十字病院	在宅ケア認定看護師
⑩ 長瀬 佐知子	市立砺波総合病院	がん看護専門看護師
⑪ 堺 聖友士	高岡市民病院	精神科認定看護師
⑫ 安田 京子	市立砺波総合病院	精神保健福祉士

(イ) 在宅ケア事例検討会（6回 参加総数228名）

地区	開催日	会場	アドバイザー	事例検討テーマ (事例提供ステーション)	参加者 (人)
新川	8月22日 (木)	黒部市民病院	① ②	リンパ浮腫をもつ高齢の利用者へのセルフケア支援 (訪問看護ナースソフィアにいかわ)	44
富山	9月3日 (火)	富山県立中央病院	③ ④	ジストニアによる変形があり皮膚障害の改善が困難な事例について (ソフィアメディ訪問看護ステーション富山北)	36
	10月1日 (火)	富山県看護研修センター	⑤ ⑥	未告知のまま（原発不明癌末期）在宅看取りになった本人、家族との関わり (訪問看護ステーションまめなけ)	27
高岡	8月28日 (水)	厚生連高岡病院	⑦ ⑧	頑なに介護保険を拒む利用者への対応～変化する身体状況の中、5年間の説得を重ねての介護保険の介入～ (訪問看護ステーション十色)	29
	10月16日 (水)	真生会富山病院	⑨ ⑩	自宅で複数の医療行為が必要な利用者と家族の多職種支援 (訪問看護ステーションなでしこ)	56
砺波	9月12日 (木)	市立砺波総合病院	⑪ ⑫	妄想に支配されている介護者への関わり (小矢部市医師会訪問看護ステーション)	36
計					228

イ 医療機関看護師の訪問看護研修及び事例検討会への参加

研修場所及び期日		在宅ケア事例検討会	参加者数 (人)	
訪問看護ステーション				
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション	7/5(金)	黒部市民病院	8/22(木)	2
訪問看護ステーションひよどり富山	8/2(金)・9(金)	富山県立中央病院 富山県看護研修センター	9/3(火) 10/1(火)	2
富山赤十字訪問看護ステーション	8/7(水)	富山県立中央病院	9/3(火)	3
高岡市医師会訪問看護ステーション	7/4(木)・5(金)	厚生連高岡病院 真生会富山病院	8/28(水) 10/16(水)	2
南砺市訪問看護ステーション	8/6(火)	市立砺波総合病院	9/12(木)	1
計				10

7 医療的ケア児等訪問看護体制整備事業

- (1) 事業目的 人工呼吸器を装着している児（者）や日常生活を営むために医療を要する状態にある児（者）、また、重症心身障害児（者）（以下「医療的ケア児等」という。）とその家族が、身近な地域で必要な訪問看護を安心して受けることができるよう、訪問看護提供体制の整備を図る。
- (2) 事業内容
  - ア 地域の訪問看護ステーションへの引継ぎを前提とした同行訪問の調整及び経費の助成
  - イ 市町村、障害福祉サービス事業所、保育所、学校等の関係機関との情報連携、相談・助言、啓発等
- (3) 実績
  - ア 2か所の訪問看護ステーションによる訪問看護の実施
    - (ア) 指導ステーション 2事業所
    - (イ) 受講ステーション 2事業所
    - (ウ) 対象となった児 2名
    - (エ) 同行訪問回数 延22回（1回＝30分）
  - イ 訪問看護事業所、医療機関、市町村等からの相談対応  
相談件数 22件

# 令和6年度 訪問看護ステーションひよどり事業報告

## 1 経緯

平成8年8月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所を開設。介護保険改定に伴い、平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。平成26年3月31日で居宅介護支援事業を廃止。4月より訪問看護事業のみとなる。

## 2 職員体制（令和7年3月現在）

常勤換算 4.8名

勤務形態

管理者	1名
常勤看護師	4名
非常勤看護師	1名

## 3 訪問看護実績（別紙参照）

## 4 地域・他機関連携

- ・富山県訪問看護ステーション連絡協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会
- ・射水市在宅医療・介護連携推進協議会情報共有ツールワーキング部会参加
- ・射水市認知症初期集中支援チーム検討委員会
- ・在宅ケア事例検討会
- ・射水在宅医療カンファレンス
- ・在宅いみずネットワーク多職種連携協働研修会

## 5 研修会出席

【富山県看護協会主催】

- ・災害支援ナース活動報告会

【富山県訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・高岡・氷見支部研修会

【その他】 一部を記載

- ・第30回高岡医療圏在宅・緩和医療懇話会（web）
- ・富山県在宅医療支援センター研修会（web）
- ・令和6年度射水市高齢者虐待防止研修会
- ・認定看護師を対象としたフォローアップ研修（web）
- ・射水市在宅医療と介護を考える市民公開講座
- ・医療措置協定研修
- ・令和6年度高岡地域難病ケア連絡会
- ・令和6年度日本ALS協会富山県支部支部総会研修会

## 6 訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期間	人数
2024年度セカンドレベル実習	令和6年7月22日～7月25日	4名
ケアマネジャー医療介護連携研修	令和6年11月14日	1名
富山県高岡看護専門学校	令和6年6月4日～6月7日	2名
富山県立大学看護学部	令和6年5月9日～5月17日	2名
計		9名

# 令和6年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり

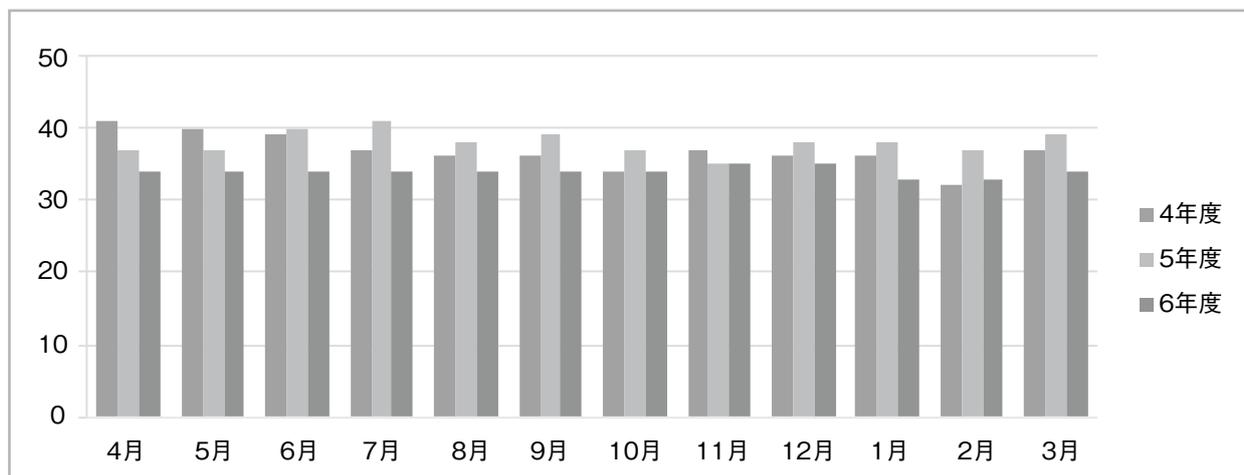
区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		21	21	20	22	21	19	22	20	22	19	18	20	245	20.4
利用者状況	登録者数	36	34	34	34	34	34	34	35	36	33	33	34	411	34.3
	利用者数	36	34	34	34	34	34	34	35	36	33	33	34	411	34.3
	介護保険	24	22	22	22	22	22	22	23	24	22	22	23	270	22.5
	医療保険	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141	11.8
	新利用者数	2	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	1	6	0.5
	終了者	5	2	1	0	0	0	0	0	1	0	3	0	12	1.0
訪問状況	訪問延回数	265	283	293	309	275	266	299	269	274	256	227	259	3,275	272.9
	医療保険訪問	127	104	113	124	116	110	133	112	121	115	102	112	1,389	115.8
	複数訪問	17	16	16	17	16	15	18	16	17	15	15	17	195	16.3
	平均訪問回数	13.3	14.2	14.9	15.4	13.7	13.3	14.9	13.5	13.7	12.8	11.4	12.9	164.0	13.7
終了内訳	死亡	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	3	0.3
	入院	2	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0.3
	入所	1	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	4	0.3
	軽快	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
依頼状況	居宅支援事業所	2	0	1	0	0	0	0	2	1	0	0	1	7	0.6
	地域包括支援センター	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	4	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3	3	36	3.0
	要介護1	8	7	7	7	7	7	7	8	7	5	5	5	80	6.7
	要介護2	3	5	5	6	6	6	6	7	8	9	9	9	79	6.6
	要介護3	2	2	1	1	2	2	2	2	3	3	2	2	24	2.0
	要介護4	3	1	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	10	0.8
	要介護5	4	4	4	4	3	3	3	3	4	2	3	4	41	3.4
	申請中	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0.1
	医療保険利用	12	12	12	12	12	12	12	12	12	11	11	11	141	11.8
利用者年齢	平均年齢	78.0	78.1	77.6	77.6	77.6	77.6	78.0	77.8	77.8	78.3	77.5	78.1	934.0	77.8
	65歳未満	5	6	6	6	6	6	6	6	6	5	5	4	67	5.6
	65～69歳	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	12	1.0
	70～74歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1.0
	75～79歳	6	4	4	4	4	4	3	3	4	4	4	4	48	4.0
	80～84歳	6	6	7	7	7	7	8	9	9	8	8	10	92	7.7
	85～89歳	8	9	8	8	8	8	8	9	9	9	9	9	102	8.5
	90歳以上	7	8	7	7	7	7	7	6	6	5	4	4	75	6.3
連携	退院前カンファレンス	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	3	0.3
	担当者会議	0	0	0	0	0	0	1	2	0	2	0	1	6	0.5
	地域包括ケア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

\*実働日数には休日・祝日は含まれない

## 訪問看護ステーションひよどりの年度別推移

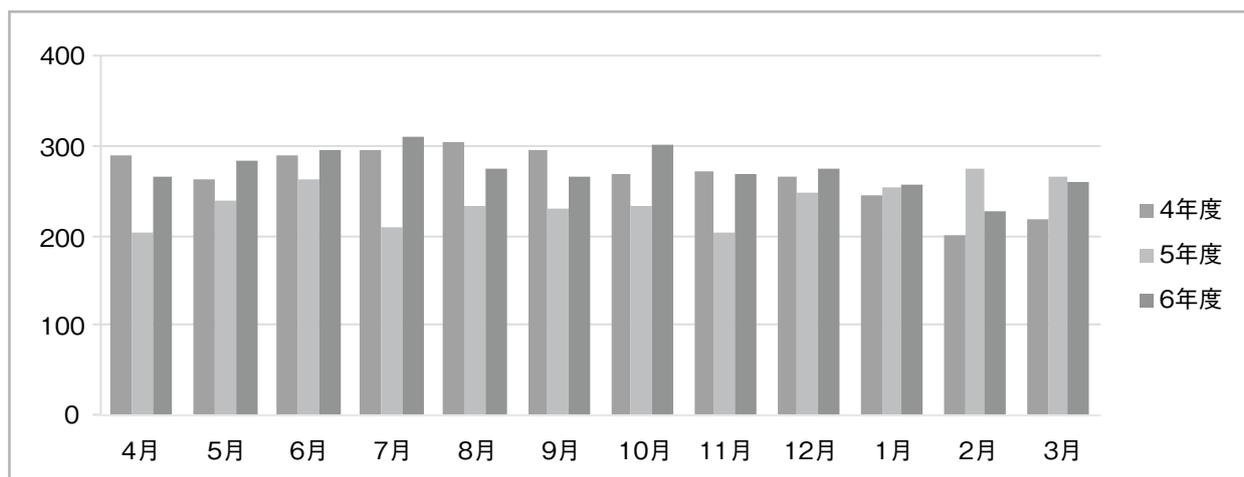
### 1 利用者の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	41	40	39	37	36	36	34	37	36	36	32	37	441
5	37	37	40	41	38	39	37	35	38	38	37	39	456
6	36	34	34	34	34	34	34	35	35	33	33	34	410



### 2 訪問回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4	287	261	287	293	303	295	268	271	265	245	199	217	3,191
5	203	237	262	208	233	231	233	202	247	254	273	266	2,849
6	265	283	293	309	275	266	299	269	274	256	227	259	3,275



---

# 令和6年度 訪問看護ステーションひよどり富山事業報告

---

## 1 経緯

平成10年10月訪問看護事業開始。平成12年4月介護保険法施行により指定居宅介護支援事業所開設。事業拡大に向け平成19年4月より訪問看護事業と居宅介護支援事業を分離。訪問看護事業は平成20年10月訪問看護ステーションいそべと合併し16年経過。令和6年度は6月の診療報酬改定を契機に、レセプト請求事務の効率化に繋がる訪問看護（医療保険請求分）のオンライン資格確認及びオンライン請求体制を整え導入。質の高い訪問看護を実施するための訪問看護医療DX情報活用に取り組んだ。

## 2 職員体制（令和7年3月現在）

常勤換算 4.0名

勤務形態

管理者 1名

常勤看護師 3名（出向研修 1名含む）

## 3 訪問看護活動実績（別紙）

## 4 地域・他機関連携

- ・富山医療圏地域医療推進対策協議会がん・在宅医療部会出席（委員）
- ・出向研修事業受入れ（富山県立中央病院）
- ・富山県立大学看護学部看護学実習運営協議会出席
- ・神明・五福地区医療介護連携推進会議参加
- ・富山市医師会看護専門学校（講師）
- ・富山市西エリア在宅医療・介護連携推進研修会参加
- ・5エリア合同講習会（10/28）（WEB）

## 5 研修会出席

### 【富山県看護協会主催】

- ・精神科訪問看護師育成研修（8/24）

### 【富山県訪問看護総合支援センター主催】

- ・令和5年度訪問看護に関する事業報告会（6/20）
- ・管理者育成研修「家族看護について学ぶ」（7/6）（WEB）
- ・令和6年度訪問看護キャリア支援セミナー（7/30）
- ・在宅ケア事例検討会（8/2・10/20）

### 【訪問看護ステーション連絡協議会主催】

- ・訪問看護と人材育成「いまできていること、これからできること」（11/9）

### 【富山県訪問看護総合支援センター・訪問看護ステーション連絡協議会共催】

- ・富山市Ⅰ・Ⅱ地区合同情報交換会（7/23・12/10）（web）
- ・富山市Ⅰ・Ⅱ地区合同勉強会「訪問看護におけるカスハラ」（1/24）（web）

### 【その他】

- ・訪問看護サミット2024（11/30）
- ・公益社団法人富山市医師会主催：西エリア研修会（11/12）（web）
- ・ケアマネジャー在宅医療研修会「訪問看護について」（10/30）（講師）
- ・フィジカルアセスメント臨床推論の進め方（5/23）（web）
- ・脳神経看護セミナー（8/18・11/23）（web）
- ・緩和ケア合同検討会議（2/9）（web）

6 訪問看護実習の受け入れ

施設名／研修名	期 間	人 数
・富山市医師会看護専門学校	令和6年4月19日～8月7日	9名
・富山医療福祉専門学校	令和6年5月28日～7月25日	4名
・富山市立看護専門学校	令和6年8月26日～10月1日	4名
・富山県立大学看護学部	令和6年11月28日～12月5日	2名
・セカンドレベルにおける実習	令和6年7月22日～7月24日	6名
・医療機関に勤務する看護師の訪問看護研修	令和6年8月2日～8月9日	2名
・令和6年度訪問看護師養成講習会	令和6年10月15日～11月14日	3名
・ケアマネジャー医療介護連携研修	令和6年11月22日	1名
・出向事業研修	令和7年1月1日～3月31日	1名
計		32名

# 令和6年度訪問看護活動実績

訪問看護ステーションひよどり富山

区分	月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
実働日数		21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	243	20.3
訪問状況	訪問延回数	184	214	201	221	206	181	190	179	172	168	153	173	2242	186.8
	介護保険	91	106	96	113	112	88	98	87	91	96	89	94	1161	96.8
	医療保険	93	108	105	108	94	93	92	92	81	72	64	79	1081	90.1
	複数名訪問	6	8	8	11	6	6	7	7	8	6	5	8	86	7.2
	平均訪問回数	8.8	10.2	10.1	10.5	9.8	9.5	8.6	8.9	8.6	8.8	8.5	8.7	111	9.3
利用者状況	登録者数	35	37	36	34	34	33	31	31	30	32	33	33	399	33.3
	利用者数	33	35	33	34	32	29	30	30	28	29	30	31	374	31.2
	介護保険	20	19	19	20	19	15	17	17	16	17	18	18	215	17.9
	医療保険	14	17	14	15	14	14	14	14	12	12	12	13	165	13.8
	新規利用者数	1	3	1	1	0	0	1	0	1	3	1	1	13	1.1
	終了者数	1	2	2	1	1	1	2	2	0	0	1	0	13	1.1
	入院中・保留中	2	2	1	0	1	1	1	1	2	4	2	4	21	1.8
終了内訳	死亡	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	3	0.3
	入院	1	2	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	7	0.6
	入所（ショート）	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0.1
	軽快	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	その他	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	2	0.2
依頼状況	居宅介護支援事業所	2	1	1	1	0	0	1	0	0	2	1	0	9	0.8
	地域包括支援センター	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
	医療機関	1	2	0	0	0	3	1	0	1	1	0	1	10	0.8
	家族・本人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要支援	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1
	要介護 1	8	7	7	7	6	5	5	5	4	5	6	5	70	6
	要介護 2	4	4	4	4	4	3	3	5	5	5	5	5	51	4
	要介護 3	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1	2	20	2
	要介護 4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	3
	要介護 5	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	2
	申請中/更新	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	5	0
	医療保険利用	14	17	14	14	14	14	14	14	13	12	12	13	165	14
利用者年齢	平均年齢	77.2	76.8	77.8	76.7	76.2	75.4	75.6	76.1	77.1	77.0	77.5	77.7	921	76.8
	3歳未満	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	3～14歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	15～39歳	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12	1
	40～64歳	6	6	5	6	6	6	6	6	6	6	6	6	71	6
	65～69歳	0	2	2	2	2	1	1	1	0	0	0	0	11	1
	70～74歳	4	4	4	4	4	4	4	4	2	2	3	3	42	4
	75～79歳	7	8	7	8	7	4	4	4	4	5	4	4	66	6
	80～84歳	6	6	6	6	6	5	6	5	5	5	5	6	67	6
	85～89歳	4	4	4	2	3	3	3	3	4	4	4	4	42	4
90歳以上	4	4	4	5	4	5	5	6	6	6	7	7	63	5	
連携	退院前カンファレンス	2	2	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	7	0.6
	担当者会議/緊急カンファ	0/0	1/0	2/0	2/0	0/0	0/0	0/0	0/0	1/0	1/0	1/0	1/0	9/0	0.8/0
	地域包括ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0

\*実働日数には休日・祝日は含まれない

# 令和6年度定期巡回随時対応型訪問介護看護（連携型）活動実績

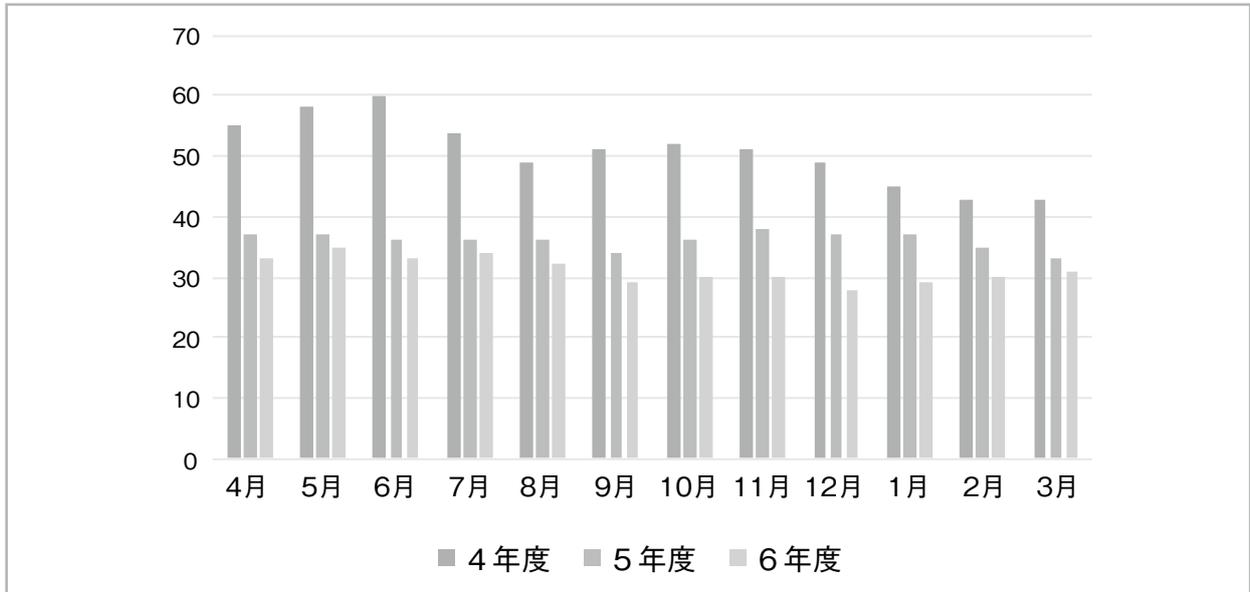
訪問看護ステーションひよどり富山

区分		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	平均
利用者状況	登録者数		1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	15	1.3
	新規利用者数		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0.2
	モニタリング実施数		1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	2	2	15	1.3
	終了者数		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	2	0.2
訪問状況	訪問看護契約者数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	訪問回数（介護保険）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
終了内訳	死亡		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0.1
	入院		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	入所（ショート）		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	軽快		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	その他		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
新規依頼状況	居宅介護支援事業所		0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	2	0.2
	地域包括支援センター		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	医療機関		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	家族・本人		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	保健・福祉関係		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
介護度	要介護 1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 2		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 3		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
	要介護 4		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 5		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	申請中/更新		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0
	医療保険利用		1	1	1	1	1	1	1	2	1	0	1	1	12	1
利用者年齢	平均年齢		73.0	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0	74.0	82.5	74	76	75	75	899.5	75.0
	65歳未満		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	65～69歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	70～74歳		1	1	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1	11	1
	75～79歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	3	0
	80～84歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	85～89歳		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	90歳以上		0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0

# 訪問看護ステーションひよどり富山の年度別推移

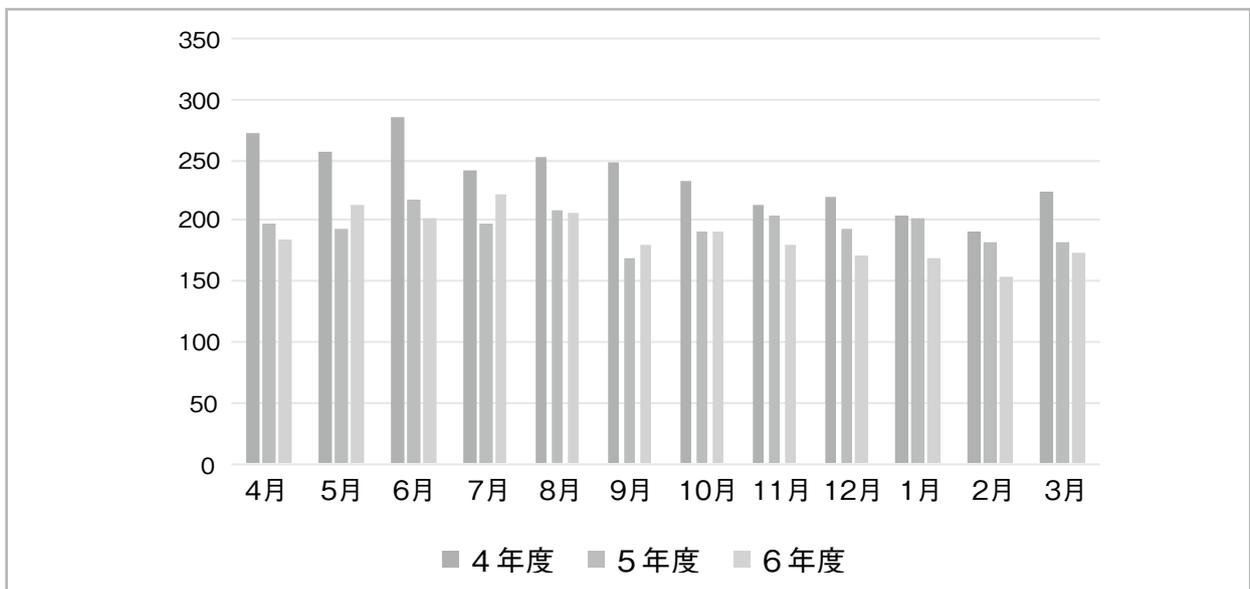
## 1 利用者数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	55	58	60	54	49	51	52	51	49	45	43	43	610
5年度	37	37	36	36	36	34	36	38	37	37	35	33	432
6年度	33	35	33	34	32	29	30	30	28	29	30	31	374



## 2 訪問延回数の月別・年度別推移

年度\月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4年度	273	257	286	242	253	248	233	212	220	205	190	225	2,844
5年度	198	193	218	198	208	170	192	204	194	201	183	183	2,342
6年度	184	214	201	221	206	181	190	179	172	168	153	173	2,242





# 令和6年度 居宅介護支援事業活動実績

ひよどり富山居宅介護支援事業所

区分		月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
認定調査件数			5	3	4	1	5	1	1	4	9	5	2	4	44	3.7	
給付管理	要支援1		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
	要支援2		0	0	0	0	0	0	1	1	2	2	2	1	9	0.8	
	要介護1		18	18	18	19	19	21	21	19	23	20	18	21	235	19.6	
	要介護2		15	12	15	14	19	19	18	15	17	18	17	16	195	16.3	
	要介護3		7	7	10	9	9	8	9	9	11	11	12	11	113	9.4	
	要介護4		6	8	5	5	5	6	7	6	5	5	6	7	71	5.9	
	要介護5		4	4	4	4	4	5	5	5	5	6	4	4	54	4.5	
	小計		50	49	52	51	56	59	61	55	63	62	59	60	677	56.4	
	加算	新規・2区分アップ		2	1	4	3	4	6	4	2	6	3	4	3	42	3.5
		入院時情報連携		4	1	2	2	1	4	6	2	4	3	2	1	32	2.7
退院・退所連携			0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	
通院			1	2	0	2	1	2	1	2	2	0	0	0	13	1.1	
小計			7	4	6	7	6	12	11	6	12	6	6	4	87	7.3	
支援内容	社会資源の調整	徘徊SOS	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		介護手当て	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0.2
		オムツ支給	0	0	1	1	1	1	1	1	0	1	1	2	0	9	0.8
		配食	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
		ミドルステイ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
		地域ケア会議	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0
	住宅改修工事	申請	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	7	0.6
		完了	1	1	0	0	2	1	0	0	1	1	0	0	0	7	0.6
	福祉用具	例外給付申請	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.2
		購入 他	0	1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	4	0.3
	小計		3	5	1	2	6	4	2	0	5	3	2	0	33	2.8	
	医療・介護施設連携		14	24	20	14	15	8	15	14	22	11	7	0	164	13.7	
サービス担当者会議		9	6	10	13	5	12	10	6	16	10	9	12	118	9.8		

総合相談	時間内	TEL	280	244	221	297	275	286	385	332	351	254	296	271	3,492	291.0
		来所	35	16	19	24	11	15	30	21	12	35	21	24	263	21.9
		訪問	64	74	73	96	79	98	93	91	117	91	81	92	1,049	87.4
		合計	379	334	313	417	365	399	508	444	480	380	398	387	4,804	400.3
	時間外	TEL	21	4	18	20	11	14	7	25	13	39	13	17	202	16.8
		来所	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0.2
		訪問	1	4	1	2	4	2	2	1	2	1	2	2	24	2.0
		合計	23	8	19	22	16	16	9	26	15	40	15	19	228	19.0

研修会	3	2	1	4	1	1	1	4	2	1	3	2	25	2.1
-----	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	-----

# 令和6年度 神明・五福地域包括支援センター事業報告

## 1 経緯

平成18年4月1日から富山市より業務委託を受け、事業を開始。平成24年度、平成29年度、令和4年度に再委託を受け事業を継続している。

## 2 職員体制

管理者（主任介護支援専門員）1名 保健師1名 社会福祉士2名

## 3 事業内容

### (1) 一般介護予防事業

- ア 介護予防把握事業
- イ 介護予防普及啓発事業
- ウ 地域介護予防推進事業
- エ 介護予防訪問相談指導事業
- オ 介護予防ふれあいサークル事業
- カ 介護予防推進リーダー事業

### (2) 介護予防・生活支援サービス事業

- ア 介護予防ケアマネジメント事業
- イ 介護予防教室事業

### (3) 包括的支援事業

- ア 総合相談事業
- イ 権利擁護事業
- ウ 包括的・継続的マネジメント支援事業
- エ 認知症総合支援事業
- オ 生活支援体制整備事業
- カ 在宅医療・介護連携推進事業

### (4) 任意事業

- ア 認知症高齢者見守り支援事業

### (5) 指定介護予防支援事業

## 4 実習生受け入れ

施設名／研修名	期 間	人数（人）
富山いづみ高校	令和6年8月26日～8月27日	1
	令和6年10月3日～10月4日	2
	令和6年10月24日～10月25日	2
富山福祉短大	令和6年9月4日～9月5日	2
	認定看護管理者教育課程セカンドレベル	4
訪問看護師養成講習	令和6年10月10日～11月14日	4

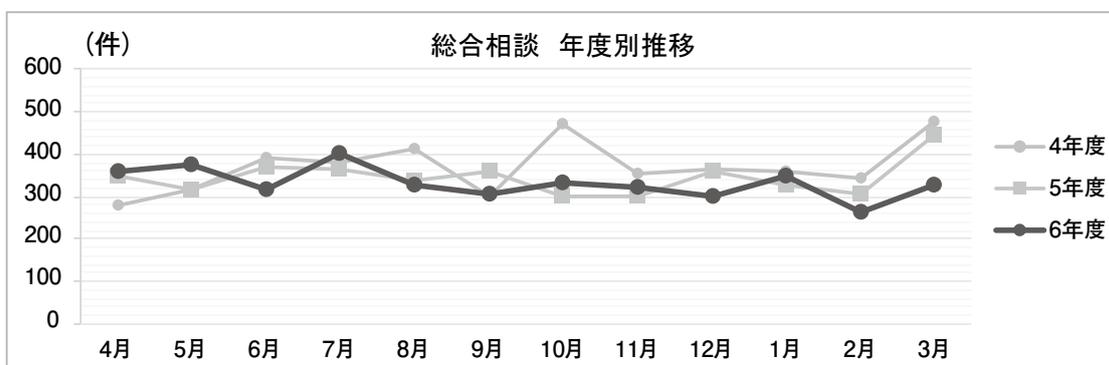
## 令和6年度 神明・五福地域包括支援センター事業活動実績

区分		月												計
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
総合 相談	TEL	198	216	189	242	194	150	184	183	174	218	174	191	2,313
	来所	20	23	15	22	28	11	25	23	16	17	13	23	236
	訪問	142	138	112	138	104	147	122	116	111	115	78	111	1,434
	合計	360	377	316	402	326	308	331	322	301	350	265	325	3,983
実態把握		16	43	11	10	12	23	5	15	6	11	2	72	226
事業対象者 介護予防教室		0	0	0	0	0	0	5	4	3	0	0	1	13
介護予防 地域説明会等		2	4	9	2	0	2	2	2	3	2	2	1	31
地域関係機関会議		2	1	1	1	3	3	3	1	1	2	1	4	23
地域ケア会議等		0	2	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	8
認知症地域説明会 家族介護教室等		0	0	2	2	3	0	1	4	0	1	1	1	15
予防給付、介護予防 ケアマネジメント費		141	137	140	162	138	135	141	142	150	135	134	142	1,697
認定調査		9	10	10	14	4	8	9	7	6	9	5	7	98
主な研修会		0	3	5	2	3	4	1	3	3	1	3	1	29

### 神明・五福地域包括支援センターの年度別推移

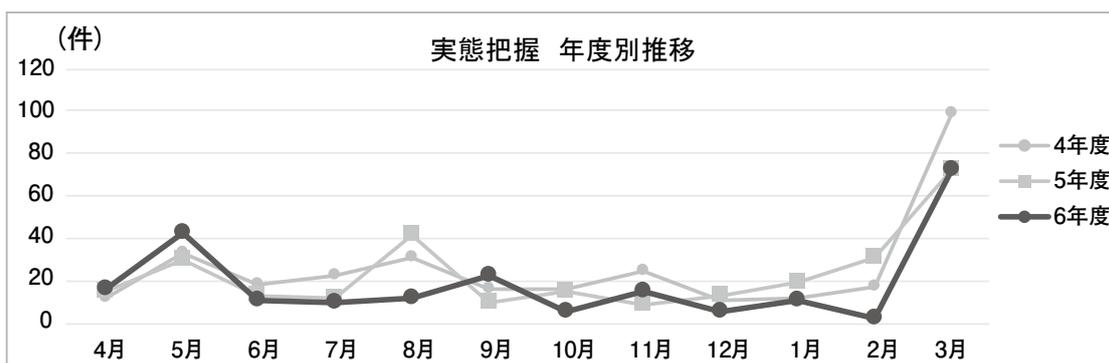
#### 1 総合相談（電話・来所・訪問）

年度		月												計
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
4	280	316	393	382	412	302	470	356	362	361	345	474	4,453	
5	347	319	372	367	338	357	302	298	361	326	308	445	4,140	
6	360	377	316	402	326	308	331	322	301	350	265	325	3,983	



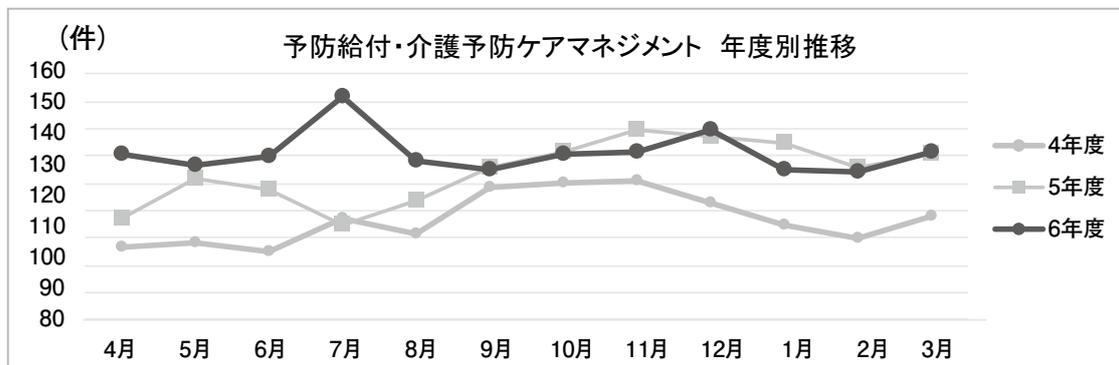
#### 2 実態把握（事業対象者）

年度		月												計
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
4	12	33	18	22	31	16	16	25	11	12	17	99	312	
5	15	30	13	12	42	10	15	9	13	19	31	72	281	
6	16	43	11	10	12	23	5	15	6	11	2	72	226	



### 3 予防給付介護予防ケアマネジメント費（件数）

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		107	108	105	117	112	129	130	131	123	115	110	118	1,405
5		117	132	128	115	124	136	142	150	147	145	136	141	1,613
6		141	137	140	162	138	135	141	142	150	135	134	142	1,697



### 4 事業対象者介護予防教室

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		0	0	0	0	0	2	4	3	3	0	0	1	13
5		0	0	0	0	0	3	3	4	2	0	0	1	13
6		0	0	0	0	0	0	5	4	3	0	0	1	13

### 5 地域ケア会議

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		0	1	0	0	0	2	0	0	1	0	2	4	10
5		0	0	0	1	1	1	1	4	2	0	2	2	14
6		0	2	0	0	1	2	1	1	0	0	1	0	8

### 6 介護予防認知症地域説明会

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	3	1	10
5		0	0	1	4	1	0	1	2	1	1	0	0	11
6		0	0	2	2	3	0	1	4	0	1	1	1	15

### 7 認定調査

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		6	7	6	9	2	4	6	9	3	6	5	4	67
5		9	6	6	9	11	10	9	4	11	7	6	8	96
6		9	10	10	14	4	8	9	7	6	9	5	7	98

### 8 主な研修会

年度	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4		3	5	6	7	1	2	7	3	5	5	4	8	56
5		0	2	6	9	6	3	3	3	6	5	2	5	50
6		0	3	5	2	3	4	1	3	3	1	3	1	29

# 令和6年度 高齢者保健事業推進基盤整備事業報告 (富山県後期高齢者医療広域連合委託事業)

## 1 目的

さらなる高齢者の増加が見込まれる中、県下全域においてフレイル予防への普及啓発を行い、県民の健康寿命の延伸を図る。

## 2 実施主体

富山県看護協会（支部活動）

## 3 実施内容

(1) 啓発普及（16回 延1,677人, YouTube動画配信）

支部名	実績	内 容
黒部・魚津支部	1回 165人	魚津市のフレイル予防セミナーや、入善町の健康フェスティバルに参加し、ポケットティッシュやパンフレットを配布しフレイル予防の啓発を行った。
富山東・北支部	1回 40人	グランドプラザで開催の富山市民ふれあい広場に参加し、健康相談、血圧測定、SPO2測定などの健康チェックとともにオーラルフレイル、フレイル予防のパンフレットを配布し啓発を図った。
富山西・南支部	3回 187人	市内イベントやフェスティバルに参加し、フレイル予防のチラシを配布・ポスター掲示、フレイル自己チェック付きポケットティッシュの配布、血圧測定・SPO2測定・骨密度測定を実施し啓発活動を行った。
上市支部	2回 809人	滑川市民交流プラザで介護予防講義・体操を行ったり、つるぎフェスティバルinかみいちに出店し介護予防やフレイル予防の啓発を行った。 フレイル予防に関するYouTube動画を2本作成、配信した。
高岡・射水・氷見支部	6回 440人	イベント等に出向き、糖尿病教室・骨粗鬆症教室にフレイル予防の啓発や健康相談も併せて行い、広く生活習慣全般を振り返る機会としていただいた。
砺波・小矢部支部	1回 36人	ショッピングセンターにブースを設け、フレイルとは何かを理解し、日々の生活の中で取り組める3本柱「食事・運動・社会参加」の大切さを知ってもらうことで、フレイル予防の啓発を行った。

(2) 支部長会での主な意見

- ・地域で既に行われている行事やイベント（市町村が開催する健康フェスティバルや病院が行う住民向けのイベントなど）とのタイアップは効果的であった。
- ・身近な地域の歯科医師会、薬剤師会、理学療法士会、栄養士会との連携も効果的である。
- ・フレイル予防としてのYouTube動画配信は好評であった。
- ・県歯科医師会から紹介された口腔機能測定器「健口くん」を有効に活用したい。
- ・住民に身近な公民館等での出前講座は、住民の受入れもよく、要望が高かった。

(3) 情報の共有

支部長会において、各支部で実施している事業や検討内容の共有を行った。

- ・2回開催（9月9日（月）、12月9日（月） 各14名出席）

---

# 令和6年度 富山県行政への要望事項

---

令和6年8月29日実施（対 厚生部長）

## 1 看護の質の向上について

### (1) 看護職の生涯学習支援のための研修体系の構築

看護職は、複雑多様化している人々の健康ニーズに対応するため、専門職として自身の専門性を維持向上させるべく、生涯を通じて自律的に学び続けることが必要不可欠である。専門職として継続的に学び続けることは、看護の質向上、やりがい感の醸成、さらには離職防止にもつながる。

現在、県では、新人看護職員を対象とした医療機関受入研修事業において、各病院が他施設の看護職員を受入れて研修を行う仕組みが構築されている。当該事業は、事前に県が各病院の研修情報を把握したうえで、関係施設にその情報を発信されているが、この仕組みは新人職員に限られている。

病院が実施している研修の課題として、卒後3年以降を対象とした研修が手薄であることや、複数の病院が同じ内容の研修を実施するなど非効率であること、また、参加者が定員に満たないことが多い。さらに、介護・福祉・障害関係施設や在宅領域などの小規模施設に勤務する看護職員や統括保健師育成のための研修は、それぞれの現場において課題や必要性を感じながらも実施できていない現状にある。

そこで、現在、県が実施している新人看護職員医療機関受入研修事業を、生涯学習支援の観点から、全年代、全施設、全看護職に拡大し、所属施設の枠組みを超えた研修体系に深化させる必要があると考える。

そのため、まずは、行政機関、教育機関、医療・介護・障害・在宅の実践現場、看護協会の代表者等による検討委員会を立ち上げ、県内の生涯学習の実態把握・課題抽出を行っていただきたい。

### (2) 富山県立大学における看護職リカレント教育の整備

看護の質向上のためには、高度な知識を持った専門性の高い看護師の育成が必要であるが、県内ではこれらに必要な教育を受けることが困難な状況にある。

特に、認定看護管理者教育課程（サードレベル）、心不全看護領域や認知症看護認定看護師及び緩和ケア認定看護師等の認定看護師教育課程について、県内の社会的ニーズや政策課題に応じた教育課程を県立大学において開講いただきたい。

また、これら研修受講に要する経費については、県補助率4分の1とされているが、政策的課題のある分野については訪問看護事業所と同様、補助率を2分の1とするなど補助率の引き上げを検討いただきたい。

### (3) 訪問看護師と病院に所属する専門性の高い看護師との連携促進

近年、在宅療養者の状態像は重度化・複雑化し、訪問看護師が、病院に所属する認定看護師等の専門性の高い看護師と同行して療養者宅等へ出向く機会が増えているが、報酬の算定要件を満たす領域は一部に過ぎない。

このため、県において、訪問看護師が病院に所属する専門性の高い看護師の支援を受けて行っている訪問看護の実態や効果、潜在するニーズ等を把握したうえで、好事例の集積や横展開につながる試行事業を実施いただきたい。

## 2 看護職の働き方改革の推進について

### (1) 「勤務環境改善チャレンジ枠」等の創設

勤務環境の改善は、看護の質向上や業務の効率化、業務負担の軽減、離職予防等に大きく寄与している。県外の一部医療機関においては、勤務環境改善に向け、医療従事者の仮眠環境改善に効果の高い設備等の導入や音声認識ソフトと電子カルテの連携、医療関係者間のコミュニケーションアプリ、A I・I o T・ウェアラブル端末等を活用するほか、ベッドサイド情報端末（患者情報のI T化）など、多彩な取り組みが行なわれている。

一方、県内の病院においては、主に資金面などの理由から、導入が困難な状況にある。そこで、地域医療介護総合確保基金を活用し、各病院が取り組みやすい「勤務環境改善チャレンジ枠」等と称した新たな県補助制度を創設いただきたい。

### (2) ナースセンターにおける看護補助者の確保・定着に係る経費の確保

昨年10月、「看護師等の人材確保の促進に関する法律」に基づく「看護師等の確保を促進するための措置に関する基本的な指針」が改正され、「都道府県ナースセンターにおいては、（中略）看護補助者の無料職業紹介も実施することが重要である。」とされた。

この看護補助者の就業支援については、厚生労働省が令和5年度補正予算において、中央ナースセンターに、看護補助者に対応可能なシステム改修経費等を補助している。また、これを財源として中央ナースセンターから都道府県ナースセンターに、令和6年度からの積極的な事業展開を促しているが、当該業務を担う人員は確保されていない。

そこで、国からの通知を受け、県ナースセンター業務が滞ることの無いよう必要な経費を確保いただきたい。

### (3) 訪問看護における利用者や家族からの暴力・ハラスメント対策

令和6年3月8日付け厚生労働省医政局地域医療計画課長通知(医政地発0308第1号「地域医療介護総合確保基金（医療分）に係る標準事業例の取扱い」）において、訪問看護を行う看護師等における利用者・家族からの暴力・ハラスメント対策として、「セキュリティ確保に必要な防犯機器の初度整備に係る経費を地域医療介護総合確保基金の対象として差し支えない」旨の通知があった。

そこで、このことについて、県において早急に予算化されるとともに、対象となる訪問看護事業所にしっかり周知いただきたい。

### (4) プラチナナースバンクの開設について

今後、現役世代が急減する中で、看護サービス等の需要増大に対応するためには、高齢者いわゆるプラチナナースの就業を促進することが必要である。令和4年衛生行政報告例によれば、60歳以上の就業看護職員の割合は全国12.8%、本県17.1%となっている。プラチナナースは熟練した技術と豊かな人間性を兼ね備えている一方で、年齢に応じた働き方の工夫や配慮が必要であり、全国的には都道府県ナースセンターにプラチナナースの就業を促進する専用相談窓口や特設サイトが開設されている。

そこで、本県において、プラチナナースの就業を支援する「プラチナナースバンク」を開設いただきたい。

### (5) 子育て支援（学童保育、延長保育、病児保育、夜間保育等）の充実

子育て中の看護職員が、子どもを預けながら安心して仕事ができる環境づくりについて、より一層市町村へ働きかけていただきたい。特に、学童保育については、早い時間での終了や、子どもの夏休み等の長期休業への対応が不十分で、退職を余儀なくされる看護職員がいる。また、年度の途中に育児休業が明けると、保育園の確保が困難となり、復職時期の延期を余儀なくされる職員もいる。

仕事をしながら働き続けることのできる環境整備に、より一層努めていただきたい。

### 3 看護領域の開発・展開について

#### (1) 産後ケア事業及び妊婦等包括相談支援事業等への助産師の積極的活用

本年6月12日に公布された改正子ども・子育て支援法では、妊娠期からの切れ目のない支援の実現に向けた子育て支援の拡充を盛り込んでいる。また、改正児童福祉法では、「妊婦等包括相談支援事業」（令和7年4月1日施行）を創設し、「市町村は母子保健法に基づく事業との連携・調和の確保に努めること」とされている。本事業は改正子ども・子育て支援法事業にも位置付けられていることから、妊婦に対する総合的・効果的な支援につながることを期待されている。

そこで、産後ケア事業と妊婦等包括相談支援事業が、各市町村において一体的かつ効果的に展開できるよう、医療機関等に所属する助産師の積極的活用について、市町村と医療機関も交えて共に検討する場を設けていただきたい。

#### (2) 訪問看護事業所における若手看護職員の確保・育成

県内では、20歳代の職員が在籍していない訪問事業所が7割を超え、20歳代及び30歳代の職員が在籍していない事業所が3割を超えている。事業所の安定と継続を図るうえで、また、今後の訪問看護の需要と役割の拡大に対応するためにも、若手看護職員の採用と育成は欠かせない。

昨年度から県の委託費を財源として取り組んでいる新卒訪問看護師2名の育成については、今年度から月50件を超える単独訪問が可能となった。しかし、複雑な症例や緊急対応は未だ困難であり、自律した訪問看護師に育成するには時間と労力を要する。

そこで、新卒訪問看護師育成に必要な経費について継続的に支援いただきたい。

#### (3) 災害・感染症への対応力の強化

災害発生に備え、市町村保健師としての応援力や受援力を習得する実践的な研修や実地訓練等を、県において毎年開催いただきたい。

また、地域（市町村単位）における災害・感染症に対応するためには、平時から行政機関や介護関係施設と医療機関が連携し、地域の課題を共有する実践的な場（機会）が必要と考える。その仕組みづくりについて、県から市町村へ働きかけていただきたい。

さらに、今年度から災害支援ナースの養成・派遣等は、法令に基づき、県と医療機関間の協定に基づく業務として位置づけられているが、災害等のフェーズや派遣先の支援対象に応じて、専門看護師や認定看護師の派遣・活用についても検討いただきたい。

#### (4) 看護小規模多機能型居宅介護事業所の整備と組織化への支援

医療処置が必要な在宅療養者を継続的に支援する看護小規模多機能型居宅介護事業所数は、全国的には増加しているが、県内の整備は進んでいない（令和5年度12事業所）。

そこで、第9期介護保険事業支援計画の目標（令和8年度22事業所）達成に向け、保険者である市町村と共に協議・検討いただくとともに、県内における当該事業所の組織化（県協議会の設立など）が図られるよう支援いただきたい。

#### (5) 医療的ケア児への支援充実のための看護職の確保・育成

富山県医療的ケア児等支援センターに、医療面の相談や関係機関との連携強化、支援体制整備のため、常勤の保健師等（看護職）を配置いただきたい。

また、学校や保育園等の福祉施設で医療的ケア児をケアしている看護職を対象とした実践的な指導や研修を受けることができる環境を整えていただきたい。

令和6年8月29日

公益社団法人 富山県看護協会  
会長 岡本 里美

## 令和 6 年度 行政機関および関連団体等の委員等就任状況

依頼元	団体会議名	役員・委員等
富山県	富山県医療審議会・地域医療構想部会	委員
	富山県医療対策協議会	委員
	富山県感染症対策連携協議会	構成員
	富山県循環器病対策推進協議会	委員
	富山県防災会議	委員
	富山県がん対策推進協議会	委員
	富山県がん対策推進県民会議	委員
	富山県母乳育児推進連絡協議会 理事会	理事
	富山県周産期保健医療協議会	委員
	富山県社会福祉審議会・高齢者福祉専門分科会	委員
	富山県あんしん在宅医療・訪問看護推進会議・富山県認知症施策推進会議	委員
	富山県障害者施策推進協議会 (富山県自立支援協議会・富山県障害者差別解消協議会)	委員
	富山県医療費適正化計画検討委員会	委員
	富山県透析患者等発生予防推進事業連絡協議会	委員
	富山県地域リハビリテーション推進会議	委員
	富山県国民健康保険運営協議会	委員
	富山県アレルギー疾患医療連絡協議会	委員
	富山県難病対策地域協議会	委員
	特定行為指定研修機関連絡会	関係機関
	富山マラソン2024 実行委員会	委員
	富山マラソン2024 メディカル協議会	委員
	富山県薬事審議会	委員
	富山県精神医療審査会	委員
	富山県水防協議会	委員
	富山県献血推進協議会	委員
	富山県骨髄バンク推進連絡協議会	委員
	特別支援学校医療的ケア体制整備事業運営協議会	委員
富山県犯罪被害者等支援協議会	団体代表者	
富山市	富山市地域包括支援センター運営協議会	委員
	富山市介護予防推進会議	委員
	富山市自殺対策推進連絡会議	委員
	富山市社会福祉審議会	委員
	富山市保健所運営協議会	委員
	富山市民病院地域医療支援病院委員会	委員
	富山市病院事業経営改善委員会	委員
	富山市まちなか病院再整備等検討委員会	委員
	富山市要保護児童対策地域協議会代表者会議	代表者
	富山市防災会議	委員
	富山市生活支援体制整備推進会議	委員
	富山市地域密着型サービス等運営委員会	委員
	富山市障害者自立支援協議会	委員
	富山市障害者差別解消支援協議会	委員
	富山市国民保護協議会	委員

依頼元	団体会議名	役員・委員等
関連団体等	社会福祉法人富山県社会福祉協議会 評議員会	評議員
	富山県高次脳機能障害支援センター相談支援体制連携調整会議	委員
	富山県福祉カレッジ運営委員会・富山県福祉人材センター運営委員会	委員
	社会福祉法人富山県社会福祉総合センター 評議員会	評議員
	医療法人財団とやま医療健康センター 評議員会	評議員
	富山県民ボランティア総合支援センター 理事会	理事
	富山県民ボランティア総合支援センター運営委員会	委員
	富山県民ボランティア・NPO大会企画運営委員会	委員
	富山県民福祉推進会議	委員
	社会福祉法人恩賜財団済生会支部富山県済生会支部 理事会	理事
	富山県済生会富山病院地域医療支援病院運営委員会	委員
	富山赤十字病院地域医療支援病院委員会	委員
	厚生連高岡病院地域医療支援病院委員会	委員
	女性保護富山県民協議会 役員会	役員
	サンフォルテフェスティバル実行委員会	委員
	富山県ウイメンズフェスティバル健康・スポーツ交流大会運営委員会	委員
	富山県女性団体連絡協議会	加盟団体長
	富山県健康づくり財団 理事会	理事
	全国健康保険協会富山支部 評議会	評議員
	富山県訪問看護ステーション連絡協議会	理事
	日本糖尿病協会富山県支部 理事会	役員
	富山県公衆衛生学会 理事会	理事
	北陸公衆衛生学会 評議員会	評議員
	富山県後期高齢者医療広域連合運営懇話会	委員
	富山県ポリファーマシー対策検討会	委員
	社会福祉法人セーナー苑 評議員会	評議員
	富山県糖尿病対策推進会議	幹事
	富山県医療勤務環境改善支援センター運営協議会	委員
	地域標準手順書普及等事業における地域標準手順書普及等推進委員会	委員
	公立大学法人富山県立大学経営審議会	委員
	公立大学法人富山県立大学研究協力会 理事会	理事
	学校法人未来高岡 富山県高岡看護専門学校 評議員会	評議員
	富山県高岡看護専門学校修学資金審査委員会	委員
	国立大学法人富山大学附属病院運営協議会	委員
	富山大学大学院 総合医薬学研究科総合医薬学専攻看護科学プログラム特定行為研修管理委員会	委員

## 令和6年度 他団体等への推薦

依頼元	委員名	令和6年度 推薦数 (人)
富山県	富山地域医療推進対策協議会 委員	1
	富山地域医療推進対策協議会 災害医療部会 委員	1
	富山地域医療推進対策協議会 がん・在宅医療部会 委員	1
	砺波地域医療推進対策協議会 委員	1
	新川地域医療推進対策協議会 医療構想調整会議 委員	1
	富山県救急業務高度化推進協議会 委員	1
	ケアマネジャーによる「人生会議（ACP）」促進事業公募型プロポーザル審査員	1
富山市	富山市介護認定審査会・障害支援区分判定審査会 委員	6
氷見市	氷見市要保護児童対策地域協議会 代表者会議	1
関連団体等	全国健康保険協会富山支部 健康づくり推進協議会 委員	1
	訪問看護の持続可能なサービス提供のあり方と役割に関する調査研究事業 委員会 委員	1

## 令和6年度 後援等の報告

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第54回定期大会・記念講演	富山県腎友会	とやま自遊館1階ホール	2024/6/9（日）
事務・販売・サービス [含む医療・福祉]部門 QCサークル大会	QCサークル北陸支部 富山地区	高周波文化ホーム	2024/7/18（木）
令和6年度 福祉のお仕事フェア in TOYAMA	富山県社会福祉協議会	富山国際会議場	児童・保育 2024/7/20（土）
			福祉・介護 2024/7/21（日）
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2024/8/1（木） ～8/4（日）等
kanazawa Coronary Conference (KCC) - 2024	北陸PTCA教育ライブ研究会	石川県地場産業振興センター	2024/9/7（土）
摂食嚥下ケア研修会 11th クール	北陸の摂食嚥下ケアを 支える会	南砺市民病院（第1回）	2024/9/8（日）
		かみいち総合病院（第2回）	2024/10/20（日）
第3回富山県子どもアレルギー 診療実践セミナー	大塚製薬 富山出張所	大塚製薬 富山出張所 会議室	2024/9/12（木）
富山県老人福祉施設協議会 看護部会	富山県老人福祉施設協議会	氷見市芸術文化会館	2024/9/13（金）
秋から始まるコロナワクチン接種 (定期接種B類) に向けての研究会	ファイザー（株）	WEB配信（TEAMS）	2024/9/28（土）
看護職の採用と定着を考える 成功事例と効果的な方法	(株)日本医療企画 北信越支社	石川県地場産業振興センター	2024/10/2（水）
第53回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会 サラヤ(株) テルモ(株)	富山大学附属病院 杉谷キャンパス	2024/10/5（土）
「糖尿病を予防して健康寿命を のばそう」講演会	富山県腎友会	富山県民会館 6階 611号室	2024/10/6（日）
第52回富山県臨床工学セミナー	富山県臨床工学技士会	富山大学杉谷キャンパス 臨床講義室I	2024/10/6（日）
新川地域在宅医療支援センター 市民公開講座	新川地域 在宅医療支援センター	朝日コミュニティホール アゼリア	2024/10/19（土）
第16回富山赤十字病院 公開健康講座	富山赤十字病院	富山市芸術文化ホール 中ホール	2024/10/22（火）
第32回富山県NST研究会	富山県NST研究会 ニュートリー（株）	ボルファート富山	2024/10/26（土）
第28回富山県理学療法学会大会	富山県理学療法士会	アイザック小杉文化ホール ラポール	2024/11/4 (月・振休)
第27回日本腎不全看護学会 学術集会・総会	日本腎不全看護学会	富山国際会議場 富山市民プラザ	2024/11/9（土） 11/10（日）

内 容	団体名（主催及び依頼者）	開催場所	開催等予定日
第1回北陸・新潟地方部会 脳神経看護セミナー	日本脳神経看護学会 北陸・新潟地方部会	オンライン（ZOOM）	2024/11/23（土・祝）
講演会 「STOP!慢性腎臓病（CKD） 成人の5人に1人がCKD」	富山県 富山県腎友会	くろべ市民交流センター 「あおーよ」1階 多目的室	2024/12/1（日）
目的別入学説明会（Aコース）	放送大学富山学習センター	放送大学富山学習センター 講義室2	2025/1/9（木）等 2025/2/4（火）等
令和6年度 アピアランス支援 モデル事業 アピアランスケア研修会	富山大学附属病院	富山大学附属病院 臨床講義室1	2025/2/7（金）
第1回日本医療安全推進学会 学術総会	日本医療安全推進学会	東京大学 本郷キャンパス	2025/2/15（土） 2/16（日）
第22回富山県作業療法学会	富山県作業療法士会	アイザック小杉文化ホール ラポール	2025/2/23（日）
富山県済生会富山病院 市民公開講座「あなたの脳と心臓 を守ります」	富山県済生会富山病院	富山県民会館 7階	2025/2/23（日）
富山県緩和ケア認定看護師会 高岡支部研修会	富山県緩和ケア認定看護師会	富山県済生会高岡病院 多目的棟	2025/2/28（金）
第81回富山県臨床工学技士会	富山県臨床工学技士会	富山赤十字病院 教育研修棟3階 講堂	2025/3/1（土）
第10回摂食嚥下ケア 特別研修会	北陸の摂食嚥下ケアを支える会	富山県民会館 401号室	2025/3/8（土）
第2回医療安全心理・行動学会 学術総会	医療安全心理・行動学会	大阪大学 コンベンションセンター	2025/3/8（土） 3/9（日）
第11回日本医療安全学会 学術総会	日本医療安全学会	ウインクあいち （愛知県産業労働センター）	2025/3/15（土） 3/16（日）
第54回富山県感染対策研究会	富山県感染対策研究会 ニプロ株	富山大学附属病院 杉谷キャンパス	2025/3/22（土）
kanazawa Coronary Conference - 2025（北陸PTCA ライブ）	北陸PTCA教育ライブ研究会	ホテル金沢	2025/5/23（金） 5/24（土）

---

---

## 産前・産後のこころに寄り添う 研修報告

---

---

### 保健師職能委員会

1 ねらい 産前・産後の心の変化や悩み・対処方法を学ぶとともに、精神的に課題を抱える妊産婦への支援や看護職の連携のあり方について理解を深める。

2 日時 令和6年11月26日（火）13：30～16：00

3 場所 富山県看護研修センター

4 内容 講義 「産前・産後のこころに寄り添う」  
講師 信州大学医学部 周産期のこころの医学講座 精神科医師 村上 寛 氏  
グループワーク 「よりよい支援をしていくために」

5 参加者 50名

(1) 職種 保健師：6名、助産師：37名、看護師：7名

(2) 経験年数

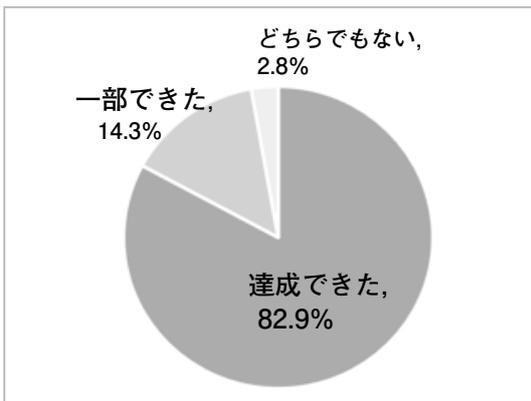
0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上	不明
6	9	6	8	13	3	2	3

6 概要

- 産後うつの3大リスク（社会的支援の不足、精神疾患の既往、死産に既往など精神的に大きな負荷のかかるライフイベント）の確認、エジンバラ産後うつ質問票だけでなく所見からのアセスメントの重要性、周産期における父親の産後うつ、流産・死産された方への対応の基本など幅広くかつ具体的にご講義いただいた。
- グループワークでは、「よりよい支援をしていくために」をテーマに、各職場における取り組みや課題・悩みなど情報共有した。

7 研修会に対する評価（アンケート回収（回収率70%）35名より）

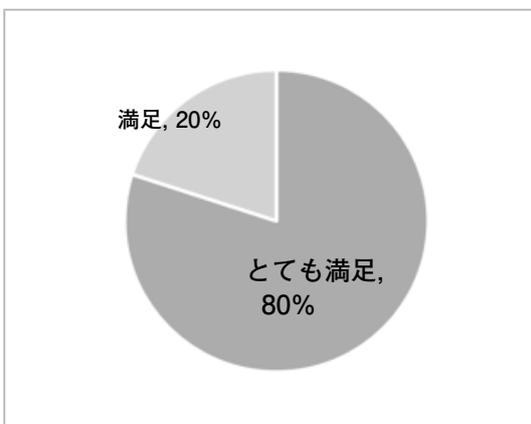
研修目的の達成度



自由記載（理由）

- ・妊産婦や夫への関わりを学べた。
- ・産後うつや流産死産への対応を学ぶことができてよかった。
- ・妊産婦と関わる上でのポイントを理解することができ 実践に活かそうと思った。
- ・産前産後の母親や家族への対応についてよく理解できた。また他施設で行っている取り組みも知ることができた。
- ・時間が短くもう少しお話を聞きたかった。等

講義の満足度



自由記載（理由）

- ・夫の産後うつは気にしたことがなかったので気にかけるきっかけとなった。
- ・先生の講義がとても聞きやすく分かりやすかった。
- ・多職種・他施設との情報共有ができてよかった。
- ・自分が普段悩んだり迷っている対応についてどうしていくべきかクリアにできた。
- ・ご教示下さりもっと講義を、聞きたかった。日々頑張っているパパへの支援を地域でもしていきたい。 等

受講した感想（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	29	② 思考が明確になった	9
③ アイデアが得られた	15	④ 問題解決の糸口が得られた	5
⑤ 実践に活かしてみたい	22	⑥ 自己のニーズが満たされた	4
⑦ 充実感が得られた	5	⑧ リフレッシュになった	1
⑨ かえって混乱した	1	⑩ 求めたものが得られなかった	0
⑪ グループワークの課題が抽象的だった	1		

8 まとめ

講義がとてもわかりやすく、精神的に課題を抱える妊産婦、父親の産後うつや流産・死産された方への支援について、新しい視点や支援の方法を具体的に提示してくださったことで、知識や理解を深めることができた。

グループワークでは、各職場の取り組みや課題・悩みについて共有し、活発に意見交換を通し、お互いの機関の役割と専門性を理解し、顔の見える関係づくりを構築するための有意義な機会となった。

---

---

# 統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査結果報告

---

---

## 保健師職能委員会

### 1 調査目的

県内の統括保健師に関する現状と課題を明らかにし、統括保健師育成の方策を検討する。

### 2 調査方法

#### (1) 対象者

- ア 統括保健師等 富山県及び県内15市町村の統括保健師もしくは、同様の役割を担う保健師計20名（富山県5名、市町村各1名）
- イ 統括保健師以外 上記以外の富山県及び15市町村の全保健師（産休・育休等は除く）計411名

#### (2) 調査方法：Web調査

Microsoft FormsによるWeb調査

#### (3) 調査期間：令和6年4月～令和6年6月上旬まで

### 3 倫理的配慮

参加は任意で、無記名とした。回答は統計的に処理し、個人や所属が特定されないようにした。本調査は富山県立大学「人を対象とする研究」倫理審査部会の承認を得た。

### 4 結果

#### (1) 統括保健師等（以下、「統括等」とする）

対象者20名に対し、回答数20名（県5名、市町村15名）、回答率100%であった。

アンケートは全15問、問1は属性、問2～問13は選択式（一部理由のみ自由記述）、問14、問15は記述式とした。記述の回答については設問ごとにコード化し、カテゴリーを抽出した。なお、本文において、選択肢の項目は「」、カテゴリーは【 】、サブカテゴリーは< >で表す。

#### ア 属性

年令は、県が51～60歳、市町村は41～50歳6名、51～60歳9名であった。

役職は、県は5名全員が課長級、市町村は係長級5名、課長補佐級6名、課長級3名、次長級1名であった。

#### イ 統括保健師の立場か否か

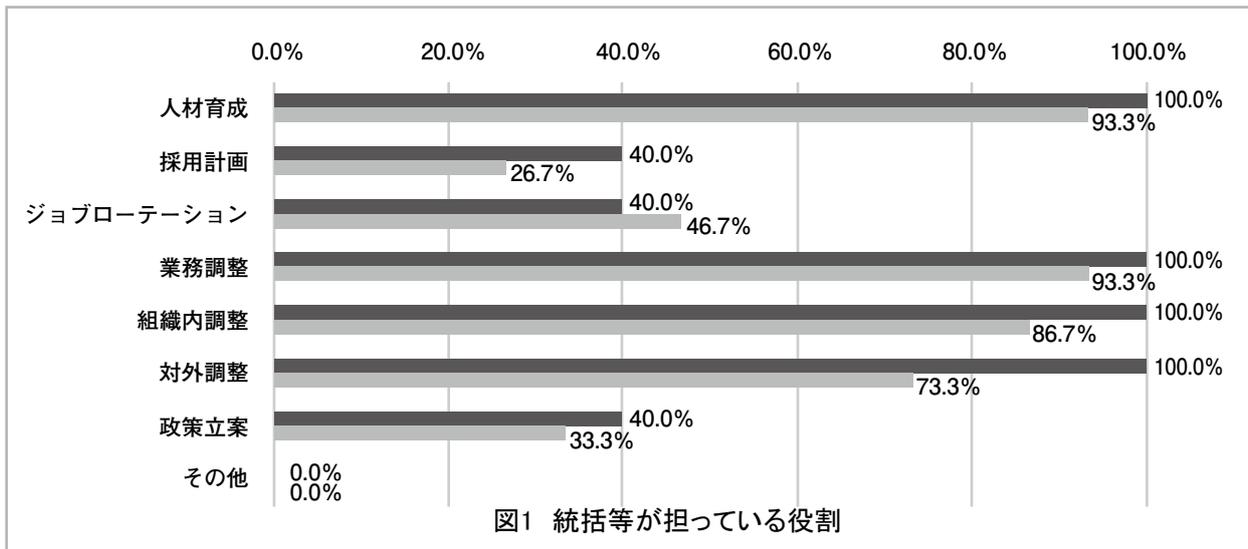
統括保健師の立場が8名（40%）、同様の立場が12名（60%）。県は5名全員が統括保健師であり、市は3市町村が統括保健師であった。

#### ウ 統括保健師として担っている役割（複数回答）

「人材育成」と「業務調整」は19名（県100.0%、市町村93.3%）が選択、「組織内調整」が18名（県100.0%、市町村86.7%）、「対外調整」が16名（県100.0%、市町村73.3%）、「ジョブローテーション」が9名（県40.0%、市町村46.7%）、「政策立案」が7名（県40.0%、市町村33.3%）、「採用計画」が6名（県40.0%、市町村26.7%）であった。（図1）

7項目すべて選択した者は2名、6項目が5名、5項目が2名、4項目が8名、3項目が2名、2項目が1名であった。

市町村は、県と比べて「組織内調整」「対外調整」「採用計画」などが低かった。



エ 統括保健師に関する周囲の認識の有無

県では「所属の上司」や「保健師が配属されている部署」では統括保健師は認識されていた。市町村では、「認識されていない」、「わからない」と回答した者は、「所属上司」や「保健師が配置されている部署」が4名、「人事担当部署」が11名であった。

オ 統括保健師に対して必要な支援（自由記述）

統括保健師を支えるための【情報共有・心理的な支え】、【統括保健師としての技術向上の知識】、【組織内の相談・協力体制】であった。（表1）

カ これから統括保健師となる者のために必要なこと（自由記述）

【統括保健師に必要な能力・知識・技術】という回答が多く、必要な能力として、＜マネジメント力＞、＜全体視する力＞が一番多かった。（表2）

表1 統括等が考える統括保健師に対して必要な支援

カテゴリー	サブカテゴリー	コード数
情報共有・心理的な支え	意見交換	2
	交流	4
	情報共有	4
	定期的な連絡会	3
	自治体間の連携	1
統括保健師としての技術向上の知識	連絡会への支援	2
	研修	5
組織内の相談・協力体制	相談体制	5
	補佐の育成	2
組織外からのバックアップ	バックアップ体制	3
	県保健師による助言	2
他職種の理解	他職種の理解	3
法的根拠	配置の法的根拠	4
	仕事の明確化	1

表2 統括等が考えるこれから統括保健師となる者のために必要なこと

カテゴリー	サブカテゴリー	コード数
統括保健師に必要な能力・知識・技術	交渉能力	2
	行動力	2
	プレゼン能力	2
	マネジメント力	5
	全体視する力	5
	知識や技術	3
育成のために経験をつむ	研修	2
	人材育成	7
	ジョブローテーション	1
人間性、リーダーシップ	人間性	3
	リーダーシップ	4

(2) 統括保健師以外

対象者411名に対し、回答数241名（県58名、市町村183名）、回答率58.6%であった。

アンケートは全8問、問1は属性、問2～問5は選択式、問6～問8は記述式とした。記述の回答は設問ごとにコード化し、カテゴリーを抽出した。なお、本文において、選択肢の項目は「」、カテゴリーは【】で表す。

ア 属性

年齢は、県は21～30歳33名、31～40歳11名、41～50歳5名、51～60歳9名、市町村は、21～30歳53名、31～40歳41名、41～50歳70名、51～60歳18名、61歳以上1名であった。

役職は、県は技師・保健師33名、主任級12名、係長級3名、課長補佐級7名、課長級3名、市町村は、技師・保健師61名、主任級36名、係長級53名、課長補佐級15名、課長級17名、その他1名であった。

イ 統括保健師の育成のために必要なこと（自由記載）

【統括保健師になるために様々な部署での経験を積む体制】が最も多く、次いで【統括保健師として必要な能力の習得】、【統括保健師の役割の明確化と、組織内の協力体制】、【統括保健師として必要な役割や能力を学ぶ研修等の機会】であった。（表3）

ウ 統括保健師や同様の役割を担う保健師は、あなたにとってどのような存在か（自由記載）

【相談できる存在】が一番多く、次いで【保健師の組織のリーダーとして、連携、調整をする人】、【プロフェッショナルとして尊敬できる目標、ロールモデル】、【頼りになる存在】と続いた。一方、【直接関わる機会がない存在】、【大変そうな存在】、【リーダーとして力を発揮していない存在】というカテゴリーも見られた。

表3 統括以外が考える統括保健師の育成のために必要なこと（コード数が多いものを抜粋）

カテゴリー	サブカテゴリー	コード数
統括保健師として必要な能力の習得	広い視野を持ち、組織等の全体を俯瞰してみる力	6
	部下への細やかな気配り、目配り	3
	職員の多様性を受け止めること	1
	全体の士気を盛り上げる様な力	1
	職場内のコーディネート力	1
	マネジメント能力	5
	判断力	1
	発信力	1
	根拠をもって説明できる説明能力	1
	危機管理能力	1
	危機管理等を予測して行動、促し、指導を行うことができること	1
	統括保健師の役割を担える能力	1
	保健師、行政職、管理者としての総合的な視点	1
	市の政策を知ること	1
	コミュニケーション能力	4
	人柄・人望	2
統括保健師の役割の明確化と、組織内の協力体制	統括保健師の役割を明確化すること	2
	統括保健師や保健師業務の役割の明確化と見直し	3
	保健師自身の組織の一員としての意識・自覚	3
	保健活動・担当業務を認識すること	2
	保健師が統括保健師の役割や必要性を理解すること	3
	現状把握、現在の対応	2
	定期的に戻り返る機会	1
	組織間の連携	3
	組織内の協力体制	1
	職能集団としてベクトルの方向性を合わせる	1
	統括保健師がひとりで追いつかないような周囲の理解・協力	2
	組織づくり、体制づくり	2
	日頃から統括保健師の役割を理解できる機会	1
統括保健師になるために様々な部署での経験を積む体制	統括保健師を支えるため、補佐する役割の時から一緒に業務、研修を行う体制	1
	見本となる統括保健師の存在	1
	ジョブローテーション	22
	育成のための時間確保	3
	キャリアを積み重ねても、指導が受けられる体制	1
	リーダーとしての知識の習得、スキルアップ	2
	資質向上のための計画的な組織的サポート	1
	交渉能力を育成できるような体制づくり	1

カテゴリー	サブカテゴリー	コード数
統括保健師として 必要な役割や能力を 学ぶ研修等の機会	計画的な研修	1
	研修の充実	1
	中央研修等への参加	1
	人材育成に関する研修	2
	マネジメントに関する研修	2
	危機管理に関する研修	1
	研修	2
	統括保健師として役割や必要な能力を学ぶ研修等の機会	6
	専門職かつ行政職、管理職としての視点と判断する能力を高める研修	1
	多職種との交流の機会	1

## 5 考察

### (1) 統括保健師の配置

市町村においては、「統括保健師の位置づけはないが同様の立場」が多く、位置づけがあいまいな状態で役割を担っていた。また、統括保健師の存在や認識について、所属上司や人事担当部署の認識がない、または認識しているかわからない自治体が多かった。さらに、統括保健師として担っている役割である「組織内調整」「対外調整」を選択した者の割合が県に比し低かった。

一方、統括保健師以外の多くは、統括保健師を【相談できる存在】、【保健師の組織のリーダーとして、連携、調整をする人】、【プロフェッショナルとして尊敬できる目標、ロールモデル】として認識していた。

統括保健師は、所属を超えた組織横断的な自治体の政策の中で保健活動が推進できるよう中心的な役割を果たす。自治体内で統括保健師の役割、立場の承認を得ておくことが前提とされる<sup>1)</sup>。

以上のことから、統括保健師を配置し、その役割を遂行するためには、保健師間及び組織内で統括保健師の役割の共有と周知に自ら取り組み、事務分掌への明記など、組織内での位置づけを明確にする必要がある。

### (2) 次世代の統括保健師の育成

統括等、統括以外ともに、これから統括保健師になるために必要なこととして、【必要な能力・知識・技術】、【育成のために経験を積む】と回答していた。

統括保健師の機能推進に向けて、現在の統括保健師の自治体内での位置づけを含めた整備、個々の能力の向上とあわせ、将来統括保健師を担える人材として、早期から意図的に育成を図る人材育成体制の構築が重要であるとされる<sup>1)</sup>。

各自治体においては、次世代の統括保健師がその役割や重要性を十分に理解し、自覚を持つことができるよう、行政職員としてのスキルの修得、後輩保健師の育成やリーダーの役割など必要な経験が積み重ねられるように取り組む必要がある。

### (3) 統括保健師の心理的サポートとネットワーク構築

統括保健師等が必要と感じている支援で多かったものは、【情報共有・心理的な支え】【統括保健師としての技術向上の知識】、【組織内の相談・協力体制】であった。

統括保健師が共通課題や取組みを話し合うことで、自身の役割が明確になり、的確な行動に結び付くなど、ネットワークは統括保健師の機能強化に役立ち、ネットワークがある統括保健師には各地域の統括保健師から情報が集まり、相談・調整力も高められたとされる<sup>2)</sup>。

保健師間、組織内で統括保健師の役割の共有や、統括保健師をサポートする体制の構築に加え、県レベルや管内レベルの情報共有、意見交換、課題の協議など統括保健師間のネットワークを構築することにより、統括保健師自身が役割を発揮するとともに資質の向上を図ることができるものと考えられる。

## 参考・引用文献

- 1) 奥田博子：統括的な役割を担う保健師の現状と課題. 保健医療科学2016, vol65, No.5, 466-473
- 2) 日本公衆衛生協会：令和5年度地域保健総合推進事業「健康危機管理における保健活動を推進する統括保健師間ネットワーク構築に関する調査事業」報告書

# 令和6年度 統括保健師の育成と今後の方策研修報告

## 保健師職能委員会

- 1 ねらい 調査結果をふまえ、統括保健師が役割を発揮し、保健活動を効果的に推進することができるよう、統括保健師の育成について考える。
- 2 日時 令和6年10月15日(火) 9:00～11:30
- 3 場所 富山県看護研修センター
- 4 内容 (1) 結果報告 「統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査」  
(2) シンポジウム 「統括保健師育成の現状と今後の方策を考える」  
座長 保健師職能委員長  
シンポジスト 富山市中央保健福祉センター 参事 梅村 夕子 氏  
高岡市健康増進課 主幹 高柳 知子 氏  
立山町保健センター 所長 中川 輝美 氏  
富山県砺波厚生センター 次長 角 園子 氏  
(3) グループワーク 「本日の調査の報告やシンポジウムを聞いた感想及び実際に活かしたいこと」  
スーパーバイザー 富山県立大学看護学部 学部長 佐伯 和子 氏  
助言 富山県新川厚生センター魚津支所 支所長 河村 瑞穂 氏  
富山県厚生部医務課 主幹 平 和美 氏

### 5 参加者 38名

(1) 職種 保健師：38名

(2) 経験年数

0～4年	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
0	1	2	0	10	11	14

### 6 概要

結果報告については、県内の統括保健師に関する現状と課題を明らかにし、統括保健師育成の方策を検討することを目的に、令和6年4月～5月に実施した調査結果を保健師職能委員会が報告した。

シンポジウムについては、4名のシンポジストより、自身の職場環境や体験をもとに統括保健師の配置やあり方、役割等について発表いただいた。

### 7 研修会に対する評価（アンケート回収33名より）

アンケート結果（複数回答）

項目		項目	
① 知識が整理できた	21	② 自己のニーズが満たされた	1
③ アイデアが得られた	11	④ 思考が明確になった	15
⑤ 実践に活かしてみたい	14	⑥ 問題解決の糸口が得られた	9
⑦ リフレッシュになった	7	⑧ 充実感が得られた	5
⑨ かえって混乱した	0	⑩ 求めたものが得られなかった	0

### 8 まとめ

統括保健師の配置状況等の現状及び課題に関する調査やシンポジストの発表により、統括保健師の果たしている役割や活動内容、必要性等について学ぶことができた。また、グループワークを通して、参加者それぞれが統括保健師に必要な能力や育成、統括保健師へのサポートなどについて考える機会となったと思われる。

## 令和6年度「いのちの教室」実践報告

### 助産師職能委員会

中学校2校、小学校9校から「いのちの教室」の出前講座の要請があった。令和5年度から施設長に活動依頼の公文書を提示することで、就業助産師が地域活動へ参加を示すことにつなげている。しかし、滑川市の7つの教育機関からの要望に対し、1病院1名の助産師に依頼した形となり負担が大きい。令和7年度からは、要望に応じて助産師職能が補助に入り、複数でできる体制とする。

令和6年度「いのちの教室」実施状況（令和6年4月～令和7年2月）

実施年月	実施校	対象者	依頼を受けた窓口	助産師数 (協力病院)
令和6年 10月31日	黒部市立 若栗小学校	6年生18名 保護者18名 教員数名	養護教諭	1名 (富山労災病院)
10月31日	黒部市立 石田小学校	5、6年生49名 教員数名	養護教諭	1名 (富山労災病院)
11月15日	高岡市立 五位中学校	2年生69名	養護教諭	2名 (高岡市民病院)
12月6日	高岡市立 福岡中学校	2年生100名 教員4名	養護教諭	2名 (済生会高岡病院)
12月18日	滑川市立 田中小学校	3年生42名 教員3名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
12月19日	滑川市立 南部小学校	4年生32名 教員4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
12月20日	滑川市立 東加積小学校	2年生6名 教員2名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
令和7年 1月14日	滑川市立 東部小学校	4年生54名 教員4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
1月16日	滑川市立 西部小学校	2年生86名 保護者4名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
1月28日	滑川市立 東加積小学校	5年生19名 保護者3名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)
2月14日	滑川市立 寺家小学校	2年生29名 保護者20名 教員2名	滑川市教育委員会 教育総務課	1名 (厚生連滑川病院)

# 令和6年度 保健師・助産師交流会報告

## 助産師職能委員会

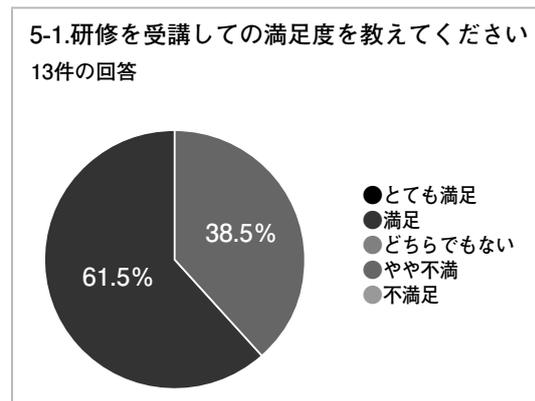
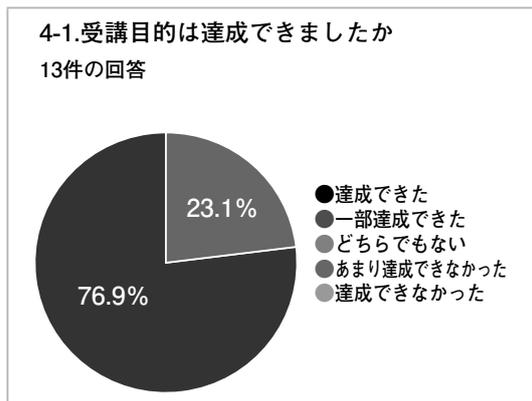
- 1 研修名 性暴力被害ワンストップ支援センターとやまの役割
- 2 ねらい 県内の性暴力被害者支援の現状を理解し、看護職が連携した支援を考える
- 3 講師 性暴力被害ワンストップ支援センターとやま 木村なぎ先生
- 4 日時 令和6年8月26日(月) 13:00～16:00
- 5 場所 富山県看護研修センター
- 6 内容 性暴力被害ワンストップ支援センターとやまの役割  
性暴力被害者の実情  
性暴力被害者支援における看護職の役割  
グループワーク「事例検討」
- 7 参加者 20名  
(1) 職種 保健師：0名、助産師：16名、看護師：4名

### 8 概要

- ・2018年に開設した「性暴力被害ワンストップ支援センターとやま」は性暴力被害者に被害直後から総合的な支援（医療的支援、相談・カウンセリング等心理的支援等）を行う役割を持つ。2023年度の相談件数は1200件を超え子供の相談も一定数あること、加害者の多くは顔見知りのため被害にあっても顕在化しない等の現状がある。
- ・支援者の役割は「真の自己決定ができるように支援すること」。
- ・被害の可能性に気付くために、主訴に隠れた暴力に気付くこと、違和感がある時には相談しやすい環境で情報収集すること、被害に気付いた場合は支援センターに相談する。
- ・初期対応者で悩むことはなく、抱え込まず相談していくことが大切である。

### 9 研修会に対する評価（アンケート回収（回収率62%）13名より）

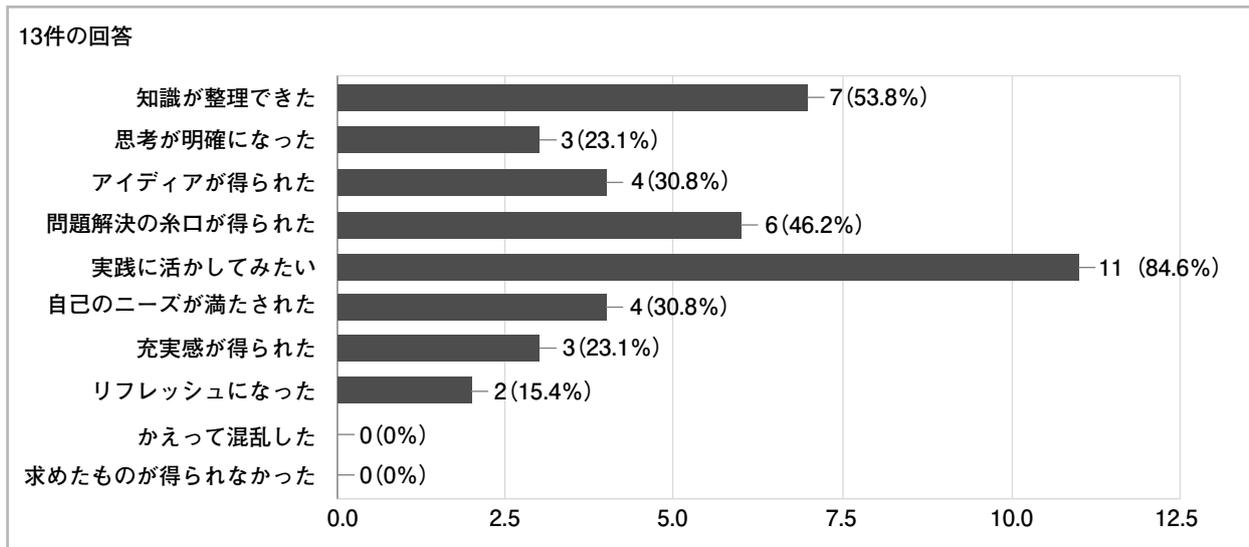
#### 研修目的の達成度・満足度



#### 受講した感想（複数回答）

- ・新しい知見を得ることができた。具体的な支援を知ることができ、実践に活かしやすかった
- ・日頃の業務で不明に思っていたことなどが理解できた。連携方法を知ることができた
- ・知識向上する機会となった。ワークを通して他の施設の方と意見交換できたのも達成感が高かった
- ・どのような時に、どこに連携できるのか、情報を得ることができた。

10 研修全体を通していかがでしたか（複数回答可）



11 まとめ

グループワークでは、事例をもとに被害者やその家族への対応の仕方、加害者への対応、必要な連携機関や連絡方法を検討した。講義を通して新しい知見を得て、事例検討にて実際に起こりうる対応について検討したことにより、被害者への身体的・精神的ケア、連携の重要性と難しさを学ぶことができた。

県内でも増加している性病力被害について、保健師、助産師等の専門職が協力・連携し対応が求められる課題である。

# 外来における在宅療養支援能力向上のための取り組み 報告

## 看護師職能 I 委員会

### 1 ねらい

- (1) 地域における自施設の外来が果たすべき役割と、自らが外来を担うべき役割を習得するとともに、外来患者を支えるために必要な在宅療養支援に関する知識を習得できる。
- (2) 在宅療養支援の強化に向けた取り組みに役立てることができる。

2 日時 令和6年12月20日(金) 13:30～16:00

3 会場 富山県看護研修センター

### 4 内容

- (1) eラーニング受講と事前課題の提出
- (2) 講義 「富山県における、医療・看護を取り巻く状況等について」  
講師 公益社団法人富山県看護協会 会長 岡本 里美 氏
- (3) 報告 講師 厚生連高岡病院総合的がん診療センター 師長 吉田 志布 氏  
講師 南砺市民病院 外来師長 小竹 昌子 氏

(4) グループディスカッション及び発表

### 5 参加者 県内19施設 計47名

- (1) 職種 看護師47名
- (2) 経験年数

5年未満	5～9年	10～14年	15～19年	20～24年	25～29年	30年以上
1	3	3	8	8	7	16

### 6 講義・報告・グループワーク内容

#### (1) 講義

「富山県における、医療・看護を取り巻く状況等について」

講師 公益社団法人富山県看護協会 会長 岡本 里美 氏

富山県における医療・看護を取り巻く状況等について、医療施設の状況・医療計画の概要、看護職員の現状等の説明がされた。社会の変化と政策動向をふまえ、外来看護職の役割について、重症化予防に資する在宅療養支援を推進していく事や救急外来における帰宅支援などが期待される。地域の実情と自病院、医療機能を鑑み、看護職の地域のネットワークの構築・強化に取り組み、外来看護の役割と提供する看護について考える必要があると述べられた。

#### (2) 外来看護の課題に対する取り組み報告

令和5年度に各施設で行った看護師職能 I 研修受講後、外来看護の課題に対して取り組んだ内容について、2施設から報告を受けた。

報告施設	取り組み課題 報告テーマ
厚生連高岡病院	外来における在宅療養支援能力向上のための研修を受講後外来看護がどうか変わったか
南砺市民病院	外来看護師が退院後訪問に同行した事例を通して

#### (3) グループディスカッション及び発表

「事例において必要な在宅療養支援は何か」「在宅療養支援強化のために外来看護師として自らが取り組む必要があることは何か」「在宅療養支援強化のために組織が取り組む必要があることは何か」について19施設計47名を7グループに分け意見交換した。

各グループから、在宅療養支援強化の取り組みに向けてたくさんの意見が出された。外来業務を

しながらどうやって患者の変化やニーズに気付くか、それには外来看護師のアセスメント能力の向上や、タイムリーに介入するためのしくみ作りも必要となる。スクリーニングシートの活用や情報共有、病院内・外の看看連携や多職種連携のしくみ作り、地域とのネットワークの構築等の課題が挙げられた。

## 7 まとめ

令和5年度は、公的病院の多くが各施設でオンデマンド研修を実施されたが、病院単位で研修を実施することの限界の意見があり、今年度看護師職能Iにて講義・演習を行った。19施設の参加があり、外来で行うべき事、現状、これから必要と思われることが、他施設の方達と情報交換や意見交換ができてよかったとの意見が、多数聞かれた。他施設での取り組みや工夫を情報共有することにより、外来における在宅療養支援能力向上に繋げることができる演習であったと考える。また、外来看護師としての役割が明確となり、できることから実践していきたい、外来全体・病院全体で取り組む必要があると感じたとの意見もあった。次年度は対象者を外来に関わる看護職として拡大し、さらに切れ目のない看看連携を推進できるよう取り組んでいきたい。

# 在宅ケア事例検討会報告 (在宅ケアアドバイザー派遣事業)

## 看護師職能Ⅱ委員会

### 1 はじめに

訪問看護師や医療機関の看護職が在宅医療患者・家族の現状やニーズに応じた、質の高いケアが提供できるように支援する研修目標で、今年も4地区6箇所で開催したアンケート内容を報告する。

### 2 参加状況の推移

(令和・平成)年度	6	5	4	3	2	1	30	29	28	27	26	25	24	23	22
開催回数(回)	6	6	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	10	10
参加延べ数(人)	228	214	274	233	255	281	283	280	221	231	277	219	221	270	223

### 3 アンケート結果回答者数193人(回収率89.9%)

参加者の所属先                    訪問看護 56.4% 医療機関 41.4% 他 2.2%  
満足度                                非常に満足した 49.5% 満足した50% 満足できなかった0.5%  
講評が参考になるか                参考になる96.6% どちらともいえない2.3% 参考にならない1.1%

### 4 事例検討会に参加してどうだったか

- ・サービスの受け入れのない方に、どのように介護保険の申請をすすめたのか事例を通して学んだ
- ・自身のステーションの事例と重なり、振り返ることができた
- ・病院と訪問看護師の連携する良い機会となった
- ・リンパ浮腫がある利用者のケアが始まるまでの流れが分かった
- ・圧迫包帯等におけるケアの実際を知ることができた
- ・浮腫に対する処置や患者・利用者の環境に合わせたかかわりが大切だと学んだ
- ・パーキンソン病の経過の中で、変化していく症状について学ぶことができた
- ・訪問看護をしている方の意見を聞き、学びになった
- ・訪問看護の目的を明確にすることが大事だとわかった
- ・悩みながら利用者の思いに寄り添いながら看護していることがわかった
- ・精神疾患の方への対応について考えさせられた
- ・グリーフケアについて学んだ
- ・家族がケアすることにストレスだけでなく達成感を感じるようなかかわりをしたいと感じた

### 5 事例検討会に参加して、今後の実践に活かすことができるか

- ・「聴く」ということを、まずは努めようと思った
- ・患者本人と家族の思いにズレが生じていることがある、多職種でカンファレンスを行い、より良い方向に支援ができるように考えることができた
- ・訪問看護師のかかわりでリンパ浮腫に対する複合理学療法が丁寧に行われ、圧迫療法も患者が継続できる方法を選択できること
- ・医師と連携し、リンパ浮腫外来につなげていけるような援助を行いたい
- ・地域でのつながりと医療チームの連携が大切だと感じた
- ・訪問看護の目的や内容を理解することができた
- ・病院から在宅へ帰るとき、本人がどうなりたいか、情報共有することが大切だと感じた
- ・本人や家族の良いところに着目しできていることを伝えることで信頼関係を築けることがわかった
- ・厚生センターの取り組みが理解できた
- ・SNS対策の必要性を感じた
- ・多数の医療行為が必要な方でも在宅に帰ることはできるとわかった
- ・ACPの大切さを再確認した

## 6 アドバイザーからの講師やレクチャーは参考になったか

- ・重層的支援体制について知ることができた
- ・認知症と精神疾患の見極めについて知ることができた
- ・病院でのリンパ浮腫患者の対応を知ることができ、連携の大切さを改めて学ぶことができた
- ・患者本人に合わせたケアをたくさん知ることができ良かった
- ・在宅と病院の連携は大切だとわかった
- ・フットケアの基礎を知ることができた
- ・どこを目標にするか、それにあったケアを行うことが大切だと改めて感じた
- ・医師の指示のもと訪問看護を実施する、指示書の内容に沿ったケアをしなければならないと理解した
- ・訪問看護利用開始時に、利用の目的を利用者と確認することがトラブル防止になると学んだ
- ・精神科ならではの専門的視点の関わりを知ることができた
- ・様々な要因を考えて多様な対処法を試行してみるという提案が参考になった
- ・精神疾患を抱えている人も一人の人間として関り、長所に目を向けていくことが大切だと再認識した
- ・家族看護を理解することができた

## 7 在宅療養における課題など

- ・今後は困難ケースが増える
- ・現在のサービスだけでは支えられない人がいる
- ・連携をスムーズにする方法
- ・病棟ナースとの温度差
- ・精神疾患独居の方が長く在宅療養を続けることができるシステム
- ・病院や病棟看護師がまだに在宅療養の実態を知らなすぎる
- ・家族の協力を得られないケースが多くある
- ・人員不足、知識不足
- ・難しい疾患をもった人が多い
- ・利用者や家族と信頼関係をどう築いていくか
- ・事業所によりでたらめな訪問をしているところがある
- ・家族に問題のあるケースが多くなっている
- ・家族への一貫した指導不足

## 8 おわりに

在宅事例検討会は県内の訪問看護ステーションが事例を提供し、訪問看護師、病院の看護職、地域連携室職員等多職種が一同に集まり、ディスカッションできる貴重な場である。アンケート結果からも好評な意見が多くある。今後も多様化する在宅領域での看護について意見交換をしながら、看護の質の向上に努めたい。

---

---

# 看護職が働き続けられる職場環境に関するフォローアップ調査結果

---

---

## 社会経済福祉委員会

### 1 調査目的

令和5年度に経験年数15年未満の就業を継続している看護職員に調査し、離職の意思やその理由、また、離職を思い留まることができた要因について調査結果を報告した。そこで今回、各施設における取り組み状況を明らかにすることで、今後の定着支援事業に活かす。

### 2 調査方法

- (1) 対象者：富山県内公的病院24施設の看護管理者24名
- (2) 調査期間：令和6年12月～令和7年2月
- (3) 自記式質問紙WEB版（Googleフォーム）によるアンケート

### 3 調査結果

- (1) アンケート回答数24名（回収率100%）
- (2) 属性：対象施設の病床数は200床未満7施設 200～399床10施設 400床以上7施設
- (3) 取り組み状況(複数回答) 詳細は「各施設における取り組み状況」参照
  - ア 『勤務環境の改善』について（複数回答）
    - ①すでに取り組んでいる18施設（75.0%） ②今年度新たに取り組んだ7施設（29.2%）
    - ③今後取り組む予定6施設（25.0%）①②では2交代勤務・夜勤専従の導入、時間外勤務の削減（記録のセット化・タスクシフト等）であった。③ではチームコンパス、バイタルサイン自動入力導入、業務用スマートフォン導入があった。
  - イ 『相談体制の充実』について（複数回答）
    - ①すでに取り組んでいる21施設（77.8%） ②今年度新たに取り組んだ1施設（3.7%）
    - ③今後取り組む予定5施設（18.5%）①②ではほとんどの施設でメンタルサポートやハラスメント対策の窓口の設置がされ、研修会を開催している。③ではハラスメント対策の規定を講じられているが、実際にハラスメント事象があったのかや対応状況については不明である。今後は実態調査のためのアンケート調査を行う計画があった。
  - ウ 『採用早期からのキャリアデザインを描けるような継続的な支援』について（複数回答）
    - ①すでに取り組んでいる17施設（70.8%） ②今年度新たに取り組んだ7施設（29.2%）
    - ③今後取り組む予定6施設（25.0%）①②ではほとんどの施設で採用時にキャリアデザインやキャリアラダーを示し、それに沿った研修会を開催している。また、「生涯学習」については、管理者間の勉強会や自施設のラダーに組み込まれている。③にはキャリアアドバイザーの育成があった。
  - エ 『業務改善や業務の効率化』について（複数回答）
    - ①すでに取り組んでいる20施設（83.3%） ②今年度新たに取り組んだ9施設（37.5%）
    - ③今後取り組む予定7施設（29.2%）①②ではほとんどの施設で看護補助者・他職種への業務委譲、病棟クラークの配置、バイタルサイン自動入力やAI問診の導入等があった。③には夜間の看護補助者の採用、VRを活用した技術研修、音声文字変換システムの導入などがあった。
  - オ 『給与・手当の改善』について（複数回答）
    - ①すでに取り組んでいる16施設（66.7%） ②今年度新たに取り組んだ10施設（41.7%）
    - ③今後取り組む予定4施設（16.7%）①②ではほとんどの施設で看護職処遇改善加算の支給、人事院に準じた級上げ、令和6年4月に給料表の改訂、パート職員の時給アップ、認定看護師への手当の支給などがあった。
  - カ 『心理的安全性の高い職場づくりとその風土醸成』について（自由記載）
    - ・看護部長・副看護部長会議の年間目標として（笑顔・協働・対話）が行える看護部を目指している。PNS体制の強化を行い、PNSマインドの醸成を強化している。
    - ・看護部全体に向けて心理的安全性の講義を行い、意識付けを行った。院内WLB委員会でも取り組みを行い、安心して働ける職場づくりを目指している。

- ・風通しの良い風土を醸成するために、職員のご意見箱の周知や幹部の定期的な職場巡回の検討、虐待防止やハラスメント防止に関する研修会の実施している。
- ・心理的安全性の高い職場づくりにはスタッフ間のコミュニケーションが大事である。スタッフとよく話をし、安心してスキルアップできる環境が提供できることを目指している。

#### 4 考察

今回の調査結果から、『勤務環境の改善』『相談体制の充実』『採用早期からのキャリアデザインを描けるような継続的な支援』『業務改善や業務の効率化』の4つの項目については、70～80%以上が①すでに取り組んでいると答えている。しかし、『給与・手当の改善』については、①すでに取り組んでいると答えたのは66.7%と他の項目に比べて低かった。また、「経営難の中、ベースアップの提言が難しい」との意見があったため、この点に注目して考察する。

令和6年度診療報酬改定では、職員の給料を2024年度に2.5%、2025年度には2.0%のベースアップを条件に「ベースアップ評価料」が新設された。ベースアップ評価料を申請した医療機関は、対象職員の賃金を上げることが義務付けられるが、賃金をどれくらいアップさせるかは、医療機関それぞれの裁量に任せられており、そもそもベースアップ評価料の届け出をするかしないかも、医療機関の判断に委ねられている。そのため、この引き上げによってどの程度給与が上がるかは職場に確認する必要がある、なかには、これまで通り処遇改善を行わない医療機関もあると言われている。医療現場で働く看護職員としては、やりがいを感じながら長く活躍し続けるためにも経営者側への提言をしていかなければならない。管理者の役割としては、①自施設の看護職員の賃金水準・賃金制度の現状を把握する②処遇改善の方向性・考え方のビジョンを持つ③処遇改善策の優先順位付けを行う④具体的な処遇改善の方策を提案する⑤組織の合意形成に向け働きかけることが必要である。職務や役割に見合った評価を受けることで、個人がやりがいを持ち、納得して働き続けることができる。

給与は、仕事に対する社会的な評価であり、看護職員が誇りを持って看護という仕事を続けることができるかどうかも左右する。看護職員一人一人が、看護の業務内容や看護職に求められる責任に見合った給与・手当であるのかどうかということを再考し、現場からも発信していくことが必要である。

#### 5 まとめ

今回の調査では、看護職員が働き続けられる職場環境となるよう各施設でどのような対応策が講じられているかを明らかにし、情報共有することができた。ほとんどの施設で、すでに対応策を実施し、更に今後強化しようと考えていることが分かった。新たに働き方改革を行う前には、職員が正しく理解し、お互いに協力することが大切である。そして、管理者はその効果や問題点を定期的に分析してフィードバックすることが求められる。

## 各施設における取り組み状況

区分：①すでに取り組んでいる ②今年度新たに取組んだ ③今後取組む予定

### 【1. 勤務環境改善の取り組みについて】

	2交代制勤務制度（導入や拡充等） 6件 勤務表作成システム 夜勤専従 勤務間インターバルを一昨年から導入している 多様な勤務シフト、遅出などを活用して、超勤を増やさないような勤務時間の工夫 有給休暇の推進、時間外勤務の削減、夜勤勤務の記録削減と業務改善 業務時間終了前にタイムアウトし、残務の確認と管理者から時間外勤務を命令する
①	休憩時間 45 分の確保の調整 16時間夜勤を 12時間夜勤に変更するためのプロジェクト 委員会や研修会ではできるだけ時間内で開催する、2交代や夜勤専従は本人の希望に沿って選択できる、看護記録時間の短縮のためにセット化を増やした PNS の業務の進め方等見直しを図った 夜間も含めたりリーフ体制の充実 2年目看護師の教育プログラムの構築、育休中の教育計画の構築育休産休取得面談シートの導入、記念日休暇、パースデイ休暇、サバチカル休暇ノー残業デイの導入持ち帰り残業の低減（情報リテラシー研修）
②	スマートベッドシステムへの変更 時間外削減については、看護部委員会を 12 から 8 つに減らし、議事録は委員会中に記載できるよう時間を設けている 夜勤回数に応じたインセンティブ付与、育児短時間制度利用期間の延長 3～5年目看護師教育プログラムの構築、院内保育所無料チケットの配布看護師優先 PC ルームの新設、議事録作成用のノート PC の購入朝の健康観察 KYT の導入、2交代勤務の拡大
③	2交代制勤務制度（導入や拡充等） 3件 チームコンパス、バイタルサイン自動入力システム個人で業務用のスマートフォンを持つ 交代勤務について職員にアンケート調査を行い夜勤勤務の見直しを図る 夜間補助者の導入

### 【2. 相談体制の充実について】

	年 1 回メンタルチェックの実施 月 2 回心理士による心の耳相談窓口の設置 ハラスメント等職員の意見が反映できるようなシステムの活用 新卒入職者には 1 年目に臨床心理士の面談を受ける機会の設定 教育担当部長、副部長、部長各々が役割に合わせて個人面談を計画的に実施し、職員個々の思いや悩みを聞いている 相談員を複数人配置 新規採用者は LINE を活用し、臨床心理士に相談できる体制の確保 外部支援を検討中 こころの問題により長期休業した職員への復職支援プログラムの構築 職員全員がバワハラバッジを装着 臨床心理士による心の外来の設置、メンタルヘルス研修の実施 新規採用者の臨床心理士面談、管理者のハラスメント研修
②	承認欲求を満たしモチベーションアップのための管理者対象に目標管理及び面接方法の研修会の開催 実態調査の必要性を感じている 相談窓口の設置と周知
③	職場での実態を把握するためにアンケート調査を実施し、その結果内容を盛り込んだ研修会を開催する

### 【3. 採用早期からのキャリアデザインを描けるような継続的な支援について】

	面接・面談（聴き取りと選択肢の提供、目標管理、キャリア面談等） 5 件 キャリアラダーの活用（レベルに沿った研修、プログラムに沿った運営等） 3 件 キャリアデザインシートの活用（キャリアデザインを示し説明） 3 件 ポートフォリオの活用 2 件
①	クリニカルラダーの活用（「生涯学習ガイドライン」に沿った改訂等） 2 件 各部署での定期的な目標設定面談、振り返り研修での話し合い 関連する研修や委員会などに参加する機会を提供 他部署体験のためのジョブトライアルと異動希望調査 育児休業中の研修参加、資格取得等について産前休暇前県有等で説明の場を設けている 長期休暇からの復帰者に技術研修を実施 ポートフォリオの導入、支援 生涯学習支援について看護管理者研修でグループワークし検討した 認定、特定看護師にプレゼンをしてもらい、関心を寄せてもらう 「部長と語る会」や面談で、「生涯学習ガイドライン」について説明した 3～5年目の教育プログラムの構築、マネジメントラダーの導入
②	キャリアアドバイザーの育成 ラダーの中にキャリア形成を取り入れ、なりたい自分を明確にする時間を確保する ポートフォリオの活用

### 【4. 業務改善や業務の効率化について】

	タスクシフトシェアについては、看護補助者に研修を実施し、嚥下機能低下の患者の食事介助等実施してもらっているフォローアップとして、定期的に認定看護師が評価している セル看護提供方式の導入 バイタルサインの自動入力、AI 問診導入 特定行為研修の推進、採血業務の検査部への移行 タスクシフト：診療放射線技師による造影検査の血管確保・抜針 臨床検査技師の病棟の早朝採血
①	病棟クラーク設置 病棟薬剤師が持参薬や提示薬のチェックを実施、リハスタッフが訓練の送迎 看護補助者の増員、勤務表自動作成ソフトの導入 記録のテンプレート化など 看護補助者の夜勤導入 NFC 連携システム（HR ジョイント）を使用したバイタルサイン測定・血糖測定一括取り込み 3 件 ポケットチャートによるバイタル入力・注射や指示の実施入院や大腸検査、手術オリエンテーションなどボксаボを使用した半自動化説明 とろみ自動調理サーバーを導入し、水分にとろみをつける時間の短縮 各種パンフレットを動画にして患者説明に活用 バイタルサインの自動入力、ポケットチャートの導入
②	職員用のグループウェア導入 病棟への看護事務を配置し、入院患者のオリエンや面会者案内業務に対応 診療放射線技師とのタスクシェア（造影検査の血管確保と抜針） 臨床工学技士による内視鏡処置の呼び出し業務 放射線技師の造影剤使用血管確保対応 2 件 検査技師による外来・入院・ドッグの採血業務、ME による術中手術機器管理
③	VR 活用した技術研修、音声文字変換システムの導入 夜間の民間企業の補助者採用 「眠り SCAN」導入 電子カルテ導入

### 【5. 給与・手当の改善について】

	看護職員のベースアップ 10 件 処遇改善手当 5 件
①	認定看護師に手当 パート時給アップ、若手看護師に特別手当 看護補助者のベースアップ 若手看護師のベースアップに重点
②	基本給のベースアップ 7 件 認定看護師への手当の支給を提案 手術部：手術部手当に加えて、オンコール手当を付与
③	資格更新時のインセンティブ

### 【6. 心理的安全性の高い職場づくりとその風土醸成について】

	看護師長会議と副看護師長会議の年間の目標として（笑顔・協働・対話）を行える看護部となるように取り組んでいる PNS 体制の強化を行い PNS マインドの醸成を強化している まずは、挨拶をしっかりすること次に、一旦は、相手の話を否定することなく受け止めること 部署では、「接遇の木」を掲示し、個々の良い気付きを掲示している 看護部全体に向けて看護部より心理的安全性の講義を行い意識付けを行った 院内 WLB 委員会でも取り組みを行い安心して働ける職場作りを目指している 風通しの良い風土を醸成するために、職員用のご意見箱の周知や幹部の定期的な職場巡回の検討、虐待防止やハラスメント防止に関する研修会の実施虐待に関する事例検討会の導入検討など アートによる心のケアに取り組み始めた（無機質な空間にアートを施す、患者との関係作りに似顔絵セラピーを取り入れる） 心理的安全性の高い職場づくりには、スタッフ間のコミュニケーションが大事であるスタッフとよく話をし、安心してスキルアップができる環境、安全な看護が提供できる環境を共につくっていく 「看護を語る」機会を意図的に増やす「対話」の推進 職員がいきいきとやりがいをもって働くことができる環境を推進することを目的に「はつらつナース WG」を結成し、検討している院内全体で挨拶運動強化、研修会実施（対話について）
--	--

# 令和6年度 支部（5事業）報告

## 1 地域のニーズに応じた看護活動

支部	開催日	開催場所	対象者 (名)	内 容	
黒部・魚津	12月23日(月) 13:30~14:30	魚津サンプラザ 4階大ホール	一般市民 45	ねらい：地域住民参加でフレイル予防への関心を高める企画1：魚津市通所型介護予防事業「さんさん介護予防倶楽部」での健康出前講座を行う 対象：魚津市の一般市民 内容：あさひ Poo マスター看護師による「健康寿命のためのうんちの話」食事や便の性状、排便姿勢などの勉強会を行った 企画2：魚津市健康センターの企画である「フレイル予防セミナー」に共催の形で参加	
	9月6/13/27日 13:30~14:30 3回1コース		一般市民 20	対象：魚津市の一般市民 内容：定期筋量測定、フレイル体操、講義 (評価) 住民の疑問に答えるなど、皆で学ぶ形式で参加者の意識向上となった	
富山東北	富山地区合同開催	9月28日(土) 9:00~12:30	八尾コミュニティセンター	約70	ねらい：地域住民がふれあいの交流イベントを通して、健康増進・フレイル予防に関心を持つ。 やつおふれあいフェスティバルに参加 血圧測定、ベジチェック、FMD測定、フレイル予防・高血圧や糖尿病に関する相談・感染症対策・かんごちゃん展示。 (評価) ベジチェック、FMD測定への関心が高く、食生活改善の指導ができて健康維持・増進に繋がった。
		10月13日(日) 9:30~15:00	駅前マルト	約40	ねらい：五省会主催「ロコケン」に参加し、フレイルに関するパンフレット、グッズ等を配布し情報提供を行う。健康チェック、健康相談等を行う。 (評価) 血圧が高い方や、食生活改善が必要な方は、他の関連ブースへ案内し生活指導や食事指導を行い、健康増進に繋がった。 健康体操のパンフレットや健康手帳、チラシを配布し関心を持ってもらえた。
富山西南	富山地区合同開催	9月28日(土) 9:30~12:00	八尾コミュニティセンター	約70	ねらい：地域住民がふれあいの交流イベントを通して、健康増進・フレイル予防に関心を持つ やつおふれあいフェスティバルに参加 各会場で健康相談コーナーを設ける。各種測定や健康相談を受ける。 (血圧測定、ベジチェック、FMD測定・フレイル予防・高血圧や糖尿病に関する相談・感染症対策) かんごちゃん展示 フレイルポスターを展示し、フレイル予防の体操パンフレット、フレイルチェックのポケットティッシュを配布した。 (評価) 大勢の参加があり、健康管理について興味を持ってもらえたので目標達成できた。各種測定にそれぞれ集中し、流れが滞ったので次年度は誘導と勧誘など手分けして、フレイルなどの健康管理についての説明をやりやすくする。
		10月13日(日) 9:30~15:00	駅前マルト	約40	五省会主催「ロコケン」に参加 健康相談コーナー設置し、かんごちゃんの展示、血圧測定、酸素飽和度測定を実施した。ブースには健康管理に関心がある方が多く訪れ、高血圧、フレイル予防のための体操、健康手帳などのパンフレットやフレイルチェックのポケットティッシュ、飲み物を配布、フレイルについてのポスター展示を実施した。健康管理、フレイル予防について多くの方に興味を持ってもらえた。 (評価) 日頃の健康管理について相談でき、目標達成できた。次年度はより多くの方に参加して頂けるよう次年度は誘導を工夫する。

支部	開催日	開催場所	対象者(名)	内 容
上 市	1. 9月 2.10月 3.11月	かみいち総合病院 厚生連滑川病院 外来廊下	不明	目的：高齢者、地域住民の健康維持増進及び疾病を予防するための看護活動を推進する。 対象：病院来訪者 内容： 1. 認知症に関する啓発活動（ポスター掲示、ライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 2. 乳がんに関する啓発活動（ポスター掲示、ライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 3. 糖尿病に関する啓発活動（ポスター掲示、ライトアップ、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 (評価) 啓発活動を見た病院来訪者から「病気に関する情報を知る機会となり良い取り組みである。このように健康に関する様々な情報を発信して欲しい。」との意見が聞かれた。地域住民に対して広く認知症、乳がん、糖尿病に関して情報提供ができた。
高岡・射水・氷見	1.12月 3日(火) 15:00～16:00 2.12月 4日(水) 15:00～16:00 3.12月13日(金) 17:30～18:30 4. 令和7年 1月17日(金) 14:25～15:15	1. シニアヴィラあさひの里 (サ高住) 2. リハ・ハウス来夢 (サ高住) 3. なでしこの里 (サ高住) 4. ローカルセンター高岡 (認知症対応型共同生活介護)	1 6 24 3	目的：地域の小規模介護施設を対象に、利用者の疾患の管理や医療処置、介護方法やACP等について支援・指導を実施するとともに病院と施設との相互理解を図る機会とする。 内容： 1. 救急看護認定看護師派遣 急変につながる症状の観察、観察の視点、急変時における観察のポイントについて説明 2. 摂食嚥下障害看護認定看護師派遣 誤嚥性肺炎を予防するための食事形態や食事時の姿勢の基本について説明 3. 感染管理認定看護師派遣 標準予防策、手指衛生、感染経路別予防策、流行性ウイルス疾患について説明 4. 緩和ケア認定看護師派遣 看取りのケアをするための体制（訪問診療、訪問看護等医療との連携方法、看取り時の対応等）について説明 (評価) 本活動を支部内の86施設に案内し、4施設から申し込みがあった。活動終了後にとったアンケートでは、4施設とも「参考になった」と回答しており、次年度も「利用したい」が3施設、「必要であれば利用したい」が1施設であった。次年度は、さらに多くの施設に利用していただくため、案内文に今年度利用された施設の感想等を記載する等の工夫を図りたい。
砺波・小矢部	10月17日(木) 13:15～13:40	南砺市 すまいるエイジ教室	22	ねらい：自らの健康に関心を持ち、予防行動がとれる 内 容： ・心不全の病気、予防に関する〇×クイズで知識の向上を図る ・口頭での質問を通して栄養と口のチェックを行う ・早期受診を推進するためにパンフレットを使用し説明する (評価) クイズや質問をすることで対象者が参加しやすいと感じられる事業とできた。心不全に関しては実際に労作時の自覚症状があるかたが相談できる機会となった。
	10月17日(木) 15:30～16:20	小矢部市総合福祉センター	市内ケ アマネ ジャー 40	ねらい：地域住民の健康維持を支える関係機関職員がフレイル予防について理解を深め、地域住民への予防・啓発活動へ繋げる 内 容：摂食嚥下の理解を深め、実践できるを目指した講義を行った (評価) 在宅での利用者への対応など日ごろの疑問を解消できる支援ができた。実利用者を想定した質疑となり、受講者たちが今後予防や活動に繋げることができると感じた。また、相談しやすい環境とすることで今後も地域のフレイル予防等の啓発につなげることができた。
	11月24日(日) 14:30～15:30	砺波市 光園寺	32	ねらい：自らの健康に関心を持ち、予防行動がとれる 内 容：冬に向けての身体の準備～血圧管理・フレイル予防～ (評価) 血圧管理の重要性については理解されているが、冬場に起こりやすいヒートショックの認識は低く、今回の活動で啓蒙活動が行えた。
	令和7年 1月27日(月) 14:30～15:00	小矢部市 交流プラザ	26	ねらい：自らの健康に関心を持ち、予防行動がとれる 内 容： ・心不全発症リスクを講義とクイズ形式で伝え、予防行動がとれるように住民の意識を高める ・家庭での血圧測定についてパンフレットを使用し説明する。 (評価) 時節柄心不全とヒートショックの説明について関心を持って聞いていた。〇×クイズでも疑問点への質疑に答えながら進んだ。「新しいことを聞いた」との言葉が聞かれ、知識の更新へ関与することができた。また、日本気象協会の「ヒートショック予報」も紹介し、スマートフォンを活用する世代を意識した情報提供もできた。

## 2 支部研修会

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	9月7日(土) 9:30~12:15	黒部市民病院 3階講堂	支部会員 60	ねらい：最近の看護の動向を理解する。 内容：講義および演習 1.「最近の看護の動向」講師：富山県看護協会会長 岡本里美氏 2.「誤嚥性肺炎入院をゼロ人達成にする口腔ケア」 講師：精田紀代美氏（歯科衛生士/ピュアグループ歯科衛生士事務所代表） 「舌の筋力」に着目した誤嚥性肺炎を未然に防ぐケアの方法を学んだ (評価) 演習を含む参加型研修であったことから、参加者からケアの実践に活かせる と好評であった
富山 山 東北	7月27日(土)	富山県看護研修センター	100	ねらい：在宅医療について知ること、地域包括システムを理解し、看護活動の質の向上に繋げる ・富山地区支部合同研修 Web開催 シンポジウム 「在宅に戻るための看護（医療）・介護連携」 シンポジスト 千石ケアサービス社長 野村明子氏 富山まちなか病院 社会福祉士 平井有希子氏 富山市民病院 地域連携室 看護師長 篠山留美氏 五省会居宅介護支援事業所 介護支援専門員 課長 長嶋千尋氏 講演 富山短期大学 健康福祉学科 教授・学課長 中島真由美先生 ・今年度の診療報酬、介護報酬、福祉報酬の同時改定に伴い、看護（医療）・ 介護連携について取り組むべき役割を各職種から意見発表していただいた。 (評価) 患者中心の情報共有をスピード感を持って取り組むことの重要性を学ぶことが できた。 アンケート結果では、理解度、満足度、活用度のいずれも75%以上の高い評価 であり有意義な研修であった。
		6月～11月 体験実習 11月29日(金) 報告会	体験実習施設 まちなか診療所 くれよん在宅クリニック 報告会 富山県看護研修センター	実習生 11 18
富山 山 西南	7月27日(土)	富山県看護研修センター	100	ねらい：在宅医療について知ること、地域包括システムを理解し、看護活動の質の向上に繋げる 富山地区支部合同研修 Web開催 *シンポジウム 「在宅に戻るための看護（医療）・介護連携」 シンポジスト：千石ケアサービス社長 野村明子氏 富山まちなか病院 社会福祉士 平井有希子氏 富山市民病院 地域連携室 看護師長 篠山留美氏 五省会居宅介護支援事業所 介護支援専門員 課長 長嶋千尋氏 講演：富山短期大学 健康福祉学科 教授・学科長 中島真由美先生 ・今年度の診療報酬、介護報酬、福祉報酬の同時改定に伴い、看護（医療）・ 介護の連携についてのシンポジウムということで多くの方に参加頂いた。質 問も「入院支援カンファレンスやACPについてご家族との話し合いの持ち 方など」多く寄せられた。アンケート結果からも理解度、満足度、活用度い ずれも75%以上目標の達成された研修会であった。 (評価) 参加者が多く、関心の高さが伺える研修会であった。内容も在宅と病院・施設 の連携強化につながるもので目標達成できた。次年度はシンポジウムの中 でも質問があった在宅医療でのACPについての研修会を企画する。
		1.6月～7月 2.8月～11月 3.11月29日(金) 13:00～14:30	1.富山市まちなか総合ケ アセンター2階 2.くれよん在宅クリニック 3.富山県看護協会研修センター	11 18 36

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
上 市	富山医療圏合同開催	7月27日(土) 10:00~12:00	100	<p>目的：看護・介護・福祉の連携を促進するための取り組みを共有する。</p> <p>1. 富山地区合同開催 Web開催： 対象：富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師等 日時：7月27日(土)10時~12時 内容： シンポジウム「在宅に戻るための看護(医療)・介護連携」講師：富山福祉短期大学 学科長 教授 中島真由美先生 シンポジスト： (1)千石ケアサービス 社長 野村明子氏 (2)富山市立まちなか病院 社会福祉士 平井有希子氏 (3)富山市立富山市民病院 ふれあい地域医療センター 看護師長 篠山留美氏 (4)五省会居宅介護支援事業所 介護支援専門員 課長 長嶋千尋氏(評価)</p> <p>介護支援専門員、医療社会福祉士、看護師などそれぞれの立場からの話を聴くことができ、在宅に戻るための看護(医療)・介護連携について取り組むべき役割を前向きに考える機会となった。</p> <p>アンケート結果から、理解度では「大変理解できた」「理解できた」が82.0%、満足度では、「大変満足できた」「満足できた」が73.0%、活用度では「大いに活かせる」「活かせる」が76.0%と高かったことより、研修の目的は概ね達成できたと考えた。</p> <p>次回の改善点として、音声の不具合が発生しないようシミュレーションを行うなど事前準備を徹底する。</p>
		6月~11月 8:30~17:00	24	<p>目的：在宅医療の実際と医療・介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる。</p> <p>対象：富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師等 内容：在宅医療体験実習及び在宅医療体験実習報告会を実施し情報共有を行う。(評価)</p> <p>1.在宅医療体験実習の参加者のアンケート結果より、在宅医療においての実際と医療の専門職の役割について「理解できた」が95.2%、研修の満足度について「満足」が95.2%であった。また、在宅療養への理解について「訪問診療の実際、多職種との連携の実際と重要性、ターニングポイントでの意思決定支援の大切さを学ぶことができた」「在宅療養について、今まで想像でしかなかったが、実際に見ることができ理解が深まった」との意見があった。</p> <p>2.在宅医療体験実習報告会のアンケート結果より、理解度では「大変理解できた」「理解できた」が96.6%、満足度は「大変満足できた」「満足できた」が90%、「活用度」が「大いに活かせる」「活かせる」が86.7%であり、「在宅医療に従事されている先生方の生の声を聴くことが出来とても参考になった」「医療と在宅の連携強化の重要性を学ぶことが出来た。入院患者の思いを一つでも多く在宅へつなげることでできる看護師になりたい」等の意見が聞かれたことより、看護・介護・福祉の連携について考え、自施設における入退院支援に役立てる機会となった。</p>
11月29日(金) 13:00~14:30	43	<p>目的：在宅医療の実際と医療・介護の専門職の役割について学び、自施設におけるスムーズな入退院支援に役立てる。</p> <p>対象：富山支部及び富山市内の病院に勤務する看護師等 内容：在宅医療体験実習及び在宅医療体験実習報告会を実施し情報共有を行う。(評価)</p> <p>1.在宅医療体験実習の参加者のアンケート結果より、在宅医療においての実際と医療の専門職の役割について「理解できた」が95.2%、研修の満足度について「満足」が95.2%であった。また、在宅療養への理解について「訪問診療の実際、多職種との連携の実際と重要性、ターニングポイントでの意思決定支援の大切さを学ぶことができた」「在宅療養について、今まで想像でしかなかったが、実際に見ることができ理解が深まった」との意見があった。</p> <p>2.在宅医療体験実習報告会のアンケート結果より、理解度では「大変理解できた」「理解できた」が96.6%、満足度は「大変満足できた」「満足できた」が90%、「活用度」が「大いに活かせる」「活かせる」が86.7%であり、「在宅医療に従事されている先生方の生の声を聴くことが出来とても参考になった」「医療と在宅の連携強化の重要性を学ぶことが出来た。入院患者の思いを一つでも多く在宅へつなげることでできる看護師になりたい」等の意見が聞かれたことより、看護・介護・福祉の連携について考え、自施設における入退院支援に役立てる機会となった。</p>		
高岡・射水・氷見	10月19日(土) 13:30~16:30	済生会高岡病院 多目的棟 会議室 (ハイブリッド研修)	59	<p>目的：全国で自然災害が多発する中、令和6年1月能登半島地震の発生により、各施設における減災対策やBCP、受援計画立案の必要性は一層高まっている。本研修を効果的な減災対策、実効性のある計画立案に役立てる。令和4年度から5年間の継続事業。</p> <p>内容：(会場参集及びweb配信で実施)</p> <p>1.富山県看護協会 岡本里美会長「最近の看護の動向」 2.東京都立広尾病院 減災対策支援センター部長 ※web講演 中島康先生 (R4年~5年間の予定) 「災害時の業務継続~受援力を高める~」</p> <p>(評価)</p> <p>研修後の参加者アンケートでは、全員が「今後の実践に活かそう」と回答しており、その内容として「職場の整理・整頓」「アクションカードの見直し」「受援に向けた業務の仕分け」等多くの者が明記している。また、参加しやすいようweb配信による受講も可能としているが、さらなる参加者増を目指したい。</p>
砺波・小矢部	9月14日(土) 9:00~11:00	市立砺波総合病院 3階講堂	71	<p>ねらい： 最近の看護の動向について理解を深める 心不全パンデミックとその抑制のために看護職ができることについて理解する</p> <p>内 容： 1.「最近の看護の動向」 講師：富山県看護協会会長 岡本 里美氏 2.「心不全パンデミックへの対応~私たちにできること~」 講師：市立砺波総合病院 循環器内科部長 鷹取 治氏 心不全パンデミックの到来の理解と抑制のために看護職のできることを学ぶ(評価)</p> <p>1.看護の動向では、医療を取り巻く社会情勢が大きく変化していることを再確認できた。看護職は専門性のさらなる発揮が求められているため、知識とスキル向上のためには学び続ける必要があることを改めて認識した講義であった。</p> <p>2.心不全パンデミックの講演では、再入院抑制抑制のために治療の継続を患者自身が取り組めるよう啓蒙活動を多職種で連携していかなければならないことを学ぶことができ、現場で実践できるテーマであった。</p> <p>QRコードでのアンケート回収であったが、回収率が71%であった。今後は会場でのアンケート入力促すことを検討した。</p>

### 3 「まちの保健室」事業

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	8月24日(土) 9:00~13:00	入善町：健康交流プラザ・サンウェル	一般市民 約100	ねらい：地域住民の健康意識の向上を目的とする <入善町> 町の事業である「健康フェスティバル」の会場で開催する。 内容：支部の3病院から、一般健康相談に対応できる看護師の参加協力を得て健康相談・介護相談・看護師募集活動を行った。また、参加者にフレイル自己チェック表付ティッシュ、協会のクリアケース、健康に関するパンフレットを配布しフレイル予防事業のPRを行った。 (評価) まちの保健室は地域で行われるイベントへの参加形式で開催することで参加者確保が期待できる。
富山東北	8月4日(日)	富山市民病院	30	ねらい：小学生とその保護者に病院の仕事の体験を通し、医療・看護職に興味を持ってもらい、将来の看護職確保もきっかけを作る。 ・富山市民病院において「メディカルジョブ体験・夏休みワクワク職業体験」に参加した。 15組30名が2グループに分かれて、各部署特有の仕事を体験した。 手術室：腹腔鏡機械を使い疑似体験。 小児科外来：赤ちゃん人形の身体計測、聴診器で心音聴取など。 救急センター：富山消防署に協力をいただき、救急隊員2名と一緒に救急車による患者搬送や医師への引継ぎなど。 かんごちゃんを展示し、グッズ配布や記念撮影を行った。 (評価) 日頃、見ることのない場所で医療業務を楽しみながら体験できていた。親しみやすいキャラクターを着ぐるみで立体的に展示することででもインパクトが得られ、看護職に興味を持つことに繋がり将来の看護職確保のきっかけ作りができた。
	9月21日(土) 10:00~14:00	グランドプラザ	40	ねらい： 1. 富山市民と障害者、福祉団体、ボランティアとのふれあいや交流を通して、地域の福祉団体の活動への理解を深める。 2. 健康に関するポスターの掲示、パンフレット等の配布による情報提供・啓蒙。 ・健康相談コーナーを設置し、血圧測定、SPO2測定などの健康チェック、健康相談、ハンドマッサージを実施。 「看護のシゴト」、グッズを配布し、看護職に対する理解を深めた。 (評価) 子供たちは、ナース服を着用し、かんごちゃんと記念撮影し興味を持ってもらった。保護者には、看護職の役割や必要性を説明し次世代看護師確保に繋いだ。 かんごちゃんを展示、着用し看護職の人材確保について説明し関心が得られた。 地域住民と交流を深めながら、健康チェックを行い、測定値について説明し日頃の健康管理の重要性を理解してもらえた。
富山西南	令和7年 3月1日(土)	婦中ふれあい館	77	ねらい：地域住民が看護師によって健康相談・支援を受けることで看護を身近に感じてもらう ・婦中生涯学習フェスティバルの参加 *富山西保健福祉センターと共同で健康相談コーナーを設ける(血圧測定・握力測定・骨密度測定・SPO2測定など) *健康相談・フレイルについて啓蒙活動など実施 (評価) フレイルについて知らないと答える高齢者も多くみられ、パンフレットとフレイルチェックのティッシュペーパーを配布し、ポスターを使い説明したことで理解が深まり、健康管理をより意識してもらえる機会となった。かんごちゃんグッズの配布により、看護師をより身近に感じてもらった。これらのことから目標達成できたと考えられる。次年度も開催の2日間のうち1日の参加にし、フレイルのポスターの文字を大きくし、パンフレットと共に使用し、説明をわかりやすく実施する。
上市	10月8日(火) 13:30~14:30	つるぎふれあい館2階	12組の 母子	目的：乳幼児安全教室を開催し、子どもの急なケガや病気に対する家庭や事業所での正しい対応方法について啓発活動を行い、相互理解を深める。 対象：乳幼児とその保護者及び消防署並びに産後ケア事業に携わる関係者(かみいち総合病院、町内事業所、町助産師・保健師等) 内容：講義(救命処置の実際)、実技(小児心肺蘇生、AED)等 (評価) 上市町内の親子12組が万一の対応を確認した。アンケート回収率は91%であり、全体の内容として「よかった」が100%であった。参加した保護者からの意見では「子供のもしものときの対応を聞いてとても勉強になった」「人形を使つての実技がわかりやすかった」「来年も継続して開催して欲しい」等の意見が聞かれた。助産師・看護師・保育士等が赤ちゃんをあずかり教室をサポートした。また、保護者の相談にも気軽に応じ、子供の急なケガや病気に対する対応方法について学びを深める機会となった。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
上 市	10月13日(日) 10:00~11:00	ショッピングセンターパル	16	目的：糖尿病よろずゼミナールを開催し、開催地域住民に健康的な生活習慣を促進し、糖尿病の発症リスクを減らすための予防活動を行い、糖尿病予防の重要性を啓発することで、健康的なライフスタイルをサポートし、糖尿病の発症を予防する。 対象：地域住民 内容：糖尿病クイズ・ミニ講座、血糖測定、健康相談等 (評価) 糖尿病に興味のある、16名の地域住民が参加した。アンケート結果より、よろずゼミナールの満足度は「満足」「やや満足」が100%であり、「糖尿病に関するいろいろな情報が聞けてよかった」との意見がきかれた。血糖測定や健康相談を実施することで、糖尿病予防の重要性を啓発することができた。
	11月10日(日) 10:00~15:00	上市町役場駐車場	465	目的：地域住民が主役となって開催する「つるぎフェスティバル in かみいち」に「まちの保健室」として出店し、地域住民に健康の大切さや助け合いの心・看護の心に興味をもってもらおう。 対象：つるぎフェスティバル in かみいち参加者 内容：かんごちゃんの着ぐるみを使用し集客、看護に興味をもってもらおう。バイタル測定、血管年齢測定、介護・健康・認知症相談、フレイル予防等 (評価) まちの保健室をつるぎフェスティバルで行うことで、地域住民や多くの参加者に気軽に健康相談や、健康に関して興味を持ってもらう機会となった。血圧・体脂肪測定(85名)、血管年齢測定(76名)、認知症相談(18名)、フレイル・骨密度測定(156名)、骨折評価(130名)等約465名の地域住民が気軽にブースを訪れ自身の健康について理解を深めた。マスクット「かんごちゃん」が子供たちの興味を誘い集客につながり、看護への興味や関心につながった。
高岡・射水・氷見	1. 通年	1. 高岡市民病院 2. 射水市民病院 3. あしつきふれあいの郷 4. 高岡市ふれあい福祉センター 5. 救急薬品市民交流プラザ 6. 救急薬品市民交流プラザ	一般市民	目的：人が集まるイベント等に出向き、広く生活習慣病予防、フレイル予防等の啓発や健康相談を行う。 内容：
	2. 通年		100	1. 糖尿病教室で健康づくりの啓発、健康相談を併せて実施
	3. 10月5日(土) 10:30~14:30		133	2. 骨粗鬆教室で健康づくりの啓発、健康相談を併せて実施 3. 精神障害者支援施設イベント「あしつき秋祭り」で血圧測定、健康相談実施
	4. 11月17日(日) 13:00~16:00		18	4. 高岡市イベント「高岡市民健康フォーラム」で健康相談、骨密度測定・ベジチェック測定実施
	5. 12月8日(日) 13:00~16:00		96	5. 射水市イベント「射水市在宅医療と介護を考える市民講座」で健康相談、骨密度測定、血圧測定実施
	6. 令和7年 3月10日(月) 10:00~15:00		24	6. 「射水市シルバーまつり」で健康相談、骨密度測定実施 (評価) 1・2教室のテーマに加え、フレイル予防の啓発も併せて行い生活習慣全般を振り返る機会としていただいた。3 精神障害当事者・家族に丁寧に対応し、健康支援に努めた。4~6 健康相談のみに来場する者は少ないため、機器を用いた健康チェックを行い、結果説明に併せ、生活習慣病予防や介護予防を啓発することができた。
砺波・小矢部	7月13日(土) 10:30~12:00	イオンモール砺波	60	ねらい：熱中症にならないために 内 容：熱中症予防のポスター展示、熱中症予防パンフレット及び熱中症予防キャンディの配布、血圧測定、健康相談 (評価) 熱中症予防については時期的にも関心を持ってもらった。折り畳み式の衝立にポスター展示を行ったが、見にくかったようで関心を持つ人が少なかったと思われる。キャンディの認知度は低かったようで、興味を引くことができた。 健康相談では若いから方からも検診結果からの相談があり、ショッピングセンターでの活動の効果があつた。
	10月12日(土) 10:00~11:30		50	ねらい：フレイル予防 内 容：フレイルについて・一日の栄養バランスチェックのタペストリー展示、血圧・握力測定、健康相談、フレイル予防パンフレット・健康手帳配布 (評価) フレイル予防の対象となる高齢者の来場が少なかったが、トレーニング施設の近くであったため、健康に関心が高い方の来場があり、困りごとの相談というより、現在の取り組みでよいかの確認をされている印象であった。 人の往来があり、ショッピングセンターでの活動は効果的である。
	11月9日(土) 10:30~12:00		32	ねらい：冬期に向けて、急激な温度差により血圧が大きく変動することで、脳卒中や心筋梗塞などを引き起こすことを理解し、予防への啓発活動を行う。 内容：ポスター掲示、健康相談、血圧測定、パンフレット(ヒートショック予防、フレイル予防、お餅の窒息予防)配布 (評価) 開催当日は温かい日であり、ヒートショックへの心配を訴えられる方は少なかったが、血圧測定を行いながら寒くなると血圧変動に伴う病気の発症の恐れがあることを説明し、予防行動の紹介を行うことで興味を持ってもらうことができた。 食事に関する困りごとの相談が聞かれ、栄養面についても関心が高まっている。

#### 4 「看護の日」及び看護週間における事業

支部	開催日	開催場所	参加者(名)	内 容
黒部・魚津	11月28日(木) 10:25~11:10	桜井小学校	6年生	<p>ねらい：看護職の魅力ややりがい伝える                      内容：上記を目的に、小中学校での看護の出前講座を行う                      期間：令和6年4月～令和7年3月の期間に、学校側の希望した日で企画する                      方法：作成した看護の出前講座の要項をもとに、魚津市・黒部市・入善町・朝日町の教育委員会等で事業説明を行い、各市町校長会での募集案内を依頼した                      出前講座の企画・実施は、富山労災病院・黒部市民病院・あさひ総合病院が分担して行う                      内容：桜井小学校、明峰中学校では手指消毒演習による感染対策、入善小学校では命の教室を主とした体験学習を進めながら、看護の仕事を紹介した                      (評価)                      多方面で活躍する看護師を講師に参加型研修にしたことで、看護師に対するイメージの幅が広がった</p>
	12月6日(金) 13:30~15:05	入善小学校	6年生	
	2月6日(木) 10:35~12:10	明峰中学校	1年生	
富山東北	7月18日(木)	富山市立草島小学校	22	<p>ねらい：各学校に向き、「看護の日」チラシ・グッズ配布と共に、看護職の魅力、やりがいを伝え、進路の一つとして考えてもいい看護職の確保に繋ぐ。                      ・ふれあい看護体験、出前講座、高等学校看護体験など富山市内各学校に向き、講義、パンフレット配布、グッズ配布                      看護体験 (PPE・エアーストレッチャー・聴診器・SPO2)、かんごちゃん、ご当地かんごちゃんをアピールした。                      (評価)                      学校へ出向き「看護のシゴト」などのパンフレットを配布し、家族で見ながら、体験したことや看護職について話し合ってもらうように伝えた。講義では、災害看護、特に能登半島地震に触れたときは特に興味深く聞いてもらった。看護体験は「楽しかった」と笑顔で話す児童ばかりで看護職について興味・関心を持ってもらった。                      次年度は、保護者参加型の出前講座や富山市の広報・ホームページなどメディアを積極的に活用する。</p>
	9月11日(水)	富山市立萩浦小学校	47	
	10月24日(木)	富山市立水橋東部小学校	15	
	12月4日(水)	龍谷富山高校  各病院	27	
富山西南	1.7月12日(金) 10:25~12:00	1.桜谷小学校	1.第6学年37+2	<p>ねらい：看護職の魅力ややりがいを若年層に周知し、将来の進路・職業選択に繋げる                      方法：看護師出前講座(桜谷小学校、月岡小学校、大久保小学校)                      内容：看護のしごと紹介、やりがい、看護師になるために必要なこと、看護師の資格を取得する方法など体験を交えて話をした。その他、手洗い方法、聴診器、SPO2の体験など実施する小学6年生の生徒さんに「将来の夢プロジェクト」という取り組みに看護の仕事の体験を話して欲しいという要望があり、担当支部役員の体験を紹介した。「看護の仕事についてよくわからなかったがイメージできた」「仕事は大変でもやりがいがあることが分かった」「自分の心臓の音を聴いてびっくりした」「手洗いが不十分なのがわかった」「酸素飽和度測定で人の体がよくできていると感じた」という意見があった。                      (評価)                      看護師の体験談を聴くことで小学生の生徒により看護の仕事を理解してもらえ、聴診器や酸素飽和度計などに触れることで楽しい時間を持てた。また、用意したパンフレットから話の後でも振り返ることができた。目標は達成できた。次年度も継続する。</p>
	2.9月11日(水) 10:25~12:00	2.月岡小学校	2.第6学年43+2	
	3.9月27日(金) 10:25~12:00	3.大久保小学校	3.第6学年68+2	
上 市	5月29日(水)~ 6月12日(水)	かみいち総合病院	約100	<p>目的：次世代を担う看護職の確保のため、看護職の魅力伝える。                      1.『看護の日・看護週間』に関する普及・啓発活動を実施する(ポスター掲示、ライトアップ、パンフレット、チラシ等)。                      2.管内の小中高等学校での看護体験や看護職の魅力伝える。                      ・ふれあい看護体験イベント                      ・ふれあい看護体験出前講座                      ・保護者参加型中学校看護体験                      ・高等学校就業体験及びインターンシップ等                      「看護の日・看護週間」に関する普及・啓発                      対象：病院来院者                      内容：看護の日・看護週間に関するポスター掲示、ライトアップ、看護活動の紹介等                      (評価)                      写真・イラストやライトアップによる装飾等で多くの病院来院者の興味を引き、足を止めて掲示物を閲覧していたことより、看護の魅力について興味をもってもらい情報提供を行うことができた。</p>
	6月10日(月)~ 7月5日(金)	厚生連滑川病院		
	6月8日(土) 13:00~15:30	厚生連滑川病院		

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
上 市	6月17日(月)	南加積小学校	20	ふれあい看護体験出前講座 対象：地域の小学生とその家族 内容：病院紹介、看護師・助産師・保健師の仕事紹介、看護体験（点滴滴下、妊婦体験、赤ちゃんだっこ、AED、術衣体験等） (評価) 看護体験を実施した生徒からの感想文では、「バドミントン選手になろうと思っていたけど、今日の話聞いて看護師になりたいと思った」「みんなの命や心を守っていくためにすごく大切な仕事で尊敬した」などの意見が聞かれた。質疑応答では、「手術室では、どのようなことに気をつけているのか」など活発な意見交換ができたことより看護に関する興味・関心をもってもらうきっかけになった。
	6月20日(木)	相ノ木小学校	22	
	6月27日(木)	白萩西部小学校	13	
	9:30～11:45			
	7月1日(月)～ 7月3日(水)	かみいち総合病院	5	上市中学校「社会に学ぶ14歳の挑戦」 対象：中学2年生とその家族 内容：病院各部署見学、看護体験（点滴滴下、赤ちゃんだっこ、妊婦体験、AED、バイタル測定等） (評価) 看護体験を実施した生徒からの感想文では、「体験したり、映像を見たりしたことで看護師のやりがいや仕事について理解できた」などの意見が聞かれた。また、参加した保護者からは、「看護体験を子供がとても楽しそうにしているうれしかった。将来の職業について親子で話す機会となった」との意見が聞かれた。生徒のアンケート結果より全体を通して満足であったが100%であった。看護の仕事について関心を持ってもらい、多くのことを学ぶ機会となった。
	8月5日(月)～ 8月8日(木)	かみいち総合病院	6	上市高校生インターンシップ（就業体験） 対象：上市高校2年生 内容：病院各部署見学・看護体験 (評価) 看護体験を実施した生徒は、「病院のいろいろな部署で働く看護師や多職種の仕事を学び体験したことで仕事内容について理解しもっと看護について興味を持った」などの意見が聞かれた。また、生徒のアンケート結果より全体を通して「大変満足」「満足」が100%であったことより医療の仕事について関心を持ってもらい、将来の職業選択につながる機会となった。
	11月6日(水) 11月13日(水)	かみいち総合病院	14	令和6年度上市高校職場見学 対象：上市高校1年生 内容：病院の概要、看護部の紹介、病院各部署見学（手術室、病棟、外来等） 質疑応答 (評価) 病院見学を実施した生徒は、「病院の色々な職場を見学することができ進路選択の参考になった」などの意見が聞かれた。また、生徒のアンケート結果より全体を通して「大変満足」「満足」が100%であったことより医療の仕事について関心を持ってもらい、将来の職業選択につながる機会となった。
高岡・射水・氷見	1.6月22日(土) 2.7月31日(水) 3.8月22日(木)	1.射水市民病院 2.高岡市民病院 3.新湊高校	1.射水市内中学生 10 2.高陵中学生 2 3.新湊高校生 32	目的：中・高校生に看護職の役割や魅力を伝え、未来の看護職の確保につなげる。 内容：教育委員会・校長会に働きかけて出前講座や講師紹介等の相談窓口として活用してほしいことを伝えた。 1.ふれあい看護体験「さあ、看護の未来を見つけに行こう」病院ツアー実施 2.ふれあい看護体験「DMAT 紹介、感染予防対策、食べるってどんなこと？」講義等 3.出前講座 キャリアガイダンス (評価) 今年度より高校生→中学生を対象を引き下げたが、今後は他の支部の取り組みを参考にし小学生も対象とすることを検討したい。
砺波・小矢部	8月28日(水) 午前40分 2回	富山県立石動高等学校	1・2年生 402回	ねらい：次世代を担う看護職確保のため、看護職の魅力を発信する 内 容：「看護のシゴト」について出前講座、資格の取り方の説明 (評価) 1.看護職の仕事の内容や看護の魅力、資格の取り方、看護の体験を行い、看護職を身近に感じる機会とする。 2.進路相談なども聞かれ、各個人が自分に置き換えて考えており、関心を持ってもらえた。
	9月26日(木) 10:00～10:30	公立学校共済組合北陸中央病院 社会に学ぶ14歳の挑戦	小矢部市内中学生2年生 5	ねらい：次世代を担う看護職確保のため、看護職の魅力を発信する 内 容：感染防護具の着用と着用しながら看護活動の体験 (評価) ・「患者さんに寄り添って話す姿が思いやりの心とコミュニケーション力が大切だということが分かった」と聞かれた。 ・医療の現場を知り、その中でも看護活動を体験することで看護職に興味と関心を持ってもらえた。
	10月19日(土)	南砺市民病院 病院フェスタ  砺波市、小矢部市、南砺市の小・中学校	67	テーマ：さあ、看護の未来を見つけに行こう ねらい：地域住民の方々に看護職やその仕事について理解を深めていただくとともに、様々な世代の方たちに看護の魅力を伝える機会とする 内 容：1.パネル展示（看護のお仕事紹介） 2.なりきりナース 白衣・スクラブ・手術衣・ドクターカー衣の着用と写真撮影、聴診器で心音の聴取体験 (評価) オープンセレモニーに出演した幼児から中学・高校生までそれぞれ看護師体験をとおして看護に関心を持ってもらえたと感じた。病院フェスタでの事業であったため、看護職ばかりでなく様々な医療従事者を実感する体験に繋がった。 高校生は身近な将来の職業として考える機会に繋がった。

## 5 フレイル予防に関すること

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
黒部・魚津	1・3の事業に 含む			ねらい：地域住民参加でフレイル予防への関心を高める。 内容：「フレイル自己チェック表」と「オーラルフレイル予防体操」の紹介を添付したポケットティッシュを作り、「1. 地域のニーズに応じた看護活動」「3. まちの保健室事業」の会場にて、パンフレット等とともに配布しフレイル予防を啓発した。 (評価) フレイル予防の意識を高めるには、フレイルチェックを参加者と一緒に行うなど、相互性が必要である。
富山東北	9月21日(土)	グランドプラザ	40	ねらい： 1. 高齢化社会が進む中、地域のイベントに参加し健康寿命延伸、疾病予防に向けオーラルフレイル、フレイル予防のパンフレットなどを配布し、理解を深め、地域住民への啓発を図る。 2. 富山市民と障害者、福祉団体、ボランティアとのふれあいや交流を通して、地域の福祉団体の活動への理解を深める。 ・健康相談コーナーを設置し、血圧測定、SPO2測定などの健康チェック、健康相談、ハンドマッサージを実施。 「看護のシゴト」、グッズを配布し、看護職に対する理解を深めた。 (評価) 子供たちは、ナース服を着用し、かんごちゃんと記念撮影し興味を持ってもらえた。保護者には、看護職の役割や必要性を説明し次世代看護師確保に繋いだ。 かんごちゃんを展示、着用し看護職の人材確保について説明し関心が得られた。 地域住民と交流を深めながら、健康チェックを行い、測定値について説明し日頃の健康管理の重要性を理解してもらえた。
富山西南	4月～R7.2月	富山地区内の地域で開催されるイベント会場	各イベント 50～70	ねらい： 高齢者が増加する中、健康寿命を延ばすため、自己管理ができるようフレイル予防に繋げる。 「地域のニーズに応じた看護活動」や「まちの保健室」の活動の場でフレイル予防を啓蒙実践する。 内容： 各種団体や地域で開催される催し物に参加する 健康相談コーナーを設け、地域住民の各種測定や健康相談を実施する *フレイル予防のチラシを配布、ポスター掲示 *フレイル自己チェック表付ポケットティッシュを配布 *血圧測定、SPO2測定、骨密度測定など実施 *地域住民からの相談に応じる (評価) 「ロコケン」「やつおふれあいフェスティバル」「婦中生涯学習フェスティバル」のイベントで啓蒙活動ができた。次年度は「婦中生涯学習フェスティバル」に加えて「みどり苑フェスタ」でフレイルに関するポスター、パンフレットを使い実施していく。
上 市	6月13日(木) 7月4日(木) 10月10日(木) 11月7日(木) 19:30～20:30	弓庄公民館 山加積公民館 相ノ木公民館 音杉公民館	14 23 14 8	目的：高齢化社会に向けて、フレイル予防について地域住民の理解を深め、住民が自発的に健康管理に取り組めるよう働きかける。 1. ナイトスクールでのフレイル予防啓蒙活動 対象：かみいち総合病院ナイトスクール参加者 内容：ナイトスクールにてフレイル予防パンフレットを用いてフレイル予防啓蒙活動を行った。 (評価) フレイル予防について広く情報提供を行い、住民が気軽に相談できる機会となった。
	7月16日(火) 10:00～12:00	滑川市民交流プラザ	30	2. 介護予防講義・体操 対象：滑川市のまんでん倶楽部に参加している65歳以上の地域住民 内容：地域包括支援センターと協働で、介護予防についての講義・体操を実施した。認知症予防の講義とフレイル予防のための体操を実施した。 (評価) 介護予防について、講義や体操などを行い、地域住民が日頃の疑問や不安を相談することで、介護予防やフレイルについて理解を深める機会となった。
	11月10日(日) 10:00～15:00	上市町役場駐車場	456	3. つるぎフェスティバル in かみいち ねらい：地域住民が主役となって開催する「つるぎフェスティバル in かみいち」に「まちの保健室」として出店し、地域住民に健康の大切さや助け合いの心・看護の心に興味をもってもらおう。 対象：つるぎフェスティバル in かみいち参加者 内容：かんごちゃんの着ぐるみを使用し集客、看護に興味をもってもらおう。バイタル測定、血管年齢測定、介護・健康・認知症相談、フレイル予防等 (評価) まちの保健室をつるぎフェスティバル in かみいちで行うことで、多くの地域住民にバイタル測定や骨密度、血管年齢等を測定することで気軽に健康相談等が行える機会となった。血圧・体脂肪測定(85名)、血管年齢測定(76名)、認知症相談(18名)、フレイル・骨密度測定(156名)、骨折評価(130名)等約465名の地域住民が気軽にブースを訪れ自身の健康について理解を深めた。マスコット「かんごちゃん」が子供たちの興味を誘い集客につながり、看護への興味や関心につながった。

支部	開催日	開催場所	参加者 (名)	内 容
上 市	12月から3月 までYouTube 配信	かみいち総合病院 厚生連滑川病院 管内市町村	612	4.フレイル予防に関するYouTube配信 対象：地域住民及び医療従事者（施設会員362名、個人会員52名） 内容：フレイル予防に関するYouTube動画「健やかに老いる、寝たきりにならないための智慧～知っていますか、フレイル」と「フレイル・ロコモ・サルコペニア」を作成した。上市支部会員対象に令和6年12月1日から令和7年3月31日の期間で、URLもしくはQRコードから視聴できるように案内文を10月に送付した。 (評価) YouTube動画を作成しチラシを作成・配布したことで気軽に地域住民・医療従事者に視聴してもらうことができた。厚生連滑川病院・かみいち総合病院の外來でYouTube動画を上映し、地域住民や医療従事者をはじめ、地域包括支援センターや訪問看護ステーション、看護学校等において600名以上が視聴し、フレイル予防についての理解を深め、自発的に健康管理に取り組めるよう啓発することができた。
	2月頃から配信	かみいち総合病院	不明	5.かみいち総合病院YouTubeチャンネルを開設しフレイル予防の動画配信 対象：地域住民 内容：かみいち総合病院YouTubeチャンネル開設に向け企画し、フレイル予防に関するYouTube動画「フレイル予防・嚥下体操で健康寿命を延ばしましょう！」を摂食・嚥下障害看護認定看護師とともに作成し健康講座を2月より配信した。 (評価) YouTube動画を作成し病院のホームページに掲載したことで気軽に地域住民等に視聴してもらうことができた。
	令和7年 1月24日(金) ～ 2月14日(金)	厚生連滑川病院 売店前廊下	不明	6.オーラルフレイル予防啓発活動 対象：病院来訪者 内容： オーラルフレイルに関する啓発活動（パワーポイント掲示、試供品提供、パンフレット、チラシの配布、健康相談等）を実施する。 (評価) オーラルフレイルに関する地域住民の関心が高まってきており、地域住民に対して広くオーラルフレイルに関して情報提供ができた。
高岡・射水・氷見	1. 通年	1. 高岡市民病院	一般市民 100	目的：人が集まるイベント等に出向き、広く生活習慣病予防、フレイル予防等の啓発や健康相談を行う。 内容： 1.糖尿病教室で健康づくりの啓発、健康相談を併せて実施 2.骨粗鬆教室で健康づくりの啓発、健康相談を併せて実施 3.精神障害者支援施設イベント「あしつき秋祭り」で血圧測定、健康相談実施 4.高岡市イベント「高岡市民健康フォーラム」で健康相談、骨密度測定・ペジチェック測定実施 5.射水市イベント「射水市在宅医療と介護を考える市民講座」で健康相談、骨密度測定、血圧測定実施 6.「射水市シルバーまつり」で健康相談、骨密度測定実施 (評価) 1・2教室のテーマだけでなく、フレイル予防の啓発も併せて行い生活習慣全般を振り返る機会としていただいた。3 精神障害当事者・家族に丁寧に対応し、健康支援に努めた。4～6 健康相談のみに来場する者は少ないため、機器を用いた健康チェックを行い、結果説明に併せ、生活習慣病予防や介護予防を啓発することができた。
	2. 通年	2. 射水市民病院	133	
	3. 10月5日(土) 10:30～14:30	3. あしつきふれあいの郷	18	
	4. 11月17日(日) 13:00～16:00	4. 高岡市ふれあい福祉センター	96	
	5. 12月8日(日) 13:00～16:00	5. 救急薬品市民交流プラザ	24	
	6. 令和7年 3月10日(月) 10:00～15:00	6. 救急薬品市民交流プラザ	60	
砺波・小矢部	令和7年 2月1日(土) 10:00～12:30	南砺市ショッピングセンター	36	テーマ：フレイルの日 啓発活動 ねらい： ショッピングセンター来場者に心身の衰えの兆候となる「フレイル」とは何かを理解し、日々の生活の中で取り組める3本柱「食事・運動・社会参加」の大切さを知ってもらう。 「フレイル」の兆候を、「フレイルチェック（簡易版）」でチェックし、自分事として考えるきっかけとする。 内 容：健康相談 血圧測定、健康に関する相談対応 (評価) ショッピングセンター正面入り口での開催であり、多くの来場者が5つあるブースそれぞれで列を作りながら待っていた。 健康相談ブースにも普段の生活を振り返りながら、アドバイスを求められる方々が途切れることなく訪問があり、相談もであるが人とのつながりを求めていることもわかった。相談者の方の中には、周囲の方が施設に入ったり、サロンへ来られなくなり人と話す機会が少なくなったため、このような企画はうれしいと話される方もいた。 来場者にかんごちゃんのクリアファイルをお渡した。好評をいただき、看護協会の活動もPRすることができた。 「看護協会 砺波・小矢部支部」の旗を出していたが、南砺市の住民は健康相談を受けることができないのかと尋ねられ、ご利用していただけることを伝え、活用頂いた。

# 令和6年度 支部長会報告

## 1 目的

地域共生社会において、看々連携を深め行政や関係機関を巻き込んだ活動が求められる。令和2年度より新しい支部体制とし、施設の看護管理者に支部長を担っていただく仕組みにするとともに、支部間の情報共有や支部活動の強化を図るため、県内6支部長等による支部長会を年2回開催している。

## 2 出席者

支部長、担当理事、協会長、専務理事、職員 計14名

## 3 開催日及び内容

第1回 令和6年9月9日(月)

- 1) 会長より日本看護協会の情報提供
- 2) 支部活動の進捗状況報告
- 3) 協議事項

- ・富山県看護協会ホームページ「支部活動」コンテンツの充実を図るため、今年度より5つの事業毎に活動計画・内容を掲載することとした。
- ・病院によっては、YouTubeチャンネルやホームページにおいて地域住民向けの動画配信を行っていた。上市支部では、今年度初めてフレイル予防に関するYouTube配信を準備中であった。地域住民が気軽に視聴できるような動画の作成・活動が有効であることを確認した。
- ・看護活動の認知度向上のため、新聞や地元紙への掲載など、報道を積極的に活用していくことを申し合わせた。

第2回 令和6年12月9日(月)

- 1) 会長より日本看護協会の情報提供
- 2) 支部活動の進捗状況、次年度の活動計画報告
- 3) 協議事項

- ・すでに実施されているイベントへの参加や、市町村保健師とコラボレーションしながら、活動の幅を広げてく。後期高齢者医療広域連合からも、関係団体（例：歯科医師会、理学療法士会、栄養士会、薬剤師会等）との連携の依頼があることについて情報共有した。
- ・次期の支部役員改選にあたり、新たな施設を開拓することを検討していく。支部長を含む役員を民間病院の会員施設から選出いただくなど、幅広く働きかけていくことについて確認した。

## 4 理事・支部長名簿

支部名	担当理事	支部長
黒部・魚津	渡邊和美（黒部市民病院）	山本陽子（あさひ総合病院）
富山東・北	川岸孝美（かみいち総合病院）	籠井瑞穂（富山市富山まちなか病院）
富山西・南		南 峰子 （特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院）
上市		沖山正子（かみいち総合病院）
高岡・射水・氷見	稲見年美（高岡市民病院）	高柳知子 （高岡市福祉保健部 健康増進課）
砺波・小矢部	吉澤 環（南砺市民病院）	中山詠美 （公立学校共済組合 北陸中央病院）

# 令和6年度 富山県看護協会 施設別・職種別会員数

令和7年3月31日現在

施設名	保	助	看	准	合計	施設名	保	助	看	准	合計
あさひ総合病院			89	1	90	流杉病院			25	1	26
射水市民病院	1		139		140	医療法人新川病院			3		3
金沢医科大学水見市民病院			190	4	194	医療法人社団にしのみ 西野内科病院			2		2
かみいち総合病院	3	2	129	1	135	医療法人社団尽誠会 野村病院			6		6
黒部市民病院	2	23	308		333	医療法人社団健心会 坂東病院			4		4
厚生連高岡病院	25	18	504		547	光ヶ丘病院			58	11	69
厚生連滑川病院	6	7	136	2	151	姫野病院			1		1
市立砺波総合病院	5	26	369		400	医療法人深川病院			8		8
高岡市民病院 看護科	7	6	312		325	医療法人社団良俊会 ふくの若葉病院			15		15
独立行政法人地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院	6		68	1	75	医療法人財団恵仁会 藤木病院			4		4
富山県済生会高岡病院		20	228		248	不二越病院	7		62	2	71
富山県済生会富山病院	1		206		207	医療法人財団北聖会 北聖病院			3		3
富山県立中央病院		76	712		788	政岡内科病院			7		7
富山県リハビリテーション病院・こども支援センター			144		144	医療法人社団秋桜 丸川病院			25	2	27
富山市立富山市民病院		21	454		475	南富山中川病院			2		2
富山市立富山まちなか病院		2	28		30	医療法人社団双星会 みなみの星病院			13		13
富山赤十字病院	9	39	395		443	医療法人高岡みなみハートセンター みなみの杜病院		1	15	1	17
国立大学法人富山大学附属病院		58	684		742	特定医療法人社団三医会 三輪病院			18		18
独立行政法人国立病院機構 富山病院			53		53	医療法人社団友愛病院会 友愛温泉病院			11		11
独立行政法人労働者健康安全機構 富山労災病院	1	4	178		183	医療法人社団友愛病院会 陽和温泉病院			12		12
公立南砺中央病院			68		68	特定医療法人財団博仁会 横田記念病院			17	5	22
南砺市民病院	3		125	4	132	医療法人社団秀林会 吉見病院			2		2
公立学校共済組合 北陸中央病院	1		124		125	医療法人社団博啓会 アイ・クリニック	1		1		2
独立行政法人国立病院機構 北陸病院			35		35	あい ART クリニック			1		1
医療法人社団寿山会 あおい病院			7		7	医療法人社団信和会 魚津神経サナトリウム			1		1
医療法人社団睦心会 あさなぎ病院			16		16	医療法人社団桜仁会 さくらニューロクリニック			3		3
医療法人社団アルベン会 アルベリハビリテーション病院			11		11	かんすいこうえんレディースクリニック		4			4
池田リハビリテーション病院			10	1	11	くれよん在宅クリニック			1		1
いま泉病院			3		3	けやきひふ科			1		1
医療法人社団スバル うおぎさファミリー病院	1		8		9	女性クリニックWe 富山			1		1
医療法人社団七徳会 魚津病院			16		16	セーナー苑診療所			9		9
医療法人社団弘仁会 魚津緑ヶ丘病院			7	5	12	瀬尾内科医院			1		1
医療法人社団櫻の木会 大島くるみ病院			4		4	高岡市急患医療センター			1		1
医療法人社団東方会 おおやま病院			20	4	24	富山駅前おおむら内科内視鏡クリニック			1		1
医療法人社団あずさ会 川田病院			1		1	医療法人社団寿恵会 津田産婦人科医院		1			1
医療法人社団仁清会 グリーンヒルズ若草病院			1		1	なかしま産婦人科		13	8	1	22
医療法人社団基伸会栗山病院・栗山介護医療院			1		1	長田整形外科クリニック			1		1
医療法人社団友愛病院会 黒部温泉病院			12		12	沼内科医院			5		5
医療法人社団白雲会 呉陽病院			2		2	医療法人社団萩野医院			2		2
特定医療法人財団五省会 西能病院	1		67	4	72	医療法人社団 吉本レディースクリニック		3	2		5
特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院			29	1	30	富山県厚生部医務課	2		1		3
医療法人社団平成会 桜井病院			2		2	富山県 厚生部 厚生企画課	2				2
医療法人社団整志会 沢田記念高岡整志会病院			71		71	富山県厚生部健康対策室健康課	8				8
医療法人社団志貴野会 サンパリー高岡病院			10		10	富山県厚生部高齢福祉課	3				3
医療法人社団志貴野会 サンパリー福岡病院			3		3	富山県厚生部障害福祉課	2				2
医療法人社団清幸会 島田病院			3		3	富山県厚生部こども家庭室子育て支援課	2				2
常願寺病院			7		7	富山県経営管理部人事課	1				1
医療法人社団城南会 城南内科介護医療院			3		3	富山県心の健康センター	5				5
医療法人真生会 真生会富山病院	1		175	1	177	富山県高岡厚生センター	15				15
医療法人社団正啓会 成和病院			1		1	富山県高岡厚生センター 射水支所	7				7
医療法人社団和敬会 谷野黒山病院	1		49		50	富山県高岡厚生センター 氷見支所	9				9
チューリップ長江病院			15		15	富山県高岡児童相談所	2				2
医療法人社団寿恵会 つぎわ津田病院			7		7	富山県中部厚生センター	9				9
医療法人社団藤和会 砺波サンシャイン病院			2		2	富山県砺波厚生センター	10				10
医療法人社団三医会 となみ三輪病院			8	1	9	富山県砺波厚生センター 小矢部支所	4				4
富山医療生活協同組合 富山協立病院			67		67	富山県富山児童相談所	2				2
医療法人社団城南会 富山城南病院			15		15	富山県新川厚生センター	12				12
医療法人社団藤聖会 富山西総合病院	1		133	1	135	富山県新川厚生センター 魚津支所	5				5
医療法人社団親和会 富山西リハビリテーション病院			50	2	52	富山県立黒部学園	1				1
医療法人財団正友会 中村記念病院			6		6	富山市保健所	16		2		18

施設名	保	助	看	准	合計
富山市大沢野保健福祉センター	5				5
富山市大山保健福祉センター	3				3
富山市北保健福祉センター	10				10
富山市中央保健福祉センター	15				15
富山市西保健福祉センター	10				10
富山市南保健福祉センター	11				11
富山市八尾保健福祉センター	6				6
富山市福祉保健部介護保険課	2				2
富山市福祉保健部障害福祉課	1				1
富山市福祉保健部長寿福祉課	9				9
富山市福祉保健部保険年金課	4				4
富山市まちなか総合ケアセンター	5	2	4		11
富山市まちなか総合ケアセンター病児保育室			1		1
富山市役所こども家庭部こども健康課	8				8
富山市役所こども家庭部こども保育課			3		3
富山市役所福祉保健部福祉政策課	2				2
高岡市福祉保健部	29	1			30
射水市保健センター	24				24
魚津市健康センター	10				10
魚津市役所 社会福祉課	5				5
氷見市役所	8				8
滑川市民健康センター	5				5
滑川市役所 医療保健課	5				5
砺波市健康センター	22				22
小矢部市民生部健康福祉課	16		1		17
南砺市健康課保健センター	5	1			6
南砺市役所健康課	4				4
南砺家庭地域医療センター			3		3
南砺市地域包括支援センター	3				3
南砺市上平診療所			1		1
舟橋村役場生活環境課	4				4
上市町役場福祉課	5		1		6
立山町健康福祉課	12	1			13
入善町保健センター	7				7
朝日町保健センター	2				2
公益社団法人砺波医師会 砺波准看護学院		1	4		5
富山医療福祉専門学校		1	9		10
学校法人富山国際学園富山短期大学	2				2
富山県高岡看護専門学校	2	5	18		25
公立大学法人富山県立大学看護学部看護学科	6	8	40		54
富山県立富山いずみ高等学校 看護科		1	7		8
富山県立高志支援学校			1		1
富山福祉短期大学			2		2
富山市医師会看護専門学校		1	12		13
富山市立看護専門学校	1	1	10		12
国立大学法人富山大学医学部看護学科		1	1		2
株式会社Yメディカルサービス あさぎ訪問看護ステーション			2		2
朝日町在宅介護支援センター 訪問看護ステーション			3		3
訪問看護ステーションあばかど			5		5
医療法人社団すまいる おれんじ訪問看護ステーション			7		7
下新川郡医師会 黒部訪問看護ステーション			1		1
ケアメディカルおやべ 訪問看護ステーション			1		1
光風会訪問看護ステーション			5		5
高志訪問看護ステーション			2		2
社会福祉法人富山城南会 しみずまら敬老訪問看護ステーション	1		2		3
訪問看護ステーションジョジョ			2		2
高岡市医師会訪問看護ステーション	1		5		6
NPO法人シャフト訪問看護ステーションだこた			2		2
訪問看護ナースソフィアにいかわ			2		2
中新川訪問看護ステーション			5		5
滑川市医師会訪問看護ステーション			1		1
南砺市訪問看護ステーション			13		13
訪問看護ステーションなでしこ			2		2
訪問看護ステーションなないろ			1		1
東岩瀬訪問看護ステーション			1		1
氷見訪問看護ステーション			7		7

施設名	保	助	看	准	合計
訪問看護ステーションほのぼの				1	1
訪問看護ステーションままアシスト				6	6
ものがたり訪問看護ステーション				2	2
もみじ訪問看護ステーション				4	4
南砺市井波在宅支援センター				1	1
訪問看護ステーションゆりかご	2			4	6
株式会社ア・ファミユ 訪問看護ステーションわか木				4	4
(医)信和会障害者社会復帰センターあゆみの郷	1				1
社会福祉法人射水福祉会 いみず会				1	1
社会福祉法人小杉福祉会 大江苑デイサービスセンター				2	2
富山型デイサービス くわの里				1	1
特定非営利活動法人デイサービス このゆびとまれ				2	2
社会福祉法人くるみ				1	1
ナーシングホーム悠ライフ 富山				2	2
社会福祉法人福寿会				1	1
社会福祉法人マーシ園療護ホーム				1	1
介護老人保健施設おおぞら				7	7
介護老人保健施設さくら苑				1	1
介護老人保健施設 城端うらら				1	1
老人保健施設シルバーケア今泉				1	1
シルバーケア城南				1	1
介護老人保健施設シルバーケア羽根苑				1	1
グループホーム ひより				1	1
ケアポート庄川				1	1
介護老人保健施設チューリップ苑				5	5
入善老人保健施設こぶしの庭				5	5
特定医療法人財団五省会 介護老人保健施設みどり苑				8	8
八尾老人保健施設風の庭				4	4
介護老人保健施設ゆうゆうハウス				2	2
特別養護老人ホーム 敬寿苑				4	4
特別養護老人ホーム やなせ苑				2	2
社会福祉法人梨雲福祉会特別養護老人ホーム 梨雲苑				9	9
介護施設 日和野				1	1
養護老人ホーム志貴野長生寮				1	1
富山市立愛宕保育所				2	2
富山市立大久保認定こども園				1	1
富山市立呉羽保育所				1	1
南砺市城端さくら保育園				1	1
富山市立新庄保育所				1	1
ふなはしこども園				1	1
(福)あおぞらこども福祉会 堀川保育園				1	1
JFEミネラル株式会社 クロム&リサイクル事業部	1				1
富山市医師会健康管理センター	3			5	8
北陸予防医学協会高岡総合健診センター				1	1
とやま介護テクノロジー普及・推進センター				1	1
富山県がん総合相談支援センター				1	1
富山県国民健康保険団体連合会	1				1
富山県看護連盟				4	4
公益社団法人富山県看護協会	2	2		8	12
訪問看護ステーションひよどり				5	5
訪問看護ステーションひよどり富山				3	3
ひよどり富山居宅介護支援事業所				3	3
神明・五福地域包括支援センター	1				1
個人会員	24	49	740	11	824
合計	505	402	7,932	77	8,916

## 令和6年度 受章(彰)者名簿

種 別	受章(彰)者	所属 (受章(彰)時)
春の叙勲 瑞宝単光章	相 澤 幸 子	元 富山県リハビリテーション病院・ こども支援センター
秋の叙勲 瑞宝双光章	高 木 雅 美	金沢医科大学氷見市民病院
秋の叙勲 瑞宝単光章	太 田 和 美	元 かみいち総合病院
日本看護協会会長表彰	石 丸 敏 子	元 公益社団法人富山県看護協会
	高 木 雅 美	金沢医科大学氷見市民病院
富山県部門功労表彰	朝 野 裕 美	元 医療法人社団和敬会 谷野呉山病院
	安 念 恵 子	元 富山市役所
	原 田 洋 美	特定医療法人財団五省会 西能病院
	松 島 淳 子	医療法人社団親和会 チューリップ訪問看護ステーション
	米 山 美智代	学校法人浦山学園 富山福祉短期大学
富山県看護協会会長表彰	岩 田 三津子	氷見市こども家庭センター
	大 田 優 子	富山市まちなか総合ケアセンター
	大 庭 純 子	高岡市民病院
	小 倉 里 美	市立砺波総合病院
	渋 谷 美保子	富山県済生会高岡病院
	白 井 志津世	富山赤十字病院
	瀬 山 尚 子	富山県済生会富山病院
	丸 池 小百合	国立大学法人富山大学附属病院
	吉 澤 環	南砺市民病院
	利 田 智 恵	富山県高岡厚生センター氷見支所

# 令和6年度 富山県看護協会 役員及び委員名簿

## ●役員 (25名)

役職名	氏名	施設名
会長	岡本里美	公益社団法人富山県看護協会
副会長	中島眞由美	学校法人富山国際学園富山短期大学
副会長	渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
専務理事	吉田智子	公益社団法人富山県看護協会
常任理事	藤井淳子	公益社団法人富山県看護協会
保健師 職能理事	若杉央	富山県高岡厚生センター
助産師 職能理事	炭田恵	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
看護師 職能I理事	小倉里美	市立砺波総合病院
看護師 職能II理事	小原留美	光風会訪問看護ステーション
監事	秋山朝子	厚生連高岡病院
〃	丸池小百合	国立大学法人富山大学附属病院
〃	河村拓栄	河村公認会計士事務所
理事	稲見年美	高岡市民病院
〃	海原真澄	厚生連滑川病院
〃	重松理恵	富山市立富山市民病院
〃	川岸孝美	かみいち総合病院
〃	白井志津世	富山赤十字病院
〃	瀬山尚子	富山県済生会富山病院
〃	高長雅美	富山県立中央病院
〃	谷川智子	富山市まちなか総合ケアセンター
〃	向千春	金沢医科大学氷見市民病院
〃	吉岡智子	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
〃	吉澤環	南砺市民病院
〃	渡邊和美	黒部市民病院
〃	中田千亜紀	不二越病院

## ●保健師職能委員 (8名)

○副委員長

氏名	施設名
石川真由美	滑川市民健康センター
金谷真利佳	富山県高岡厚生センター
河原歩	富山市中央保健福祉センター
酒井昌子	射水市保険年金課
○高野あずさ	南砺市役所こども課
坪野由美	厚生連高岡病院
林楓	入善町保健センター
守田美穂	富山県中部厚生センター

## ●助産師職能委員 (8名)

○副委員長

氏名	施設名
相澤舞衣	黒部市民病院
竹澤玲美	高岡市民病院
竹田英子	市立砺波総合病院
鍋田祐美子	なべた助産院
萩中優子	富山赤十字病院
土師里美	国立大学法人富山大学附属病院
○林輝美	厚生連高岡病院
廣川絢	富山県立中央病院

## ●看護師職能I委員 (8名)

○副委員長

氏名	施設名
窪田雅江	北陸中央病院
笹倉博恵	富山県済生会富山病院
田畑美沙子	あさひ総合病院
橋本美紀	富山赤十字病院
○藤澤都絵	富山市立富山市民病院
宝田佐己子	富山県済生会高岡病院
水戸伊希子	射水市民病院
加藤歩実	おおやま病院

## ●看護師職能II委員 (8名)

○副委員長

氏名	施設名
猪谷亜希子	となみ三輪病院
内山ますみ	医療法人深川病院
○加藤直美	医療法人社団すまいるおれんじ訪問看護ステーション
高田明子	医療法人社団寿山会 あおい病院
波川満喜	特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院
森初美	医療法人社団尽誠会 野村病院
森田知佳子	南砺市訪問看護ステーション
佐々木嘉子	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院

●総務委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
○石田 めぐみ	射水市民病院
小川 紀代美	高岡市民病院
◎越坂 裕子	あさひ総合病院
寿盛 志津子	市立砺波総合病院
○黒田 昌樹	独立行政法人国立病院機構 北陸病院
藤名 裕美	上市町役場福祉課
古川 明子	特定医療法人財団五省会 西能病院
水落 治江	富山市立富山市民病院

●教育委員（18名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
石黒 伸昌	あさひ総合病院
○大井 圭子	国立大学法人富山大学附属病院
大重 亜希子	かみいち総合病院
上川 莉穂	富山県砺波厚生センター
上庄 薫	金沢医科大学水見市民病院
神田 亜矢子	富山市立富山市民病院
○酒井 香津美	富山赤十字病院
島田 英子	富山市医師会看護専門学校
市山 加奈恵	市立砺波総合病院
竹田 陸	厚生連高岡病院
田中 敦	富山県高岡看護専門学校
○丹保 香寿栄	富山県立中央病院
豊本 香里	高岡市民病院
仲井 杏子	富山市北保健福祉センター
西川 陽子	独立行政法人労働者健康安全機構富山労災病院
◎浜田 清美	黒部市民病院
森河 尚江	南砺市民病院
森下 幸子	特定医療法人財団五省会 西能病院

●広報委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
赤井 明代	厚生連滑川病院
伊勢呂 博恵	富山県済生会高岡病院
市川 憲子	富山赤十字病院
◎表寺 朱美	富山県済生会富山病院
桑原 久美子	不二越病院
酒井 加奈子	国立大学法人富山大学附属病院
戸田 敬子	射水市民病院
水上 静	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
山岸 久枝	富山県立中央病院
○山田 雅実	富山市保健所 地域健康課

●社会経済福祉委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
○井上 桂子	独立行政法人国立病院機構 富山病院
小倉 珠美	医療法人真生会 真生会富山病院
杉森 裕子	富山市立富山まちなか病院
中空 真由美	富山県立中央病院
西田 雅人	独立行政法人地域医療機能推進機構高岡ふしき病院
◎水野 博美	かみいち総合病院
向山 忍	公立学校共済組合 北陸中央病院
山本 麻美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

●看護倫理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
高 しのぶ	厚生連高岡病院
○辻口 てるみ	富山赤十字病院
中澤 美架	富山県済生会高岡病院
◎福澤 智香子	黒部市民病院
森木 郷江	市立砺波総合病院

●医療安全委員（6名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
東野 順子	金沢医科大学水見市民病院
久和 弘子	富山県済生会富山病院
小村 敬子	高岡市民病院
◎関堂 好子	富山市立富山市民病院
高橋 美由紀	国立大学法人富山大学附属病院
○濱田 裕子	黒部市民病院

●災害看護委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
木村 絵理香	高岡市民病院
鈴木 浩美	黒部市民病院
能登 亜希	市立砺波総合病院
◎水口 直美	富山県立中央病院
○山口 都	富山市立富山市民病院

●学会委員（8名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
大江 美由紀	富山市立富山市民病院
川部 恵	富山県済生会富山病院
○坂中 善恵	富山市立看護専門学校
田村 愛	国立大学法人富山大学附属病院
◎寺井 彩	厚生連高岡病院
○野尻 都	富山県高岡看護専門学校
堀 泰雄	富山県立中央病院
山田 裕子	市立砺波総合病院

●選挙管理委員（5名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
浦本 かおり	黒部市民病院
中谷 栄里子	市立砺波総合病院
◎宮田 美絵	富山県立中央病院
○村岡 裕子	国立大学法人富山大学附属病院
若松 裕子	富山市西保健福祉センター

●推薦委員（10名） ◎委員長 ○副委員長

氏名	施設名
岩崎 まみ	黒部市民病院
岡部 陽子	富山県新川厚生センター
○工藤 智子	砺波市健康センター
鈴木 隆子	富山西総合病院
大門 香織	国立病院機構北陸病院
土井 伸子	厚生連高岡病院
橋本 唯菜	魚津市役所
◎針原 昌美	真生会富山病院
樋口 朋子	富山市立富山市民病院
森田 礼子	富山赤十字病院

認定看護管理者教育課程 教育運営委員（10名）

氏名	施設名
丸池小百合	国立大学法人富山大学附属病院
高長雅美	富山県立中央病院
稲見年美	高岡市民病院
渡邊和美	黒部市民病院
小倉里美	市立砺波総合病院
西谷美幸	富山大学大学院医学薬学研究部 基礎看護学
神保浩子	富山市立看護専門学校
平和美	富山県厚生部医務課
藤井淳子	富山県看護協会
佐伯久恵	富山県看護協会

富山県新卒訪問看護師育成検討委員（11名）

氏名	施設名
河野由美子	公立大学法人富山県立大学
木林寿恵	富山県高岡看護専門学校
高長雅美	富山県立中央病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
村田伊紀子	富山県済生会高岡病院
中井ともこ	真生会訪問看護ステーションこころ
小原留美	光風会訪問看護ステーション
伊勢呂博恵	済生会高岡訪問看護ステーション
岡本里美	富山県看護協会
若林勇人	富山県厚生部高齢福祉課
平和美	富山県厚生部医務課

富山県ナースセンター事業運営委員会（15名）

氏名	施設名
加藤弘之	富山労働局
小倉憲一	富山県厚生部医務課
木本達也	富山県市長会
村岡裕子	社会福祉法人富山県社会福祉協議会
長谷川徹	公益社団法人富山県医師会
川端雅彦	富山県済生会高岡病院
高長雅美	富山県立中央病院
渡邊和美	黒部市民病院
川岸孝美	かみいち総合病院
稲見年美	高岡市民病院
吉澤環	南砺市民病院
山本裕美子	医療法人光ヶ丘病院
中井ともこ	真生会訪問看護ステーションこころ
若杉央	富山県高岡厚生センター
神保浩子	富山市立看護専門学校

看護職のワーク・ライフ・バランス推進委員（10名）

氏名	施設名
北島友香	公立大学法人富山県立大学
佐藤好久	富山県医療勤務環境改善支援センター
川岸孝美	かみいち総合病院
渋谷美保子	富山県済生会高岡病院
佐伯久恵	富山県看護協会
山本麻美	富山県リハビリテーション病院・こども支援センター
中村真由美	富山県厚生部医務課
稲村睦子	富山県看護協会
吉田智子	富山県看護協会
境信子	富山県看護協会 ナースセンター

## 令和6年度 富山県看護協会支部役員名簿

支 部	担当理事	支 部 長	副支部長	会 計	役 員
黒部・魚津	㊦渡邊和美 (黒部市民病院)	㊦山本陽子 (あさひ総合病院)	㊦朝倉由紀 (独立行政法人労働者健康 安全機構富山労災病院)	㊦伊藤貴美 (魚津市健康センター)	㊦今井知明 (黒部市民病院)
					㊦山崎 鞠 (富山県新川厚生センター魚津支所)
富山東北		㊦籠井瑞穂 (富山市立富山まちなか病院)	㊦郷谷さと美 (富山赤十字病院)	㊦高澤秀幸 (富山県リハビリテーション 病院・こども支援センター)	㊦横田 葵 (入善町保健センター)
					㊦宮本理恵 (富山市福祉保健部 保険年金課)
富山西南	㊦川岸孝美 (かみいち総合病院)	㊦南 峰子 (特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院)	㊦上山雅代 (国立大学法人 富山大学附属病院)	㊦梅村多恵子 (富山市まちなか 総合ケアセンター)	㊦大上戸 薫 (富山県立中央病院)
					㊦飯野由美子 (富山県済生会富山病院)
上 市		㊦沖山正子 (かみいち総合病院)	㊦松井由香 (上市町役場 福祉課)	㊦砂田みさえ (厚生連滑川病院)	㊦中林麻紀子 (医療法人社団城南会 富山城南病院)
					㊦綿 珠美 (独立行政法人国立病院機構 富山病院)
高岡・射水・ 氷見	㊦稲見年美 (高岡市民病院)	㊦高柳知子 (高岡市福祉保健部 健康増進課)	㊦谷内口 圭子 (金沢医科大学氷見市民病院)	㊦中田澄香 (厚生連高岡病院)	㊦麻柄宣子 (医療法人社団和敬会 谷野呉山病院)
					㊦堀田博子 (富山市保健所 保健予防課)
砺波・小矢部	㊦吉澤 環 (南砺市民病院)	㊦中山詠美 (公立学校共済組合 北陸中央病院)	㊦松木靖子 (医療法人真生会 真生会富山病院)	㊦土屋孝子 (砺波地方介護保険組合)	㊦柴田久美 (かみいち総合病院)
					㊦志村珠美 (厚生連滑川病院)
砺波・小矢部			㊦平林佳枝 (公立南砺中央病院)	㊦遠藤陽子 (独立行政法人 国立病院機構北陸病院)	㊦大庭純子 (高岡市民病院)
					㊦柏嶋由香里 (射水市民病院)
砺波・小矢部					㊦竹原美香 (富山県高岡厚生センター)
					㊦中島由華 (氷見市役所 健康課)
砺波・小矢部					㊦有沢 円 (富山県済生会高岡病院)
					㊦諸江由紀子 (独立行政法人地域医療機能 推進機構高岡ふしき病院)
砺波・小矢部					㊦森 留美 (公益社団法人氷見市医師会 氷見訪問看護ステーション)
					㊦井上まさ代 (医療法人高岡みなみハート センターみなみの杜病院)
砺波・小矢部			㊦川村純子 (富山県砺波厚生センター)		㊦野原良子 (南砺市民病院)
					㊦田中晴美 (市立砺波総合病院)

令和7年度日本看護協会  
代議員及び予備代議員名簿

(五十音順)

No.	代 議 員			予 備 代 議 員		
	職種	氏 名	勤 務 先	職種	氏 名	勤 務 先
1	看	小 倉 里 美	市立砺波総合病院	看	沖 山 正 子	かみいち総合病院
2	看	小 原 留 美	社会福祉法人光風会 光風会訪問看護 ステーション	保	河 原 歩	富山市保健所
3	助	炭 田 恵	東北労災病院	准看	佐々木 嘉 子	独立行政法人 地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院
4	保	中 島 眞由美	学校法人富山国際学園 富山短期大学	看	渋谷 美保子	富山県済生会高岡病院
5	准看	中 田 千亜紀	不二越病院	看	高 島 和 代	不二越病院
6	看	南 峰 子	特定医療法人財団五省会 西能みなみ病院	助	林 輝 美	富山県厚生農業協同組合 連合会高岡病院
7	看	諸 江 由紀子	独立行政法人 地域医療機能推進機構 高岡ふしき病院	助	藤 井 淳 子	公益社団法人 富山県看護協会
8	保	吉 田 智 子	公益社団法人 富山県看護協会	看	藤 澤 都 絵	富山市立富山市民病院
9	保	若 杉 央	富山県高岡厚生センター	看	森 田 知佳子	南砺市訪問看護 ステーション



# 会員数と入会率

	合計				保健師				助産師			
	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)
	人	人	人	%	人	人	人	%	人	人	人	%
北海道	40,986	42,375	85,100	50	1,099 ( 70 )	1,131 ( 77 )	3,288	34	1,269	1,314	1,571	84
青森	8,319	8,557	18,886	45	212 ( 12 )	212 ( 12 )	709	30	323	324	340	95
岩手	7,646	7,756	18,087	43	299 ( 8 )	306 ( 8 )	831	37	313	329	394	84
宮城	12,743	13,035	27,883	47	253 ( 9 )	263 ( 9 )	1,165	23	632	660	771	86
秋田	6,632	6,811	15,267	45	160 ( 8 )	162 ( 11 )	625	26	286	298	284	105
山形	7,816	7,960	15,850	50	321 ( 11 )	337 ( 11 )	720	47	362	372	360	103
福島	11,988	12,303	25,631	48	340 ( 28 )	350 ( 34 )	1,112	31	406	412	604	68
茨城	15,657	15,904	32,641	49	329 ( 15 )	353 ( 16 )	1,357	26	571	598	761	79
栃木	12,387	12,425	25,696	48	473 ( 14 )	488 ( 15 )	1,093	45	425	411	571	72
群馬	11,237	11,479	27,658	42	563 ( 39 )	585 ( 40 )	1,132	52	343	357	547	65
埼玉県	24,078	24,919	69,532	36	382 ( 43 )	395 ( 44 )	2,311	17	949	960	1,615	59
千葉県	27,661	28,034	62,016	45	377 ( 24 )	391 ( 24 )	2,461	16	902	916	1,603	57
東京都	40,991	42,982	145,776	29	403 ( 24 )	390 ( 22 )	4,821	8	2,008	2,095	4,184	50
神奈川県	34,730	36,503	87,768	42	600 ( 37 )	648 ( 41 )	2,862	23	1,211	1,254	2,494	50
新潟	15,659	16,060	30,281	53	800 ( 38 )	814 ( 39 )	1,246	65	569	600	742	81
山梨	5,842	5,949	11,316	53	484 ( 15 )	492 ( 17 )	646	76	186	185	255	73
長野	14,572	14,732	31,203	47	1,109 ( 57 )	1,094 ( 59 )	1,857	59	687	691	872	79
富山	8,916	8,961	17,150	52	505 ( 15 )	514 ( 15 )	721	71	402	402	430	93
石川	9,397	9,711	18,642	52	239 ( 9 )	234 ( 10 )	623	38	296	309	389	79
福井	6,465	6,499	12,845	51	218 ( 8 )	220 ( 7 )	528	42	225	217	258	84
岐阜	12,443	12,693	25,404	50	290 ( 11 )	345 ( 10 )	1,122	31	425	453	640	71
静岡県	22,495	22,704	44,510	51	491 ( 25 )	510 ( 21 )	1,891	27	887	892	1,085	82
愛知県	38,659	40,465	83,420	49	504 ( 20 )	566 ( 21 )	3,066	18	1,602	1,638	2,334	70
三重	11,612	11,748	24,479	48	130 ( 5 )	135 ( 6 )	859	16	354	359	496	72
滋賀	9,147	9,211	17,478	53	310 ( 8 )	326 ( 8 )	723	45	338	324	536	60
京都	16,015	16,697	35,245	47	262 ( 25 )	281 ( 29 )	1,368	21	602	624	929	67
大阪	50,223	52,964	102,959	51	561 ( 21 )	590 ( 21 )	2,641	22	1,988	2,075	2,700	77
兵庫県	30,107	31,389	71,107	44	643 ( 25 )	653 ( 24 )	2,223	29	985	1,028	1,543	67
奈良	9,491	9,674	16,999	57	93 ( 2 )	98 ( 2 )	648	15	290	302	408	74
和歌山	6,060	6,118	14,962	41	144 ( 10 )	136 ( 11 )	535	25	217	213	253	84
鳥取	4,209	4,296	10,123	42	99 ( 3 )	99 ( 2 )	388	26	206	209	246	85
島根	5,748	5,828	12,642	46	240 ( 8 )	252 ( 8 )	573	44	277	284	334	85
岡山	17,371	17,664	30,014	59	713 ( 18 )	727 ( 17 )	1,159	63	432	435	560	78
広島	19,673	20,063	44,944	45	333 ( 13 )	342 ( 13 )	1,455	24	467	485	727	67
山口	9,946	10,112	25,059	40	447 ( 11 )	461 ( 10 )	783	59	317	324	411	79
徳島	4,657	4,810	13,488	36	136 ( 1 )	143 ( 1 )	476	30	241	247	273	90
香川	7,528	7,677	16,479	47	195 ( 5 )	203 ( 4 )	628	32	304	309	318	97
愛媛	9,958	10,146	22,575	45	348 ( 13 )	352 ( 12 )	763	46	238	235	289	81
高知	5,962	6,270	14,934	42	113 ( 2 )	119 ( 2 )	578	21	149	157	206	76
福岡	42,061	42,860	83,040	52	627 ( 24 )	654 ( 27 )	2,314	28	1,066	1,055	1,597	66
佐賀	5,276	5,462	16,564	33	177 ( 3 )	185 ( 3 )	552	34	103	109	245	44
長崎	9,529	9,790	26,023	38	166 ( 4 )	161 ( 3 )	824	20	195	203	471	43
熊本	15,482	15,640	34,868	45	475 ( 14 )	491 ( 14 )	1,103	45	377	386	508	76
大分	9,965	10,103	21,650	47	541 ( 11 )	554 ( 10 )	830	67	210	210	369	57
宮崎	8,577	8,801	21,505	41	211 ( 13 )	225 ( 15 )	746	30	256	263	353	75
鹿児島	11,832	12,241	32,398	38	456 ( 13 )	460 ( 7 )	1,026	45	379	389	614	63
沖縄	10,155	10,326	22,281	46	278 ( 30 )	284 ( 29 )	917	31	420	419	573	73
合計	727,903	748,707	1,664,378	45	18,149 ( 822 )	18,731 ( 841 )	60,299	31	25,690	26,331	38,063	69

- 注 (1) 就業者数は、『令和4年度 衛生行政報告例』により計上。  
(2) 「入会率」は、令和6年3月31日現在の会員数で算出。  
(3) 各都道府県の会員数は、住所変更に伴う他県への移動により、各都道府県の会費納入者数（令和5年度決算報告書）とは異なる。  
(4) 「保健師」、「看護師」、「准看護師」欄の（ ）内は男子の再掲。

看護師				准看護師				
07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	07.3.31 現在 会員数	06.3.31 現在 会員数(a)	04.12.31 現在 就業者数(b)	入会率 (a/b)	
人	人	人	%	人	人	人	%	
37,174 ( 3,571 )	38,256 ( 3,596 )	67,176	57	1,444 ( 93 )	1,674 ( 99 )	13,065	13	北海道
7,515 ( 677 )	7,724 ( 693 )	13,463	57	269 ( 17 )	297 ( 21 )	4,374	7	青森
6,921 ( 592 )	7,003 ( 587 )	14,383	49	113 ( 8 )	118 ( 7 )	2,479	5	岩手
11,593 ( 871 )	11,819 ( 884 )	21,304	55	265 ( 15 )	293 ( 15 )	4,643	6	宮城
6,126 ( 641 )	6,279 ( 639 )	11,767	53	60 ( 9 )	72 ( 9 )	2,591	3	秋田
7,016 ( 551 )	7,125 ( 535 )	12,391	58	117 ( 9 )	126 ( 11 )	2,379	5	山形
10,661 ( 988 )	10,884 ( 984 )	18,236	60	581 ( 54 )	657 ( 59 )	5,679	12	福島
13,937 ( 1,355 )	14,103 ( 1,369 )	24,148	58	820 ( 97 )	850 ( 96 )	6,375	13	茨城
10,976 ( 1,110 )	10,971 ( 1,112 )	18,646	59	513 ( 50 )	555 ( 49 )	5,386	10	栃木
9,863 ( 1,311 )	10,031 ( 1,299 )	19,868	50	468 ( 56 )	506 ( 57 )	6,111	8	群馬
22,297 ( 2,247 )	23,070 ( 2,285 )	54,603	42	450 ( 40 )	494 ( 37 )	11,003	4	埼玉
25,732 ( 2,342 )	26,005 ( 2,317 )	49,888	52	650 ( 49 )	722 ( 58 )	8,064	9	千葉
38,261 ( 2,943 )	40,128 ( 3,020 )	125,480	32	319 ( 33 )	369 ( 38 )	11,291	3	東京都
32,544 ( 2,986 )	34,184 ( 3,108 )	75,074	46	375 ( 30 )	417 ( 33 )	7,338	6	神奈川
13,894 ( 1,478 )	14,206 ( 1,469 )	23,798	60	396 ( 29 )	440 ( 34 )	4,495	10	新潟
5,030 ( 607 )	5,116 ( 616 )	8,658	59	142 ( 8 )	156 ( 9 )	1,757	9	山梨
12,565 ( 1,445 )	12,714 ( 1,437 )	24,403	52	211 ( 22 )	233 ( 27 )	4,071	6	長野
7,932 ( 671 )	7,958 ( 679 )	13,404	59	77 ( 8 )	87 ( 9 )	2,595	3	富山
8,661 ( 665 )	8,939 ( 674 )	15,251	59	201 ( 22 )	229 ( 23 )	2,379	10	石川
5,886 ( 507 )	5,911 ( 503 )	9,555	62	136 ( 4 )	151 ( 4 )	2,504	6	福井
11,326 ( 1,153 )	11,447 ( 1,154 )	18,552	62	402 ( 30 )	448 ( 33 )	5,090	9	岐阜
20,590 ( 1,722 )	20,729 ( 1,730 )	35,953	58	527 ( 26 )	573 ( 32 )	5,581	10	静岡
36,071 ( 3,048 )	37,648 ( 3,175 )	66,768	56	482 ( 20 )	613 ( 25 )	11,252	5	愛知
10,733 ( 951 )	10,821 ( 967 )	18,910	57	395 ( 26 )	433 ( 25 )	4,214	10	三重
8,368 ( 987 )	8,414 ( 996 )	14,857	57	131 ( 10 )	147 ( 14 )	1,362	11	滋賀
14,743 ( 1,414 )	15,345 ( 1,455 )	29,240	52	408 ( 36 )	447 ( 36 )	3,708	12	京都
46,493 ( 3,401 )	49,004 ( 3,539 )	85,730	57	1,181 ( 71 )	1,295 ( 76 )	11,888	11	大阪
27,941 ( 2,200 )	29,111 ( 2,288 )	58,797	50	538 ( 22 )	597 ( 23 )	8,544	7	兵庫県
8,851 ( 827 )	8,997 ( 842 )	14,185	63	257 ( 8 )	277 ( 11 )	1,758	16	奈良
5,611 ( 766 )	5,674 ( 775 )	11,538	49	88 ( 11 )	95 ( 12 )	2,636	4	和歌山
3,866 ( 337 )	3,946 ( 335 )	7,742	51	38 ( 3 )	42 ( 3 )	1,747	2	鳥取
5,139 ( 455 )	5,187 ( 459 )	9,284	56	92 ( 8 )	105 ( 11 )	2,451	4	島根
15,749 ( 1,159 )	15,961 ( 1,168 )	24,654	65	477 ( 21 )	541 ( 25 )	3,641	15	岡山
18,151 ( 1,786 )	18,457 ( 1,795 )	33,314	55	722 ( 45 )	779 ( 53 )	9,448	8	広島
8,839 ( 733 )	8,946 ( 737 )	18,227	49	343 ( 33 )	381 ( 34 )	5,638	7	山口
4,236 ( 304 )	4,362 ( 314 )	9,548	46	44 ( 2 )	58 ( 3 )	3,191	2	徳島
6,841 ( 708 )	6,969 ( 729 )	11,997	58	188 ( 32 )	196 ( 30 )	3,536	6	香川
9,118 ( 1,064 )	9,283 ( 1,047 )	17,205	54	254 ( 22 )	276 ( 25 )	4,318	6	愛媛
5,494 ( 648 )	5,754 ( 678 )	11,393	51	206 ( 34 )	240 ( 36 )	2,757	9	高知
38,834 ( 3,503 )	39,497 ( 3,497 )	65,134	61	1,534 ( 156 )	1,654 ( 164 )	13,995	12	福岡
4,811 ( 689 )	4,956 ( 705 )	11,766	42	185 ( 27 )	212 ( 30 )	4,001	5	佐賀
8,936 ( 966 )	9,152 ( 969 )	18,798	49	232 ( 15 )	274 ( 22 )	5,930	5	長崎
13,614 ( 1,225 )	13,674 ( 1,184 )	24,586	56	1,016 ( 105 )	1,089 ( 112 )	8,671	13	熊本
8,692 ( 794 )	8,770 ( 782 )	15,700	56	522 ( 57 )	569 ( 59 )	4,751	12	大分
7,741 ( 1,036 )	7,907 ( 1,058 )	15,097	52	369 ( 47 )	406 ( 46 )	5,309	8	宮崎
10,615 ( 1,307 )	10,957 ( 1,329 )	23,522	47	382 ( 43 )	435 ( 51 )	7,236	6	鹿児島
9,189 ( 1,778 )	9,334 ( 1,783 )	17,694	53	268 ( 44 )	289 ( 45 )	3,097	9	沖縄
665,176 ( 62,519 )	682,728 ( 63,296 )	1,311,687	52	18,888 ( 1,607 )	20,917 ( 1,731 )	254,329	8	合計

## 都道府県看護協会一覧表

協会名	〒	住所	TEL	FAX
北海道看護協会	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北3-24	011-863-6731	011-863-3204
青森県看護協会	030-0822	青森市中央3-20-30 県民福祉プラザ3階	017-723-2857	017-735-3836
岩手県看護協会	020-0117	盛岡市緑が丘2-4-55	019-662-8213	019-662-9550
宮城県看護協会	980-0871	仙台市青葉区八幡2-10-19	022-273-3923	022-276-4724
秋田県看護協会	010-0874	秋田市千秋久保田町6-6	018-834-0172	018-835-9522
山形県看護協会	990-2473	山形市松栄1-5-45 アルカディアソフトパーク山形内	023-685-8033	023-646-8868
福島県看護協会	963-8871	郡山市本町1-20-24	024-934-0512	024-991-5560
茨城県看護協会	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館内	029-221-6900	029-226-0493
栃木県看護協会	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階	028-625-6141	028-625-8988
群馬県看護協会	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護教育センター	027-269-5565	027-269-8601
埼玉県看護協会	331-0078	さいたま市西区西大宮3-3	048-624-3300	048-624-3331
千葉県看護協会	261-0002	千葉市美浜区新港249-4	043-245-1744	043-248-7246
東京都看護協会	160-0023	新宿区西新宿4-2-19	03-6300-0730	03-6300-0875
神奈川県看護協会	231-0037	横浜市中区富士見町3-1 神奈川県総合医療会館6階	045-263-2901	045-263-2905
新潟県看護協会	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11	025-265-1225	025-266-1199
山梨県看護協会	400-0807	甲府市東光寺2-25-1	055-226-4288	055-222-5988
長野県看護協会	390-0802	松本市旭2-11-34	0263-35-0421	0263-34-0311
富山県看護協会	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1	076-433-5680	076-433-6428
石川県看護協会	920-0931	金沢市兼六元町3-69	076-232-3573	076-232-3973
福井県看護協会	918-8206	福井市北四ツ居町601	0776-54-7103	0776-54-8474
岐阜県看護協会	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館1棟5階	058-277-1008	058-275-5300
静岡県看護協会	422-8067	静岡市駿河区南町14-25 エスパティオ3階	054-202-1750	054-202-1751
愛知県看護協会	466-0054	名古屋市昭和区円上町26-18	052-871-0711	052-871-0757
三重県看護協会	514-0062	津市観音寺町字東浦457-3 三重県看護研修会館	059-225-1010	059-226-5200
滋賀県看護協会	525-0032	草津市大路2-11-51	077-564-6468	077-562-8998
京都府看護協会	606-8111	京都市左京区高野泉町40-5	075-723-7195	075-723-7272
大阪府看護協会	540-0001	大阪市中央区城見2-2-22 マルイトOBPビル8階	06-6947-6900	06-6947-6901
兵庫県看護協会	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24	078-341-0190	078-361-6652
奈良県看護協会	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター	0744-25-4014	0744-24-7703
和歌山県看護協会	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-1005	073-483-1266
鳥取県看護協会	680-0901	鳥取市江津318-1	0857-29-8100	0857-29-8102
島根県看護協会	690-0049	松江市袖師町7-11	0852-25-0330	0852-25-3157
岡山県看護協会	700-0805	岡山市北区兵団4-31	086-226-3638	086-226-1157
広島県看護協会	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2	082-293-3362	082-295-5361
山口県看護協会	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館	0835-24-5790	0835-24-1230
徳島県看護協会	770-0003	徳島市北田宮1-329-18	088-631-5544	088-632-1084
香川県看護協会	769-0102	高松市国分寺町国分152-4	087-864-9070	087-864-9071
愛媛県看護協会	790-0843	松山市道後町2-11-14	089-923-1287	089-926-7825
高知県看護協会	780-8066	高知市朝倉己825-5	088-844-0678	088-844-0053
福岡県看護協会	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1141	092-631-1142
佐賀県看護協会	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 看護センター	0952-68-3299	0952-68-3603
長崎県看護協会	854-0072	諫早市永昌町23-6	0957-49-8050	0957-49-8056
熊本県看護協会	862-0901	熊本市東区東町3-10-39	096-369-3203	096-369-3204
大分県看護協会	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1	097-574-7117	097-545-3751
宮崎県看護協会	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6	0985-58-0622	0985-58-2939
鹿児島県看護協会	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 鹿児島県看護研修会館	099-256-8081	099-256-8079
沖縄県看護協会	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17	098-888-3155	098-888-3126

## 都道府県ナースセンター一覧表

ナースセンター	〒	住所	TEL	FAX
北海道ナースセンター	003-0027	札幌市白石区本通17丁目北 3番24号 北海道看護協会内 1階	011-863-6794	011-866-2244
青森県ナースセンター	030-0822	青森市中央三丁目20-30県民福祉プラザ3階 青森県看護協会内	017-723-4580	017-735-3836
岩手県ナースセンター	020-0117	盛岡市緑ヶ丘2-4-55 岩手県看護研修センター 1階 岩手県看護協会内	019-663-5206	019-663-5263
宮城県ナースセンター	981-0933	仙台市青葉区柏木2丁目3-23	022-272-8573	022-272-7801
秋田県ナースセンター	010-0001	秋田市中通2丁目3-8 秋田アトリオンビル1階	018-832-8810	018-853-4376
山形県ナースセンター	990-2473	山形市松栄1丁目5-45 山形県看護協会内	023-646-8878	023-643-5727
福島県ナースセンター	963-8871	郡山市本町1丁目20番24号 福島県看護会館 みらい1階 福島県看護協会内	024-934-0500	024-991-6002
茨城県ナースセンター	310-0034	水戸市緑町3-5-35 茨城県保健衛生会館1階 茨城県看護協会内	029-221-7021	029-226-0493
栃木県ナースセンター	320-8503	宇都宮市駒生町3337-1 とちぎ健康の森4階 栃木県看護協会内	028-625-3831	028-625-8988
群馬県ナースセンター	371-0007	前橋市上泉町1858-7 群馬県看護協会内	027-269-5202	027-269-8601
埼玉県ナースセンター	331-0078	さいたま市西区西大宮3丁目3番地 埼玉県看護協会内	048-620-7337	048-620-7322
千葉県ナースセンター	261-0002	千葉市美浜区新港249-10	043-247-6371	043-247-6620
東京都ナースプラザ (ナースバンク東京)	160-0023	新宿区西新宿4-2-19 東京都看護協会会館2階	03-5309-2065	03-5309-2066
神奈川県ナースセンター	231-0037	横浜市中区富士見町3番1 神奈川県総合医療会館5階	045-263-2101	045-263-2104
新潟県ナースセンター	951-8133	新潟市中央区川岸町2-11 新潟県看護研修センター1階 新潟県看護協会内	025-233-6011	025-265-4188
富山県ナースセンター	930-0885	富山市鶴島字川原1907-1 富山県看護協会内	076-433-5251	076-433-5281
石川県ナースセンター	920-0931	金沢市兼六元町3-69 石川県看護協会内	076-225-7771	076-225-7788
福井県ナースセンター	918-8206	福井市北四ツ居町601 福井県看護協会会館1階	0776-52-1857	0776-52-1858
山梨県ナースセンター	400-0807	甲府市東光寺2-25-1 山梨県看護協会内1階	055-226-0110	055-222-5988
長野県ナースセンター	390-0802	松本市旭2丁目11-34 長野県看護協会会館内	0263-35-0067	0263-34-0311
岐阜県ナースセンター	500-8384	岐阜市藪田南5-14-53 岐阜県県民ふれあい会館第1棟5階 岐阜県看護協会内	058-277-1010	058-277-1011
静岡県ナースセンター	422-8067	静岡市駿河区南町14番25号 エスパティオ3階	054-202-1761	054-202-1762
愛知県ナースセンター	466-0054	名古屋市中区丸の内2丁目26-15 愛知県高辻センター1階	052-871-0600	052-883-3686
三重県ナースセンター	514-0062	津市観音寺町字東浦457-10 三重県看護研修会館別館	059-222-0466	059-222-0465
滋賀県ナースセンター	525-0032	草津市大路2丁目11-51 滋賀県看護研修センター 滋賀県看護協会内	077-564-9494	077-562-8998
京都府ナースセンター	604-0874	京都市中京区竹屋町通鳥丸東入清水町375 ハートピア京都地下1階	075-222-0316	075-222-0528
大阪府ナースセンター	536-0014	大阪市城東区鳴野西2-5-25 ナーシングアート大阪2階	06-6964-5511	06-6964-6666
兵庫県ナースセンター	650-0011	神戸市中央区下山手通5-6-24 兵庫県看護協会会館1階	078-341-0240	078-341-0340
奈良県ナースセンター	634-0813	橿原市四条町288-8 奈良県看護研修センター1階	0744-25-4031	0744-24-7703
和歌山県ナースセンター	642-0017	海南市南赤坂17番地	073-483-0234	073-483-1266
鳥取県ナースセンター	680-0901	鳥取市江津318-1 看護研修センター1階 鳥取県看護協会内	0857-25-1222	0857-25-1223
島根県ナースセンター	690-0049	松江市袖師町7-11 看護研修センター1階 島根県看護協会内	0852-27-8510	0852-25-3157
岡山県ナースセンター	700-0805	岡山市北区兵団4番39 岡山県看護研修センター3階	086-226-3639	086-226-0341
広島県ナースセンター	730-0803	広島市中区広瀬北町9-2 広島県看護協会会館1階	082-293-9786	082-295-6749
山口県ナースセンター	747-0062	防府市大字上右田2686 山口県看護研修会館本館1階 山口県看護協会内	0835-24-5791	0835-28-9688
徳島県ナースセンター	770-0003	徳島市北田宮1丁目329-18 徳島県看護協会内	088-631-5544	088-632-1084
香川県ナースセンター	769-0102	高松市国分寺町国分152-4 香川県看護協会看護研修センター2階	087-864-9075	087-864-9071
愛媛県ナースセンター	790-0843	松山市道後町2丁目11-14 愛媛県看護協会内 愛媛看護研修センター1階	089-924-0848	089-996-8425
高知県ナースセンター	780-8066	高知市朝倉己825番地5 高知県看護協会内	088-844-0758	088-844-0053
福岡県ナースセンター	812-0054	福岡市東区馬出4-10-1 ナースプラザ福岡	092-631-1221	092-631-1223
佐賀県ナースセンター	849-0201	佐賀市久保田町大字徳万1997-1 佐賀県看護協会内	0952-51-3511	0952-68-3603
長崎県ナースセンター	854-0072	諫早市永昌町23-6 ながさき看護センター1階 長崎県看護協会内	0957-49-8060	0957-49-8063
熊本県ナースセンター	862-0901	熊本市東区東町3-10-39 看護研修センター1階 熊本県看護協会内	096-365-7660	096-365-7640
大分県ナースセンター	870-0855	大分市豊饒2丁目7-1 看護研修会館1階 大分県看護協会内	097-574-7136	097-574-7361
宮崎県ナースセンター	889-2155	宮崎市学園木花台西2-4-6 宮崎県看護協会1階	0985-58-4525	0985-58-2939
鹿児島県ナースセンター	890-0064	鹿児島市鴨池新町21-5 看護研修会館1階 鹿児島県看護協会内	099-256-8025	099-256-8079
沖縄県ナースセンター	901-1105	島尻郡南風原町字新川272-17 沖縄県看護研修センター1階 沖縄県看護協会内	098-888-3127	098-888-3126

---

---

# 公益社団法人富山県看護協会定款

---

---

## 第1章 総 則

(名称)

第1条 本会は、公益社団法人富山県看護協会と称する。

(事務所)

第2条 本会は、主たる事務所を富山県富山市に置く。

(日看協への入会)

第3条 本会は、公益社団法人日本看護協会（以下「日看協」という。）の法人会員となるものとする。

## 第2章 目的及び事業

(目的)

第4条 本会は、日看協との連携のもと、保健師、助産師、看護師及び准看護師が教育と研鑽に根ざした専門性に基づき看護の質の向上を図るとともに、安心して働き続けられる環境づくりを推進し、あわせて県民のニーズに応える看護領域の開発・展開を図ることにより、県民の健康で豊かな生活の実現に寄与することを目的とする。

(事業)

第5条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 教育等看護の質の向上に関する事業
- (2) 富山県看護研究学会の開催等学術研究の振興に関する事業
- (3) 看護業務の開発、看護制度の改善等に関する事業
- (4) 看護職の労働環境等の改善及び福祉の向上による県民の健康及び福祉の増進に関する事業
- (5) 訪問看護の実施等地域の保健医療福祉の向上に関する事業
- (6) その他本会の目的を達成するために必要な事業

2 前項各号の事業は、富山県において行うものとする。

### 第3章 会 員

(法人の構成員)

第6条 本会の会員は、次の2種とする。

- (1) 正会員 富山県内に在住又は勤務する保健師、助産師、看護師及び准看護師で、本会の目的に賛同して入会したもの。
  - (2) 名誉会員 看護職であって、本会の事業に功労があった者又は学識経験者で理事会が推薦し、本人の承諾を得て総会において承認されたもの。
- 2 前項の会員のうち、正会員をもって一般社団法人及び一般財団法人に関する法律（以下「法人法」という。）上の社員とする。

(入会)

第7条 本会の正会員になろうとする者は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

(会費)

第8条 本会の事業活動に経常的に生じる費用に充てるため、正会員になった時及び毎年、正会員は、総会において別に定める額を納入しなければならない。

(退会)

第9条 会員は、退会届を会長に提出することにより、任意にいつでも退会することができる。

(除名)

第10条 会員が次のいずれかに該当するに至ったときは、総会の決議によって当該会員を除名することができる。

- (1) この定款その他の規程に違反したとき。
  - (2) 本会の名誉を傷つけ、又は目的に反する行為をしたとき。
  - (3) その他除名すべき正当な事由があるとき。
- 2 前項の規定により会員を除名するときは、当該会員に、当該総会の日から1週間前までにその旨を通知し、かつ、総会において弁明する機会を与えなければならない。
- 3 除名は、除名した会員にその旨を通知しなければ、これをもって当該会員に対抗することができない。

(会員資格の喪失)

第11条 前2条の場合のほか、会員は、次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。

- (1) 第8条の支払義務を1年以上履行しなかったとき。
- (2) 全正会員が同意したとき。

(3) 当該会員が死亡したとき。

## 第4章 総 会

(構成)

第12条 総会は、すべての正会員をもって構成する。

2 前項の総会をもって法人法上の社員総会とする。

(権限)

第13条 総会は、次の事項について決議する。

- (1) 会費の額
- (2) 会員の除名
- (3) 理事及び監事の選任又は解任
- (4) 日看協代議員及び予備代議員の選任
- (5) 理事及び監事の報酬等の額
- (6) 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書の承認
- (7) 定款の変更
- (8) 解散及び残余財産の処分
- (9) その他総会で決議するものとして法令又はこの定款で定められた事項

(開催)

第14条 総会は、定時総会として毎年度6月に1回開催するほか、必要がある場合に開催する。

(招集)

第15条 総会は、法令に別段の定めがある場合を除き、理事会の決議に基づき会長が招集する。

2 総正会員の議決権の10分の1以上の議決権を有する正会員は、会長に対し、総会の目的である事項及び招集の理由を示して、総会の招集を請求することができる。

3 前項の請求があったときは、会長は、総会を招集しなければならない。

4 総会を招集するときは、総会の日時、場所及び総会の目的たる事項を開催の30日前までに正会員に文書をもって通知しなければならない。

(議長)

第16条 総会に議長団を置く。

2 議長団は3名以上とし、総会においてその都度正会員の中から選出する。

3 議長は議長団がこれを定める。

(議決権)

第17条 総会における議決権は、正会員1名につき1個とする。

(決議)

第18条 総会の決議は、総正会員の議決権の過半数を有する正会員が出席し、出席した当該会員の議決権の過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、次の決議は、総正会員の半数以上であって、総正会員の議決権の3分の2以上に当たる多数をもって行う。

- (1) 会員の除名
- (2) 監事の解任
- (3) 定款の変更
- (4) 解散
- (5) その他法令で定められた事項

3 理事又は監事を選任する議案を決議するに際しては、候補者ごとに第1項の決議を行わなければならない。理事又は監事の候補者の合計数が第22条に定める定数を上回る場合には、過半数の賛成を得た候補者の中から得票数の多い順に定数の枠に達するまでの者を選任することとする。

(議決権の代理行使)

第19条 正会員は、代理人によってその議決権を行使することができる。この場合においては、当該正会員又は代理人は、代理権を証明する書面を本会に提出しなければならない。

(書面による議決権の行使)

第20条 書面による議決権の行使は、議決権行使書面に必要な事項を記載し、総会の日時の直前の日時の業務時間の終了時までには当該記載をした議決権行使書面を本会に提出して行う。

2 前項の規定により書面によって行使した議決権の数は、出席した正会員の議決権の数に算入する。

(議事録)

第21条 総会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 議長及びその会議において選任された議事録署名人2人以上は、前項の議事録に記名押印する。

## 第5章 役員

(役員の設定)

第22条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 理事 20名以上25名以内
- (2) 監事 2名以上3名以内
- 2 理事のうち1名を会長、2名を副会長、1名を専務理事、1名を常任理事とする。ただし、理事には、保健師、助産師、看護師、准看護師から各1名以上を含むものとする。
- 3 監事のうち1名を会員外とする。
- 4 第2項の会長をもって法人法上の代表理事とし、副会長、専務理事及び常任理事を同法第91条第1項第2号の業務執行理事とする。

#### (役員を選任)

第23条 理事及び監事は、総会の決議によって選任する。

- 2 理事会は、会長、副会長、専務理事及び常任理事を選定及び解職する。
- 3 前項において、理事会は、総会の決議により選出された会長候補者及び副会長候補者から会長及び副会長を選定する方法によることができる。
- 4 第2項の場合において、理事会は、会長が推薦する専務理事候補者及び常任理事候補者から専務理事及び常任理事を選定することができる。

#### (役員の欠格事由)

第24条 次に掲げる者は本会の役員となることができない。

- (1) 法人法第65条第1項各号に掲げられた者
- (2) 法人法第65条第1項第3号に該当する罪刑又は第4号に該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者
- (3) 公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律（以下「認定法」という。）第6条に該当する者
- (4) 認定法第6条第1号ロに該当する罪刑又はハに該当する刑に処せられる可能性のある罪で起訴されている者

#### (役員資格喪失)

第25条 前条に該当するに至った者は、当該時点で本会の役員資格を喪失する。

#### (理事等の構成)

第26条 本会の各理事について、当該理事及びその配偶者又は三親等内の親族（これに準ずるものとして当該理事と公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律施行令（以下「認定法施行令」という。）で定める特別の関係にある者を含む。）である理事の合計数が理事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても同様とする。

- 2 他の同一の団体（公益法人又はこれに準ずるものとして認定法施行令で定めるものを除く。）の理事又は使用人である者その他これに準ずる相互に密接な関係にあるものとして認定法施行令で定める者である理事の合計数が理

事の総数の3分の1を超えないものであること。監事についても、同様とする。

(理事等との特殊の関係)

第27条 本会の理事のうちには、理事のいずれか1人及びその親族その他特殊の関係がある者の合計数が、理事総数（現在数）の3分の1を超えて含まれることになってはならない。

2 本会の監事には、本会の理事（親族その他特殊の関係がある者を含む。）及び本会の使用人が含まれてはならない。また、各監事は、相互に親族その他特殊の関係があってはならない。

(理事の職務及び権限)

第28条 理事は、理事会を構成し、法令及びこの定款で定めるところにより、職務を執行する。

2 会長は、法令及びこの定款で定めるところにより本会を代表し、その業務を執行する。

3 副会長は、会長を補佐する。

4 専務理事は、会長及び副会長を補佐し、業務を分担執行する。

5 常任理事は、業務を分担執行する。

6 副会長、専務理事及び常任理事の権限は、理事会が定める職務権限規程による。

7 会長及び業務執行理事は、3か月に1回以上自己の職務の執行状況を理事会に報告しなければならない。

(監事の職務及び権限)

第29条 監事は、理事の職務の執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成する。

2 監事は、いつでも、理事及び使用人に対して事業の報告を求め、本会の業務及び財産の状況を調査することができる。

3 監事は、理事が不正な行為をし、若しくは当該行為をするおそれがあると認めるとき、又は法令若しくはこの定款に違反する事実若しくは著しく不当な事実があると認めるときは、遅滞なく、その旨を理事会に報告する。

4 監事は、理事会に出席し、必要があると認めるときは、意見を述べる。

5 監事は、第3項に規定する場合において、必要があると認めるときは会長に対し、理事会の招集を請求することができる。

6 前項の規定による請求のあった日から5日以内に、その請求があった日から2週間以内の日を理事会の日とする理事会の招集の通知が発せられない場合は、その請求をした監事は、理事会を招集することができる。

7 監事は、理事が総会に提出しようとする議案、書類その他法令で定めるものを調査しなければならない。この場合において、法令若しくはこの定款に違反し、又は著しく不当な事項があると認めるときは、その調査の結果を総

会に報告する。

- 8 監事は、本会の目的の範囲外の行為その他法令若しくはこの定款に違反する行為をし、又はこれらの行為をするおそれがある場合において、当該行為によって本会に著しい損害が生ずるおそれがあるときは、当該理事に対し、当該行為をやめることを請求することができる。

#### (役員任期)

第30条 理事の任期は、選任後2年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 2 前項の規定にかかわらず、理事は、同一職に引き続き就任するときは選任後6年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することができない。

3 監事の任期は、選任後4年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の時までとする。ただし、再任を妨げない。

- 4 前項の規定にかかわらず、監事は、引き続き就任するときは選任後8年以内に終了する事業年度のうち最終のものに関する定時総会の終結の時を超えて就任することはできない。

5 補欠として選任された理事又は監事の任期は、前任者の任期の満了する時までとする。

- 6 理事又は監事は第22条に定める定数に足りなくなるときは、任期の満了又は辞任により退任した後も、新たに選任された者が就任するまで、なお理事又は監事としての権利義務を有する。

#### (役員解任)

第31条 理事及び監事は、総会の決議によって解任することができる。

#### (報酬等)

第32条 理事及び監事は、無報酬とする。ただし常勤の理事及び会員外の監事に対しては、総会において定める総額の範囲内で、報酬として支給することができる。

- 2 役員にはその職務を執行するために要する費用を弁償することができる。
- 3 前2項に関し必要な事項は、理事会の決議により別に定める役員の報酬及び費用に関する規程による。ただし、監事の報酬及び費用については、監事の協議による。

#### (損害賠償責任)

第33条 理事又は監事は、その任務を怠ったときは、本会に対し、これによって生じた損害を賠償する責任を負う。

- 2 前項の責任は、すべての正会員の同意がなければ免除することができない。
- 3 第2項の規定にかかわらず、理事又は監事が職務を行うにつき善意でかつ

重大な過失がない場合において、責任の原因となった事実の内容、当該理事又は監事の職務の執行の状況その他の事情を勘案して特に必要と認めるときは、法令の定める額を限度として理事会の決議によって免除することができる。

## 第6章 理事会

(構成)

第34条 本会に理事会を置く。

2 理事会は、すべての理事をもって構成する。

(権限)

第35条 理事会は、次の職務を行う。

- (1) 本会の業務執行の決定
- (2) 理事の職務の執行の監督
- (3) 会長、副会長、専務理事及び常任理事の選定及び解職

(招集)

第36条 理事会は、会長が招集し議長となる。

2 会長が欠けたとき又は会長に事故があるときは、理事会においてあらかじめ定めた理事が理事会を招集し議長となる。

(決議)

第37条 理事会の決議は、決議について特別の利害関係を有する理事を除く理事の過半数が出席し、その過半数をもって行う。

2 前項の規定にかかわらず、理事が理事会の決議の目的である事項について提案をした場合において、当該提案につき議決に加わることができる理事の全員が書面又は電磁的記録により同意の意思表示をしたときは、当該提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす。ただし、監事が異議を述べた場合は、この限りでない。

(議事録)

第38条 理事会の議事については、法令で定めるところにより、議事録を作成する。

2 出席した会長及び監事は、前項の議事録に記名押印する。

## 第7章 職能委員会

(職能委員会)

第39条 本会に次の職能委員会を置く。

- (1) 保健師職能委員会
  - (2) 助産師職能委員会
  - (3) 看護師職能委員会
- 2 職能委員会は、それぞれ職能上の問題を審議し、理事会に提案する。
  - 3 各職能委員会の委員長は、保健師、助産師、看護師の理事をもって充てる。
  - 4 各職能委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
  - 5 各職能委員会の構成及び運営に必要な事項は、理事会において別に定める。

## 第8章 委員会

(委員会)

第40条 この定款に定めるもののほか、本会の事業を推進するために必要があるときは、理事会の決議により、委員会を設置することができる。

- 2 委員会は、総会及び理事会の権限を侵すものではないものとする。
- 3 委員会の委員は、理事会において選任及び解任する。
- 4 委員会の任務、構成及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

## 第9章 支部

(支部)

第41条 本会に支部を設置する。

- 2 支部の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

## 第10章 事務局

(事務局)

第42条 本会の事務を処理するため、事務局を設置する。

- 2 事務局には、事務局長及び所要の職員を置く。
- 3 事務局長は、理事会の決議を経て会長が任免する。
- 4 事務局の組織及び運営に関し必要な事項は、理事会において別に定める。

## 第11章 資産及び会計

(事業年度)

第43条 本会の事業年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日に終わる。

(事業計画及び収支予算)

第44条 本会の事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類（以下「予算等」という。）については、毎事業年度の開始の日の前日までに、会長が作成し、理事会の承認を受けなければならない。これを変更する場合も、同様とする。

2 予算等については、定時総会に報告するものとする。

3 予算等については、主たる事務所に、当該事業年度が終了するまでの間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(事業報告及び決算)

第45条 本会の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が次の書類を作成し、監事の監査を受けた上で、理事会の承認を経て、定時総会に提出し、第1号及び第2号の書類についてはその内容を報告し、第3号から第6号までの書類については承認を受けなければならない。

(1) 事業報告

(2) 事業報告の附属明細書

(3) 貸借対照表

(4) 正味財産増減計算書

(5) 貸借対照表及び正味財産増減計算書の附属明細書

(6) 財産目録

2 前項の書類のほか、次の書類を主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するとともに、定款、会員名簿を主たる事務所に備え置き、一般の閲覧に供するものとする。

(1) 監査報告

(2) 理事及び監事の名簿

(3) 理事及び監事の報酬等の支給の基準を記載した書類

(4) 運営組織及び事業活動の状況の概要及びこれらに関する数値のうち重要なものを記載した書類

(公益目的取得財産残額の算定)

第46条 会長は、認定法施行規則第48条の規定に基づき、毎事業年度、当該事業年度の末日における公益目的取得財産残額を算定し、前条第2項第4号の書類に記載するものとする。

(会計の規程等)

第47条 会計に関して必要な事項は、理事会において別に定める。

2 特別費用準備資金及び特定の資産の取得又は改良に充てるために保有する資産の取り扱いについては、理事会の決議により別に定める。

## 第12章 定款の変更及び解散

(定款の変更)

第48条 この定款は、総会の決議によって変更することができる。

(解散)

第49条 本会は、総会の決議その他法令で定められた事由により解散する。

(公益認定の取消し等に伴う贈与)

第50条 本会が公益認定の取消しの処分を受けた場合又は合併により法人が消滅する場合（その権利義務を承継する法人が公益法人であるときを除く。）には、総会の決議を経て、公益目的取得財産残額に相当する額の財産を、当該公益認定の取消しの日又は当該合併の日から1箇月以内に、認定法第5条第17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

(残余財産の帰属)

第51条 本会が清算をする場合において有する残余財産は、総会の決議を経て、認定法第5条17号に掲げる法人又は国若しくは地方公共団体に贈与するものとする。

## 第13章 公告の方法

(公告の方法)

第52条 本会の公告は、主たる事務所の公衆の見やすい場所に掲示する方法により行う。

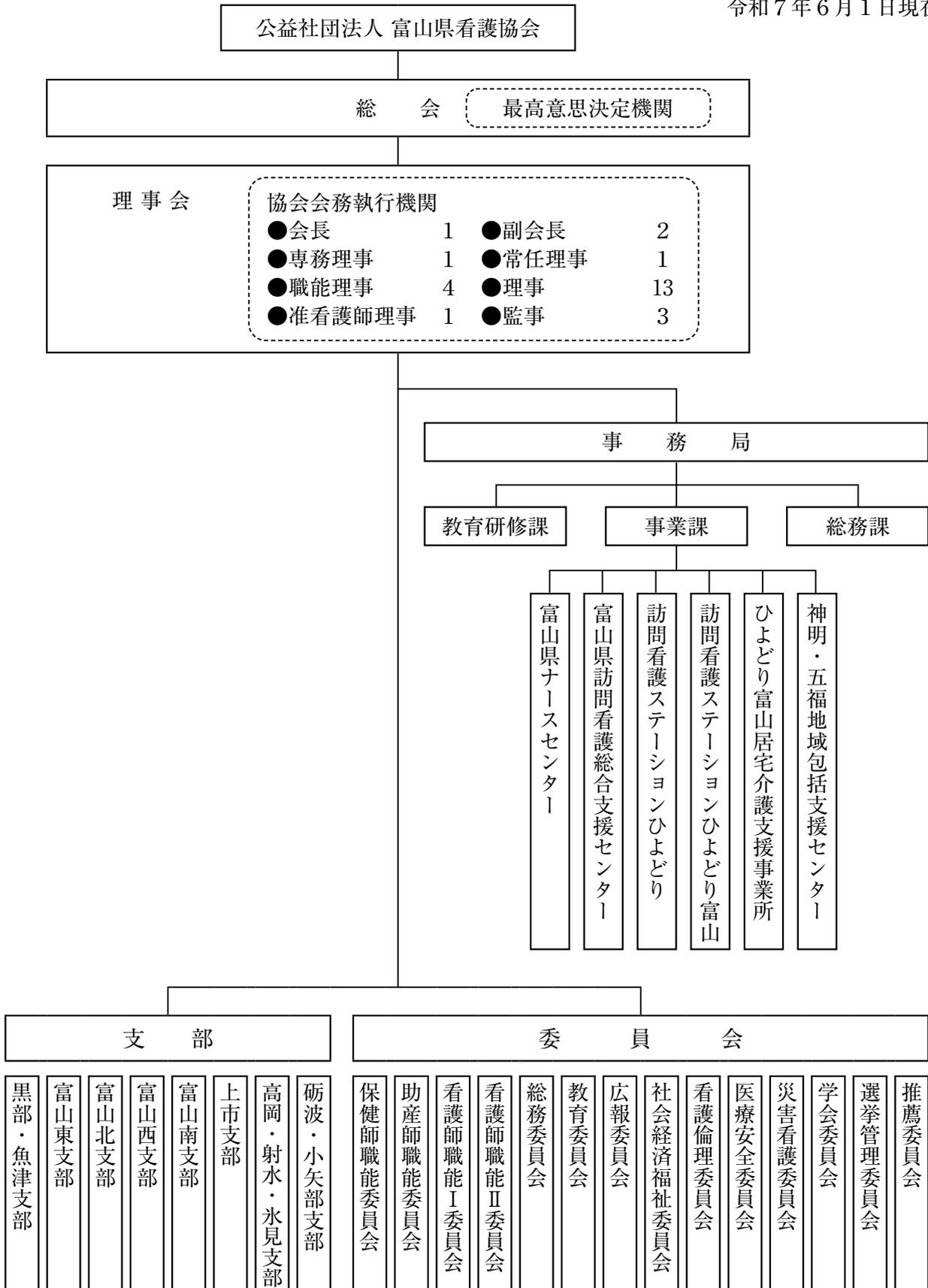
### 附 則

- 1 この定款は、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める公益法人の設立の登記の日から施行する。
- 2 本会の最初の代表理事は三谷順子とする。

- 3 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第106条第1項に定める特例民法法人の解散の登記と、公益法人の設立の登記を行ったときは、第43条の規定にかかわらず、解散の登記の前日を事業年度の末日とし、設立の登記の日を事業年度の開始日とする。

# 公益社団法人 富山県看護協会組織図

令和7年6月1日現在



# 公益社団法人 富山県看護協会職員名簿

(令和7年6月1日現在)

## 事務局

事務局長 中井 誠

## 総務課

主任 村井 一仁 小杉 理恵  
職員 石田 三緒子  
非常勤職員 古川 恵子

## 教育研修課

専任教員 佐伯 久恵  
職員 濱岡 美幸  
非常勤職員 河浦 恭子

## 事業課

### 富山県ナースセンター

センター長 境 信子  
主任 黒田 麻衣子  
非常勤職員 新村 千晶 城生 裕子 田村 雅子  
濱井 郁美 岩原 裕子 野末 法子

### 富山県訪問看護総合支援センター

センター長 川岸 孝美  
職員 加賀 美希  
非常勤職員 清水 阿佐美 中嶋 育美

### 訪問看護ステーションひよどり

管理者 森 陽子  
主任 帯刀 あづさ 草島 文子 宮脇 真未  
非常勤職員 干場 嘉代子

### 訪問看護ステーションひよどり富山

管理者 廣田 恭子  
主任 宮田 美香子  
職員 會田 和美  
非常勤職員 河岸 輝子

### ひよどり富山居宅介護支援事業所

管理者 田原 千賀子  
非常勤職員 藤永 晴美 中田 裕子 柚原 久美子

### 神明・五福地域包括支援センター

管理者 本田 理恵子  
主任 佐々木 智子 宮本 恵理子  
職員 松林 真奈  
非常勤職員 梅 美子



# 日本看護協会歌

## 光 求めて

作詩 山本敏子  
補作詩・作曲 小椋佳

大空のもと 光求めて  
看護の心 胸深く  
両手にかざす 愛のほむらは  
静かに燃える 優しく燃える  
今 この時 そして明日に

さざなみに揺れ 光求めて  
看護の願い 胸熱く  
つなぐその手に 通う血潮は  
さやかにとける 優しくとける  
ただ ひとすじ またひたむきに

そよ風に乗り 光求めて  
看護の祈り 胸清く  
枕べにたつ 花の香りは  
ほのかに匂う 優しく匂う  
今 この時 そして明日に

今 この時 そして明日に

1. おさ おさ ぞな らの も とれり ひ か  
2. さそ おさ なか みに ゆの とり ひ ひ か  
3. おさ おさ なか みに ゆの とり ひ ひ か

りり もとめ ててり かか んんご のの  
りり もとめ ててり かか んんご のの

こねい こが ろい むむね ふか つく  
こねい こが ろい むむね ふか つく

りよ う て に か ざ す ー あ い  
つま なく ら そ の た す に つ ー は な

のう ほむら は ー ー ずかか に もえ  
のう ほむら は ー ー しやかの かか に とけ  
のう ほむら は ー ー しやかの かか に とけ

るる ー やさし くもえ るる ー いた  
るる ー やさし くもえ るる ー いた

まだま こひの とすと き ー そま し て あ し た  
まだま こひの とすと き ー そま し て あ し た

1.2.C 3.C C  
に ー に ー い ま この と

F G7 (F/G) C  
き ー そ し て あ し た に ー

かんごちゃん  
「看護の日」キャラクター



**公益社団法人 富山県看護協会**

〒930-0885 富山市鶴島字川原 1907-1

TEL 076-433-5680 FAX 076-433-6428